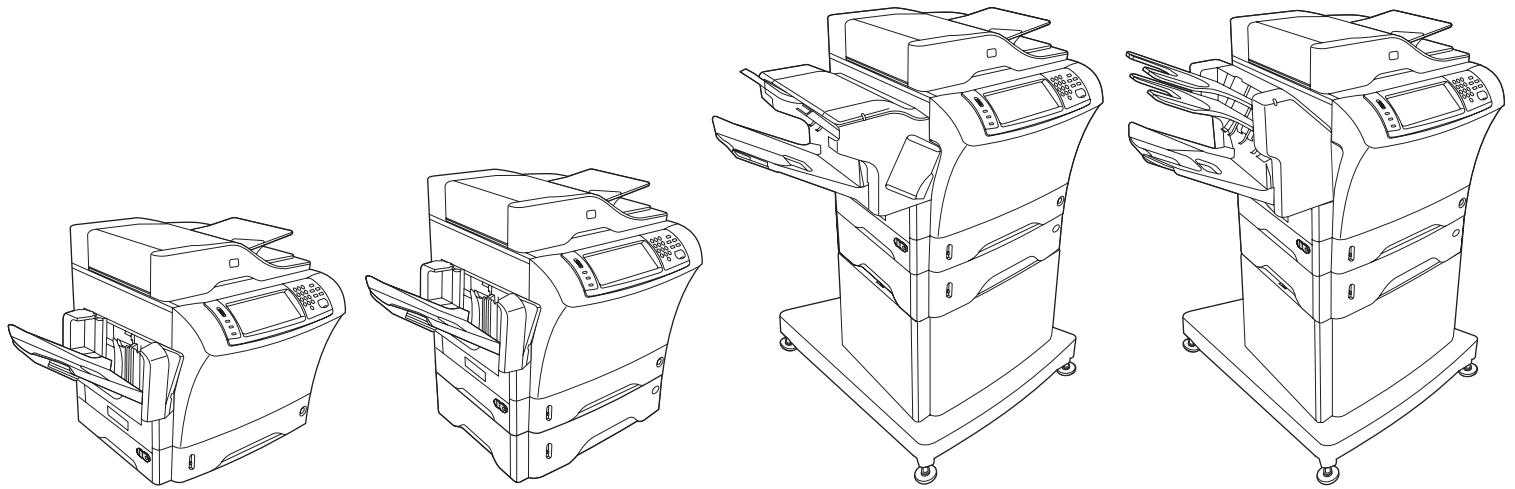
HP LaserJet M4345 MFP
ユーザー ガイド

HP LaserJet M4345 シリーズ MFP

ユーザー ガイド

パーツ番号: CB425-90945

Edition 1、10/2006

目次

5 プリンタ機能の使用

6 印刷

7 コピー

8 スキャンして電子メールに送信

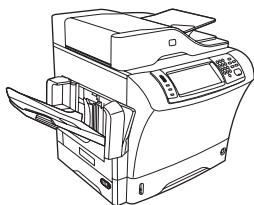
11 問題の解決

付録 A アクセサリおよび消耗品

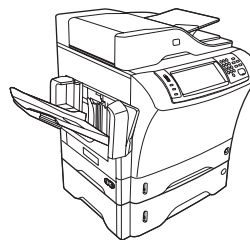
付録 B サービスおよびサポート

1 デバイスの基礎

デバイスの比較

HP LaserJet M4345 MFP (基本モデル)

HP LaserJet M4345 には、標準で以下の付属品が含まれています。

- 100 枚収納給紙トレイ (トレイ 1)
- 500 枚収納給紙トレイ (トレイ 2)
- 最大 50 ページ収納可能な自動文書フィーダ (ADF)
- 10/100Base-T ネットワーク接続用 HPJetdirect 内蔵プリント サーバー
- 256MB の SDRAM (シンクロナス DRAM)

HP LaserJet M4345x MFP

HP LaserJet M4345x には、基本モデルの全機能に加え、以下の付属品も含まれます。

- 自動両面印刷アクセサリ (両面印刷ユニット)
- 増設用 500 枚収納給紙トレイ (トレイ 3)
- 33.6kbps アナログ ファックス アクセサリ

HP LaserJet M4345xs MFP

HP LaserJet M4345xs には、基本モデルの全機能に加え、以下の付属品も含まれます。

- 自動両面印刷アクセサリ (両面印刷ユニット)
- 増設用 500 枚収納給紙トレイ (トレイ 3)
- 33.6kbps アナログ ファックス アクセサリ
- ステイプラ/スタッカ アクセサリ
- キャビネット/スタンド

HP LaserJet M4345xm MFP

HP LaserJet M4345xm には、基本モデルの全機能に加え、以下の付属品も含まれます。

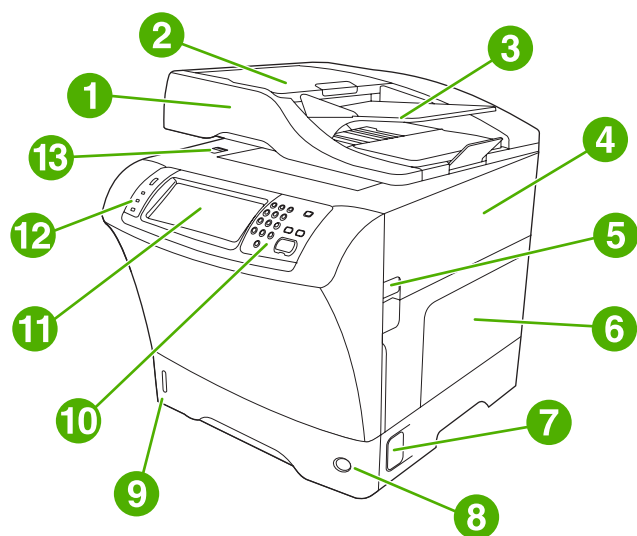
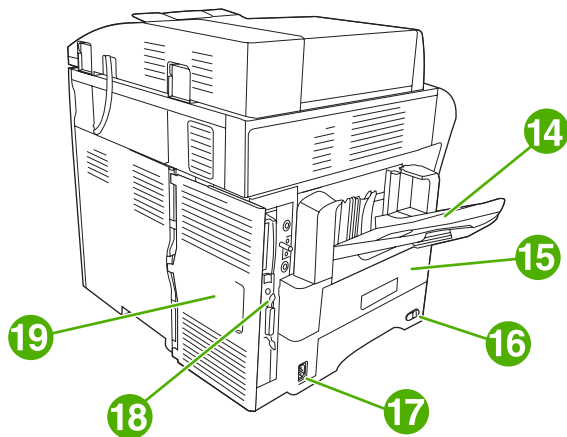
- 自動両面印刷アクセサリ (両面印刷ユニット)
- 増設用 500 枚収納給紙トレイ (トレイ 3)
- 33.6kbps アナログ ファックス アクセサリ
- 3 ビン メールボックス　アクセサリ
- キャビネット/スタンド

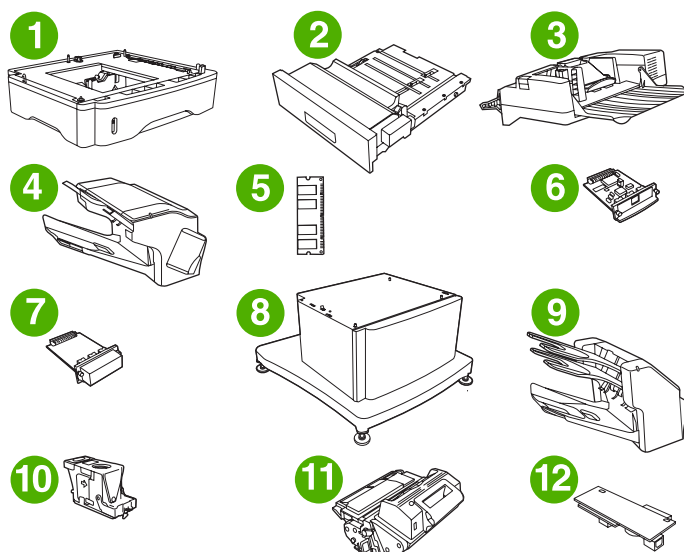
機能の比較

機能	HP LaserJet M4345
機能	● 両面コピー (両面印刷) ● イメージの修正 ● カラー デジタル送信 ● 文書の仕上げ
速度とスループット	● レターサイズの用紙のスキャンおよび印刷の場合、45 ページ/分、A4 サイズの用紙のコピーおよび印刷の場合、43 (ppm) ● スキャナ原稿台ガラスを使用した場合、25% ～ 400% の拡大縮小が可能 ● 自動文書フィーダ (ADF) を使用した場合、25% ～ 200% の拡大縮小が可能 ● 最初のページを印刷するまでの時間は 10 秒未満 ● Transmit Once, Raster Image Processing (RIP) ONCE テクノロジー ● 200,000 ページ/月の高耐久性
解像度	● 1200dpi、REt (Resolution Enhancement technology) 採用 ● FastRes1200 では最高速で 1200dpi の品質を提供 ● 最高 220 のグレイ レベル
メモリ	● 256MB の RAM (Random-Access Memory)。業界標準の 100 ピン DDR SDRAM DIMM を使用して 512MB まで拡張可能 ● MEt (Memory Enhancement technology) により自動的にデータを圧縮し、RAM をより効率的に使用
ユーザー インターフェース	● グラフィカル タッチスクリーン コントロール パネル ● 内蔵 Web サーバーからサポートおよびサプライ品の注文にアクセス可能 (ネットワーク接続対応製品の場合) ● HPEasy Printer Care ソフトウェア (Web ベースのステータスおよびトラブルシューティング ツール)
言語とフォント	● HPPCL 6 ● HPPCL5 ● プリンタ管理言語 ● PDF ● XHTML ● スケーラブル TrueType フォント 80 書体 ● HPPostScript 3 エミュレーション

コピーおよび送信	● テキスト、グラフィック、およびテキストとグラフィックの混合フォーマット モード ● ジョブ中断機能 (コピー境界) ● コピー即時オン機能用のキセノン ランプ ● 1 枚に複数ページ印刷 ● 操作ガイド アニメーション (紙詰まり解除の場合など) ● 電子メール適合 ● 消費電力を抑えるスリープ機能 ● Automaticduplex (両面) スキャン **注記** 両面コピーには、自動両面印刷アクセサリが必要です。 **注記** 電子メール機能を使用するには、SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) 内蔵の IP ベース サーバーにデバイスを接続する必要があります。このサーバーは、LAN または外部の ISP (インターネット サービス プロバイダ) に接続されます。HP では、デバイスを SMTP サーバーと同じ LAN 上に置くことをお勧めします。ISP を使用している場合、DSL (デジタル加入者線) を使用して ISP に接続する必要があります。ISP の電子メール サービスを利用している場合、ISP に正しい SMTP アドレスを要求してください。 ダイアルアップ接続はサポートしていません。ネットワーク上に SMTP サーバーがない場合、SMTP サーバーを作成できるサードパーティのソフトウェアを購入することも可能です。
プリント カートリッジ	● 5% 印刷で 18,000 ページまで印刷可能。 ● 振る必要のないカートリッジ設計 ● HP 純正プリント カートリッジ検出
給紙	● **トレイ 1 (汎用トレイ) :** 普通紙、OHP フィルム、ラベル、封筒対応の汎用トレイ。普通紙 100 枚、封筒 10 枚まで収納。 ● **トレイ 2 およびオプションのトレイ 3、4、5 :** 500 枚給紙トレイ。これらのトレイは、リーガルまでの標準用紙サイズを自動検出し、カスタム サイズの用紙も収納可能。 ● **ADF (自動文書フィーダ):** 普通紙最大 50 枚まで収納可能。 ● **両面印刷およびコピー** : オプションの両面印刷アクセサリを使用して、両面印刷および両面コピー (用紙の両面に印刷) が可能。 ● **ADF 両面スキャン** : ADF には両面文書をスキャンするための自動両面印刷機能があります。 ● **オプションの封筒フィーダ** : 封筒を 75 枚まで収納。

排紙	• **標準排紙ビン**： 標準の排紙ビンは、デバイスの左側にあります。このビンには普通紙を最大 500 枚収納できます。 • **ADF 排紙ビン**： ADF 排紙ビンは ADF 給紙トレイの下にあります。このビンには最大 50 枚収納でき、ビンが一杯になると、デバイスは自動的に停止します。 • **オプションのステイプラ/スタッカ** ステイプル/スタッカは、最大 30 枚までホッチキス止めが可能で、最大 500 枚収納。 • **オプションの 3 ビン メールボックス**： 1 つのビンは最大 500 枚、2 つのビンはそれぞれ最大 100 枚で、合計 700 枚まで収納可能。
接続	• Foreigninterfaceharness (FIH)connection(AUX) による他のデバイスとの接続 • 内蔵 HPJetdirect プリント サーバー用の LAN (Local area network) コネクタ (RJ-45) • オプションのアナログ ファックス カード • オプションの HPDigital Sending Software (DSS) • High-speed USB 2.0 • Jetlink 用紙処理ソリューション • オプションの HPJetdirect EIO (enhanced input/output) プリント サーバー カード： 　• LocalTalk 　• Fast Ethernet 10/100TX 　• Ethernet 802.11b ワイヤレス 　• Bluetooth ワイヤレス プリンタ アダプタ 　• 赤外線アダプタ
環境重視	• スリープ設定による省電力 (ENERGY STAR ガイドライン適合)。
セキュリティ機能	• FIH (Foreign Interface Harness) • セキュア ディスク消去 • セキュリティ ロック • ジョブの保持 • DSS 認証

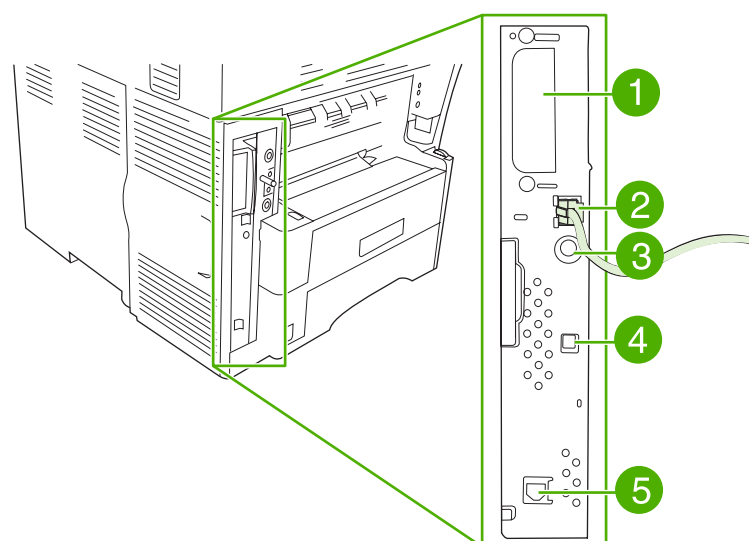
各部の名称

1	文書フィーダ アセンブリ
2	文書フィーダの上部カバー
3	文書フィーダの給紙トレイ
4	上部カバー (プリント カートリッジの取り出し口)
5	上部カバー レバー
6	トレイ 1 (汎用トレイ)
7	紙詰まり解除レバー
8	トレイ番号インジケータ
9	用紙レベル インジケータ
10	コントロール パネル キーパッド
11	コントロール パネル ディスプレイ
12	コントロール パネル ステータス ライト
13	スキャナ ロック

14	排紙ビン
15	オプションの両面印刷ユニット
16	オン/オフ スイッチ
17	電源接続
18	インターフェース ポート
19	フォーマッタ カバー (ここからメモリ DIMM スロット、ハード ディスク、アナログ ファックス アクセサリにアクセスできます)

アクセサリおよびサプライ品

1	500 枚給紙トレイ (Q5968A) (以下の注意を参照)
2	両面印刷ユニット (Q5969A)

3	封筒フィーダ (Q2438B)
4	ステイプル/スタッカ (Q5691A)
5	メモリ DIMM
6	HPJetdirect プリント サーバー (EIO カード)
7	ハードディスク アクセサリ (EIO カード)
8	ストレージ キャビネット/スタンド (Q5970A)
9	3 ビン メールボックス (Q5692A)
10	ステイプル カートリッジ (C8091A)
11	プリント カートリッジ (Q5945A)
12	HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 (Q3701A)

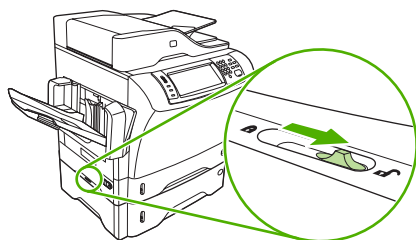
アクセサリやサプライ品の注文方法については、パーツ、アクセサリ、サプライ品の注文 を参照してください。

注記 デバイスには、オプションの 500 枚給紙トレイを最大 3 つ取り付けられます。HP では、オプションの 500 枚給紙トレイを増設するときキャビネットを使用することをお勧めします。

インターフェース ポート

1	EIO スロット
2	ネットワーク接続 (内蔵 HPJetdirect プリント サーバー)
3	FIH (Foreign Interface Harness) ポート
4	High-speed USB 2.0 デバイス ポート
5	電話線接続 (オプションのアナログ ファックス アクセサリ用)

オプションのアクセサリのロックとロック解除

デバイスの転倒を防止して安定性を高めるために、オプションの 500 枚給紙トレイやキャビネットは、デバイスの底部に自動的にロックされます。アクセサリを取り付けるときは、各アクセサリのロックが後ろ (ロック) の位置にあることを確認します。

アクセサリのロックを解除するには、レバーを手前 (ロック解除) の位置にスライドさせます。

デバイス ソフトウェア

印刷システム ソフトウェアは、デバイスに組み込まれています。インストールの詳細については、セットアップ ガイドを参照してください。

印刷システムには、エンド ユーザーおよびネットワーク管理者用のソフトウェアと、機能にアクセスし、コンピュータと通信するためのプリンタ ドライバが含まれます。

注記 プリンタ ドライバと更新されたソフトウェアのリストについては、 http://www.hp.com/go/M4345_software を参照してください。

対応オペレーティング システム

デバイスは、次のオペレーティング システムに対応します。

ソフトウェアのフルインストール

- Windows XP (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows Server 2003 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows 2000
- Mac OS X V10.2.8、V10.3、V10.4 以降

プリンタ ドライバ専用

- Linux (Web 専用)
- UNIX モデル スクリプト (Web 専用)

注記 Mac OS V10.4 以降では、PPC および Intel Core Processor Macs に対応しています。

対応プリンタ ドライバ

オペレーティング システム	PCL 5	PCL 6	PostScript Level 3 エミュレーション
Windows	✔	✔	✔
Mac OS X V10.2.8、V10.3、V10.4 以降			✔
Linux[1]			✔

[1] Linux については、www.hp.com/go/linuxprinting から PostScript Level 3 エミュレーション ドライバをダウンロードしてください。

プリンタ ドライバには、一般的な印刷タスクの操作手順と、プリンタ ドライバ内のボタン、チェックボックス、およびドロップダウン リストに関するオンライン ヘルプが含まれています。

正しいプリンタ ドライバの選択

プリンタ ドライバによって、デバイス機能へのアクセスと、コンピュータとデバイス間の (プリンタ言語による) 通信が可能になります。 その他のソフトウェアや言語については、デバイスに同梱の CD に収録されているインストール ノートと Readme ファイルを参照してください。

このデバイスは、PCL 5、PCL 6、および HP PostScript Level 3 エミュレーションの各プリンタ記述言語 (PDL) ドライバを使用します。

- 全体的なパフォーマンスを最大限に引き出すには、PCL 6 プリンタ ドライバを使用してください。
- 一般的なオフィス印刷には、PCL 5 プリンタ ドライバを使用してください。
- PostScript Level 3 エミュレーションが必要であるプログラムから印刷する場合、または PostScript フラッシュ フォントに対応する場合は、HP PostScript Level 3 エミュレーション ドライバを使用してください。

ユニバーサル プリンタ ドライバ

Windows 用 HP ユニバーサル プリンタ ドライバ シリーズには、シングル ドライバの HP PostScript Level 3 エミュレーションおよび HP PCL 5 バージョンが用意されています。シングル ドライバを使用すると、ほぼすべての HP デバイスにアクセスでき、システム管理者にデバイスをさらに効率的に管理するためのツールも用意されます。 ユニバーサル プリンタ ドライバは、デバイスに同梱の CD の Optional Software セクションに収録されています。 詳細については、www.hp.com/go/universalprintdriver を参照してください。

ドライバの自動設定

HP LaserJet PCL 5、PCL 6、および PS レベル 3 エミュレーション ドライバ (Windows 2000 および Windows XP 用) の特徴として、インストール中のデバイス アクセサリの自動検出やドライバの自動設定を行う機能が挙げられます。 ドライバの自動設定に対応しているアクセサリには、両面印刷ユニット、オプションの用紙トレイ、および DIMM があります。

今すぐ更新

インストール時のデバイスの設定を変更した場合、ドライバを自動的に新しい設定に更新できます。 **[プロパティ]** ダイアログ ボックス (「プリンタ ドライバを開く」を参照) の **[デバイスの設定]** タブで、**[今すぐ更新]** ボタンをクリックして、ドライバを更新します。

HP ドライバの事前設定

HP ドライバの事前設定は、ソフトウェア アーキテクチャであり、企業で管理されている印刷環境において、HP ソフトウェアのカスタマイズや配布に使用可能なツール セットです。 HP ドライバの事前設定を使用すると、情報技術 (IT) 管理者は、ネットワーク環境にドライバをインストールする前に、HP プリンタ ドライバの印刷と初期値をあらかじめ設定することができます。 詳細については、www.hp.com/go/hpdpc_sw から入手できる『*HP Driver Preconfiguration Support Guide (HP ドライバ事前設定サポート ガイド)*』を参照してください。

印刷設定の優先度

印刷設定の変更は、変更が行われた場所によって優先度が決まります。

注記　コマンドおよびダイアログ ボックスの名前は、ソフトウェア プログラムによって異なる場合があります。

- **[ページ設定] ダイアログ ボックス**： ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。 このダイアログ ボックスで変更された設定は、他のどの場所で変更された設定よりも優先されます。
- **[印刷] ダイアログ ボックス**： ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[印刷]**、**[ページ設定]**、またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。 **[印刷]** ダイアログ ボックスで変更された設定は優先度が低いため、**[ページ設定]** ダイアログ ボックスで変更した設定より*優先されることはありません*。
- **[プリンタのプロパティ] ダイアログ ボックス (プリンタ ドライバ)**： **[印刷]** ダイアログ ボックスの **[プロパティ]** をクリックすると、プリンタ ドライバが開きます。 **[プリンタのプロパティ]** ダイアログ ボックスで変更された設定は、印刷を行うソフトウェアの他の場所で変更された設定に置き換えられます。
- **プリンタ ドライバのデフォルト設定**： プリンタ ドライバのデフォルト設定は、**[ページ設定]**、**[印刷]**、または **[プリンタのプロパティ]** ダイアログ ボックスで設定が*変更されない限り*、すべての印刷ジョブで使用されます。
- **プリンタのコントロール パネルの設定**： プリンタのコントロール パネルで変更した設定は、他の場所で行った変更よりも優先度が低くなります。

プリンタ ドライバを開く

オペレーティング システム	すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了するまで有効)	すべての印刷ジョブの設定を変更するには	デバイスの構成設定を変更するには
Windows 2000、XP、および Server 2003	1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。 2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。 手順は変わることがあり、共通ではありません。	1. **[スタート]** をクリックし、**[設定]** をポイントし、**[プリンタ]** または**[プリンタとファックス]** をクリックします。 2. ドライバ アイコンを右クリックし、**[印刷設定]** を選択します。	1. **[スタート]** をクリックし、**[設定]** をポイントし、**[プリンタ]** または**[プリンタとファックス]** をクリックします。 2. ドライバ アイコンを右クリックし、**[プロパティ]**を選択します。 3. **[デバイスの設定]** タブをクリックします。
Mac OS X V10.2.8、V10.3、V10.4 以降	1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。 2. さまざまなポップアップ メニューで設定を変更します。	1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。 2. さまざまなポップアップ メニューで設定を変更します。 3. **[プリセット]**ポップアップ メニューで**[別名で保存]** をクリックし、プリセットの名前を入力します。 これらの設定が **[プリセット]** メニューに追加されます。 新しい設定を使用するには、プログラムを起動して印刷するたびに、保存したプリセット オプションを選択する必要があります。	1. Finder の **[移動]** メニューで、**[アプリケーション]** をクリックします。 2. **[ユーティリティ]** を開き、**[プリント センター]** (OS X V10.2.8) または **[プリンタ設定ユーティリティ]** を開きます。 3. 印刷キューをクリックします。

オペレーティング システム	すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了するまで有効)	すべての印刷ジョブの設定を変更するには	デバイスの構成設定を変更するには
			4. **[プリンタ]** メニューから **[情報を見る]** をクリックします。 5. **[インストール可能なオプション]** メニューをクリックします。 **注記** Classic モードでは構成設定を変更できない場合があります。

Macintosh コンピュータ用ソフトウェア

HPinstaller は、Macintosh コンピュータで使用するために、PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイル、PDE (Printer Dialog Extensions)、および HPPrinter Utility を提供します。

ネットワーク接続を行うには、内蔵 Web サーバー (EWS) を使用してデバイスを設定します。内蔵 Web サーバ を参照してください。

印刷システム ソフトウェアには次のコンポーネントが含まれています。

- **[PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイル]**

  PPD を Apple PostScript プリンタ ドライバと組み合わせて使用すると、デバイスの機能にアクセスできるようになります。コンピュータに付属している Apple PostScript プリンタ ドライバを使用してください。

- **[HPPrinter Utility]**

  HPPrinter Utility を使用して、プリンタ ドライバで使用できるデバイス機能をセットアップします。

  - デバイスに名前を付ける。
  - デバイスをネットワーク上のゾーンに割り当てる。
  - デバイスに IP アドレスを割り当てる。
  - ファイルおよびフォントのダウンロード
  - IP または AppleTalk 印刷用にデバイスを設定する。

  HPPrinter Utility は、デバイスに USB ケーブルを使用するとき、または TCP/IP ベースのネットワークに接続するときに使用できます。詳細については、Macintosh 版 HP Printer Utility の使用 を参照してください。

注記 HPPrinter Utility は、Mac OS X V10.2 以降に対応しています。

Macintosh オペレーティング システムからのソフトウェアの削除

Macintosh コンピュータからソフトウェアを削除するには、PPD ファイルをゴミ箱にドラッグします。

ユーティリティ

デバイスには、ネットワーク上でのデバイスのモニタと管理を容易にするいくつかのユーティリティが組み込まれています。

HP Web Jetadmin

HP Web Jetadmin は、イントラネット上の HP Jetdirect に接続されたプリンタをブラウザで管理するツールです。このツールは、ネットワーク管理者のコンピュータにのみインストールしてください。

最新版の HP Web Jetadmin をダウンロードしたり、対応ホストシステムの最新のリストを参照したりするには、www.hp.com/go/webjetadmin にアクセスしてください。

HP Web Jetadmin をホスト サーバにインストールすると、サポートされている Web ブラウザ (Microsoft Internet Explorer 4.*x* または Netscape Navigator 4.*x* 以降など) から HP Web Jetadmin ホストを参照することによって、どのクライアントからでも HP Web Jetadmin にアクセスすることができます。

内蔵 Web サーバ

デバイスには、デバイスおよびネットワークのアクティビティに関する情報にアクセスできる内蔵 Web サーバが装備されています。 この情報は、Microsoft Internet Explorer または Netscape Navigator などの Web ブラウザで表示できます。

内蔵 Web サーバはデバイスに組み込まれています。 ネットワーク サーバにはロードされません。

内蔵 Web サーバが提供するインタフェースは、ネットワークに接続されている任意のコンピュータから標準の Web ブラウザを使用してそれにアクセスできます。 特別なソフトウェアがインストールまたは設定されることはありませんが、サポートされている Web ブラウザがコンピュータにインストールされている必要があります。 内蔵 Web サーバにアクセスするには、ブラウザのアドレス行にデバイスの IP アドレスを入力します (IP アドレスを確認するには、設定ページを印刷します。 設定ページの印刷方法については、「[情報ページ] の使用」を参照してください)。

内蔵 Web サーバの機能の詳しい説明については、「内蔵 Web サーバ」を参照してください。

HP Easy Printer Care ソフトウェア

HP Easy Printer Care ソフトウェア は、以下の作業に使用できるプログラムです。

- デバイスのステータス確認
- サプライ品ステータスのチェック
- 警告のセットアップ
- デバイス マニュアルの表示
- トラブルの解決および保守ツールの使用

デバイスがコンピュータに直接接続されているか、ネットワークに接続されている場合、HP Easy Printer Care ソフトウェア を表示できます。HP Easy Printer Care ソフトウェア をダウンロードするには、 www.hp.com/go/easyprintercare にアクセスしてください。

対応オペレーティング システム

対応オペレーティング システムの詳細については、www.hp.com/go/easyprintercare を参照してください。

対応ブラウザ

HP Easy Printer Care ソフトウェア を使用するには、次のブラウザのいずれかが必要です。

- Microsoft Internet Explorer 5.5 以降
- Netscape Navigator 7.0 以降
- Opera Software ASA Opera 6.05 以降

すべてのページはブラウザから印刷できます。

その他のコンポーネントおよびユーティリティ

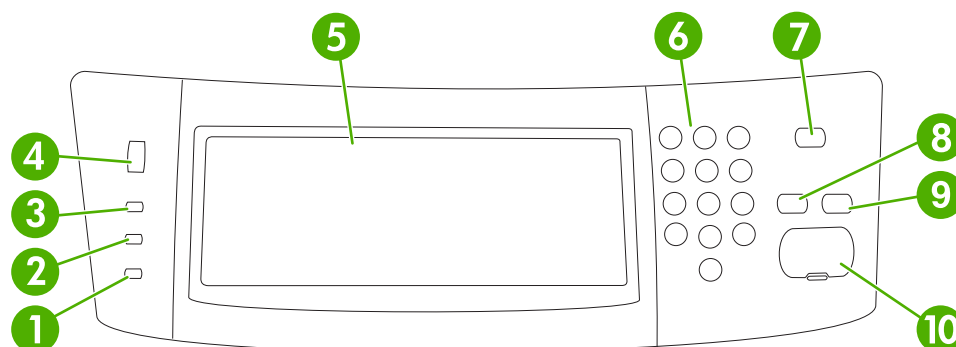
Windows	Macintosh OS
● ソフトウェア インストーラ - 印刷システムのインストールを自動化します。	● PostScript プリンタ記述ファイル (PPD) : Mac OS に付属の Apple PostScript ドライバと共に使用します。
● オンライン Web 登録	● HP Printer ユーティリティ : デバイス設定の変更、ステータスの表示、Mac からのプリンタのイベント通知のセットアップなどを行います。 このユーティリティは、Mac OS X V10.2 以降に対応しています。

2 コントロール パネル

コントロール パネルの使用

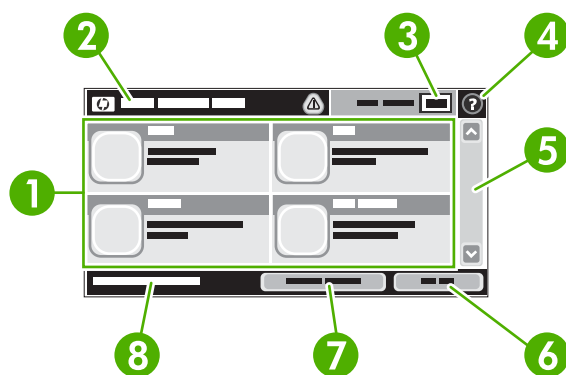
コントロール パネルには、すべてのデバイス機能にアクセスできる VGA タッチスクリーンがあります。 ボタンと数値キーパッドを使用して、ジョブとデバイスのステータスを制御します。 LED は全体のデバイス ステータスを示します。

コントロール パネルのレイアウト

コントロール パネルには、タッチスクリーンのディスプレイ、ジョブ制御ボタン、数値キーパッド、3 つの発光ダイオード (LED) のステータス ランプが表示されます。

1	**[注意]** ランプ	注意 ランプは、ユーザー操作が必要な状況であることを示します。 たとえば、用紙トレイが空の場合やタッチスクリーンにエラー メッセージが表示される場合です。
2	**[データ]** ランプ	データ ランプは、デバイスがデータを受信中であることを示します。
3	**[印字可]** ランプ	印字可 ランプは、ジョブの処理を開始する準備が整っていることを示します。
4	輝度調整ダイアル	タッチスクリーンの輝度を調整するには、このダイヤルを回します。
5	タッチスクリーン グラフィック ディスプレイ	このタッチスクリーンを使用して、デバイス機能を開いてセットアップします。
6	数字キーパッド	必要なコピー部数やその他の数値を入力できます。
7	スリープ時 ボタン	デバイスが長期間操作されなかった場合、自動的にスリープ モードに移行します。 デバイスをスリープモードにする場合、またはスリープ モードから復帰する場合、スリープ時 ボタンを押します。
8	リセット ボタン	ジョブ設定を工場出荷時のデフォルト値またはユーザー定義のデフォルト値にリセットします。
9	停止 ボタン	アクティブなジョブを停止します。 停止中に、コントロール パネルには停止したジョブのオプションが表示されます (たとえば、印刷ジョブの処理中に [停止] ボタンを押すと、コントロール パネルにその印刷ジョブをキャンセルするか再開するかを確認するメッセージが表示されます)。
10	スタート ボタン	コピー ジョブやデジタル送信を開始したり、中断したジョブを継続したりします。

[ホーム] 画面

[ホーム] 画面からデバイス機能にアクセスできます。また、デバイスの現在のステータスが表示されます。

注記　システム管理者の設定方法によって、[ホーム] 画面に表示される機能は変わります。

1	機能	システム管理者の設定方法によって、ここに表示される項目は変わります。たとえば次の項目が表示されます。 ● コピー ● ファックス ● 電子メール ● セカンダリ電子メール ● ネットワーク フォルダ ● ジョブ保存 ● ワークフロー ● サプライ品のステータス ● 管理
2	デバイスのステータス行	ステータス行には、全体的なデバイスのステータスに関する情報が表示されます。 現在のステータスに応じて、さまざまなボタンが表示されます。 ステータス行に表示できるボタンの説明については、「タッチスクリーンのボタン」を参照してください。
3	コピー数	コピー数のボックスには、デバイスに設定された作成コピー数が表示されます。
4	[ヘルプ] ボタン	[ヘルプ] ボタンにタッチすると、内蔵のヘルプ システムが表示されます。
5	スクロール バー	使用できる機能リストをすべて確認するには、スクロール バーの上矢印または下矢印にタッチします。
6	サインアウト	制限付きの機能にアクセスするためにデバイスにサイン インしている場合、サイン アウトするには、サインアウト にタッチします。 サイン アウトすると、すべてのオプションがデフォルト設定に戻ります。
7	ネットワーク アドレス	ネットワーク接続に関する情報を検索するには、ネットワーク アドレス にタッチします。
8	日付と時刻	現在の日付と時刻がここに表示されます。 システム管理者は、日時の表示に使用する書式 (12 時間形式または 24 時間形式など) を選択できます。

タッチスクリーンのボタン

タッチスクリーンのステータス行には、デバイスのステータスに関する情報が表示されます。 ここにはさまざまなボタンが表示されます。 次の表で各ボタンを説明します。

	[ホーム] ボタン。 [ホーム] ボタンにタッチすると、どの画面からでも [ホーム] 画面に戻ります。
	スタート ボタン。 使用している機能の動作を開始するには、スタート ボタンにタッチします。 **注記** このボタン名は機能ごとに変わります。 たとえば、コピー 機能では、ボタン名が コピー開始 になります。
	停止 ボタン。 印刷ジョブまたはファックス ジョブを処理している場合、スタート ボタンではなく 停止 ボタンが表示されます。 現在のジョブを中断するには、停止 にタッチします。 ジョブをキャンセルするか再開するかの確認メッセージが表示されます。
	[エラー] ボタン。 [エラー] ボタンは、処理を続行する前に注意が必要なエラーが発生したときに表示されます。 [エラー] ボタンにタッチすると、エラーを説明するメッセージが表示されます。 メッセージには問題を解決する指示も記載されます。
	[警告] ボタン。 デバイスに問題が発生していても、処理が続行できるときに [警告] ボタンが表示されます。 [警告] ボタンにタッチすると、問題を説明するメッセージが表示されます。 メッセージには問題を解決する指示も記載されます。
	[ヘルプ] ボタン。 [ヘルプ] ボタンにタッチすると、内蔵のヘルプ システムが表示されます。 詳細については、「コントロール パネルのヘルプ システム」を参照してください。

コントロール パネルのヘルプ システム

このデバイスには、各画面の使用方法を説明した内蔵のヘルプ システムがあります。 ヘルプ システムを開くには、画面の右上隅にある [ヘルプ] ボタン (?) にタッチします。

一部の画面では、[ヘルプ] にタッチすると、特定のトピックを検索できるグローバル メニューが表示されることがあります。 メニューのボタンにタッチして、メニュー構造を参照できます。

個々のジョブの設定が含まれた画面では、[ヘルプ] にタッチすると、その画面のオプションについて説明するトピックが表示されます。

エラーまたは警告が通知された場合、[エラー] ボタン (!) または [警告] (⚠) ボタンにタッチすると、問題を説明するメッセージが表示されます。 また、問題を解決するための指示が記載されている場合もあります。

[管理] メニューの操作

[ホーム] 画面の 管理 をタッチしてメニュー構造を開きます。 この機能を表示するには、[ホーム] 画面の下部にスクロールが必要な場合があります。

管理 メニューには、いくつかのサブメニューがあり、画面の左側に表示されます。 メニュー名にタッチすると、メニュー構造が展開されます。 メニュー名の横にあるプラス記号 (+) は、サブメニューがあることを示します。 前のレベルに戻るには、後方 にタッチします。

[管理] メニューを終了するには、画面の左上隅にある [ホーム] ボタン () にタッチします。

メニューで使用できる各機能については、デバイスのヘルプで説明しています。 ヘルプは、タッチスクリーンの右側にあるメニューの多くに使用できます。 また、グローバル ヘルプ システムを開くには、画面の右上隅にある [ヘルプ] ボタン () にタッチします。

以下の表に、各メニューの全体構造を示します。

[情報] メニュー

このメニューを使用して、デバイス内に保存されている情報ページとレポートを印刷します。

表 2-1 [情報] メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
設定/ステータス ページ	管理メニュー マップ		印刷 (ボタン)	管理メニューの基本構造と現在の管理設定を示します。
	設定ページ		印刷 (ボタン)	現在のデバイスの設定を示す一連の設定ページです。
	サプライ品ステータス ページ		印刷 (ボタン)	カートリッジ、保守キット、およびステイプルなどのサプライ品のステータスを示します。
	使用状況ページ		印刷 (ボタン)	各用紙タイプとサイズに印刷したページ数に関する情報を示します。
	ファイル ディレクトリ		印刷 (ボタン)	このデバイスに装着された大容量記憶装置 (フラッシュ ドライブ、メモリ カード、ハードディスクなど) の情報を含むディレクトリページです。
ファックス レポート	ファックス使用状況ログ		印刷 (ボタン)	このデバイスから送受信されたファックスのリストを含むページです。
	ファックス コール レポート	ファックス コール レポート	印刷 (ボタン)	最後に送信または受信したファックスに関する詳細レポートです。
		レポート上のサムネイル	はい 不可 (デフォルト)	レポートにファックスの最初のページのサムネイルを含めるかどうかを指定します。
		レポート印刷時間	自動印刷しない ファックス ジョブ後に印刷 ファックス送信ジョブ後に印刷 ファックス エラー後に印刷 送信エラー後にのみ印刷 受信エラー後にのみ印刷	
	請求書コード レポート		印刷	送信ファックスに使用された請求書コードのリストです。 このレポートには、各コードに請求された送信ファックスの数が示されます。
	ブロックするファックス リスト		印刷	このデバイスに送信されるファックスをブロックする電話番号のリストです。
	短縮ダイアル リスト		印刷	このデバイスに設定されている短縮ダイアルを示します。
サンプル ページ/フォント	PCL フォント リスト		印刷	現在デバイスで使用できる PCL (Printer Control Language) フォントのリストです。
	PS フォント リスト		印刷	現在このデバイスで使用できる PostScript (PS) フォントのリストです。

デフォルト ジョブ オプション メニュー

このメニューを使用して、各機能のデフォルトのジョブ オプションを定義します。ジョブを作成する際に、ユーザーがジョブ オプションを指定しなかった場合、デフォルト オプションが使用されます。

デフォルト ジョブ オプション メニューには、以下のサブメニューが含まれます。

- 原稿のデフォルト オプション
- デフォルト コピー オプション
- デフォルト ファックス オプション
- デフォルト電子メール オプション
- デフォルトのフォルダに送信オプション
- デフォルト印刷オプション

原稿のデフォルト オプション

表 2-2 原稿のデフォルト オプション メニュー

メニュー項目	値	説明
用紙サイズ	リストから用紙サイズを選択します。	原稿のコピーまたはスキャンにもっとも頻繁に使用する用紙サイズを選択します。
片面/両面	1	原稿のコピーまたはスキャンに、片面と両面のどちらをより頻繁に使用するかを選択します。
	2	
方向	縦	原稿のコピーまたはスキャンに最も頻繁に使用する向きを選択します。短い方の辺を上にする場合は 縦 を選択し、長い方の辺を上にする場合は 横 を選択します。
	横	
テキスト/画像の最適化	手動調整	この設定を使用して、特定の種類の原稿の出力を最適化します。テキスト、画像、またはその混合の出力を最適化できます。 手動調整 を選択した場合、もっとも頻繁に使用されるテキストと画像の混合を指定できます。
	テキスト	
	写真	
濃さ	値を選択します。	

デフォルト コピー オプション

表 2-3 デフォルト コピー オプション メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
コピー部数		コピーの部数を入力します。出荷時のデフォルト設定は、1 です。	コピー ジョブのデフォルトの部数を設定します。
片面/両面		1	片面か両面のいずれかをコピーのデフォルトに設定します。
		2	

表 2-3 デフォルト コピー オプション メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ステイプル/丁合い	ステイプル	なし (デフォルト) 左に 1 箇所、斜め	ホッチキス留めおよび丁合いするコピー部数のオプションを設定します。 丁合いを選択した場合、最初から最後まで 1 部ずつコピーしてから、2 部目のコピーを開始します。丁合いを選択していない場合、1 ページ目をコピー部数分印刷してから、2 ページ目をコピー部数分印刷します。
	丁合い	オフ オン (デフォルト)	
イメージ調整	背景のクリーンアップ	範囲内で値を調整します。	背景のクリーンアップ 設定を大きくすると、背景からぼやけたイメージが削除されたり、薄い背景色が削除されたりします。
	鮮明度	範囲内で値を調整します。	鮮明度 設定を調整して、イメージを明確にしたり、和らげたりします。
排紙ビン	排紙ビン	<Binname>	コピー用のデフォルトの排紙ビンを選択します (可能な場合)。
	用紙経路	上向き (最もストレートな経路) 下向き (正しい順序)	コピーのデフォルトの用紙経路を選択します。
最小マージン		標準 (推奨) (デフォルト) 最小マージン出力	原稿が用紙の端近くに印刷されている場合、最小マージン 機能を使用して、用紙の端に影が印刷されるのを防ぐことができます。この機能を 縮小/拡大 機能と併用すれば、ページ全体を確実にコピーできます。

デフォルト ファックス オプション

表 2-4 ファックス送信メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
解像度		標準画質 (100x200dpi) (デフォルト) 高画質 (200x200dpi) 最高画質 (300x300dpi)	この機能を使用して、送信される文書の解像度を設定します。イメージの解像度が高くなると、dpi の数値が高くなり、表示がより精細になります。イメージの解像度が低くなると、dpi の数値が低くなり、表示はあまり精細ではなくなりますが、ファイル サイズは小さくなります。
イメージ調整	背景のクリーンアップ	範囲内で値を調整します。	背景のクリーンアップ 設定を大きくすると、背景からぼやけたイメージが削除されたり、薄い背景色が削除されたりします。
	鮮明度	範囲内で値を調整します。	鮮明度 設定を調整して、イメージを明確にしたり、和らげたりします。
ファックス ヘッダ		プリペンド オーバーレイ	この機能を使用して、ファックス ヘッダが表示されるページ上の位置を選択します。 プリペンド を選択すると、ファックス ヘッダがファックスの内容の上に印刷され、ファックスの内容はページの下方へ移動します。オーバーレイ を選択すると、ファックスの内容を下方に移動させずに、内容の最上部の上にファックス ヘッダが印刷されます。 このオプションを使用すると、1 ページ分のファックスの内容が次のページにまたがって印刷されるのを防ぐことができます。

表 2-5 ファックス受信 メニュー

メニュー項目	値	説明
ファックスの転送	ファックス転送 PIN を変更	受信したファックスを別のファックス デバイスに転送するには、ファックス転送 と カスタム を選択します。これを選択すると、他のファックス デバイスの番号を [ファックス転送番号] フィールドに入力できるようになります。最初にこのメニュー項目を選択したときは、PIN を設定するように指示が表示されます。この後、このメニューを使用するたびに、設定した PIN を入力するように指示されます。この PIN は、[ファックス印刷] メニューにアクセスするときにも使用します。
受信ファックスのスタンプ	有効 無効 (デフォルト)	このオプションを使用して、このデバイスが受信するファックスの各ページに、日付、時刻、送信者の電話番号、ページ番号を追加します。
用紙の大きさに合わせる	有効 無効	この機能を使用して、レター サイズまたは A4 サイズよりも大きいファックスを縮小して、レター サイズまたは A4 サイズのページに合わせることができます。この機能が 無効 に設定されている場合、レターまたは A4 サイズより大きいファックスは、複数のページにまたがって印刷されます。
ファックス用紙トレイ	トレイのリストから選択します。	受信ファックスに使用する用紙のサイズおよびタイプに対応できるトレイを選択します。
排紙ビン	<Binname>	ファックス用のデフォルトの排紙ビンを選択します (可能な場合)。

デフォルト電子メール オプション

このメニューを使用して、デバイスから送信される電子メールのデフォルト オプションを設定します。

メニュー項目	値	説明
文書ファイル タイプ	PDF (デフォルト) JPEG TIFF M-Tiff	電子メールのファイル形式を選択します。
出力品質	高 (大きなファイル) 中 (デフォルト) 低 (小さなファイル)	出力品質を高く設定すると、出力ファイルのサイズが大きくなります。
解像度	75DPI 150DPI (デフォルト) 200DPI 300DPI	この機能を使用して、解像度を選択します。設定を低くすると、より小さいファイルが作成されます。

メニュー項目	値	説明
カラー/黒	カラー スキャン (デフォルト) モノクロ スキャン	電子メールをモノクロにするか、カラーにするかを指定します。
TIFF バージョン	TIFF 6.0 (デフォルト) TIFF (Post 6.0)	この機能を使用して、スキャンしたファイルを保存するときに使用する TIFF のバージョンを指定します。

デフォルトのフォルダに送信オプション

このメニューーを使用して、コンピュータに送信されるスキャン ジョブのデフォルトのオプションを設定します。

メニュー項目	値	説明
カラー/黒	カラー スキャン モノクロ スキャン (デフォルト)	ファイルをモノクロにするか、カラーにするかを指定します。
文書ファイル タイプ	PDF (デフォルト) M-TIFF TIFF JPEG	ファイル形式を選択します。
TIFF バージョン	TIFF 6.0 (デフォルト) TIFF (6.0 以降)	この機能を使用して、スキャンしたファイルを保存するときに使用する TIFF のバージョンを指定します。
出力品質	高 (大きなファイル) 中 (デフォルト) 低 (小さなファイル)	出力品質を高く設定すると、出力ファイルのサイズが大きくなります。
解像度	75DPI 150DPI (デフォルト) 200DPI 300DPI 400DPI 600DPI	この機能を使用して、解像度を選択します。設定を低くすると、より小さいファイルが作成されます。

デフォルト印刷オプション

このメニューーを使用して、コンピュータから送信されるジョブのデフォルト オプションを設定します。

表 2-6 デフォルト印刷オプション メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ジョブの印刷部数		値を入力します。	この機能を使用して、印刷ジョブのデフォルトの部数を設定します。
デフォルト用紙サイズ		(サポートされるサイズのリスト)	用紙サイズを選択します。
デフォルト カスタム用紙サイズ	計測単位	ミリメートル インチ	印刷ジョブの用紙サイズとして カスタム が選択されたときに使用されるデフォルトの用紙サイズを設定します。
	X の寸法		[デフォルト カスタム用紙サイズ] の幅の測定値を設定します。
	Y の寸法		[デフォルト カスタム用紙サイズ] の高さの測定値を設定します。
排紙ビン	排紙ビン	<binname>	印刷ジョブ用のデフォルトの排紙ビンを選択します (可能な場合)。
	用紙経路	上向き (最もストレートな経路) 下向き (正しい順序)	印刷ジョブのデフォルトの用紙経路を選択します。
印刷面		片面 両面	この機能を使用して、デフォルトで印刷ジョブを片面に印刷するか、両面に印刷するかを選択します。
両面フォーマット		製本スタイル 綴じ込みスタイル	この機能を使用して、両面印刷ジョブのデフォルトのスタイルを設定します。製本スタイル を選択すると、裏面のページ上下は正常な状態で印刷されます。このオプションは、左端を製本する印刷ジョブに使用します。綴じ込みスタイル を選択すると、裏面のページが上下逆さまに印刷されます。このオプションは、上端を製本する印刷ジョブに使用します。

[時刻/スケジューリング] メニュー

このメニューを使用して、時刻の設定オプションと、スリープ モードへの移行と復帰の設定オプションを指定します。

注記 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。 一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-7 時刻/スケジューリング メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
日付/時刻	日付形式		YYYY/MMM/DD (デフォルト) MMM/DD/YYYY DD/MMM/YYYY	この機能を使用して現在の日付と時刻を設定し、送信ファックスのタイムスタンプに使用する日付形式と時刻形式を設定します。
	日付	月 日 年		
	時刻形式		12 時間 (AM/PM) (デフォルト) 24 時間	
	時刻	時間 分 午前 午後		
スリープ遅延			20 分 30 分 (デフォルト) 45 分 1 時間 (60 分) 90 分 2 時間 4 時間	この機能を使用して、スリープ モードに入る前にデバイスが無操作状態にある時間を選択します。
スリープ復帰時刻	月曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日 土曜日 日曜日		オフ (デフォルト) カスタム	カスタム を選択して、月曜日から日曜日までのスリープ復帰時刻を設定します。 このスケジュールに合わせてスリープ モードが終了します。 スリープのスケジュールを使用すると、デバイスを使用するための電力と準備時間を節約できるため、ウォーム アップが完了するまで待つ必要はなくなります。

表 2-7 時刻/スケジューリング メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ファックス印刷	ファックス印刷モード		全受信ファックスを保存 全受信ファックスを印刷 ファックス印刷スケジュールの使用	プライベート ファックスのセキュリティが心配な場合、印刷スケジュールを作成して自動的に印刷するのではなく、この機能を使用してファックスを保存します。 ファックスの印刷スケジュールの場合、ファックスを印刷する日時を選択するメッセージが表示されます。
	PIN を変更			ファックスの印刷に必要な PIN 番号を変更するには、PIN を変更 を選択します。

[管理] メニュー

このメニューを使用して、グローバル デバイス管理オプションをセットアップします。

注記 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。 一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-8 管理 メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
保存されたジョブ管理	クイック コピー ジョブ保存制限	保存する最大ジョブ数を選択します。	デバイスに保存されているジョブの表示と管理を行うには、このメニューを使用します。
	クイック コピー ジョブ保留タイムアウト	1 時間 4 時間 1 日 1 週	
スリープ モード		無効 スリープ遅延を使用 (デフォルト)	デバイスのスリープ モード設定をカスタマイズするには、この機能を使用します。 時刻/スケジューリング メニューで指定した遅延時間後に、スリープ モードに移行するようにデバイスを設定するには、スリープ遅延を使用 をを選択します。
サプライ品を管理	サプライ品残量低下/注文しきい値	範囲内の値を選択します。	このメニューを使用すると、サプライ品を発注するしきい値の変更など、サプライ品の管理タスクを実行できます。
	黒カートリッジを交換してください	残量少で停止 空で停止 空を無視 (デフォルト)	

[初期セットアップ] メニュー

初期セットアップ メニューには次のサブメニューがあります。

- ネットワークおよび I/O メニュー
- ファックス セットアップ メニュー
- 電子メール セットアップ メニュー

注記 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。 一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

ネットワークおよび I/O

表 2-9 ネットワークおよび I/O

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
I/O タイムアウト		範囲内の値を選択します。 出荷時のデフォルト設定は、15 秒 です。	I/O タイムアウトとは、印刷ジョブが失敗するまでの経過時間を指します。 デバイスが印刷ジョブのために受信しているデータの流れが中断された場合、デバイスはここで設定した時間まで待機し、それ以上待ってもデータが来ない場合は、ジョブが失敗したものとしてレポートします。
パラレル入力 **注記** EIO アクセサリを取り付けた場合にのみこの項目が表示されます。	高速	不可 はい (デフォルト)	パラレル ポートでホストと通信するときの速度を設定する場合は、高速 設定を使用します。
	高度な機能	有効 (デフォルト) 無効	双方向のパラレル通信を有効または無効にするには、高度な機能 設定を使用します。
内蔵 Jetdirect	オプション リストについては「表 2-10 Jetdirect のメニュー」を参照してください。		
EIO <X> Jetdirect			

表 2-10 Jetdirect のメニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
TCP/IP	有効		オフ : TCP/IP プロトコルを無効にします。 オン (デフォルト) TCP/IP プロトコルを有効にします。
	ホスト名		英数字で最大 32 文字。デバイスの識別に使用されます。 この名前は HP Jetdirect の設定ページに表示されます。 デフォルトのホスト名は NPIxxxxxx です。この xxxxxx は LAN ハードウェア (MAC) アドレスの下 6 桁です。
	IPV4 設定	設定方法	TCP/IPv4 パラメータを HP Jetdirect プリント サーバに設定する方法を指定します。 Bootp : BootP サーバから自動設定する場合は、BootP (Bootstrap Protocol) を使用します。

表 2-10 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
			DHCP： DHCPv4 サーバから自動設定する場合は、DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) を使用します。 この項目を使用し、DHCP リースが存在する場合、DHCP の解放 メニューと DHCP の更新 メニューを使用して DHCP リース オプションを設定できます。 自動 IP： 自動リンク - ローカル IPv4 アドレスを使用します。 169.254.x.x という形式のアドレスが自動的に割り当てられます。 手動： TCP/IPv4 パラメータを設定するには、手動設定 メニューを使用します。
		DHCP の解放	設定方法 が DHCP に設定され、プリント サーバの DHCP リースが存在する場合、このメニューが表示されます。 不可 (デフォルト) 現在の DHCP リースが保存されます。 はい： 現在の DHCP リースとリースされた IP アドレスが解放されます。
		DHCP の更新	設定方法 が DHCP に設定され、プリント サーバの DHCP リースが存在する場合、このメニューが表示されます。 不可 (デフォルト) プリント サーバからは DHCP リースの更新は要求されません。 はい： プリント サーバから、現在の DHCP リースの更新が要求されます。
		手動設定	(設定方法 が 手動 に設定されている場合のみ使用できます) プリンタのコントロール パネルからパラメータを直接設定します。 IP アドレス： プリンタ固有の IP アドレス (n.n.n.n)。この n の値は 0 ～ 255 です。 サブネット マスク： プリンタのサブネット マスク (m.m.m.m)。この m の値は 0 ～ 255 です。 Syslog サーバ： syslog メッセージの受信と記録に使用される syslog サーバの IP アドレス。 デフォルト ゲートウェイ： 他のネットワークとの通信に使用されるゲートウェイまたはルーターの IP アドレス。 アイドル タイムアウト： TCP プリント データ接続がアイドルになってから閉じられるまでの期間 (秒)。デフォルトは 270 秒。0 を指定するとタイムアウトしなくなります。
		デフォルトの IP	強制的な TCP/IP の再設定時に、プリント サーバがネットワークから IP アドレスを取得できない場合のデフォルトの IP アドレスを指定します (たとえば、手動で BootP または DHCP を使用する設定にした場合)。 自動 IP： リンク - ローカル IP アドレス 169.254.x.x が設定されます。

表 2-10 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
			旧： 以前の HP Jetdirect デバイスに合わせて、アドレス 192.0.0.192 が設定されます。
		プライマリ DNS	プライマリ DNS サーバの IP アドレス (n.n.n.n) を指定します。
		セカンダリ DNS	セカンダリ DNS サーバの IP アドレス (n.n.n.n) を指定します。
	IPV6 設定	有効	プリント サーバで IPv6 操作を有効または無効にするには、この項目を使用します。 オフ (デフォルト) IPv6 が無効になります。 オン： IPv6 が有効になります。
		アドレス	手動で IPv6 アドレスを設定するにはこの項目を使用します。 手動設定： TCP/IPv6 アドレスを有効にし、手動で設定するには、手動設定 メニューを使用します。
		DHCPV6 ポリシー	指定されたルーター： プリント サーバが使用するステートフルな自動設定方法は、ルーターで決定されます。 ルーターは、プリント サーバが DHCPv6 サーバからアドレス、設定情報、またはその両方のいずれを取得するかを指定します。 ルーターが使用できません： ルーターが使用できない場合、プリント サーバは DHCPv6 サーバからステートフル設定を取得する必要があります。 常時： ルーターが使用できるかどうかにかかわらず、プリント サーバは DHCPv6 サーバからステートフル設定を常に取得します。
		プライマリ DNS	プリント サーバが使用するプライマリ DNS サーバの IPv6 アドレスを指定するには、この項目を使用します。
		手動設定	プリント サーバに手動で IPv6 アドレスを設定するには、この項目を使用します。 有効： 手動の設定を有効にするには、この項目を選択して、オン を選択します。手動の設定を無効にするには、オフ を選択します。 アドレス： 32 桁の 16 進数の IPv6 ノード アドレス (コロンありの 16 進構文を使用します) を入力するには、この項目を使用します。

表 2-10 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
	プロキシ サーバ		デバイスの内蔵アプリケーションから使用するプロキシ サーバを指定します。 通常、プリント サーバはインターネット アクセスするネットワーク クライアントが使用します。 プリント サーバには Web ページがキャッシュされ、クライアントに対して、ある程度のインターネット セキュリティを提供しています。 プリント サーバを指定するには、IPv4 アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。 名前の長さは 255 オクテットまでです。 ネットワークによっては、利用している Independent Service Provider (ISP) にプロキシ サーバのアドレスを問い合わせる必要があります。
	プロキシ サーバのポート		クライアントのにプリント サーバが使用するポート番号を入力します。 このポート番号は、ネットワーク上のプロキシ処理用に予約するポートです。値は 0 ～ 65535 です。
IPX/SPX	有効		オフ： IPX/SPX プロトコルを無効にします。 オン (デフォルト) IPX/SPX プロトコルを有効にします。
	フレーム タイプ		ネットワークのフレーム タイプ設定を選択します。 自動： フレーム タイプに自動的に設定し、最初に検出されたフレーム タイプに制限します。 EN_8023、EN_II、EN_8022、および EN_SNAP : Ethernet ネットワークのフレーム タイプ選択。
APPLETALK	有効		オフ (デフォルト) AppleTalk プロトコルを無効にします。 オン： AppleTalk プロトコルを有効にします。
DLC/LLC	有効		オフ (デフォルト) DLC/LLC プロトコルを無効にします。 オン： DLC/LLC プロトコルを有効にします。

表 2-10 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
セキュリティ	セキュリティ ページ印刷		はい： HP Jetdirect プリント サーバの現在のセキュリティ設定が記載されたページを印刷します。 不可 (デフォルト) セキュリティ設定ページは印刷されません。
	安全な WEB		設定の管理に、内蔵 Web サーバが HTTPS (セキュア HTTP) のみを使用する通信を受け入れるか、HTTP と HTTPS の両方を受け入れるかを指定します。 HTTPS が必要： 安全で暗号化された通信のためには、HTTPS アクセスのみを受け入れます。 プリント サーバは保護されたサイトと表示されます。 HTTP/HTTPS オプション： HTTP または HTTPS を使用したアクセスが許可されます。
	IPsec または ファイアウォール		プリント サーバ上に IPsec または ファイアウォールを指定します。 維持： IPsec/ファイアウォールのステータスは、現在の設定と同じままです。 無効： プリント サーバ上の IPsec/ファイアウォール操作は無効になります。
	セキュリティのリセット		プリント サーバの現在のセキュリティ設定を保存するか、工場出荷時の設定にリセットするかを設定します。 不可* : 現在のセキュリティ設定が維持されます。 はい： セキュリティ設定は出荷時のデフォルト設定にリセットされます。
診断	内部テスト		複数のテストを使って、ネットワーク ハードウェアや TCP/IP ネットワーク接続の問題を診断します。 内部テストを使用すると、ネットワーク エラーがデバイスの内部か外部かを特定するときに役立ちます。 内部テストを使用して、プリント サーバのハードウェアと通信経路を確認します。 テストを選択して有効にし、実行時間を設定した後は、実行 を選択してテストを開始します。 実行時間によっては、デバイスの電源を切るか、エラーが発生して診断ページが印刷されるまで、選択したテストは継続的に実行されます。
		LAN HW テスト	注意　この内部テストを実行すると、TCP/IP 設定は消去されます。 このテストによって、内部ループバック テストが実行されます。 内部ループバック テストでは、内部ネットワーク ハードウェア上でのみパケットが送受信されます。 ネットワークで外部の伝送はありません。 このテストを使用するには、はい を選択します。このテストを使用しない場合は 不可 を選択します。
		HTTP テスト	このテストでは、定義済みページをデバイスから取得して HTTP の操作が確認され、内蔵 Web サーバがテストされます。

表 2-10 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
			このテストを使用するには、はい を選択します。このテストを使用しない場合は 不可 を選択します。
		SNMP テスト	このテストでは、デバイス上の定義済み SNMP オブジェクトにアクセスすることで、SNMP 通信の操作が確認されます。 このテストを使用するには、はい を選択します。このテストを使用しない場合は 不可 を選択します。
		すべてのテストを選択	使用できる内部テストをすべて選択するには、この項目を使用します。 すべてのテストを選択するには、はい を選択します。 個々のテストを選択するには、不可 を選択します。
		データ経路テスト	このテストを使用すると、HP PostScript Level 3 エミュレーション デバイスに関するデータ経路と破損の問題を特定するときに役立ちます。 定義済み PS ファイルがデバイスに送信されますが、テストはペーパーレスになり、印刷は実行されません。 このテストを使用するには、はい を選択します。このテストを使用しない場合は 不可 を選択します。
		実行時間 [時]	内部テストを実行する期間 (時間単位) を指定するには、この項目を使用します。 1 ～ 60 時間の値を選択できます。 ゼロ (0) を選択すると、エラーが発生するかデバイスの電源を切るまで、テストは永続的に実行されます。 HTTP、SNMP、データ経路の各テストの結果データは、テストの完了後に印刷されます。
		実行	不可* : 選択したテストを開始しません。 はい : 選択したテストを開始します。

表 2-10 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
	Ping テスト		このテストは、ネットワーク通信を確認するときに使用されます。 このテストで、リンクレベルのパケットがリモート ネットワーク ホストに送信され、適切な応答が待機されます。 Ping テストを実行するには、次の項目を設定します。
		排紙先タイプ	対象デバイスが IPv4 または IPv6 ノードかを指定します。
		排紙先 IP	IPV4： IPv4 アドレスを入力します。 IPV6 ： IPv6 アドレスを入力します。
		パケット サイズ	リモート ホストに送信する各パケットのサイズをバイト単位で指定します。 最小値は 64 (デフォルト)、最大値は 2048 です。
		タイムアウト	リモート ホストからの応答を待機する期間を秒単位で指定します。 デフォルトは 1 で最大値は 100 です。
		ページ カウント	このテストで送信する Ping テスト パケット数を指定します。 1 ～ 100 時間の値を選択します。 テストを継続的に実行するように設定するには、0 を選択します。
		結果の印刷	Ping テストが継続的な操作として設定されなかった場合、テスト結果を印刷できます。 結果を印刷するには、はい を選択します。 不可 (デフォルト) を選択すると、結果は印刷されません。
		実行	Ping テストを開始するかどうかを指定します。 Ping テストを実行するには はい を選択し、実行しない場合は 不可 を選択します。

表 2-10 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
	Ping の結果		Ping テストのステータスと結果をコントロール パネルのディスプレイで表示するには、この項目を使用します。 次の項目を選択できます。
		送信したパケット	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモート ホストに送信されたパケット数 (0 ～ 65535) を表示します。
		受信したパケット	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモート ホストから受信したパケット数 (0 ～ 65535) を表示します。
		消失率	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモート ホストから応答がなかった Ping テスト パケット送信の割合を表示します。
		RTT 最小	パケットの伝送と応答について、検出された RoundTrip-Time (RTT) の最小値 (0 ～ 4096 ミリ秒) を表示します。
		RTT 最大	パケットの伝送と応答について、検出された RoundTrip-Time (RTT) の最大値 (0 ～ 4096 ミリ秒) を表示します。
		RTT 平均	パケットの伝送と応答について、RoundTrip-Time (RTT) の平均値 (0 ～ 4096 ミリ秒) を表示します。
		Ping が進行中	Ping テストが進行中がどうかを表示します。 はい はテストが進行中であることを示し、不可 はテストが完了したか実行されていないことを示します。
		更新	Ping テスト結果を表示すると、この項目は最新の Ping テスト データに更新されます。 データを更新するには はい、既存のデータを保守するには 不可 を選択します。 ただし、メニューがタイムアウトするか、手動でメイン メニューに戻すと、自動的に更新されます。
リンク速度			プリント サーバのリンク速度と通信モードはネットワークに合わせる必要があります。 使用できる設定は、デバイスとインストール済みプリント サーバによって変わります。 次のリンク設定のいずれかを選択します。 △ **注意** リンク設定を変更する場合、プリント サーバとネットワーク デバイスのネットワーク設定が失われる可能性があります。 自動 (デフォルト) プリント サーバは、自動ネゴシエーション機能を使用して、許可されている中で最高のリンク速度と通信モードで設定します。 自動ネゴシエーションが失敗すると、検出されたハブ/スイッチ ポートの検出済みリンク速度に応じて、100TX HALF または 10TX HALF が設定されます (1000T 半二重の選択には対応していません)。 10T ハーフ： 10 Mbps、半二重操作。 10T フル： 10 Mbps、全二重操作。 100TX ハーフ： 100 Mbps、半二重操作。 100TX フル： 100 Mbps、全二重操作。

表 2-10 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
			100TX 自動： 自動ネゴシエーションの最高リンク速度を 100 Mbps に制限します。 1000TX フル： 1000 Mbps、全二重操作。
プロトコル設定の印刷			次のプロトコルの設定を参照するには、この項目を使用します。 IPX/SPX、Novell NetWare、AppleTalk、DLC/LLC。

ファックス セットアップ

表 2-11 ファックス セットアップ メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
必要な設定	実装位置		(表示される国/地域)	ファックスの送信に関して法的に必要な設定を行います。
	日付/時刻			
	ファックス ヘッダ情報	電話番号		
		会社名		
PC ファックス送信			無効 有効 (デフォルト)	PC ファックス送信 を有効または無効にするときにこの機能を使用します。 PC ファックス送信 を使用すると、適切なドライバがユーザーのコンピュータにインストールされていれば、コンピュータからデバイス経由でファックスを送信できます。

表 2-11 ファックス セットアップ メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ファックス送信設定	ファックス ダイアル音量		オフ 中 (デフォルト) 高	この機能を使用して、デバイスがファックス番号をダイアルするときのトーンの音量を設定します。
	エラー修正モード		有効 (デフォルト) 無効	エラー修正モード が有効で、ファックス送信時にエラーが発生した場合、エラーが発生した部分をもう一度デバイスで送受信します。
	JBIG 圧縮		無効 有効 (デフォルト)	JBIG 圧縮 を使用すると、ファックスの送信回数が減るため、通話費用を抑えることができます。 ただし、JBIG 圧縮 を使用すると、古いファックス機との間で互換性の問題が発生することがあります。 この問題が発生する場合、JBIG 圧縮 をオフにします。
	最大ボーレート		リストから値を選択します。	ファックス受信の最大ボー レートを設するには、この機能を使用します。 これは、ファックスの問題のトラブルシューティング用の診断ツールとして使用できます。
	ダイアル モード		トーン (デフォルト) パルス	トーン ダイアルまたはパルス ダイアルのどちらを使用するかを選択します。
	通話中の場合のリダイアル		範囲は 0 ～ 9 です。 出荷時のデフォルト設定は 3 回です。	回線が使用中の場合に、リダイアルを試行する回数を入力します。
	無応答時のリダイアル回数		なし (デフォルト) 1 回のみ 2 回	この機能を使用して、受信者のファックス番号が応答しない場合のダイアル試行回数を指定します。 **注記** 2 回 は、米国とカナダ以外の地域で使用できます。
	リダイアル間隔		範囲は 1 ～ 5 分です。 出荷時のデフォルト設定は 5 分です。	この機能を使用して、受信者の番号が通話中や応答しないときのダイアル試行の回数を指定します。
	ダイアル トーンを検出		有効 無効 (デフォルト)	この機能を使用して、ファックスを送信する前に、デバイスがダイアル トーンを確認するかどうかを指定します。
	ダイアル プレフィックス		オフ (デフォルト) カスタム	この機能を使用して、デバイスからファックスを送信するときにダイアルする必要があるプレフィックス番号を指定します。
	請求書コード		オフ (デフォルト) カスタム	請求書コードを有効にすると、送信ファックスに請求書コードの入力を指示するメッセージが表示されます。
		最小の長さ	範囲は 1 ～ 16 桁です。 デフォルトの設定は、1 桁です。	

表 2-11 ファックス セットアップ メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ファックス受信設定	応答するまでの呼び出し回数		範囲は地域によって変わります。 出荷時のデフォルト設定は 2 回です。	この機能を使用して、ファックス モデムが応答するまでに鳴らす呼び出し音の回数を指定します。
	呼び出し間隔		デフォルト (デフォルト) カスタム	この機能を使用して、受信ファックスの呼び出し音の間隔を制御します。
	呼び出し音量		オフ 低 (デフォルト) 高	ファックスの呼び出し音量を設定します。
	ブロックするファックス番号	ブロック番号を追加	追加するファックス番号を入力します。	この機能を使用して、ブロックするファックス リストに電話番号を追加または削除します。 ブロックするファックス リストには、30 までの番号を含めることができます。 デバイスは、ブロックするファックス番号を受信すると、その受信ファックスを削除します。 また、ブロックしたファックスをジョブ アカウント情報と一緒にアクティビティ ログに記録します。
		ブロックされた番号を削除	削除するファックス番号を選択します。	
		ブロックされた番号をすべてクリア	不可 (デフォルト) はい	

電子メール セットアップ

このメニューを使用して、電子メール機能を有効にし、基本的な電子メール設定を行います。

注記 詳細な電子メール設定を行うには、内蔵 Web サーバを使用します。 詳細については、「内蔵 Web サーバ」を参照してください。

表 2-12 電子メール セットアップ メニュー

メニュー項目	値	説明
アドレス確認	オン (デフォルト) オフ	このオプションを使用すると、電子メール アドレスを入力したときに電子メール アドレスの構文がチェックされます。 有効な電子メール アドレスには、「@」記号と「.」が必要です。
送信ゲートウェイのテスト		デバイスが電子メールの送信に使用できる SMTP ゲートウェイのネットワークを検索します。
SMTP ゲートウェイ	値を入力します。	デバイスから電子メールを送信するときに使用される SMTP ゲートウェイの IP アドレスを指定します。
送信ゲートウェイのテスト		SMTP ゲートウェイが機能するかどうかを確認するために、構成された SMTP ゲートウェイをテストします。

[送信設定] メニュー

表 2-13 [送信設定] メニュー

メニュー項目	値	説明
MFP の複製	値を入力します (IP アドレス)。	デバイス間でローカルの送信設定をコピーします。

表 2-13 [送信設定] メニュー (続き)

メニュー項目	値	説明
新規 DSS への転送を許可 **注記** この項目は、HP LaserJet M4345 MFP モデルにのみ表示されます。		この機能を使用すると、ある HP デジタル送信ソフトウェア (DSS) サーバから別のサーバへデバイスの転送が可能になります。 HP DSS は、ファックス送信、電子メール送信、スキャン済み文書のネットワーク フォルダへの送信など、デジタル送信タスクを処理するソフトウェア パッケージです。
デジタル送信サービスの使用を許可 **注記** この項目は、HP LaserJet M4345 MFP モデルにのみ表示されます。		この機能を使用すると、HP DSS サーバと共に使用するデバイスを設定できます。

デバイス動作メニュー

注記 「(デフォルト)」と表示されている値は、出荷時の値です。デフォルトが設定されていないメニュー項目もあります。

表 2-14 デバイス動作 メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
言語			リストから言語を選択します。	この機能を使用して、コントロール パネルのメッセージに使用する別の言語を選択します。新しい言語を選択すると、キーボードの配列が変わることもあります。
キー打鍵音			オン (デフォルト) オフ	この機能を使用して、コントロール パネルで画面を押したり、ボタンを押したときに音を出すかどうかを指定します。
アイドル状態のタイムアウト			10 ~ 300 秒の範囲の値を入力します。出荷時のデフォルト設定は、60 秒です。	この機能を使用して、コントロール パネルで何らかの操作が行われてから、デバイスがデフォルト設定にリセットされるまでの時間 (タイムアウト時間) を指定します。
警告/エラー動作	解除可能な警告		オン ジョブ (デフォルト)	この機能を使用して、コントロール パネルに解除可能な警告が表示されている時間を設定します。
	継続可能なイベント		自動継続 (10 秒) (デフォルト) [OK] をタッチして続行	このオプションを使用して、デバイスで特定のエラーが起きた場合のデバイスの動作を設定します。
	紙詰まりの除去		自動 (デフォルト) オン オフ	この機能を使用して、デバイスが紙詰まり中に失われたページを処理する方法を設定します。
トレイの設定	要求されたトレイを使用		優先 (デフォルト) 最初	この機能を使用して、デバイスが特定の給紙トレイを指定されたジョブを処理する方法を制御します。
	手差しプロンプト		常時 (デフォルト) セットしてから使用	この機能を使用して、ジョブのタイプまたはサイズが指定されたトレイと一致しないため、デバイスが代わりに汎用トレイから給紙するときにプロンプトを表示するかどうかを指定します。
	PS はメディアに従う		有効 (デフォルト) 無効	この機能を使用して、PostScript (PS) または HP 用紙処理モデルを選択します。
	別のトトレイを使用		有効 (デフォルト) 無効	この機能を使用して、指定したトレイが空のときに別のトレイを選択するよう求めるコントロール パネルのプロンプトをオンまたはオフにします。
	サイズ/タイプ プロンプト		ディスプレイ 非表示 (デフォルト)	この機能を使用して、トレイが開いたり閉じたりするたびにトレイ設定メッセージを表示するかどうかを指定します。
	空白ページを両面印刷		自動 (デフォルト) はい	この機能を使用して、デバイスが両面ジョブ (両面印刷) を処理する方法を制御します。

表 2-14 デバイス動作 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ステイプラ/スタッカ	ステイプル		なし 1	オプションのステイプラ/スタッカを取り付けている場合、この機能を使用して、デバイスのステイプル特性を設定します。
	ステイプルが空になりました		継続 (デフォルト) 停止	
MBM-3 設定	動作モード		機能セパレータ メールボックス スタッカ	この機能を使用して、オプションの 3 ビン メールボックス アクセサリを設定します。
通常のコピー動作	事前スキャン		有効 (デフォルト) 無効	この機能を使用して、即時スキャンをオンにします。事前スキャン を有効にすると、原稿のページはディスクにスキャンされ、デバイスが使用可能になるまで保持されます。
	自動印刷中断		有効 無効	この機能を有効にすると、コピー ジョブが複数の部数を印刷する印刷ジョブを中断できます。 コピー ジョブはプリント キューの印刷ジョブの 1 部の印刷が終了する位置に挿入されます。コピー ジョブが完了すると、デバイスは印刷ジョブの残りの部数の印刷を続行します。
	コピー中断		有効 無効	この機能を有効にすると、新しいコピーが開始された場合、現在印刷中のコピー ジョブを中断できます。現在のジョブを中断するかどうか確認を求められます。
	初期コピー速度		早期ウォーム アップなし 早期ウォーム アップ	

表 2-14 デバイス動作 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
通常の印刷動作	デフォルト用紙サイズ		用紙サイズのリストから選択します。	この機能を使用して、印刷ジョブのデフォルトの用紙サイズを設定します。
	A4/レター代用		不可 はい (デフォルト)	この機能を使用すると、A4 のジョブが送信されたとき、デバイスに A4 サイズの用紙がセットされていない場合、レター サイズの用紙に印刷されます (また、レター サイズのジョブが送信されたときにレター サイズの用紙がセットされていない場合は A4 の用紙に印刷されます)。このオプションでは、A3 の代わりにタブロイド版の用紙を使用したり、タブロイド版の代わりに A3 サイズの用紙を使用することもできます。
	手差し		有効 無効 (デフォルト)	この機能を有効にすると、コントロール パネルから、ジョブの用紙ソースとして手差しを選択できます。
	Courier フォント		標準 (デフォルト) 濃い	この機能を使用すると、使用する Courier フォントのバージョンを選択できます。
	ワイド A4		有効 無効 (デフォルト)	この機能を使用して、A4 サイズの用紙の印刷できる範囲を変更します。このオプションを有効にすると、A4 用紙の 1 行に 10 ピッチの文字を 80 文字印刷できます。
	PS エラーの印刷		有効 無効 (デフォルト)	この機能を使用して、デバイスで PS (PostScript) エラーが発生したときに、PS エラー ページを印刷するかどうかを選択します。
	PDF エラーの印刷		有効 無効 (デフォルト)	この機能を使用して、デバイスで PDF エラーが発生したときに、PDF エラー ページを印刷するかどうかを選択します。
	パーソナリティ		自動 (デフォルト) PCL PDF PS	デバイスで使用するプリンタ言語を選択します。 通常は、言語を変更しないでください。設定を特定の言語に変更した場合、特別なソフトウェア コマンドをデバイスに送信しない限り、デバイスが元の言語から別の言語に自動的に切り替わることはありません。

表 2-14 デバイス動作 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
	PCL	用紙の行数	5 ～ 128 行の範囲の値を入力します。出荷時のデフォルト設定は、60 行です。	PCL は、Hewlett-Packard がプリンタ機能にアクセスするために開発したプリンタ コマンド セットです。
		方向	縦 (デフォルト) 横	印刷ジョブで最も頻繁に使用される向きを選択します。短い方の辺を上にする場合は 縦 を選択し、長い方の辺を上にする場合は 横 を選択します。
		フォント ソース	リストからソースを選択します。	この機能を使用して、ユーザーソフト デフォルト フォントのフォント ソースを選択します。
		フォント番号	フォント番号を入力します。範囲は 0 から 999 までです。出荷時のデフォルトは 0 です。	この機能を使用して、フォント ソース メニュー項目で指定されたソースを使用するユーザーソフト デフォルト フォントのフォント番号を指定します。デバイスは、各フォントに番号を割り当てて、PCL フォント リストに表示します (管理 メニューから利用可能)。
		フォント ピッチ	0.44 ～ 99.99 の範囲の値を入力します。出荷時のデフォルト設定は、10.00 です。	フォント ソース と フォント番号 で輪郭フォントが指定されている場合、この機能を使用して、デフォルトのピッチを選択します (固定間隔フォントの場合)。
	PCL	フォント ポイント サイズ	4.00 ～ 999.75 の範囲の値を入力します。出荷時のデフォルト設定は、12.00 です。	フォント ソース と フォント番号 で輪郭フォントが指定されている場合、この機能を使用して、デフォルトのポイント サイズを選択します (プロポーショナル フォントの場合)。
		シンボル セット	PC-8 (デフォルト) (50 の追加シンボル セットから選択)	この機能を使用して、コントロール パネルで複数の使用可能なシンボル セットから 1 つを選択します。シンボル セットは、すべての固有な文字を 1 つのフォントにまとめたものです。
		LF に CR を追加	不可 (デフォルト) はい	この機能を使用して、下位互換の PCL ジョブ (ジョブ制御のない純粋なテキスト) で改行 (LF) が検出されるたびにキャリッジ リターン (CR) を追加するかどうかを設定します。
		空白ページを省略	不可 (デフォルト) はい	このオプションは、独自の PCL を作成するユーザーのためのオプションで、空白ページが印刷されるように、余分な改ページを含めることができます。はい が選択されると、ページが空白の場合、改ページは無視されます。
		メディア ソース マッピング	標準 (デフォルト) クラシック	デバイス ドライバを使用していない場合や、ソフトウェア プログラムにトレイ選択オプションがない場合に、この機能を使用して給紙トレイを番号で選択し、管理します。

印刷品質メニュー

注記 「(デフォルト)」と表示されている値は、出荷時の値です。デフォルトが設定されていないメニュー項目もあります。

表 2-15 印刷品質 メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
設定の登録	テスト ページ	印刷 (ボタン)	設定の登録 を使用して、ページの中央にイメージが配置されるように上下左右のマージン位置を調整します。さらに、表面のイメージの位置を裏面のイメージと合わせることもできます。 レジストレーションを設定するためにテスト ページを印刷します。
	ソース	すべてのトレイ トレイ <X>: <コンテンツ> (トレイを選択)	設定の登録 ページを印刷するためのソース給紙トレイを選択します。
	トレイ <X> の調整	X 軸または Y 軸に沿って -20 から 20 まで移動します。0 がデフォルトです。	各トレイに対して位置調整手順を実行します。 イメージを作成する場合、シートが上から下へデバイスに*送られて*くると、デバイスはページを横方向に*スキャン*します。 スキャンの方向は、X として表されます。X1 は、両面ページの表面のスキャン方向です。X2 は、両面ページの裏面のスキャン方向です。給紙の方向は Y で表されます。
フューザ モード	<用紙タイプ>		各メディア タイプに関連付けるフューザー モードを設定します。
	モードを復元します	復元 (ボタン)	フューザー モードをデフォルトの設定に復元します。
最適化	高転写	標準 (デフォルト) 向上	用紙経路による最適化の代わり (または追加) として、すべてのジョブの特定のパラメータを最適化します。
	細部を重視	オフ (デフォルト) オン	
解像度		300 600 FastRes 1200 (デフォルト) ProRes 1200	この機能を使用して、印刷の解像度を選択します。
RET		オフ 軽い用紙 中 (デフォルト) 濃い	角、曲線、エッジを滑らかにする REt (Resolution Enhancement technology) を有効にします。REt は、FastRes 1200 も含むすべての印刷の解像度に有効です。

表 2-15 印刷品質 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
Economode		有効 無効	Economode が有効な場合、デバイスは 1 ページに使用されるトナーの量を減らして印刷します。ただし、ページの印刷品質がわずかに低下します。
トナー濃度		1 ～ 5 の範囲から選択します。 3 がデフォルトです。	ページの印刷を薄くしたり、濃くしたりします。1 は最も薄く、5 は最も濃くなります。
校正/クリーニング	自動クリーニング	有効 無効	自動クリーニングをオンにすると、ページ数が クリーニング間隔 に設定されている値に達した時点で、デバイスがクリーニング ページを印刷します。
	クリーニング間隔	1000 2000 5000 10000 20000	クリーニング ページを印刷する間隔を設定します。間隔は、印刷されたページ数で測定されます。
	自動クリーニング サイズ	レター A4	クリーニング ページに使用する用紙のサイズを選択します。
	クリーニング ページの処理	プロセス (ボタン)	この機能を使用して、フューザー内の加圧ローラーから余分なトナーを落とすためのクリーニング ページを作成し、処理します。この処理には 2 分 30 秒ほどかかります。

トラブルシューティング メニュー

注記 「(デフォルト)」と表示されている値は、出荷時の値です。デフォルトが設定されていないメニュー項目もあります。

表 2-16 トラブルシューティング メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
イベント ログ			印刷 (ボタン)	この機能は、イベント コードとそれに対応するエンジン サイクルを画面に表示し、全イベント ログを印刷できるようにします。
スキャナの校正			校正 (ボタン)	この機能を使用して、ADF およびフラットベッド スキャン用のスキャナ イメージ システム (キャリッジ ヘッド) のオフセットを補正します。 スキャン対象文書の適切な部分がキャプチャされない場合、スキャナの較正が必要なことがあります。
ファックス T.30 トレース	T.30 レポートの印刷			この機能を使用して、ファックス T.30 のトレース レポートを印刷したり、設定したりします。T.30 は、ファックス機器間のハンドシェイク、プロトコル、およびエラー修正を指定する標準です。
	レポート印刷時間		自動印刷しない ファックス ジョブ後に印刷 ファックス送信ジョブ後に印刷 ファックス エラー後に印刷 送信エラー後にのみ印刷 受信エラー後にのみ印刷	
ファックス送信信号損失			0 から 30 までの値。	この機能を使用して、電話回線信号の損失に対して補正する損失レベルを設定します。HP のサービス担当者から要求された場合を除き、この設定を変更しないでください。変更すると、ファックスが機能しなくなる可能性があります。
ファックス V.34			標準 (デフォルト) オフ	ファックスで何回もエラーが発生している場合、または電話回線の状態から必要と思われる場合、この機能を使用して V.34 変調を無効にします。
ファックス スピーカ モード			標準 (デフォルト) 診断	この機能は、技術者がファックス変調の音を聞くことでファックスの問題を評価および診断するときに使用できます。出荷時のデフォルト設定は、[標準] です。
用紙経路センター				用紙経路センサーのテストを開始します。

表 2-16 トラブルシューティング メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
用紙経路のテスト	テスト ページ		印刷 (ボタン)	用紙処理機能をテストするためのテスト ページを作成します。特定の用紙経路をテストするために使用する経路を定義します。
	ソース		すべてのトレイ トレイ 1 トレイ 2 (増設トレイがある場合、そのトレイが表示されます)	テスト ページをすべてのトレイから印刷するか、特定のトレイから印刷するかを指定します。
	排紙先		すべての排紙ビン スタッカ ビン 標準の排紙トレイ	テスト ページの排紙オプションを選択します。テスト ページをすべての排紙ビンに送るか、特定のビンだけに送るかを選択できます。
	両面印刷		オフ (デフォルト) オン	用紙経路テストに両面印刷ユニットを含めるかどうかを選択します。
	部数		範囲：2-30、デフォルト =2	用紙経路テストの一環として指定したソースから送信するページ数を選択します。

表 2-16 トラブルシューティング メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
用紙経路のテストを終了中	ステイプル	仕上げオプション	使用可能なオプションのリストから選択します。	フィニッシャの用紙処理機能をテストします。 テストするオプションを選択します。
		メディア サイズ	レター リーガル A4 エグゼクティブ (JIS) 8.5 x 13	仕上げ用紙経路テスト用の用紙サイズを選択します。
		メディア タイプ		仕上げ用紙経路テスト用の用紙タイプを選択します。
		部数	範囲：2-30、デフォルト =2	仕上げ用紙経路テストに含めるコピー数を選択します。
		両面印刷	オフ オン	仕上げ用紙経路テストで両面印刷ユニットを使用するかどうかを選択します。
		テスト ページの印刷	印刷 (ボタン)	仕上げ用紙経路テストに使用するテスト ページを印刷します。
	スタック	メディア サイズ	レター リーガル A4 エグゼクティブ (JIS) 8.5 x 13	スタッカのテストに使用するオプションを選択します。
		メディア タイプ	タイプのリストから選択します。	仕上げ用紙経路テストに使用するメディアのタイプを選択します。
		部数	1 10 50 100 500	仕上げ用紙経路テストに含めるコピー数を選択します。
		両面印刷	オフ オン	仕上げ用紙経路テストで両面印刷ユニットを使用するかどうかを選択します。
		テスト ページの印刷	印刷 (ボタン)	仕上げ用紙経路テストに使用するテスト ページを印刷します。
手動センサー テスト				センサーおよびスイッチが正しく機能することをテストします。各センサーとその値は、コントロール パネルの画面に表示されます。各センサーを手動で始動させて、画面上の変化に注目します。テストを中断するには、[停止] ボタンを押します。

表 2-16 トラブルシューティング メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
コンポーネント テスト				ノイズ、漏れ、その他の問題を特定するために、各部分を個々に動作させます。テストを開始するには、コンポーネントを 1 つ選択します。テストは、[繰り返し] オプションで指定された回数だけ繰り返し実行されます。テスト中に、デバイスから部品を取り外すように指示される場合があります。テストを中断するには、[停止] ボタンを押します。
印刷/停止テスト			0 〜 60,000 ミリ秒の範囲の連続する値。デフォルトは 0 ミリ秒です。	印刷サイクル中にデバイスを停止し、処理のどの行程でイメージの品質が低下するかを監視して、障害を分離します。テストを実行するには、停止時間を指定します。デバイスに送信される次のジョブは、処理中に指定された時間になると停止します。
スキャナ テスト				このメニュー項目は、サービス担当者がデバイス スキャナの潜在的な問題を診断するために使用します。
コントロール パネル	LED			この機能を使用して、コントロール パネルのコンポーネントが正しく機能していることを確認します。
	ディスプレイ			
	ボタン			
	タッチスクリーン			

[リセット] メニュー

表 2-17 [リセット] メニュー

メニュー項目	値	説明
ローカルのアドレス帳をクリア	クリア (ボタン)	この機能を使用して、デバイスに保存されているアドレス帳からすべてのアドレスを消去します。
ファックス使用状況ログをクリア	はい 不可 (デフォルト)	この機能を使用して、ファックス使用状況ログからすべてのイベントを消去します。
出荷時の通信設定に戻す	復元 (ボタン)	このオプションを使用して、[初期セットアップ] メニューの電話関連の設定を出荷時のデフォルト値に戻します。
出荷時の設定に戻す	復元 (ボタン)	この機能を使用して、すべてのデバイス設定を出荷時のデフォルトに戻します。
文書フィーダ メッセージのクリア	クリア (ボタン)	保守キットを注文してください と 保守キットを交換してください という警告メッセージをクリアします。
文書フィーダメッセージのクリア	クリア (ボタン)	この機能を使用して、文書フィーダ キットを注文してください と 文書フィーダ キットを交換してください という警告メッセージをクリアします。
サプライ品のリセット	新しい保守キット (はい/いいえ) 新規文書フィーダ キット (はい/いいえ)	新しい保守キットまたは文書フーダ キットを取り付けたことをデバイスに通知します。

サービス メニュー

サービス メニューはロックされており、アクセスするには PIN を入力する必要があります。 このメニューは、正規サービス担当者が使用することを前提にしています。

3 入出力 (I/O)

この章では、デバイスの特定のネットワーク パラメータを設定する方法を解説します。以下のトピックを取り上げます。

- USB 構成
- ネットワークの設定

USB 構成

このデバイスは USB 2.0 接続に対応します。印刷には A to B タイプの USB ケーブルを使用してください。

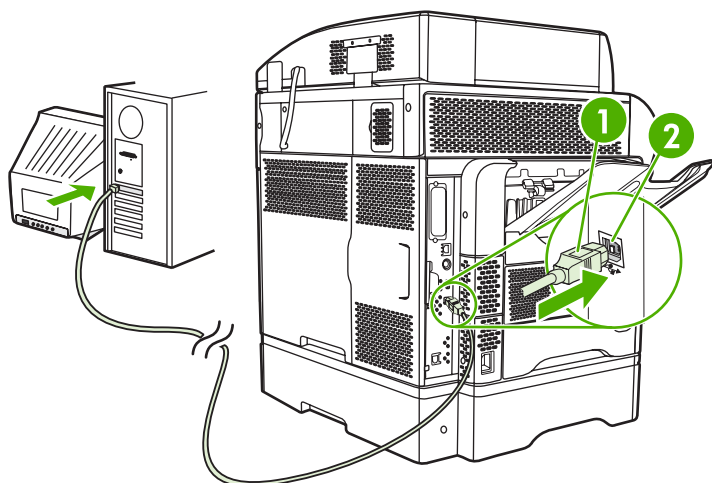



図 3-1 USB 接続用コネクタ

1	USB コネクタ
2	USB ポート (タイプ B)

ネットワークの設定

場合によっては、デバイスのネットワーク パラメータを設定する必要があります。パラメータは次の場所で設定できます。

- インストール ソフトウェア
- デバイスのコントロール パネル
- 内蔵 Web サーバー
- 管理用ソフトウェア (HP Web Jetadmin または HP LaserJet Utility for Macintosh)

注記　内蔵 Web サーバーの使い方の詳細については、内蔵 Web サーバを参照してください。

サポートされているネットワークとネットワーク設定ツールの詳細については、『*HP Jetdirect プリント サーバー管理者用ガイド*』を参照してください。このガイドは、HP Jetdirect プリント サーバーが搭載のプリンタに付属しています。

ここでは、ネットワーク パラメータの設定方法について説明します。

- TCP/IPv4 パラメータの設定
- TCP/IPv6 パラメータの設定
- ネットワーク プロトコルの無効化 (オプション)
- HP Jetdirect EIO プリント サーバー

TCP/IPv4 パラメータの設定

ネットワークで DHCP、BOOTP、RARP などによる自動 IP アドレス指定が行われない場合は、ネットワーク経由で印刷するために、次のパラメータを手動で入力しなければならない場合があります。

- IP アドレス (4 バイト)
- サブネット マスク (4 バイト)
- デフォルト ゲートウェイ (4 バイト)

IP アドレスの設定

デバイスの現在の IP アドレスを確認するには、コントロール パネルのホーム画面で ネットワーク アドレス を選択します。

次の手順で IP アドレスを手動で変更します。

1. スクロールして 管理 を選択します。
2. スクロールして 初期セットアップ を選択します。
3. ネットワークおよび I/O を選択します。
4. 内蔵 Jetdirect を選択します。
5. TCP/IP を選択します。
6. IPV4 設定 を選択します。

7. 設定方法 を選択します。
8. 手動 を選択します。
9. 保存 を選択します。
10. 手動設定 を選択します。
11. IP アドレス を選択します。
12. [IP アドレス] テキスト ボックスを選択します。
13. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、IP アドレスを入力します。
14. OK を選択します。
15. 保存 を選択します。

サブネット マスクの設定

1. スクロールして 管理 を選択します。
2. スクロールして 初期セットアップ を選択します。
3. ネットワークおよび I/O を選択します。
4. 内蔵 Jetdirect を選択します。
5. TCP/IP を選択します。
6. IPV4 設定 を選択します。
7. 設定方法 を選択します。
8. 手動 を選択します。
9. 保存 を選択します。
10. 手動設定 を選択します。
11. サブネット マスク を選択します。
12. [サブネット マスク] テキスト ボックスを選択します。
13. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、サブネット マスクを入力します。
14. OK を選択します。
15. 保存 を選択します。

デフォルト ゲートウェイの設定

1. スクロールして 管理 を選択します。
2. スクロールして 初期セットアップ を選択します。
3. ネットワークおよび I/O を選択します。
4. 内蔵 Jetdirect を選択します。
5. TCP/IP を選択します。

6. IPV4 設定 を選択します。

7. 設定方法 を選択します。

8. 手動 を選択します。

9. 保存 を選択します。

10. 手動設定 を選択します。

11. デフォルト ゲートウェイ を選択します。

12. [デフォルト ゲートウェイ] テキスト ボックスを選択します。

13. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、デフォルト ゲートウェイを入力します。

14. OK を選択します。

15. 保存 を選択します。

TCP/IPv6 パラメータの設定

TCP/IPv6 ネットワーク用にデバイスを設定する方法については、『*HP Jetdirect Print Server Administrator's Guide*』を参照してください。

ネットワーク プロトコルの無効化 (オプション)

工場出荷時の設定では、使用可能なすべてのネットワーク プロトコルが有効になっています。使用しないプロトコルを無効にすると、次のようなメリットがあります。

- デバイスによって発生するネットワーク トラフィックが減少する。
- 許可されないユーザーがプリンタで印刷することを防止する。
- 直接関係のある情報だけが構成ページに記載される。
- プリンタのコントロール パネルにプロトコル固有のエラー メッセージと警告メッセージが表示される。

IPX/SPX の無効化

注記 IPX/SPX 経由でプリンタに印刷する Windows ベースのシステムでは、このプロトコルを無効にしないでください。

1. スクロールして 管理 を選択します。

2. スクロールして 初期セットアップ を選択します。

3. ネットワークおよび I/O を選択します。

4. 内蔵 Jetdirect を選択します。

5. IPX/SPX を選択します。

6. 有効 を選択します。

7. オフ を選択します。

8. 保存 を選択します。

AppleTalk の無効化

1. スクロールして 管理 を選択します。
2. スクロールして 初期セットアップ を選択します。
3. ネットワークおよび I/O を選択します。
4. 内蔵 Jetdirect を選択します。
5. AppleTalk を選択します。
6. 有効 を選択します。
7. オフ を選択します。
8. 保存 を選択します。

DLC/LLC の無効化

1. スクロールして 管理 を選択します。
2. スクロールして 初期セットアップ を選択します。
3. ネットワークおよび I/O を選択します。
4. 内蔵 Jetdirect を選択します。
5. DLC/LLC を選択します。
6. 有効 を選択します。
7. オフ を選択します。
8. 保存 を選択します。

HP Jetdirect EIO プリント サーバー

HP Jetdirect プリント サーバー (ネットワーク カード) は EIO スロットに取り付けることができます。このカードは複数のネットワーク プロトコルとオペレーティング システムに対応します。HP Jetdirect プリント サーバーによって、どこでもプリンタをネットワークに直接接続できるので、ネットワーク管理を簡単に行うことができます。HP Jetdirect プリント サーバーは SNMP (Simple Network Management Protocol) にも対応するので、HP Web Jetadmin ソフトウェアを使用してリモートでプリンタ管理やトラブルの解決を行うことができます。

注記　コントロール パネル、プリンタのインストール ソフトウェア、または HP Web Jetadmin を使用してカードを構成します。詳細については、HP Jetdirect プリント サーバーのマニュアルを参照してください。

4 メディアおよびトレイ

この章には、以下のセクションが含まれます。

一般的なメディアの仕様

すべての HP LaserJet デバイスの用紙の仕様の一覧は、『『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide*』』(http://www.hp.com/support/ljpaperguide から入手可) を参照してください。

カテゴリ	仕様
酸性度	5.5pH ～ 8.0pH
キャリパー	0.094 ～ 0.18mm (3.0 ～ 7.0 ミル)
リームのカール	5mm (0.02 インチ) 以内の平坦さ
用紙切断面の状態	鋭い刃物で裁断されていて、目に見えるざらつきがないこと
フューザとの適合性	200℃ (392°F) の熱を 0.1 秒間加えたときに焦げ、溶解、裏写り、有害物質の放出などがないこと
グレイン	ロンググレイン
水分含有量	重量にして 4% ～ 6%
平滑度	100 ～ 250Sheffield

メディアについての一般的なガイドライン

用紙または特別のフォームを大量に購入する前に、用紙のサプライヤが『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide*』を入手済みで、記載されている印刷メディアの指定条件を理解していることを確認します。

『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide*』の注文については、「HP カスタマ ケア」を参照してください。 このガイドのコピーをダウンロードするには、 http://www.hp.com/support/ljpaperguide にアクセスしてください。

この章や『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide*』で示すガイドラインに完全に適合する用紙を使用しても、正常に印刷できないことがあります。 これは、印刷環境の例外的な特性、または HP が制御できないその他の変化 (温度および湿度の極端な状態など) が原因となる場合があります。

Hewlett-Packard 社では、用紙を大量に購入する前に、その用紙を試しに使ってみることをお勧めします。

注意　この一覧または印刷メディア ガイドに示した仕様に準拠しない用紙を使用すると、サービスを必要とする問題が生じる可能性があります。 このサービスは、Hewlett-Packard の保証またはサービス契約の対象になりません。

使用対象外の用紙

プリンタは、さまざまな用紙に印刷することができますが、 仕様に合わない用紙を使用すると、印刷品質が低下したり、紙詰まりが頻繁に発生する原因になります。

- 過度に起伏のある用紙は使用しないでください。 検査済みの平滑度が 100 ～ 250 Sheffield の用紙を使用してください。
- 標準の 3 箇所の穴あき用紙以外に、切り抜きまたは穴が開いた用紙は使用しないでください。
- 複写用紙は使用しないでください。
- 印刷済みの用紙またはコピー機で使用した用紙は使用しないでください。
- 塗りつぶしパターンを印刷する場合は、透かし印刷のある用紙は使用しないでください。
- 強くエンボス加工された用紙または立体仕上げの用紙は使用しないでください。
- 表面に大きな凹凸のある用紙は使用しないでください。
- 印刷済み用紙が張り付くのを防ぐオフセット パウダーまたは他の材料は使用しないでください。
- 製造後にカラーがコーティングされた用紙は使用しないでください。

デバイスに損傷を与える可能性がある用紙

まれに、用紙がデバイスに損傷を与える場合があります。 デバイスの損傷の可能性を防ぐために、次の用紙を避けてください。

- ステイプルが付いたままの用紙は使用しないでください。
- インクジェット プリンタや他の低温のプリンタ用の OHP フィルム、ラベル紙、フォト用紙、光沢紙は使用しないでください。 HP LaserJet プリンタで使用するように指定されたメディアのみを使用してください。

- エンボス加工用紙やコーティングされた用紙、またはこのデバイスの最高温度に耐えられないメディアは使用しないでください。 フューザの温度に耐えられない染料またはインクを使用したレターヘッド用紙または印刷済み用紙は使用しないでください。
- フューザの温度にさらされたときに危険なガスを発生したり、溶けたり、トナーが流れたり、変色したりするメディアは使用しないでください。

HP LaserJet 印刷用のサプライ品を注文するには、「パーツ、アクセサリ、サプライ品の注文」を参照してください。

一般的なメディアの仕様

すべての HP LaserJet デバイスの用紙の仕様の一覧は、『『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide*』』(http://www.hp.com/support/ljpaperguide から入手可) を参照してください。

カテゴリ	仕様
酸性度	5.5pH ～ 8.0pH
キャリパー	0.094 ～ 0.18mm (3.0 ～ 7.0 ミル)
リームのカール	5mm (0.02 インチ) 以内の平坦さ
用紙切断面の状態	鋭い刃物で裁断されていて、目に見えるざらつきがないこと
フューザとの適合性	200℃ (392° F) の熱を 0.1 秒間加えたときに焦げ、溶解、裏写り、有害物質の放出などがないこと
グレイン	ロンググレイン
水分含有量	重量にして 4% ～ 6%
平滑度	100 ～ 250Sheffield

メディアに関する考慮点

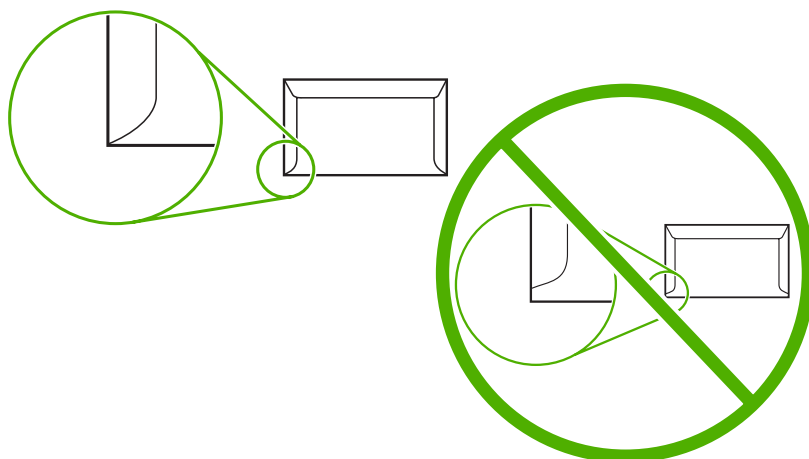
封筒

封筒の構造が重要です。封筒の折り目は、メーカーの違いだけではなく、同じメーカーでも製品ごとに、大幅に異なります。封筒への印刷が成功するかどうかは、封筒の品質に左右されます。封筒を選択するときは、以下の要素を考慮してください。

- **重量**： 封筒紙の重量が 105g/m^2 (28lb) を超えないようにします。これを超えると、紙詰まりが発生する可能性があります。
- **構造**： 印刷する前に、カールが 6mm (0.25 インチ) 未満になるように封筒を水平に置き、間に空気が入らないようにします。
- **状態**： 封筒にしわや傷があると、破損する恐れがあります。
- **温度**： プリンタの熱および圧力に耐えられる封筒を使用します。
- **サイズ**： サイズが以下の範囲内の封筒だけを使用します。
  - **最小**：76x127mm (3x5 インチ)
  - **最大**：216x356mm (8.5x14 インチ)

注記　封筒の印刷には、トレイ 1 またはオプションの封筒フィーダ以外は使用しないでください。178mm (7 インチ) 未満の長さのメディアを使用した場合、紙詰まりが発生する可能性があります。紙詰まりは、用紙が環境条件による影響を受けている場合に発生することがあります。最適な性能のために、用紙の保存と取り扱いは適切に行うように心がけてください。また、プリンタ ドライバで封筒を選択してください (対応プリンタ ドライバを参照)。

両側閉じの封筒

両側閉じ構造では、斜めの閉じ目ではなく、封筒の両側に縦の閉じ目があります。このスタイルは、よりしわになりやすい構造です。下図のように、閉じ目が角まで達していることを確認します。

1	使用できる封筒構造
2	使用できない封筒構造

接着テープまたはフラップ付き封筒

剥がせる接着テープが着いている封筒や、複数のフラップを折って閉じる封筒には、プリンタの熱と圧力に耐えられる糊が使用されている必要があります。余分なフラップやテープは、しわや折り目がついたり、紙詰まりが発生したり、フューザーを損傷する可能性もあります。

封筒のマージン

以下に、市販の #10 または DL 封筒の場合の一般的なアドレス マージンを示します。

アドレス タイプ	上マージン	左マージン
差出人アドレス	15mm (0.6 インチ)	15mm (0.6 インチ)
宛先アドレス	51mm (2.0 インチ)	89mm (3.5 インチ)

注記　最善の印刷品質を得るには、マージンを封筒の端から 15mm (0.6 インチ) 未満に設定しないでください。封筒の綴じ代部分には、印刷されないようにします。

封筒の保存

封筒を適切に保存することは、印刷品質にも影響します。封筒は水平に保存する必要があります。封筒に空気が入ると、気泡ができ、印刷中にしわになることがあります。

詳細については、印刷環境および用紙の保管環境を参照してください。

ラベル

注意　MFP の損傷を防ぐために、レーザー プリンタ用として推奨されるラベルのみを使用します。同じラベル シートに複数回印刷したり、ラベル シートの一部に印刷したりしないでください。

ラベルの構造

ラベルを選択する場合、各要素の品質を考慮します。

- **接着剤**：接着剤は、プリンタの融解温度、200℃ (392F) で安定している必要があります。
- **配置**：ラベル間に裏紙が露出している部分のないラベルのみを使用します。ラベル間の隙間からラベルが剥がれる可能性があり、深刻な紙詰まりの原因になります。
- **カール**：印刷する前にラベルを水平に置いて、どの方向にも 13mm (0.5 インチ) を超えるカールがないことを確認します。
- **状態**：しわ、気泡、その他の剥離の兆候があるラベルは、使用しないでください。

注記　プリンタ ドライバでラベルを選択してください (対応プリンタ ドライバを参照)。

OHP フィルム

プリンタで使用する OHP フィルムは、プリンタの融解温度、200C (392F) に耐えられる必要があります。

注意　MFP の損傷を防ぐために、HP ブランドの OHP フィルムなど、HPLaserJet プリンタ用として推奨される OHP フィルムのみを使用します。

注記　プリンタ ドライバで OHP フィルムを選択してください (対応プリンタ ドライバを参照)。

カード ストックおよび厚手のメディア

給紙トレイから、索引カードやハガキなど、さまざまなタイプのカード ストックに印刷することができます。一部のカード ストックは、他に比べてレーザー プリンタの給紙に適しているため、より良い性能を発揮します。

プリンタが最適な性能を発揮できるように、重量が 157g/m^2 を超える用紙は使用しないで下さい。重すぎる用紙の使用は、給紙やスタッカの問題、紙詰まり、トナーの融解不良、印刷品質の低下、過度な機械の摩耗の原因になります。

注記　厚手の用紙でも、給紙トレイの容量一杯まで用紙をセットせずに、平滑度が 100 ～ 180Sheffield の用紙を使用すれば、印刷可能です。

カード ストックの構造

- **平滑度**:135 ～ 157g/m^2 のカード ストックの場合、100 ～ 180Sheffield の平滑度が必要です。60 ～ 135g/m^2 のカード ストックの場合、100 ～ 250Sheffield の平滑度が必要です。
- **構造**：カード ストックは、カールが 5mm 未満になるように水平に置きます。
- **状態**：カード ストックにしわや傷があると、破損する恐れがあります。
- **サイズ**：サイズが以下の範囲内のカード ストックだけを使用します。
  - **最小**：76x127mm
  - **最大**：216x356mm

カード ストックのガイドライン

マージンは、端から 2mm 以上離して設定します。

レターヘッド付きおよび印刷済みフォーム

現在では、多くのメーカーからレーザー対応またはレーザー保証と銘打った高級用紙が販売されています。ひだ、線、しわなど表面の仕上げが粗い場合は、特殊なフューザー モードが必要です。これは、一部のプリンタ モデルで適切なトナー溶着を実現するために使用できます。

注記　レーザー プリンタで印刷するときは、ページごとの多少の偏差は普通です。この偏差は、普通紙に印刷しているときには見られません。ただし、印刷済みフォームに印刷しているときは、偏差が目立ちます。これは、線やボックスがすでに配置されているためです。

印刷済み用紙、エンボス紙、レターヘッド付き用紙を使用するときに問題を回避するには、以下のガイドラインに従ってください。

- 低温インク (ある種のサーモグラフィで使用される種類) は使用しないでください。
- オフセット印刷またはイングレービングによって印刷された印刷済みフォームおよびレターヘッド付き用紙を使用します。
- 0.1 秒間、200C まで熱せられても溶けたり、蒸発したり、有害なガスを発生しない耐熱インクを使用して作成されたフォームを使用します。通常、酸化凝固または油性インクがこの要件を満たします。
- フォームが印刷済みの場合、用紙の含水量が変わらないように注意し、用紙の電気的特性または取り扱い適正を変化させる物質は使用しないでください。保存中に湿度が変化しないように、防湿包装紙でフォームを密封します。
- 仕上げまたはコーティングを施した印刷済みフォームの処理は避けてください。
- 深くエンボス加工した用紙や浮き彫りのレターヘッド付き用紙の使用は避けてください。
- 表面を強度なテクスチャー加工された用紙は避けてください。
- オフセット パウダーや、その他の印刷済みフォームが張り付くのを防ぐ物質は使用しないでください。

正しいフューザ モードの選択

フューザ モードは、設定されているトレイのメディア タイプに応じて自動的に調整されます。 たとえば、厚手の用紙の場合、トナーが適切にページへ付着するように、フューザ モード設定を高くする必要があります。一方、OHP フィルムの場合は、デバイスが損傷しないようにフューザ モードを低くします。 通常、デフォルト設定はほとんどの印刷メディアに最適です。

フューザ モードを変更できるのは、使用しているトレイにメディアの種類が設定されている場合のみです。 「印刷ジョブの制御」を参照してください。 トレイにメディアの種類を設定してから、デバイスのコントロール パネルの 印刷品質 サブメニューの 管理 メニューで、フューザ モードを変更します。 「印刷品質メニュー」を参照してください。

注記　High 1 (高 1) または High 2 (高 2) のフューザ モード設定を使用すると、用紙にトナーが定着しやすくなりますが、用紙の丸まりなど、他の問題が発生することがあります。 フューザ モードを High 1 (高 1) または High 2 (高 2) に設定すると、印刷速度が遅くなることがあります。対応しているメディアの種類ごとに、適切なフューザ モードの設定方法について以下の表で説明します。

メディア タイプ	フューザ モード設定
普通紙	標準
印刷済み用紙	標準
レターヘッド	標準
OHP フィルム	LOW 2 (低 2)
穴あき用紙	標準
ラベル紙	標準
ボンド紙	標準

メディア タイプ	フューザ モード設定
再生紙	標準
カラー	標準
軽い用紙	LOW 1 (低 1)
厚紙	標準
粗めの用紙	HIGH 1 (高 1)
封筒	標準

フューザ モードをデフォルト設定にリセットするには、デバイスのコントロール パネルで 管理 メニューにタッチします。 印刷品質、フューザ モード、モードを復元します の順にタッチします。

印刷メディアの選択

表 4-1 サポートされるメディア タイプ

メディアのタイプ	トレイ 1	トレイ 2、3、4、および 5	オプションの両面印刷ユニット	オプションの封筒フィーダ	3 ビン メールボックスまたはステイプラ/スタッカのスタッカ部分	ステイプラ/スタッカのステイプラ部分
普通	X	X	X	X	X	X
印刷済み	X	X	X	X	X	X
レターヘッド	X	X	X	X	X	X
OHP フィルム	X	X			X	
穴あき	X	X		X	X	X
ラベル	X	X	X	X	X	
ボンド紙	X	X	X	X	X	X
再生紙	X	X	X	X	X	X
カラー	X	X	X	X	X	X
厚紙	X			X	X [1] [2]	
粗めの紙	X	X	X	X	X	X
封筒	X			X	X[1]	

[1] 印刷面を上にした給紙のみ。

[2] 3 ビン メールボックスが取り付けられている場合は、厚紙に印刷する際に一番下のビンを選択します。200g/m^2 以上の重さのメディアには一番下のビンのみが対応します。

表 4-2 トレイ 1 の対応サイズと重量

サイズ	寸法 [1]	重量	容量 [2]
レター	216x279mm (8.5x11 インチ)	60 ～ 200g/m^2 (16 ～ 53lb)	75g/m^2 (20lb) の用紙 100 枚
A4	210x297mm (8.3x11.7 インチ)		
リーガル	216x356mm (8.5x14 インチ)		
エグゼクティブ	184x267mm (7.3x10.5 インチ)		
ステートメント	140x216mm (5.5x8.5 インチ)		
8.5x13	216x330mm (8.5x13 インチ)		
A5	148x210mm (5.8x8.3 インチ)		
B5 (JIS)	182x257mm (7.2x10.1 インチ)		
エグゼクティブ (JIS)	216x330mm (8.5x13 インチ)		
D ハガキ (JIS)	148x200mm (5.8x7.9 インチ)		
16K	197x273mm (7.75x10.75 インチ)		
カスタム [3]	最小 :76x127mm (3x5 インチ) 最大 :216x356mm (8.5x14 インチ)		
封筒 商用 10 号	105x241mm (4.1x9.5 インチ)	75 ～ 105g/m^2 (20 ～ 28lb)	封筒 10 枚
封筒 DL ISO	110x220mm (4.3x8.7 インチ)		
封筒 C5 ISO	162x229mm (6.4x9.0 インチ)		
封筒 B5 ISO	176x250mm (6.9x9.8 インチ)		
封筒 Monarch #7-3/4	98x191mm (3.9x7.5 インチ)		

1 MFP はさまざまなサイズに対応します。対応サイズについては MFP ソフトウェアをご確認ください。
2 容量は用紙の重量と厚さ、および環境条件によって変化することがあります。
3 カスタム サイズの用紙への印刷については、小さい用紙、カスタム サイズの用紙、または厚手の用紙のセットを参照してください。

表 4-3 トレイ 2、3、4、5 の対応サイズと重量

サイズ	寸法 [1]	重量	容量 [2]
レター	216x279mm (8.5x11 インチ)	60 ～ 120g/m^2 (16 ～ 32lb)	75g/m^2 (20lb) の用紙 500 枚
A4	210x297mm (8.3x11.7 インチ)		
エグゼクティブ	184x267mm (7.3x10.5 インチ)		
リーガル	216x356mm (8.5x14 インチ)		
B5 (JIS)	182x257mm (7.2x10.1 インチ)		
A5	148x210mm (5.8x8.3 インチ)		
8.5x13	216x330mm (8.5x13 インチ)		
エグゼクティブ (JIS)	216x330mm (8.5x13 インチ)		
16K	197x273mm (7.75x10.75 インチ)		
カスタム [3]	最小 :148x210mm (5.8x8.3 インチ) 最大 :216x356mm (8.5x14 インチ)		

[1] MFP はさまざまなサイズに対応します。対応サイズについては MFP ソフトウェアをご確認ください。
[2] 容量は用紙の重量と厚さ、および環境条件によって変化することがあります。
[3] カスタム サイズの用紙への印刷については、小さい用紙、カスタム サイズの用紙、または厚手の用紙のセットを参照してください。

表 4-4 オプションの両面印刷ユニットの対応サイズと重量

サイズ	寸法	重量
レター	216x279mm (8.5x11 インチ)	60 ～ 120g/m^2 (16 ～ 32lb)
A4	210x297mm (8.3x11.7 インチ)	
エグゼクティブ	184x267mm (7.3x10.5 インチ)	
リーガル	216x356mm (8.5x14 インチ)	
B5 (JIS)	182x257mm (7.2x10.1 インチ)	
A5	148x210 mm (5.8x8.3 インチ)	
8.5x13	216x330mm (8.5x13 インチ)	
エグゼクティブ (JIS)	216x330mm (8.5x13 インチ)	
16K	197x273mm (7.75x10.75 インチ)	

表 4-5 オプションの封筒フィーダの対応サイズと重量

サイズ	寸法	重量	容量
Monarch #7-3/4	98x191mm (3.9x7.5 インチ)	75 ～ 105g/m^2 (20 ～ 28lb)	封筒 75 枚
商用 10 号	105x241mm (4.1x9.5 インチ)		
DL ISO	110x220mm (4.3x8.7 インチ)		
C5 ISO	162x229mm (6.4x9.0 インチ)		
B5 ISO	176x250mm (6.9x9.8 インチ)		

表 4-6 オプションの 3 ビン メールボックスまたはステイプラ/スタッカのスタッカ部分の対応サイズと重量

サイズ	寸法 [1]	重量	容量 [2]
レター	216x279mm (8.5x11 インチ)		ステイプラ/スタッカのスタッカまたは 3 ビン メールボックスの下部ビン :75g/m^2 (20lb) の用紙 500 枚 3 ビン メールボックスの上部の 2 つのビン :それぞれ 75g/m^2 (20lb) の用紙 100 枚
A4	210x297mm (8.3x11.7 インチ)		
エグゼクティブ	184x267mm (7.3x10.5 インチ)		
リーガル	216x356mm (8.5x14 インチ)		
B5 (JIS)	182x257mm (7.2x10.1 インチ)		
A5	148x210mm (5.8x8.3 インチ)		
ステートメント	140x216mm (5.5x8.5 インチ)		
8.5x13	216x330mm (8.5x13 インチ)		
エグゼクティブ (JIS)	216x330mm (8.5x13 インチ)		
D ハガキ (JIS)	148x200mm (5.8x7.9 インチ)		
16K	197x273mm (7.75x10.75 インチ)		
封筒 10 号 [4]	105x241mm (4.1x9.5 インチ)		
封筒 Monarch #7-3/4 [4]	98x191mm (3.9x7.5 インチ)		
封筒 C5 ISO [4]	162x229mm (6.4x9.0 インチ)		
封筒 DL ISO [4]	110x220mm (4.3x8.7 インチ)		
封筒 B5 ISO [4]	176x250mm (6.7x9.8 インチ)		
カスタム [3]	最小 :76x127mm (3x5 インチ) 最大 :216x356mm (8.5x14 インチ)		

[1] MFP はさまざまなサイズに対応します。対応サイズについては MFP ソフトウェアをご確認ください。
[2] 容量は用紙の重量と厚さ、および環境条件によって変化することがあります。
[3] カスタム サイズの用紙への印刷については、小さい用紙、カスタム サイズの用紙、または厚手の用紙のセットを参照してください。
[4] 印刷面を上にした給紙のみ。

表 4-7 オプションのステイプラ/スタッカのステイプラ部分の対応サイズと重量

サイズ	寸法	重量	容量
レター	216x279mm (8.5x11 インチ)	通常のメディア :60 ～ 120g/m^2 (16 ～ 32lb) 厚いメディア :128 ～ 199g/m^2 (34 ～ 53lb)	通常のメディア :75g/m^2 (20lb) の用紙 30 枚 光沢紙 :20 枚 厚いメディア :重ねた厚さが 7mm (0.27 インチ) 未満
A4	210x297mm (8.3x11.7 インチ)		
リーガル	216x356mm (8.5x14 インチ)		
8.5x13	216x330mm (8.5x13 インチ)		
エグゼクティブ (JIS)	216x330mm (8.5x13 インチ)		

表 4-8 ADF の対応サイズと重量

サイズ	寸法	重量	容量
レター	216x279mm (8.5x11 インチ)	60 ～ 120g/m^2 (16 ～ 32lb)	75g/m^2 (20lb) の用紙 50 枚
A4	210x297mm (8.3x11.7 インチ)		
A5	148x210mm (5.8x8.3 インチ)		
リーガル	216x356mm (8.5x14 インチ)		

印刷環境および用紙の保管環境

印刷環境および用紙の保管環境は、乾燥や多湿を避け、常温に保つことが理想的です。 用紙は吸湿性であるため、湿気を吸収しやすく、また乾燥もしやすいことに注意してください。

温度は用紙中の水分に影響し、用紙がいたむ原因となります。温度が低いと用紙の表面に水分が凝縮します。一方、温度が高いと用紙中の水分が蒸発してしまいます。暖房装置やエアコンを使うと部屋の湿度はゼロに近くなります。このような環境で用紙を開封して使用すると、用紙中の水分が失われるので、印刷にスジがはいったり汚れたりする原因となります。一方、多湿の天候だったり冷水タンクがあったりすると部屋の湿度が上昇します。このような環境で用紙を開封して使用すると、空気中の余分な水分を吸収するので、印刷が薄くなったり欠落したりする原因となります。さらに、用紙が水分を失ったり吸収したりすると、用紙が変形する場合があります。これは紙詰まりの原因になります。

そのため、用紙の保管や取り扱いは、用紙の製造プロセスそのものと同じくらい重要になります。用紙の保管環境は給紙動作に直接影響します。

短期間 (約 3 か月) で使い切れないほどの量の用紙を購入しないよう注意してください。用紙を長期間保管すると、いたみの原因となる極端な高温や湿度にさらされる可能性があります。大量の用紙がいたんでしまうという事態を防ぐには、計画性が重要です。

ラベルで封印された未開封の用紙は数か月保管しておいても品質は安定しています。パッケージ開封後の用紙は環境の影響を受けやすくなります。防湿用パッケージに包まれていない場合は特にそうです。

最適な印刷性能を確保するためには、用紙の保管環境を適切に保つことが必要です。 最適な環境条件は、20 ～ 24° C (68 ～ 75° F)、相対湿度 45 ～ 55% です。 用紙の保管環境について検討する場合は、以下のガイドラインを参考にしてください。

- 用紙は室温かそれに近い温度で保管する必要があります。
- 空気は乾燥しすぎていたり多湿すぎたりしていてはなりません (用紙に吸湿性があるため)。
- いったん開封した用紙を最適に保管するためには、防湿性の包装材でしっかり再包装してください。 印刷環境が極端に悪い場合は、1 日に使用する分だけの用紙を開封して、用紙の水分含有量が必要以上に変化しないようにします。
- 封筒を正しく保管すれば、印刷品質の向上につながります。封筒は平らな状態で保管してください。封筒の中に空気が入って気泡ができると、印刷時にしわが寄ることがあります。

メディアのセット

このセクションでは、給紙トレイに標準サイズおよびカスタム サイズのメディアをセットする手順について説明します。

注意　紙詰まりを防ぐために、印刷またはコピー中に使用しているトレイに用紙を追加したり、トレイから用紙を取り除かないでください。MFP の破損を防ぐために、ラベルと封筒はトレイ 1 のみを使用して印刷してください。ラベル、封筒、OHP フィルムの場合は片面のみに印刷してください。

フラットベッドス キャナへの用紙のセット

印刷面を下にしてスキャナ ガラスの上に置いてください。

ADF への用紙のセット

印刷面を上にして ADF にセットしてください。

トレイ 1 への用紙のセット

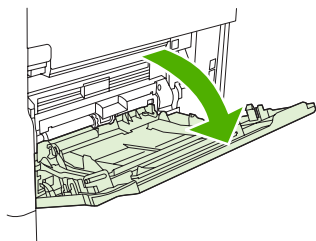
トレイ 1 には用紙 100 枚、封筒 10 枚までセットできます。使用可能なメディアの詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。

トレイ 1 に同じ種類のメディアを連続してセットし、通常は印刷ジョブとジョブの間にメディアをトレイ 1 から取り除かない場合は、次の手順に従ってください。次の手順を使用すれば、トレイ 1 から印刷する際の MFP の速度が向上します。

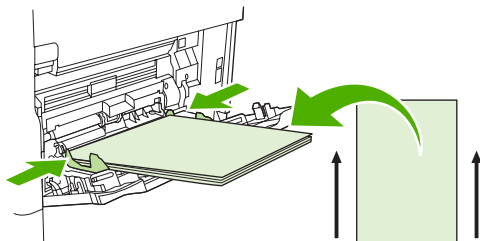
注意　紙詰まりを防ぐために、印刷中に使用しているトレイにメディアを追加したり、トレイからメディアを取り除かないでください。

1. コピー を選択します。
2. 用紙の選択 を選択します。
3. トレイ 1 任意サイズ を選択します。
4. 正しいメディアのサイズを選択します。

   注記　メディアのサイズに カスタム を選択した場合は、単位および X と Y の寸法も選択してください。

5. OK を選択します。
6. 再度 OK を選択します。
7. トレイ 1 を開きます。

8. サイズと仕上げオプションに応じて用紙をセットします。印刷済み用紙、レターヘッド、穴あき用紙のセットについては、印刷メディアの選択を参照してください。

注意 紙詰まりを防ぐために、ラベルの場合はシート 1 枚ずつ印刷してください。

9. メディア ガイドを調整して、メディアが曲がらない程度に軽く接触するようにします。

10. メディアがガイドのタブの下部に収まり、用紙レベル インジケータを越えていないことを確認します。

注記 長いメディアに印刷する場合は、トレイの延長部を止まるところまで引き出してください。

11. コピー開始 を選択します。

トレイ 2、3、4、5 への用紙のセット

トレイ 2、3、4、5 には標準メディアを 500 枚までセットできます。用紙の規格の詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。

トレイ内にマークがあり、*検出できる*標準用紙サイズを次に示します。

- A4
- レター
- リーガル
- エグゼクティブ
- B5 (JIS)
- A5

*検出できない*標準用紙サイズを次に示します。

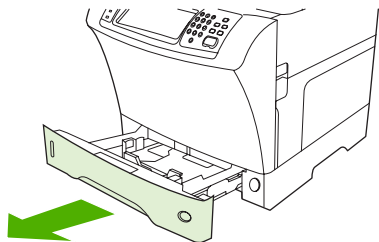
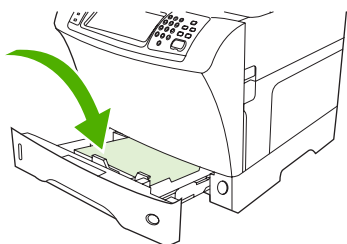
- 16K
- エグゼクティブ (JIS)
- 8.5 x 13 (216 x 330mm)。

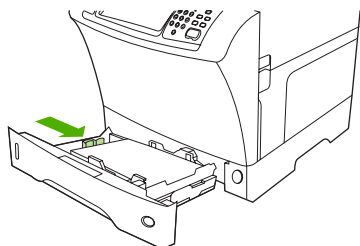
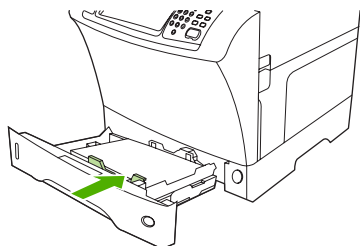
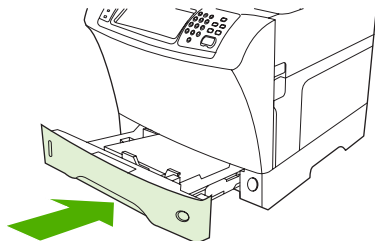
検出できないサイズの用紙をセットする場合は、コントロール パネルで手動でサイズを設定する必要があります。カスタムサイズのメディアのセットの詳細については、カスタム サイズ メディアのトレイ 2、3、4、5 へのセットを参照してください。

注意 紙詰まりを防ぐために、印刷中に使用しているトレイに用紙を追加したり、トレイから用紙を取り除かないでください。

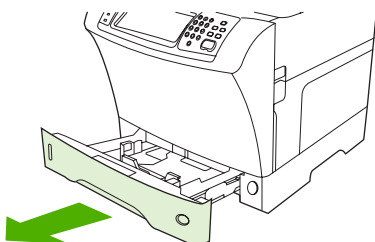
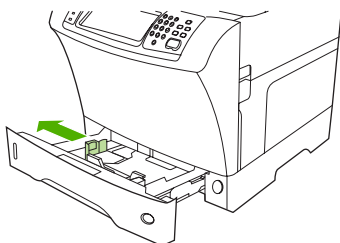
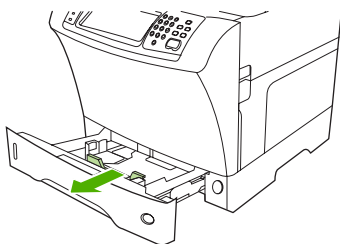
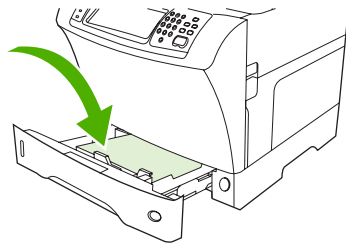
標準サイズ メディアのトレイ 2、3、4、5 へのセット

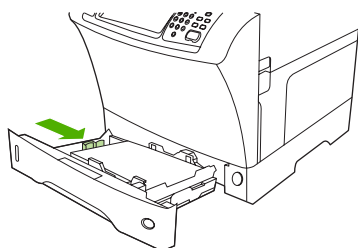
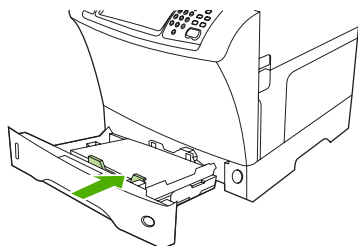
注記 トレイ 2、3、4、または 5 に封筒をセットしないでください。封筒に印刷する際はトレイ 1 を使用してください。

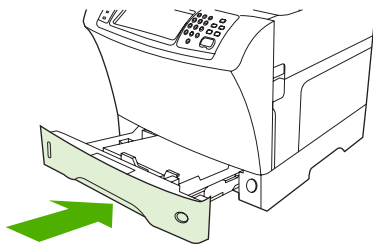
1. トレイを止まるところまで開きます。

2. メディアをトレイにセットします。

注記 印刷済み用紙、レターヘッド、穴あき用紙のセットについては、レターヘッド、穴あき用紙、または印刷済み用紙のセットを参照してください。

3. ガイドのタブを押してメディアに触れるまで移動し、メディアの長さガイドを調整します。

4. ガイドのタブを押してメディアに触れるまで移動し、メディアの幅ガイドを調整します。

5. トレイを閉じます。

注記　選択したサイズによっては、メディア ガイドを調整するようにというメッセージが表示されることがあります。コントロール パネルの指示に従ってください。

カスタム サイズ メディアのトレイ 2、3、4、5 へのセット

1. トレイを止まるところまで開きます。

2. 左側のメディア ガイドのタブを押して、ガイドを引き出します。

3. 前部のメディア ガイドのタブを押して、ガイドを引き出します。

4. メディアをトレイにセットします。

注記　印刷済み用紙、レターヘッド、穴あき用紙のセットについては、レターヘッド、穴あき用紙、または印刷済み用紙のセットを参照してください。

5. 左側のガイドのタブを押して、メディアに触れるまでスライドさせてガイドを調整します。

6. 前部のガイドのタブを押して、メディアに触れるまでスライドさせてガイドを調整します。

7. 連単位の用紙の場合はパッケージをご覧ください。幅 (X の寸法) と長さ (Y の寸法) を確認します。この値は後述の手順で必要になります。

8. トレイを閉じます。

9. コントロール パネルに表示されるサイズが カスタム の場合は、トレイのサイズが 任意カスタム に設定されます。印刷ジョブの寸法がトレイにセットしたメディアの寸法と異なる場合でも、トレイはカスタム サイズの印刷ジョブに適合します。トレイにセットしたカスタム サイズのメディアの正確な寸法を指定することもできます。正確な寸法を指定した場合は、寸法が カスタム ではなくサイズで表示されます。

   カスタム を選択します。計測単位 メニューが表示されます。

注記　メディア ガイドを調整するようにというメッセージが表示されることがあります。コントロール パネルの指示に従ってください。

10. ミリメートル または インチ を選択します。

11. 数字キーパッドを使用して、X の寸法 (短辺) を選択します。

12. OK を選択します。

13. 数字キーパッドを使用して、Y の寸法 (長辺) を選択します。

14. OK を選択します。コントロール パネルのディスプレイに一時的に 設定は保存済み と表示されます。次にトレイ サイズが表示されます。

15. 終了 を選択して設定を確定します。トレイの準備が整いました。

特殊なメディアのセット

封筒のセット

トレイ 1 またはオプションの封筒フィーダを使用して、封筒に印刷できます。トレイ 1 には標準またはカスタム サイズの封筒を 10 枚までセットできます。オプションの封筒フィーダには標準サイズの封筒のみ、75 枚までセットできます。

任意のサイズの封筒に印刷する場合は、プログラムでマージンが封筒の端から 15mm (0.6 インチ) 以上に設定されていることを確認してください。

印刷速度は封筒の構造によって異なります。封筒を大量に購入する前に、必ず数枚の封筒でテストしてください。封筒の規格については、印刷メディアの選択を参照してください。

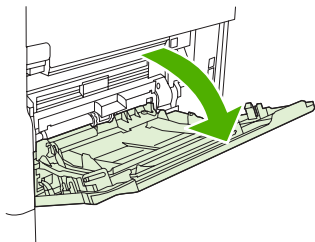
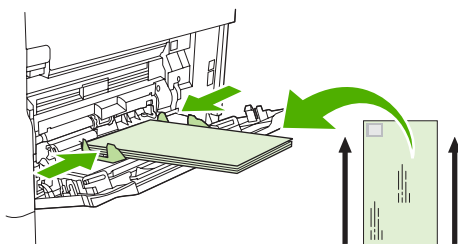
警告！　コーティング剤、露出した粘着剤、他の合成物を使用した封筒は使用しないでください。有毒煙霧が発生することがあります。

注意　留め金、スナップ、窓のある封筒、またはコーティング剤、露出した粘着剤、他の合成物を使用した封筒を使用すると、MFP が破損することがあります。紙詰まりや MFP の破損を防ぐために、封筒の両面に印刷しないでください。封筒をセットする前に、封筒が平らなこと、破れていたり封筒同士が貼り付いていないことを確認してください。感圧性接着剤を使用した封筒は使用しないでください。

注記　封筒の印刷は通常より時間がかかります。

トレイ 1 を使用してさまざまな種類の封筒に印刷できます。トレイには 10 枚まで封筒をセットできます。仕様については印刷メディアの選択を参照してください。

トレイ 1 への封筒のセット

1. トレイ 1 を開きます。ただし、延長部は引き出さないでください。ほとんどの封筒の場合、延長部は必要ありません。ただし、大型の封筒の場合は延長部が必要になることがあります。

2. 封筒の表を上にして切手を張る側を MFP 側に向けて、トレイ 1 の中央に封筒を 10 枚までセットします。封筒を押し込まないようにして MFP 内に滑らせます。

3. ガイドを調整して、封筒が曲がらない程度に軽く接触するようにします。封筒がガイドのタブの下部に納まり、最大高さインジケータを越えないことを確認します。

ラベルのセット

レーザー プリンタ用のラベル以外は使用しないでください。ラベルが正しい規格を満たしていることを確認してください。ラベルを参照してください。

次のガイドラインに従って、ラベルに印刷します。

- トレイ 1 の場合は 50 枚までのラベル シート、他のトレイの場合は 100 枚までのラベル シートに印刷できます。
- 表を上にして上部の短辺を MFP 側に向けて、トレイ 1 にラベルをセットします。他のトレイの場合は、表を下にして上端を右側にしてメディアをセットします。

次のような方法でラベルをセットしたり、ラベルに印刷しないでください。

注意　MFP が破損することがあります。

- ラベルは通常の用紙より重いため、トレイの最大容量までラベルをセットすることは避けてください。
- 裏紙からはがれたラベル、しわのあるラベル、破れたラベルは絶対に使用しないでください。
- 裏紙が露出したラベルは使用しないでください(ラベルが裏紙全体をおおい、露出した部分がないものを使用します)。
- MFP に 2 回以上同じラベル シートを給紙しないでください。粘着面は MFP に 1 回だけ給紙されることを前提としています。

- ラベルの両面に印刷しないでください。
- ラベルをはがしたシートには印刷しないでください。

OHP フィルムのセット

レーザー プリンタ用の OHP フィルム以外は使用しないでください。OHP フィルムの規格については、OHP フィルムを参照してください。

- コントロール パネルでスクロールして 管理 を選択し、印刷品質 を選択します。フューザ モード - OHP フィルム - 低 2 の順に選択します。

注意　フューザ モードを 低 2 に設定しない場合、MFP とフューザが破損するおそれがあります。

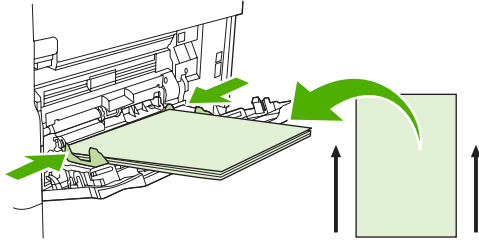
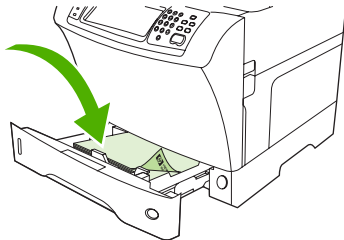
- プリンタ ドライバで、用紙タイプを **[[OHP フィルム]]** に設定します。
- コントロール パネルで、コピー - 用紙の選択 の順に選択し、目的のトレイを選択して OHP フィルム を選択します。
- 表を上にして上端を MFP 側に向けて、OHP フィルムをトレイ 1 にセットします。トレイ 1 には OHP フィルムを 50 枚までセットできます。
- トレイ 2 とオプションのトレイの場合は、OHP フィルム 100 枚まで印刷できます。ただし、一度に 51 枚以上セットすることはお勧めできません。
- OHP フィルムは通常の用紙より重いため、トレイの最大容量までセットすることは避けてください。
- トレイ 2 またはオプションのトレイに、印刷面を下に向け、上部の短辺を右側に向けて OHP フィルムをセットします。
- OHP フィルムが加熱したり、互いに貼り付くことを避けるため、次のフィルムを印刷する前に排紙ビンからフィルムを取り除いてください。
- OHP フィルムの片面のみに印刷できます。
- OHP フィルムを MFP から取り除いたら、平らな面に置いて冷ましてください。
- 一度に複数の OHP フィルムを給紙する場合は、フィルムに風を当ててください。
- 同じ OHP フィルムを 2 回以上 MFP に給紙しないでください。

レターヘッド、穴あき用紙、または印刷済み用紙のセット

レターヘッド、穴あき用紙、または印刷済み用紙に印刷する場合は、用紙を正しい向きにセットすることが重要です。通常は、このセクションのガイドラインに従って片面のみに印刷してください。両面印刷のガイドラインについては、両面印刷を参照してください。

注記　片面印刷でも両面印刷でも、レターヘッドまたは印刷済み用紙をすべての印刷ジョブで常に同じ方法でセットしたい場合は、プリンタ ドライバの **[[Alternative Letterhead Mode (代替レターヘッド モード)]]** 設定を使用します。両面印刷の場合は、それに応じて用紙をセットします。このオプションを選択すると、両面印刷に必要な時間がかかります。このセクションの説明は [Alternative Letterhead Mode (代替レターヘッド モード)] を使用しないことを前提としています。

注記　簀の目紙やボンド紙など特殊な仕上げを施した用紙の詳細については、特殊な仕上げを施した用紙のセットを参照してください。

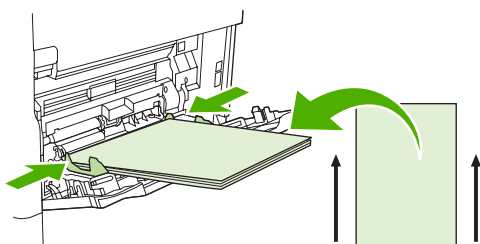
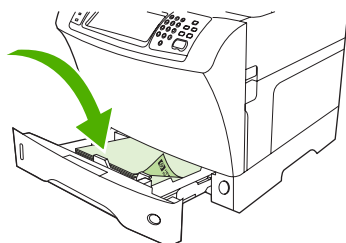
トレイ 1 の場合は、表を上にして上部の短辺を MFP 側に向けて用紙をセットします。

トレイ 2 とオプションの 500 枚給紙トレイの場合は、表を下にして上部の短辺を右側に向けて用紙をセットします。

特殊な仕上げを施した用紙のセット

簀の目紙、ボンド紙、しわ付き仕上げ紙など、特殊な仕上げを施した用紙もあります。こうした用紙の場合、トナーの付着や印刷品質に問題が発生することがあります。特殊な仕上げの用紙に印刷する際には、次のガイドラインに従ってください。

- コントロール パネルでスクロールして、管理 - 印刷品質 - フューザ モード の順に選択します。使用している用紙のタイプを選択します (ボンド紙 など)。フューザ モードを 高 1 または 高 2 に設定します。高 2 の場合は、表面に変化のある仕上げを施した用紙のトナーの付着力が向上し、最適な印刷結果を得られます。コントロール パネルのホーム画面で、コピー - 用紙の選択 の順に選択し、目的のトレイを選択して、使用する用紙のタイプ (ボンド紙 など) を選択して、適切なフューザ モードを有効にします。

注記　高 1 または 高 2 を選択すると、印刷に時間がかかることがあります。高 1 および 高 2 設定は、トナーの付着に問題がある場合にだけ使用してください。高 1 および 高 2 設定を選択すると、カールや紙詰まりの問題が発生しやすくなることがあります。

- 現在は、トナーの付着力と印刷品質を向上させるために片面のみにコーティングを施した用紙もあります。こうした利点を活用するために、正しく用紙をセットしてください。透かしが正しく読み取れる面が表、または印刷面です。

トレイ 1 の場合は、表を上にして上部の短辺を MFP 側に向けて用紙をセットします。

トレイ 2 とオプションの 500 枚給紙トレイの場合は、表を下にして上部の短辺を右側に向けて用紙をセットします。

小さい用紙、カスタム サイズの用紙、または厚手の用紙のセット

カスタム サイズの用紙はトレイ 1、トレイ 2、またはオプションの 500 枚給紙トレイを使用して印刷できます。

注記　小さいサイズ、カスタム サイズ、または厚手の用紙に印刷する場合は、時間がかかることがあります。簀の目紙やボンド紙など特殊な仕上げを施した用紙の詳細については、特殊な仕上げを施した用紙のセットを参照してください。

重量とサイズ

カスタムまたは厚手の用紙に印刷する際には、次の表の仕様を参照してください。

トレイ	最小サイズ	最大サイズ	重量
トレイ 1	76x127mm (3x5 インチ)	216x356mm (8.5x14 インチ)	60 ～ 200g/m² (16 ～ 53lb)
トレイ 2、オプションの 500 枚給紙トレイ	148x210mm (5.8x8.2 インチ)	216x356mm (8.5x14 インチ)	60 ～ 120g/m² (16 ～ 32lb)

厚手の用紙のガイドライン

トナーが用紙にこすれて落ちることを防ぐために、一部の厚手の用紙の場合は高いフューザ モードで印刷する必要があります。コントロール パネルでスクロールして、管理 を選択し、印刷品質 - フューザ モード の順に選択します。使用する用紙のタイプを選択します。フューザ モードを 高 1 または 高 2 に設定します。これらのモードを使用すればトナーが用紙にこすれて落ちることを防止できますが、印刷に時間がかかったり、カールなどの問題が発生することがあります。

カスタム サイズの用紙のガイドライン

カスタム サイズの用紙に印刷する場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 用紙の短辺から給紙します。
- プログラムで、ページ マージンを用紙の端から 4.23mm (0.17 インチ) 以上に設定します。
- プログラム、プリンタ ドライバ、または MFP のコントロール パネルでカスタム サイズを設定します。

小さい用紙または細長い用紙の追加のガイドライン

小さい用紙や細長い用紙に印刷する場合は、さらに次のガイドラインに従ってください。

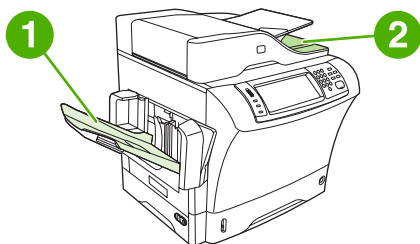
- 幅 76mm (3 インチ)、または長さ 127mm (5 インチ) より小さい用紙に印刷することはできません。
- 大量の小さい用紙や細長い用紙に印刷することはお勧めできません。プリント カートリッジ コンポーネントが過度に磨耗し、印刷品質が低下したり、MFP 内にトナーがもれる可能性があります。

印刷ジョブの制御

ジョブがプリンタに送信されると、プリンタ内にメディアを引き込むためにどの用紙トレイを使用するかをプリンタ ドライバが制御します。デフォルトでは自動的にトレイが選択されますが、ユーザーが **[ソース]**、**[タイプ]**、**[サイズ]** の 3 つの設定を指定して特定のトレイを選択することもできます。これらの設定は **[アプリケーション設定]** ダイアログ ボックス、**[プリント]** ダイアログ ボックス、またはプリンタ ドライバで指定します。

設定	説明
ソース	ユーザーが指定したトレイから用紙を引き出すように指定します。このトレイにどのようなタイプやサイズのメディアをセットした場合でも、このトレイから印刷されます。印刷を開始するには、印刷ジョブに対応する正しいタイプまたはサイズの印刷メディアを、選択したトレイにセットしてください。トレイにメディアをセットすると、印刷が開始します。印刷が開始しない場合は、次の項目を確認してください。 ● トレイの設定が印刷ジョブのサイズまたはタイプに一致している。 ● OK を押して、別のトレイから印刷してみる。
タイプまたはサイズ	選択したタイプまたはサイズのメディアをセットした最初のトレイから用紙を引き出すかメディアを印刷するように指定します。*ラベルや OHP フィルムなどの特殊な印刷メディアの場合は、必ずタイプ別に印刷してください。*

排紙ビンの選択

MFP には 2 つの排紙ビン (ADF 排紙ビンと、排紙デバイスの標準排紙ビン) があります。

ADF を使用して文書をスキャンまたはコピーする場合は、原稿が自動的に ADF の排紙ビンに送られます。コピーの場合は、標準排紙ビン、ステイプラ/スタッカの排紙ビン、または 3 ビン メールボックスに送られます。

コンピュータから MFP に送信される文書は標準排紙ビン、ステイプラ/スタッカの排紙ビン、または 3 ビン メールボックスに送られます。

排紙先の選択

プログラムまたはドライバを使用して排紙先 (ビン) を選択することをお勧めします。選択する場所と方法は、ご使用のプログラムまたはドライバによって異なります。プログラムまたはドライバで排紙先を選択できない場合は、MFP のコントロール パネルでデフォルトの排紙先を設定してください。

1. スクロールして 管理 を選択します。
2. デフォルト ジョブ オプション を選択します。
3. 排紙ビン を選択します。
4. 希望する排紙ビンを選択します。

3 ビン メールボックスの排紙ビン

3 ビン メールボックスを使用する場合は、3 つの排紙ビンを使用できます。3 つのビンを個別のメールボックスとして使用するように設定したり、組み合わせて 1 つの排紙ビンとして使用できます。このオプションは デバイス動作 メニューの MBM-3 設定 サブメニューで設定します。このメニューは 3 ビン メールボックスを取り付けていない場合は使用できません。

上部の 2 つのビンには最大 100 枚までの用紙を置くことができます。ビンが満杯になると、センサによって MFP が停止されます。ビンを空にするかメディアを減らせば、MFP が再び動作します。

下部のビンには最大 500 枚までの用紙を置くことができます。

コピー ジョブの場合の表面排紙または裏面排紙の選択

MFP では表面排紙または裏面排紙が可能です。デフォルトの設定では裏面排紙です。複数のページがある文書の場合は、正しいページ順序で送られます。裏面排紙がもっとも高速な紙送り方法です。

厚いメディアに印刷する場合など、メディアをできるだけ曲げない用紙経路を選択する必要がある場合は、表面排紙を選択してください。複数のページがある文書の場合は、逆順でページが送られます。

プリンタ ドライバの **[排紙]** タブで、表面排紙または裏面排紙を選択できます。対応プリンタ ドライバを参照してください。

注記　**[上向き (最もストレートな経路)]** を選択した場合、ステイプラ/スタッカで用紙を留めることはできません。

5 プリンタ機能の使用

ステイプラの使用

オプションのステイプラ/スタッカを使用して、75g/m^2 (20lb) の用紙を 30 枚まで留めることができます。ステイプラで留めることのできるサイズは、A4、レター、リーガル、エグゼクティブ (JIS) および 8.5x13 です。500 枚までの用紙をセットできます。

- 60 ～ 120g/m^2 (16 ～ 32lb) の重さの用紙に対応します。厚手の用紙の場合は、30 枚未満しか留められないこともあります。
- ジョブに 1 枚の用紙しかない場合または 31 枚以上ある場合は、ビンに排紙されますが、ステイプラで留めることはできません。
- ステイプラは用紙のみに対応します。封筒、OHP フィルム、ラベルなどの他の印刷メディアをステイプラで留めないでください。

ステイプラで用紙を留めるには、ソフトウェアでステイプル留めを選択します。通常はプログラムまたはプリンタ ドライバでステイプラを選択できますが、プリンタ ドライバでのみ選択できるオプションもあります。選択する場所と方法は、ご使用のプログラムまたはプリンタ ドライバによって異なります。

プログラムまたはプリンタ ドライバでステイプラを選択できない場合は、MFP のコントロール パネルでステイプラを選択してください。

ステイプルがなくなっても、ステイプラで印刷ジョブを受け入れることができますが、用紙を留めることはできません。ステイプル カートリッジが空になった場合は、ステイプル オプションが無効になるようにプリンタ ドライバを設定できます。

オプションのステイプラを認識するためのプリンタ ドライバの設定

オプションのステイプラ/スタッカを認識するように、プリンタ ドライバを設定する必要があります。この設定を行う必要があるのは 1 回だけです。アクセサリを認識するようにドライバを設定する手順は、ご使用のオペレーティング システムによって異なります。詳細については、対応プリンタ ドライバを参照してください。「To change the configuration settings (設定を変更するには)」という列を見つけて、ご使用のオペレーティング システムに応じた手順に従ってください。HP 500-Sheet Stapler/Stacker をオプションの排紙先またはアクセサリとして選択します。

メディアのステイプル留め

ソフトウェアでステイプラを選択する (Windows)

1. **[[ファイル]]** メニューで **[[印刷]]** をクリックし、**[[プロパティ]]** をクリックします。
2. **[[排紙]]** タブで **[[ステイプル]]** の下のドロップダウン リストをクリックして、**[[斜めに 1 箇所]]** をクリックします。

ソフトウェアでステイプラを選択する (Mac)

1. **[[ファイル]]** メニューで **[[印刷]]** をクリックし、印刷オプションから **[[仕上げ]]** を選択します。
2. **[[Output Destination (排紙先)]]** ポップアップ メニューで **[[ステイプラ]]** オプションを選択します。
3. **[[仕上げオプション]]** ポップアップ メニューで、使用するステイプル留めのスタイルを選択します。

コントロール パネルで印刷したジョブのステイプラを選択する

1. スクロールして 管理 を選択します。
2. デフォルト ジョブ オプション を選択します。
3. デフォルト コピー オプション を選択します。
4. ステイプル/丁合い を選択します。
5. ステイプル を選択します。
6. 使用するステイプル オプションを選択します。

注記　プリンタのコントロール パネルでステイプラを選択すると、デフォルト設定が ステイプル に変化します。すべての印刷ジョブをステイプラで留めることができます。ただし、プリンタ ドライバで変更した設定がコントロール パネルで変更した設定より優先されます。

プリンタ ドライバで印刷したジョブのステイプラを選択する (Windows)

注記　次の手順を行うと、デフォルト設定が変更されてすべての印刷ジョブがステイプラ留めされます。

1. プリンタ ドライバを開きます。プリンタ ドライバを開くを参照してください。「To change the print job default settings (印刷ジョブのデフォルト設定を変更するには)」という列を見つけます。
2. **[[排紙]]** タブで **[[ステイプル]]** の下のドロップダウン リストをクリックして、**[[斜めに 1 箇所]]** をクリックします。

注記　適切な設定のクイック セットを作成できます。

プリンタ ドライバで印刷したジョブのステイプラを選択する (Mac)

プリンタ ドライバで新しいプリセットを作成して、ステイプラを選択します。

1. プリンタ ドライバを開きます。プリンタ ドライバを開くを参照してください。「To change the print job default settings (印刷ジョブのデフォルト設定を変更するには)」という列を見つけて、ご使用のオペレーティング システムに応じた手順に従います。
2. 新しいプリセットを作成します。

コントロール パネルですべてのコピー ジョブにステイプラを設定する

注記　次の手順を行うと、すべてのコピー ジョブのデフォルト設定が変更されます。

1. スクロールして 管理 を選択します。
2. デフォルト ジョブ オプション を選択します。
3. デフォルト コピー オプション を選択します。
4. ステイプル/丁合い を選択します。
5. ステイプル を選択します。
6. 使用するステイプル オプションを選択します。

コントロール パネルで 1 つのコピー ジョブにステイプラを設定する

注記 次の手順で、現在のコピー ジョブのみにステイプル留めオプションを設定できます。

1. スクロールして コピー を選択します。
2. ステイプル/丁合い を選択します。
3. 使用するステイプル オプションを選択します。

ステイプル カートリッジが空になった場合のプリンタの停止または続行を設定する

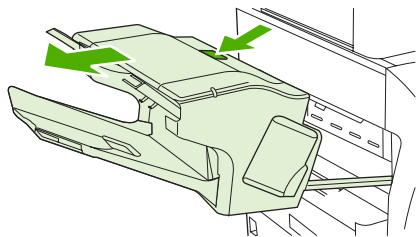
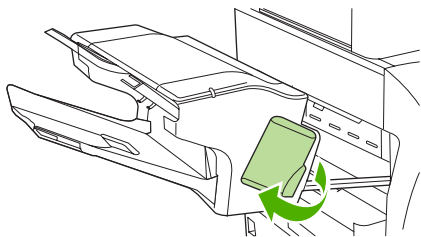
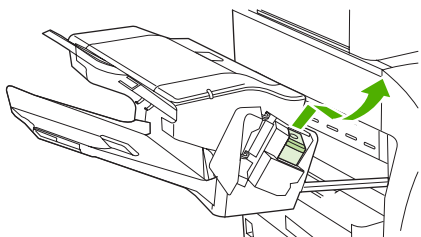
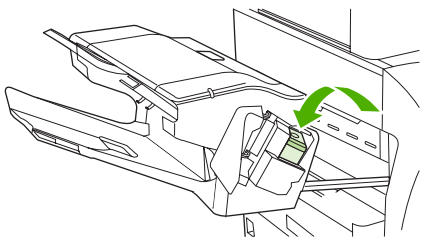
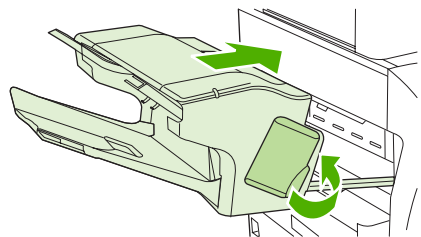
ステイプル カートリッジが空になった場合に、印刷を停止するか、印刷を続行するがジョブのステイプル留めを行わないかを指定できます。

1. スクロールして 管理 を選択します。
2. スクロールして デバイス動作 を選択します。
3. スクロールして ステイプラ スタッカ を選択します。
4. ステイプルが空になりました を選択します。
5. 使用するオプションを選択します。
   - ステイプル カートリッジを交換するまですべての印刷を停止するには、停止 を選択します。
   - ステイプル留めを行わずに印刷ジョブを続行するには、継続 を選択します。

ステイプルのセット

プリンタのコントロール パネル ディスプレイに ステイプラの針が残りわずかです というメッセージ (使用可能なステイプルの残量が 20 未満)、または ステイプル カートリッジを交換してください というメッセージ (ステイプラが空、または残ったステイプラが使用不可能) が表示された場合は、新しいステイプルをセットします。

ステイプル カートリッジが空になった場合に、印刷を停止するか、ステイプル留めを行わずに印刷を続行するか指定できます。

1. ステイプラ/スタッカ上部のリリース ボタンを押したままにします。ステイプラ/スタッカを MFP から引き出します。

2. ステイプル カートリッジのカバーを開きます。

3. ステイプル カートリッジの緑のハンドルをつかんで、古いステイプル カートリッジをステイプラ ユニットから引き出します。

4. 新しいステイプル カートリッジをステイプラ ユニットに挿入して、カチッと音がしてユニットがはまるまで緑のハンドルを押し下げます。

5. ステイプル カートリッジのカバーを閉じて、ステイプラ/スタッカを MFP 内にスライドさせます。

ジョブ保存機能の使用

次のようなジョブ保存機能を使用できます。

- **試し刷り後のジョブ保留**。すばやく簡単にジョブを 1 部試し刷りし、その後で必要な部数を印刷できます。
- **プライベート ジョブ**。プリンタにプライベート ジョブを送信する場合は、コントロール パネルで必要な暗証番号 (PIN) を入力しなければジョブは印刷されません。
- **クイック コピー ジョブ**。ジョブを必要な部数だけ印刷して、ジョブのコピーをプリンタのハード ディスクに保存できます。ジョブを保存すれば、後で追加の部数を印刷できます。
- **保存ジョブ**。人員記録ファイル、タイム シート、カレンダーなどのジョブをプリンタに保存すれば、他の人がいつでも印刷できます。保存ジョブを PIN で保護することもできます。

コンピュータからジョブ保存機能を使用するには、このセクションの手順に従ってください。作成するジョブ タイプに該当するセクションを参照してください。

注意　プリンタの電源を切ると、クイック コピー、試し刷り後の保留ジョブ、およびプライベート ジョブのすべてが削除されます。

ジョブ保存機能にアクセスする

Windows の場合

1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. **[プロパティ]** をクリックし、**[ジョブ保存]** タブをクリックします。
3. 使用するジョブ保存モードを選択します。

Macintosh の場合

新しいドライバの場合、 **[印刷]** ダイアログ ボックスのプルダウン メニューで **[ジョブ保存]** を選択します。 古いドライバの場合、**[プリンタ固有のオプション]** を選択します。

試し刷り後の保留機能の使用

試し刷り後の保留機能を使用して、すばやく簡単にジョブを 1 部試し刷りして、その後で必要な部数を印刷できます。

ジョブを永久に保存し、空き容量が必要になった場合でも削除されないようにするには、ドライバで **[[保存ジョブ]]** オプションを選択します。

試し刷り後に保留ジョブの作成

注意　新しい試し刷り後に保留ジョブを保存する容量がデバイスに足りない場合、一番古い試し刷り後に保留ジョブから削除されます。 ジョブを永久的に保存して、容量が足りなくなったときに削除されないようにするには、ドライバで **[試し刷り後に保留]** オプションではなく **[保存ジョブ]** オプションを選択します。

ドライバの **[試し刷り後に保留]** オプションを選択し、ユーザー名とジョブ名を入力します。

試し刷りとしてジョブが 1 部印刷されます。 その後の操作については、「[管理] メニューの操作」を参照してください。

試し刷り後に保留ジョブの残りの部数を印刷する

ハード ディスクに保存されているジョブの残りの部数を印刷するには、デバイスのコントロール パネルで以下の手順で操作します。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。
2. 取得 タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷するジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 印刷する部数を変更するには、部数 フィールドにタッチします。 保存ジョブの取得 (◈) にタッチすると、文書が印刷されます。

試し刷り後に保留ジョブの削除

試し刷り後に保留ジョブを送信すると、古い試し刷り後に保留ジョブは自動的に削除されます。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。
2. 取得 タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 削除するジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 削除 にタッチします。
6. はい にタッチします。

プライベート ジョブ機能の使用

プライベート印刷機能を使用して、ジョブを解放するまで印刷できないように指定できます。まず、プリンタ ドライバで PIN を入力して 4 桁の PIN を設定します。PIN は印刷ジョブと共にプリンタに送信されます。印刷ジョブをプリンタに送信した後は、PIN を使用しなければジョブを印刷できません。

プライベート ジョブの作成

ジョブをプライベートに指定するには、ドライバで プライベート ジョブ オプションを選択し、ユーザー名、ジョブ名、4 桁の PIN を入力します。 デバイスのコントロール パネルでこの PIN を入力するまで、ジョブは印刷されません。

プライベート ジョブの印刷

ジョブをデバイスに送信してから、コントロール パネルでプライベート ジョブを印刷できます。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。
2. 取得 タブにタッチします。
3. プライベート ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷するプライベート ジョブまでスクロールしてタッチします。

注記 プライベート ジョブの横には 🔒 [ロック記号] が表示されます。

5. PIN (個人識別番号) フィールドにタッチします。

6. 数字キーパッドで PIN を入力し、**[OK]** にタッチします。

7. 印刷する部数を変更するには、部数 フィールドにタッチします。

8. 保存ジョブの取得 () にタッチすると、文書が印刷されます。

プライベート ジョブの削除

プライベート ジョブの印刷が完了すると、デバイスのハード ディスクから自動的に削除されます。プライベート ジョブジョブを印刷しないで削除するには、次の手順で操作します。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。

2. 取得 タブにタッチします。

3. プライベート ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。

4. 削除するプライベート ジョブまでスクロールしてタッチします。

注記 プライベート ジョブの横には [ロック記号] が表示されます。

5. PIN (個人識別番号) フィールドにタッチします。

6. 数字キーパッドで PIN を入力し、OK にタッチします。

7. 削除 にタッチします。

クイック コピー機能の使用

クイック コピー機能を使用して、ジョブを必要な部数だけ印刷して、コピーをプリンタのハード ディスクに保存できます。後でジョブの追加の部数を印刷することができます。この機能はプリンタ ドライバで無効にできます。

デフォルトでは、異なるクイック コピー ジョブを 32 までプリンタに保存できます。コントロール パネルでデフォルト値を変更できます。[管理] メニューの操作を参照してください。

クイック コピー ジョブの作成

注意 新しいクイック コピー ジョブを保存する容量がデバイスに足りない場合、一番古いクイック コピー ジョブから削除されます。 ジョブを永久的に保存して、容量が足りなくなったときに削除されないようにするには、ドライバで **[クイック コピー]** オプションではなく **[ジョブ保存]** オプションを選択します。

ドライバの **[クイック コピー]** オプションを選択し、ユーザー名とジョブ名を入力します。

印刷するジョブをデバイスに送信すると、ドライバに設定した部数が印刷されます。 デバイスのコントロール パネルで多数のクイック コピーを印刷する方法については、「クイック コピー ジョブの部数を追加して印刷する」を参照してください。

クイック コピー ジョブの部数を追加して印刷する

ここでは、デバイスのハード ディスクに保存されているジョブをコントロール パネルで部数を追加して印刷する方法について説明します。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。
2. 取得 タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷するジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 印刷する部数を変更するには、部数 フィールドにタッチします。
6. 保存ジョブの取得 (◈) にタッチすると、文書が印刷されます。

クイック コピー ジョブの削除

不要なクイック コピー ジョブはデバイスのコントロール パネルで削除します。 新しいクイック コピー ジョブを保存する容量がデバイスに足りない場合、一番古いクイック コピー ジョブから自動的に削除されます。

注記　保存されたクイック コピー ジョブは、コントロール パネルまたは HP Web Jetadmin で削除できます。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。
2. 取得タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 削除するジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 削除 にタッチします。
6. はい にタッチします。

保存ジョブ機能の使用

印刷ジョブを印刷しないで、プリンタのハード ディスクに保存できます。プリンタのコントロール パネルからいつでもこのジョブを印刷できます。たとえば、他のユーザーが必要なときに印刷できるように、人員記録ファイル、カレンダー、タイム シート、または会計ファイルをダウンロードできます。

後で印刷できるように、プリンタの コントロール パネルで保存コピー ジョブを作成することもできます。

コピー ジョブの保存

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面にセットするか、上向きにして ADF にセットします。
2. [ホーム] 画面の ジョブ保存 にタッチします。
3. 作成 タブにタッチします。

4. 次のいずれかの方法で、保存したジョブ名を指定します。
   - リストから既存フォルダを選択します。 新規ジョブ にタッチし、ジョブ名を入力します。
   - 画面の右側にある既存の フォルダ名: または ジョブ名: の下にあるボックスにタッチし、テキストを編集します。
5. プライベート保存ジョブには名前の横にロック アイコンが表示されます。このジョブの取得には PIN を指定する必要があります。 ジョブをプライベートにするには、印刷の PIN を選択し、ジョブの PIN コードを入力します。 OK にタッチします。
6. 他のジョブ保存オプションの表示と変更を行うには、その他のオプション にタッチします。
7. すべてのオプションを設定し終わったら、画面の左上隅にある 保存ジョブの作成 (◈) にタッチし、文書のスキャンとジョブの保存を行います。 ジョブは削除するまでデバイスに保存されるため、後で必要に応じて追加部数を印刷できます。

   ジョブの印刷方法については、「保存したジョブの印刷」を参照してください。

印刷ジョブの保存

ドライバの **[保存ジョブ]** オプションを選択し、ユーザー名とジョブ名を入力します。 デバイスのコントロール パネルで印刷を指示するまでジョブは印刷されません。 「保存したジョブの印刷」を参照してください。

保存したジョブの印刷

コントロール パネルで、デバイスのハード ディスクに保存されているジョブを印刷できます。

1. [ホーム] 画面の ジョブ保存 をタッチします。
2. 取得 タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷する保存ジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 保存ジョブの取得 (◈) にタッチすると、文書が印刷されます。
6. 印刷する部数を変更するには、部数 フィールドにタッチします。
7. 保存ジョブの取得 (◈) にタッチすると、文書が印刷されます。

横に 🔒 (ロック記号) が表示されているファイルを印刷するには、PIN が必要です。 「プライベートジョブの印刷」を参照してください。

保存ジョブの削除

デバイスのハード ディスクに保存したジョブは、コントロール パネルで削除できます。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。
2. 取得 タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 削除する保存ジョブまでスクロールしてタッチします。

5. 削除 にタッチします。

6. はい にタッチします。

横に (ロック記号) が表示されているファイルを削除するには、PIN が必要です。 「プライベートジョブの印刷」を参照してください。

6 印刷

Windows プリンタ ドライバの機能の使用

ソフトウェア プログラムから印刷するとき、製品機能の多くをプリンタ ドライバから利用できます。 プリンタ ドライバで利用できるすべての機能については、プリンタ ドライバのヘルプを参照してください。 このセクションでは、次の機能について説明します。

- クイック設定の作成および使用
- 透かしの使用
- 文書サイズの変更
- プリンタ ドライバからのユーザー定義用紙サイズの設定
- 別の用紙および印刷表紙の使用
- 最初のページの白紙印刷
- 1 枚の用紙への複数ページの印刷
- 両面印刷
- [サービス] タブの使用

注記　通常、プリンタ ドライバおよびソフトウェア プログラムでの設定は、コントロール パネルの設定より優先されます。 ソフトウェア プログラムの設定は、一般に、プリンタ ドライバの設定より優先されます。

クイック設定の作成および使用

クイック設定を使用して現在のドライバの設定を保存すると、同じ設定を再利用できます。 クイック設定は、ほとんどのプリンタ ドライバのタブで利用可能です。 最高 25 個のプリント タスクのクイック設定を保存できます。

クイック設定の作成

1. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
2. 使用する印刷設定を選択します。
3. **[プリント タスクのクイック設定]** ボックスに、クイック設定に付ける名前を入力します。
4. **[保存]** をクリックします。

クイック設定の使用

1. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
2. 使用するクイック設定を **[プリントタスクのクイック設定]** ドロップダウン リストから選択します。
3. **[OK]** をクリックします。

注記　プリンタ ドライバのデフォルト設定を使用するには、**[プリントタスクのクイック設定]** ドロップダウン リストから **[印刷のデフォルト設定]** を選択します。

透かしの使用

透かしとは、文書の各ページの背景に「社外秘」などのように印刷される情報です。

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[効果]** タブで、**[透かし印刷]** ドロップダウン リストをクリックします。
4. 使用する透かしをクリックします。 新規の透かしを作成するには、**[編集]** をクリックします。
5. 透かしを文書の最初のページにのみ表示する場合は、**[最初のページのみ]** をクリックします。
6. **[OK]** をクリックします。

透かしを削除するには、**[透かし印刷]** ドロップダウン リストで **[(なし)]** をクリックします。

文書サイズの変更

文書のサイズを変更するオプションでは、元のサイズに対するパーセンテージを指定して、文書を縮小または拡大します。 印刷サイズの変更にかかわらず、異なるサイズの用紙に文書を印刷するように選択することもできます。

文書サイズの縮小または拡大

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[効果]** タブで、**[% (元のサイズに対する比率)]** の隣に文書を縮小または拡大するパーセンテージを入力します。

   スクロール バーを操作してパーセンテージを調整することもできます。
4. **[OK]** をクリックします。

異なるサイズの用紙への文書の印刷

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[効果]** タブで **[文書を印刷する用紙]** をクリックします。
4. 印刷に使用する用紙サイズを選択します。
5. 文書のサイズを変更せずに、用紙サイズに収まるように印刷するには、**[用紙に合わせて調節]** オプションの*選択を解除*します。
6. **[OK]** をクリックします。

プリンタ ドライバからのユーザー定義用紙サイズの設定

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[用紙]** タブまたは **[用紙/品質]** タブで、**[ユーザー設定]** をクリックします。

4. **[ユーザー定義用紙サイズ]** ウィンドウで、ユーザー定義用紙サイズの名前を入力します。
5. 用紙サイズの長さと幅を入力します。 入力したサイズが小さすぎたり大きすぎたりする場合は、使用可能な最小または最大サイズに自動的に調整されます。
6. 必要に応じて、単位を変更するボタンをクリックし、ミリメートルまたはインチを選択します。
7. **[保存]** をクリックします。
8. **[閉じる]** をクリックします。 定義した用紙サイズは、保存した名前で用紙サイズのリストに表示されます。

別の用紙および印刷表紙の使用

印刷ジョブで最初のページのみを他のページとは異なる用紙に印刷するには、次の手順に従います。

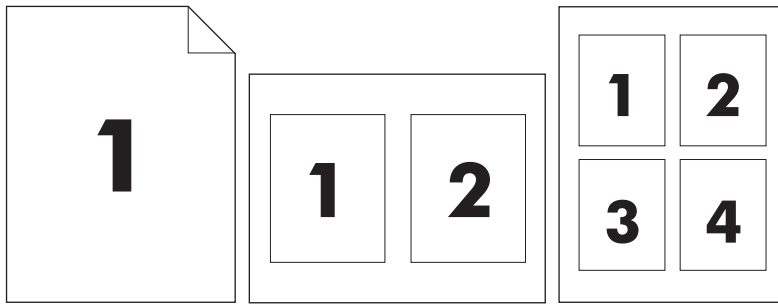
1. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
2. **[用紙]** または **[用紙/品質]** タブで、最初のページの印刷ジョブに適した用紙を選択します。
3. **[別の用紙/表紙を使用]** をクリックします。
4. リスト ボックスで、別の用紙に印刷するページまたは表紙をクリックします。
5. 表紙または裏表紙を印刷する場合は、**[白紙または印刷済み表紙を追加]** も選択します。
6. **[ソース]** および **[タイプ]** リスト ボックスで、プリント ジョブの他のページ向けの適切な用紙タイプまたはソースを選択します。

注記　1 つの印刷ジョブのすべてのページに対して同じ用紙サイズを選択する必要があります。

最初のページの白紙印刷

1. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
2. **[用紙]** または **[用紙/品質]** タブで、**[別の用紙/表紙を使用]** をクリックします。
3. リスト ボックスで、**表紙** をクリックします。
4. **[白紙または印刷済み表紙を追加]** をクリックします。

1 枚の用紙への複数ページの印刷

1 枚の用紙に複数のページを印刷できます。

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[レイアウト]** タブをクリックします。
4. **[文書オプション]** のセクションで、1 枚の用紙に印刷するページ数 (1、2、4、6、9、または 16) を選択します。
5. ページ数が 1 より大きい場合は、必要に応じて **[ページ境界線]** および **[ページの順序]** オプションを選択します。
   - 印刷の向きを変更する必要がある場合は、**[仕上げ]** タブをクリックして、**[縦]** または **[横]** をクリックします。
6. **[OK]** をクリックします。 これで、選択したページ数を 1 枚の用紙に印刷するように設定されました。

両面印刷

両面印刷を使用できる場合は、自動的に用紙の両面に印刷することができます。両面印刷を使用できない場合は、用紙を 2 回給紙することで手動で両面に印刷できます。

注記　プリンタ ドライバで **[両面印刷 (手差し)]** を利用できるのは、両面印刷が利用可能な場合、または使用する印刷メディアのタイプが両面印刷でサポートされていない場合のみです。

自動または手動両面印刷を設定するには、プリンタ ドライバのプロパティを開いて、**[[Device Settings (デバイス設定)]]** タブをクリックし、**[[Installable Options (インストール可能オプション)]]** から必要な設定を選択します。

注記　**[デバイスの設定]** タブはソフトウェア プログラムからは利用できません。

注記　プリンタ ドライバのプロパティを開く手順は、ご使用のオペレーティング システムによって異なります。ご使用のオペレーティング システムでプリンタ ドライバのプロパティを開く詳細については、プリンタ ドライバを開くを参照してください。「To change the device configuration settings (プリンタの設定を変更するには)」という列を見つけます。

自動両面印刷の使用

1. 印刷ジョブに対応するいずれかのトレイに、十分な枚数の用紙をセットします。 レターヘッド用紙などの特殊な用紙をセットする場合は、次のいずれかの方法に従います。

   - トレイ 1 の場合は、レターヘッド用紙の表を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。

   - それ以外のトレイの場合は、レターヘッド用紙の表を下向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。

   注意　紙詰まりを防止するには、105g/m^2 (28 ポンドのボンド紙) より厚手の用紙はセットしないでください。

2. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。

3. **[レイアウト]** タブで **[両面印刷]** をクリックします。

   - 必要な場合は、**[上綴じオプション]** を選択してページの反転方法を変更するか、**[ブックレット レイアウト]** リスト ボックスで綴じ方オプションを選択します。

4. **[OK]** をクリックします。

手動両面印刷

1. 印刷ジョブに対応するいずれかのトレイに、十分な枚数の用紙をセットします。 レターヘッド用紙などの特殊な用紙をセットする場合は、次のいずれかの方法に従います。

   - トレイ 1 の場合は、レターヘッド用紙の表を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。

   - それ以外のトレイの場合は、レターヘッド用紙の表を下向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。

   注意　紙詰まりを防止するには、105g/m^2 (28 ポンドのボンド紙) より厚手の用紙はセットしないでください。

2. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。

3. **[レイアウト]** タブで **[両面印刷 (手差し)]** を選択します。

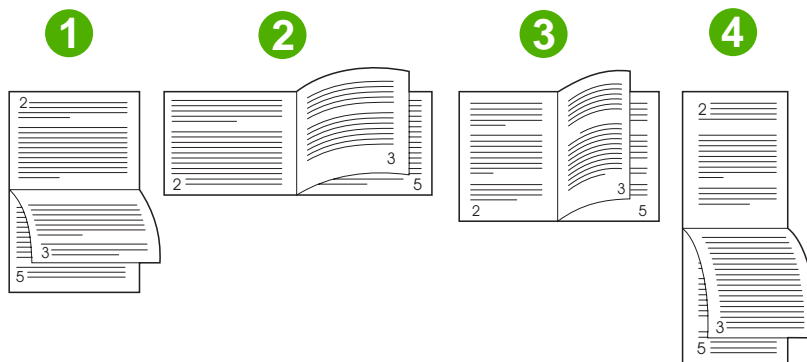
4. **[OK]** をクリックします。

5. 印刷ジョブをプリンタに送信します。 印刷された用紙をトレイ 1 にセットし直して裏面を印刷する前に、ポップアップ ウィンドウに表示される指示に従います。

6. プリンタの設置場所へ移動します。 トレイ 1 から、印刷されていない用紙をすべて取り除きます。印刷されたほうの面を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。裏面はトレイ 1 から印刷する必要があります。

7. 指示が表示されたら、コントロール パネル ボタンを押して処理を続行します。

両面印刷のレイアウト オプション

両面印刷の向きには、次の 4 つのオプションがあります。 オプション 1 または 4 は、プリンタ ドライバで **[上綴じ]** がオンの場合のみ選択できます。

1. 長辺綴じ、横向き	1 ページごとに上下が逆に印刷されます。 見開きのページは、上から下に向かって読みます。
2. 短辺綴じ、横向き	各ページは同じ向きで印刷されます。 見開きのページは、上から下に向かって読みます。
3. 長辺綴じ、縦向き	デフォルト設定で、最も一般的に使用されるレイアウトです。 各ページは同じ向きで印刷されます。 見開きのページは、上から下に向かって読みます。
4. 短辺綴じ、縦向き	1 ページごとに上下が逆に印刷されます。 見開きのページは、上から下に向かって読みます。

[サービス] タブの使用

製品がネットワークに接続されている場合は、**[サービス]** タブを使用して、製品およびサプライ品のステータス情報を取得します。 **[デバイスおよびサプライ品アイコン]**をクリックして、HP 内蔵 Web サーバの **[デバイス ステータス]** ページを開きます。 このページには、製品の最新のステータス、各サプライ品の残り寿命のパーセンテージおよびサプライ品の注文についての情報が表示されます。 詳細については、「内蔵 Web サーバ」を参照してください。

Macintosh プリンタ ドライバの機能の使用

ソフトウェア プログラムから印刷する場合は、プリンタ ドライバから多くの機能を使用できます。プリンタ ドライバから使用できるすべての機能については、プリンタ ドライバのヘルプを参照してください。このセクションでは次の機能について説明します。

- プリセットの作成および使用
- 表紙の印刷
- 1 枚の用紙への複数ページの印刷
- 両面印刷

注記　通常、プリンタ ドライバおよびソフトウェア プログラムでの設定は、コントロール パネルの設定より優先されます。 ソフトウェア プログラムの設定は、一般に、プリンタ ドライバの設定より優先されます。

プリセットの作成および使用

プリセットは、現在のドライバ設定を再利用できるよう保存しておくために使用します。

プリセットの作成

1. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
2. 印刷設定を選択します。
3. **[プリセット]** ボックスで **[別名で保存...]** をクリックし、プリセットの名前を入力します。
4. **[OK]** をクリックします。

プリセットの使用

1. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
2. **[プリセット]** メニューで、使用するプリセットを選択します。

注記　プリンタ ドライバのデフォルト設定を使用するには、**[標準]** プリセットを選択します。

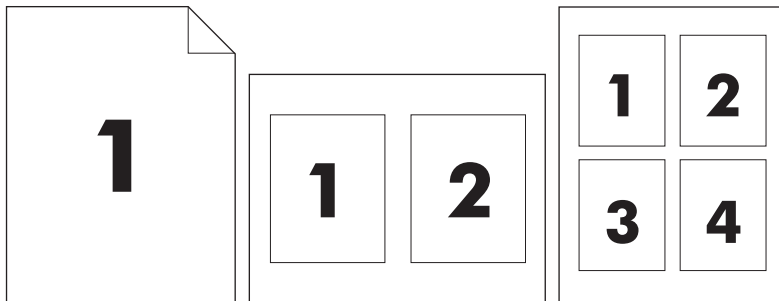
表紙の印刷

「社外秘」などのメッセージを表紙に印刷できます。

1. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
2. **[表紙]** または **[用紙/品質]** ポップアップ メニューで、表紙を **[書類の前]** または **[書類の後]** のどちらに印刷するかを選択します。
3. **[表紙の種類]** ポップアップ メニューで、表紙に印刷するメッセージを選択します。

注記　空白の表紙を印刷するには、**[表紙の種類]** で **[標準]** を選択します。

1 枚の用紙への複数ページの印刷

1 枚の用紙に複数のページを印刷できます。 この機能は、ドラフト ページを印刷する際のコスト削減に役立ちます。

1. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
2. **[レイアウト]** ポップアップ メニューをクリックします。
3. **[ページ数/枚]** の横で、1 枚の用紙に印刷するページ数 (1、2、4、6、9、または 16) を選択します。
4. **[レイアウト方向]** の横で、用紙に印刷するページの順序と位置を選択します。
5. **[境界線]** の横で、用紙の各ページの周囲に印刷する境界線の種類を選択します。

両面印刷

両面印刷を使用できる場合は、自動的に用紙の両面に印刷することができます。使用できない場合は、用紙を 2 回給紙することで手動で両面に印刷できます。

注意 紙詰まりを防ぐために、105g/m^2 (28lb ボンド) より重い用紙をセットしないでください。

自動両面印刷の使用

1. 印刷ジョブに対応するいずれかのトレイに、十分な枚数の用紙をセットします。 レターヘッド用紙などの特殊な用紙をセットする場合は、次のいずれかの方法に従います。
   - トレイ 1 の場合は、レターヘッド用紙の表を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
   - それ以外のトレイの場合は、レターヘッド用紙の表を下向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
2. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
3. **[レイアウト]** ポップアップ メニューを開きます。
4. **[両面印刷]** の横で、**[長辺綴じ (標準)]** または **[短辺綴じ]** のいずれかを選択します。
5. **[印刷]** をクリックします。

手動両面印刷

1. 印刷ジョブに対応するいずれかのトレイに、十分な枚数の用紙をセットします。 レターヘッド用紙などの特殊な用紙をセットする場合は、次のいずれかの方法に従います。

   - トレイ 1 の場合は、レターヘッド用紙の表を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
   - それ以外のトレイの場合は、レターヘッド用紙の表を下向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。

   注意 紙詰まりを防止するには、105g/m^2 (28 ポンドのボンド紙) より厚手の用紙はセットしないでください。

2. プリンタ ドライバを開きます (「プリンタ ドライバを開く」を参照)。
3. **[仕上げ]** ポップアップ メニューで、**[手動両面印刷]** オプションを選択します。

   注記 **[手動両面印刷]** オプションが有効になっていない場合は、**[裏面の手差し印刷]** を選択します。

4. **[印刷]** をクリックします。 印刷された用紙をトレイ 1 にセットし直して裏面を印刷する前に、画面上のポップアップ ウィンドウに表示される指示に従います。
5. プリンタの設置場所に移動して、トレイ 1 から、印刷されていない用紙をすべて取り除きます。
6. トレイ 1 で、印刷されたほうの面を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。裏面はトレイ 1 から印刷する*必要が*あります。
7. 指示が表示される場合、適切なコントロール パネル ボタンを押して処理を続行します。

印刷ジョブのキャンセル

コントロール パネルまたはソフトウェア プログラムを使用して、印刷要求を停止できます。ネットワーク上のコンピュータから印刷要求を停止する方法については、特定のネットワーク ソフトウェアのオンライン ヘルプを参照してください。

注記　印刷ジョブをキャンセルしてからすべての印刷が解除されるまでにはしばらく時間がかかります。

コントロール パネルからの現在の印刷ジョブの取り消し

1. コントロール パネルで 停止 を押します。
2. タッチスクリーンの **[デバイスは一時停止しています]** 画面で、**[現行のジョブをキャンセル]** にタッチします。

注記　印刷ジョブの印刷処理がかなり進んでいる場合は、ジョブをキャンセルできないことがあります。

ソフトウェア プログラムから現在の印刷ジョブの取り消し

しばらくの間、印刷ジョブをキャンセルするためのオプションがあるダイアログ ボックスが画面に表示されます。

複数の印刷要求がユーザー自身のソフトウェアからデバイスに送信されている場合、要求は印刷キュー (Windows プリント マネージャなど) 内で待機状態になります。 コンピュータから印刷要求をキャンセルする手順については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

印刷ジョブが印刷キュー (コンピュータのメモリ) または印刷スプーラ (Windows 2000 または XP) 内で待機状態になっている場合は、その場所で印刷ジョブを削除します。

[スタート] を選択し、**[プリンタ]** をクリックします。 デバイス アイコンをダブルクリックし、プリント スプーラを開きます。 キャンセルする印刷ジョブを選択し、Delete キーを押します。 印刷ジョブがキャンセルされない場合は、コンピュータをシャットダウンして再起動する必要があります。

7 コピー

このデバイスは、スタンドアロンのコピー機として機能します。コンピュータに印刷システム ソフトウェアをインストールしたり、コピーするためにコンピュータの電源を入れる必要はありません。コピー設定は、コントロール パネルで調整できます。文書フィーダまたはスキャナ ガラスを使って原稿をコピーすることもできます。このデバイスは、コピー、印刷、デジタル送信を同時に処理することができます。

この章では、コピー方法とコピー設定の変更方法を解説します。以下のトピックを取り上げます。

コピー機能を使用する前に、コントロール パネルの基本的な情報を確認しておくことをお勧めします。詳細については、コントロール パネルの使用 を参照してください。

コピー画面の使用

ホーム画面で コピー を選択して、コピー画面を表示します。図 7-1 コピー画面はコピー画面を示しています。ここで表示されるのは最初の 6 つのコピー機能だけです。その他のコピー機能を表示するには、その他のオプション を選択します。

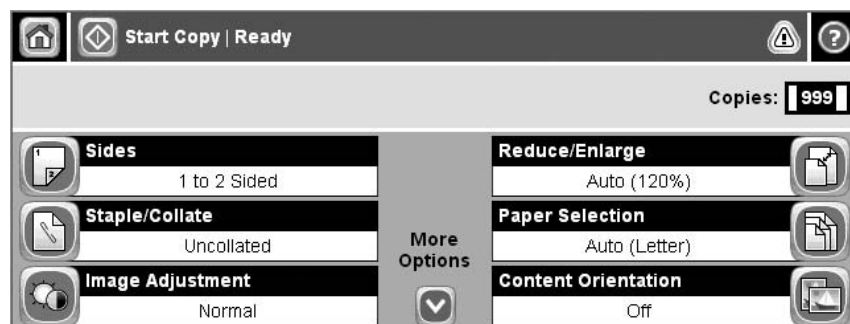



図 7-1 コピー画面

デフォルトのコピー オプションの設定

[管理] メニューを使用して、すべてのコピー ジョブに適用されるデフォルト設定を指定することができます。ほとんどの設定は、必要に応じて個々のジョブに対して無効にすることができます。そのジョブが完了すると、プリンタがデフォルト設定に戻ります。

1. ホーム画面で、スクロールして 管理 を選択します。
2. デフォルト ジョブ オプション を選択してから、デフォルト コピー オプション を選択します。
3. 複数のオプションを使用できます。すべてのオプションについて、または一部のオプションのみについて、デフォルト設定を変更することができます。

   各オプションの詳細については、コピー設定の調整を参照してください。内蔵されているヘルプ システムを使用して、各オプションの説明を見ることもできます。画面の右上の ヘルプ ボタン (?) を押してください。
4. [管理] メニューを終了するには、画面の左上の ホーム ボタン () を押してください。

基本的なコピー方法

ここでは基本的なコピー方法について説明します。

スキャナ ガラスからのコピー

スキャナ ガラスを使用して、小さく薄いメディア (60 g/m^2 未満または 7.25kg 未満) または厚いメディア (105 g/m^2 以上または 12.7kg 以上) のコピーを 999 部までとることができます。たとえば、領収証、新聞の切り抜き、写真、古い文書、すりきれた文書、書物などのメディアです。

印刷面を下にしてガラスの上に置いてください。原稿の端をガラスの左上隅に合わせます。

デフォルトのコピー オプションを使用してコピーする場合は、コントロール パネルの数字キーパッドを使用してコピーの部数を選択し、スタート を押します。カスタマイズ設定を使用する場合は、コピー を選択します。設定を指定して、スタート を押します。カスタマイズ設定の使用方法の詳細については、コピー設定の調整を参照してください。

文書フィーダからのコピー

文書フィーダを使用して最大 50 ページまでの文書のコピーを 999 部までとることができます (ページの厚さによって異なります)。印刷表を上にして文書を文書フィーダにセットします。

デフォルトのコピー オプションを使用してコピーする場合は、コントロール パネルの数字キーパッドを使用してコピーの部数を選択し、スタート を押します。カスタマイズ設定を使用する場合は、コピー を選択します。設定を指定して、スタート を押します。カスタマイズ設定の使用方法の詳細については、コピー設定の調整を参照してください。

別のコピー ジョブを開始する前に、文書フィーダの給紙トレイの下にある文書フィーダ排紙ビンから原稿を取り除いて、適切な排紙ビンからコピーを取り除いてください。

コピー設定の調整

このデバイスにはコピー出力を最適化するための機能が用意されています。これらの機能はすべて コピー 画面から使用できます。

コピー 画面はいくつかのページで構成されています。第 1 ページで、その他のオプション を選択して次のページに進みます。次に、下矢印または上矢印ボタンを選択して、他のページにスクロールします。

オプションの使い方の詳細については、オプションを選択してから、画面の右上のヘルプ (?) ボタンを選択します。コピー オプションの概要を以下の表に示します。

注記 システム管理者がデバイスを設定した方法によっては、一部のオプションが表示されないことがあります。表のオプションは表示される順序で記載されています。

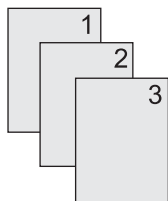
オプション名	説明
面	原稿の片面を印刷するか両面を印刷するか、およびコピーを片面コピーするか両面コピーするかを指定します。
ステイプル/丁合い または 丁合い	オプションの HP ステイプラ/スタッカ/セパレータを取り付けた場合に、ステイプル/丁合い オプションを使用できます。この機能では、コピーの複数のページをステイプラで留めて組み合わせる際のオプションを設定します。 オプションの HP ステイプラ/スタッカ/セパレータを取り付けていない場合は、丁合い オプションを使用できます。この機能では、コピーしたページの各セットを原稿と同じ順序で組み合わせることができます。
用紙の選択	使用するサイズとタイプの用紙をセットするトレイを選択します。
イメージ調整	コピーの全体的な品質が向上します。たとえば、濃さと鮮明度を調整し、背景のクリーンアップ 設定を使用して背景から不鮮明な画像を取り除いたり、明るい背景色を取り除くことができます。
内容の向き	原稿の内容を配置する方向 (縦または横) を指定します。
排紙ビン	コピーの排紙ビンを選択します。
テキスト/画像の最適化	特定の種類の内容の出力を最適化します。テキストや印刷された画像の出力を最適化したり、手動で値を調整することができます。
用紙あたりのページ数	複数のページを 1 枚の用紙にコピーできます。
原稿のサイズ	原稿の用紙サイズを指定します。
ブックレット形式	2 枚以上のページを 1 枚の用紙にコピーして、用紙を中央で折って小冊子を作ることができます。
最小マージン	原稿がページの端近くに印刷されている場合に、コピーの縁に影が発生することを防止します。この機能を 縮小/拡大 機能と併用すれば、ページ全体を確実にコピーできます。
ジョブ作成	複数のセットの原稿を 1 つのコピー ジョブにまとめます。文書フィーダーに一度にセットできる枚数よりコピーする原稿のページ数が多い場合にも、この機能を使用します。

両面文書のコピー

両面文書を手動または自動でコピーできます。

両面文書の手動コピー

手動の場合にはコピーが片面に出力されるため、手動で組み合わせる必要があります。

1. コピーする文書を文書フィーダの給紙トレイにセットします。最初のページの表面を上にして、ページの上部から文書フィーダに給紙されるようにします。
2. コピー開始 を選択します。奇数ページがコピーされ出力されます。
3. 文書フィーダの排紙トレイから用紙を取って、それを再度セットします。最後のページの表面を上に向けて、ページの上部から文書フィーダに給紙されるようにします。
4. コピー開始 を選択します。偶数ページがコピーされ出力されます。
5. コピーされた奇数ページと偶数ページを組み合わせます。

両面文書の自動コピー (両面印刷モデルのみ)

デフォルトのコピー設定は片面から片面です。次の手順で設定を変更して、両面文書から、または両面文書へのコピーができるようにしてください。

片面文書から両面コピーを作成する

1. コピーする文書を文書フィーダの給紙トレイにセットします。最初のページの表面を上にして、ページの上部から給紙されるようにします。
2. コントロール パネルで コピー を選択します。
3. 面 を選択します。
4. **[片面の文書を両面コピー]** を選択します。
5. OK を選択します。
6. コピー開始 を選択します。

両面文書から両面コピーを作成する

1. コピーする文書を文書フィーダの給紙トレイにセットします。最初のページの表面を上にして、ページの上部から給紙されるようにします。

   注記　フラットベッド スキャナ ガラスから両面コピーをとることはできません。

2. コントロール パネルで コピー を選択します。

3. 面 を選択します。
4. **[両面の文書を両面コピー]** を選択します。
5. OK を選択します。
6. コピー開始 を選択します。

両面文書から片面コピーを作成する

1. コピーする文書を文書フィーダの給紙トレイにセットします。最初のページの表面を上にして、ページの上部から給紙されるようにします。
2. コントロール パネルで コピー を選択します。
3. 面 を選択します。
4. **[両面の文書を片面コピー]** を選択します。
5. OK を選択します。
6. コピー開始 を選択します。

混合サイズの原稿のコピー

用紙の 1 辺の長さが同じであるならば、異なるサイズの用紙に印刷された原稿をコピーすることができます。たとえば、レター サイズとリーガル サイズを組み合わせたり、A4 と A5 サイズを組み合わせたりすることができます。

1. 幅がすべて同じになるように原稿をそろえます。
2. 印刷面を上にして文書フィーダにセットし、両方の用紙ガイドを原稿に合わせて調整します。
3. ホーム画面で コピー を選択します。
4. 原稿のサイズ を選択します。

注記 最初の画面にこのオプションが表示されない場合は、オプションが表示されるまで その他のオプション を選択します。

5. レター/リーガル混合 を選択し、OK を選択します。
6. コピー開始 を選択します。

コピーの丁合い設定の変更

複数のコピーを自動的にセットにまとめるようにデバイスを設定できます。たとえば、3 ページの原稿のコピーを 2 部作成する場合、自動丁合いが有効になっているとページが 1、2、3、1、2、3 の順に出力されます。自動丁合いが無効の場合は、ページが 1、1、2、2、3、3 の順に出力されます。

自動丁合いを使用するには、原稿のサイズがメモリの容量内である必要があります。そうでない場合はコピーが 1 部しか作成されず、変更を通知するメッセージが表示されます。その場合は、次のいずれかの方法でジョブを完了してください。

- ジョブを少ないページで構成される小さいジョブに分割する。
- 一度に 1 部ずつコピーをとる。
- 自動丁合いを無効にする。

選択した丁合いの設定は、設定を変えるまですべてのコピーに適用されます。デフォルトの設定では、コピーの自動丁合いは オン になっています。

1. コントロール パネルで コピー を選択します。
2. ステイプル/丁合い を選択します。
3. 丁合い を選択します。

写真や本のコピー

写真のコピー

注記　写真は文書フィーダではなくフラットベッド スキャナでコピーしてください。

1. カバーを持ち上げてフラットベッド スキャナの上に写真を置きます。絵がある面を下にして、写真の左上隅をガラスの左上隅に合わせます。
2. 静かにカバーを閉じます。
3. コピー開始 を選択します。

本のコピー

1. カバーを持ち上げてフラットベッド スキャナの上に本を置きます。コピーするページをガラスの左上隅に合わせます。
2. 静かにカバーを閉じます。
3. カバーをそっと押して、本をフラットベッド スキャナの表面に押し付けます。
4. コピー開始 を選択します。

ジョブ作成を使用したコピー ジョブの結合

ジョブ作成機能を使用して、複数のスキャンから 1 つのコピー ジョブを作成できます。文書フィーダまたはスキャナ ガラスを使用できます。最初のスキャンの設定がその後のスキャンにも使用されます。

1. コピー を選択します。
2. スクロールして ジョブ作成 を選択します。
3. ジョブ作成オン を選択します。
4. OK を選択します。
5. 必要に応じて、コピー オプションを選択します。
6. コピー開始 を選択します。ページをスキャンするたびに、ページをセットするように求めるメッセージがコントロール パネルに表示されます。
7. ジョブにまだページがある場合は、次のページをセットして コピー開始 を選択します。

   ジョブにそれ以上ページがない場合は、**[終了しました]** を選択して出力します。

注記　ジョブ作成では、文書フィーダを使用して文書の最初のページをスキャンした場合は、その文書のすべてのページを文書フィーダを使用してスキャンする必要があります。文書の最初のページをスキャナ ガラスを使用してスキャンした場合は、その文書のすべてのページをスキャナ ガラスを使用してスキャンする必要があります。

コピー ジョブのキャンセル

現在実行中のコピー ジョブをキャンセルするには、コントロール パネルで **停止** を選択します。これにより、デバイスが一時停止します。次に **現行ジョブをキャンセル** を選択します。

注記 コピー ジョブをキャンセルしたら、フラットベッド スキャナまたは自動文書フィーダから文書を取り除いてください。

8 スキャンして電子メールに送信

プリンタにはカラー スキャンとデジタル送信機能があります。コントロール パネルを使用して、白黒またはカラー文書をスキャンして、添付として電子メール アドレスに送信することができます。デジタル送信を使用するには、プリンタが LAN (Local Area Network) に接続されている必要があります。プリンタを LAN に直接接続できます。

注記 プリンタでカラー コピーやカラー印刷はできませんが、カラー画像をスキャンして送信することはできます。

この章では次のトピックについて説明します。

- 電子メールの設定
- [電子メール送信] 画面の使用
- 基本的な電子メール機能の使用
- アドレス帳の使用
- 現在のジョブの電子メール設定を変更
- フォルダにスキャン
- ワークフローの排紙先にスキャン

電子メールの設定

文書を電子メールで送信するには、プリンタの電子メールの設定を行う必要があります。

注記　次の説明はコントロール パネルでプリンタを設定する場合の手順です。同様の手順を内蔵 Web サーバーで行うこともできます。詳細については、内蔵 Web サーバを参照してください。

対応プロトコル

HP LaserJet M4345 MFP モデルは、Simple Mail Transfer Protocol (SMTP) に対応しています。 HP LaserJet M4345 MFP モデルは、SMTP と Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) に対応しています。

SMTP

- SMTP は、電子メールを送受信するプログラム間の対話を定義する規則群です。 このデバイスで電子メールに文書を送信するには、有効な SMTP IP アドレスがある LAN に接続する必要があります。 SMTP サーバも、 インターネット アクセスできる必要があります。
- LAN 接続を使用している場合、システム管理者に SMTP サーバの IP アドレスを問い合わせます。 DSL 接続を使用している場合、サービス プロバイダに SMTP サーバの IP アドレスを問い合わせます。

LDAP

- LDAP は、情報データベースにアクセスするために使用されます。 LDAP を使用している場合、電子メール アドレスのグローバル リストが検索されます。 電子メール アドレスを入力し始めると、自動入力機能が使用され、入力した文字に一致する電子メール アドレスの一覧が LDAP から取得されます。 追加の文字を入力すると、一致する電子メール アドレス数は少なくなります。
- デバイスは LDAP に対応していますが、電子メールの送信には LDAP への接続は必要ありません。

注記　LDAP 設定を変更する場合は、内蔵 Web サーバを使用する必要があります。 詳細については、「内蔵 Web サーバ」またはデバイス CD の『『*Embedded Web Server User Guide*』』を参照してください。

電子メール サーバーの設定

SMTP サーバーの IP アドレスについてはシステム管理者にお問い合わせください。または、プリンタのコントロール パネルで IP アドレスを確認することもできます。次の手順で手動で設定を行って、IP アドレスをテストします。

SMTP ゲートウェイ アドレスの設定

1. [ホーム] 画面の 管理 にタッチします。
2. 初期セットアップ にタッチします。
3. 電子メール セットアップ にタッチし、SMTP ゲートウェイ にタッチします。

4. SMTP ゲートウェイ アドレス (IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名) を入力します。 IP アドレスまたはドメイン名がわからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

5. OK にタッチします。

SMTP 設定のテスト

1. [ホーム] 画面の 管理 にタッチします。

2. 初期セットアップ にタッチします。

3. 電子メール セットアップ にタッチし、送信ゲートウェイのテスト にタッチします。

   設定が正しい場合、コントロール パネルのディスプレイに **[Gateways OK (ゲートウェイ OK)]** が表示されます。

最初のテストで成功したら、デジタル送信機能を使用して自分自身に電子メールを送信します。電子メールを受信できれば、デジタル送信機能が正しく設定されています。

電子メールを受信できない場合は、以下の手順でデジタル送信ソフトウェアの問題を解決してください。

- SMTP およびアドレスを正しく入力したか確認します。
- 構成ページを印刷します。SMTP ゲートウェイ アドレスが正しいことを確認します。
- ネットワークが正しく動作していることを確認します。コンピュータから自分自身に電子メールを送信します。電子メールを受信できれば、ネットワークが正しく動作しています。電子メールを受信できない場合は、ネットワーク管理者またはインターネット サービス プロバイダ (ISP) にお問い合わせください。
- DISCOVER.EXE ファイルを実行します。このプログラムでゲートウェイを見つけることができます。ファイルは HP の Web サイト http://www.hp.com/support/ljm4345mfp からダウンロードできます。

ゲートウェイの検出

SMTP ゲートウェイ アドレスが不明の場合は、次のいずれかの方法で確認できます。

デバイスのコントロール パネルから SMTP ゲートウェイの検索

1. [ホーム] 画面の 管理 にタッチします。

2. 初期セットアップ にタッチします。

3. 電子メール セットアップ にタッチし、送信ゲートウェイの検索 にタッチします。

   タッチスクリーンには、検出された SMTP サーバのリストが表示されます。

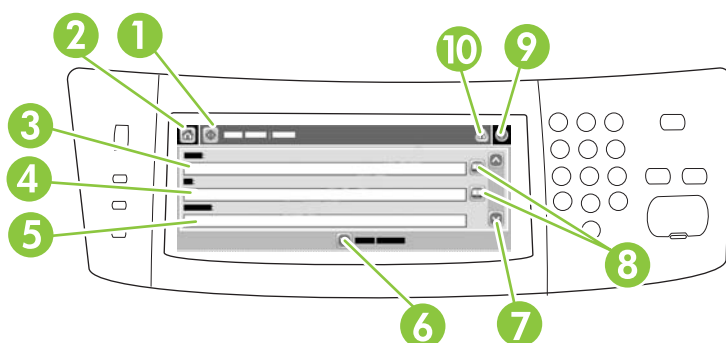
4. 適切な SMTP サーバを選択し、OK にタッチします。

電子メール プログラムから SMTP ゲートウェイを検索

ほとんどの電子メール プログラムは、電子メール メッセージの送信するときに SMTP と LDAP を使用しているため、電子メール プログラムの設定を参照して、SMTP ゲートウェイや LDAP サーバのホスト名を見つけることができます。

注記　インターネット サービス プロバイダ (ISP) を使用している場合、ゲートウェイの検索機能で SMTP の有効なサーバを検出できない可能性があります。 ISP の電子メール サーバ アドレスについては、ISP に問い合わせてください。

[電子メール送信] 画面の使用

タッチスクリーンを使用して、[電子メール送信] 画面のオプションを移動できます。

1	電子メール送信 ボタン	このボタンにタッチすると、文書がスキャンされ、電子メール ファイルが指定して電子メール アドレスに送信されます。
2	[ホーム] ボタン	このボタンにタッチすると、[ホーム] 画面が開きます。
3	送信元： フィールド	このフィールドにタッチすると、キーボードが開きます。自分の電子メール アドレスを入力します。 システム管理者の設定によっては、ここにデフォルトのアドレスが自動的に入力される場合もあります。
4	宛先： フィールド	このフィールドにタッチすると、キーボードが開きます。スキャンした文書を送信する相手の電子メール アドレスを入力します。
5	件名： フィールド	このフィールドにタッチすると、キーボードが開きます。件名を入力します。
6	その他のオプション ボタン	このボタンにタッチすると、現在のスキャン ジョブの電子メール設定を変更できます。
7	スクロール バー	スクロール バーを使用して、CC:、BCC:、メッセージ、ファイル名 の各フィールドを表示し、設定します。 どのフィールドをタッチしていもキーボードが表示されるので、必要な情報を入力します。
8	アドレス帳のボタン	これらのボタンを押すと、アドレス帳を使用して、宛先：、CC:、BCC: の各フィールドを作成できます。 詳細については、「ローカルのアドレス帳の使用」を参照してください。
9	[ヘルプ] ボタン	コントロール パネルの説明については、このボタンにタッチします。 詳細については、「コントロール パネルの使用」を参照してください。
10	[エラー警告] ボタン	ステータス行領域にエラーまたは警告がときにのみ、このボタンが表示されます。 タッチするとポップアップ画面にエラーや警告を解決するときに役立つ情報が表示されます。

基本的な電子メール機能の使用

プリンタの電子メール機能には次のようなメリットがあります。

- 文書を複数の電子メールアドレスに送信して、送付の時間と経費を節約できます。
- ファイルを白黒またはカラーで送信できます。受信者が操作できるように、ファイルを別のファイル形式で送信できます。

電子メールの場合、文書がプリンタのメモリのスキャンされ、添付として電子メール アドレスに送信されます。.TFF、.JPG などいくつかのグラフィックス形式でデジタル文書を送信できるので、受信者が必要に応じてさまざまなプログラムを使用して文書ファイルを操作できます。文書はオリジナルとほぼ同等の品質で受信可能で、受け取った文書を印刷、保存、または転送できます。

電子メール機能を使用するには、プリンタがインターネットにアクセスできる有効な SMTP LAN に接続されている必要があります。

文書のセット

ガラス面または ADF を使用して文書をスキャンできます。 ガラス面と ADF は、レター、エグゼクティブ、A4、A5 の各サイズの原稿に対応しています。 また、ADF はリーガル サイズの原稿にも対応します。 それよりも小さな原稿、レシート、変則的な形の文書、破損した文書、ステイプル留めされた文書、折り曲げた跡がある文書、写真をスキャンする場合は、ガラス面を使用してください。 ADF を使用すると、複数ページの文書を簡単にスキャンできます。

文書の送信

プリンタで白黒原稿とカラー原稿をスキャンすることができます。デフォルト設定を使用することも、スキャンのユーザー設定とファイル形式を変更することもできます。デフォルト設定は次のとおりです。

- カラー
- PDF。受信者が Adobe Acrobat ビューアを持っていなければ、電子メールの添付を見ることはできません。

現在のジョブの設定を変更する詳細については、現在のジョブの電子メール設定を変更を参照してください。

文書の送信

1. 文書を下向きにしてガラスに上にセットするか、上向きにして ADF にセットします。
2. ホーム画面の 電子メール にタッチします。
3. メッセージが表示されたときは、ユーザー名とパスワードを入力します。
4. 送信元 : 、宛先 : 、件名 : の各フィールドに入力します。 下にスクロールし、必要に応じて CC:、BCC:、メッセージ の各フィールドに入力します。 ユーザー名や他のデフォルト情報が 送信元 : フィールドに表示される場合があります。 この場合、変更できないこともあります。
5. (オプション) 送信する文書の設定 （原稿サイズなど） を変更するには、その他のオプション にタッチします。 両面の文書を送信する場合、面 を選択し、両面の原稿についてのオプションを選択します。

6. スタート を押すと送信が開始されます。

7. 終了したら、原稿をスキャナのガラス面または ADF から取り除きます。

自動入力機能の使用

[電子メールの送信] 画面で 宛先：、CC:、または 送信元： の各フィールドに文字を入力すると、自動入力機能がアクティブになります。 キーボード画面で必要なアドレスや名前を入力すると、自動的にアドレス帳リストが検索され、最初に一致したアドレスまたは名前が自動入力されます。 Enter にタッチすると名前の入力が終了します。または、自動入力で目的の項目が見つかるまで、名前の入力を続けます。 文字を入力してもリストに一致する入力がない場合、自動入力テキストは表示されません。これは、アドレス帳にないアドレスを入力していることを示します。

アドレス帳の使用

プリンタのアドレス帳機能を使用して、リストに含まれる受信者に電子メールを送信できます。アドレス リストの設定方法については、システム管理者にお問い合わせください。

注記　内蔵 Web サーバーを使用して電子メール アドレス帳を作成して管理することもできます。詳細については、内蔵 Web サーバを参照してください。

受信者リストの作成

1. ホーム画面の 電子メール にタッチします。
2. 以下のいずれかの手順を実行します。
   - 宛先： にタッチしてキーボード画面を開き、受信者の電子メール アドレスを入力します。複数の電子メールを入力する場合はセミコロンで区切るか、タッチスクリーンの Enter にタッチします。
   - アドレス帳を使用します。
     a. 電子メール送信画面のアドレス帳ボタン () にタッチすると、アドレス帳が開きます。
     b. スクロール バーを使用してアドレス帳の使用するエントリに移動します。 矢印を押し続けると、リストのスクロール速度が速くなります。
     c. 受信者を選択して名前をハイライトし、追加ボタン () にタッチします。

        また、画面の上部にあるドロップダウン リストにタッチして配信リストを選択し、すべて にタッチするか、ドロップダウン リストの ローカル にタッチしてローカルのリストから受信者を追加します。 使用する名前を選択してハイライトし、 にタッチすると、受信者リストに名前が追加されます。

        リストから受信者を削除するには、削除する受信者を選択してハイライトし、削除ボタン () にタッチします。
3. 受信者リストの名前はキーボード画面のテキスト行に表示されます。 必要に応じて、キーボードで電子メール アドレスを入力してアドレス帳にない受信者を追加できます。 受信者リストの設定が終わったら、OK にタッチします。
4. OK にタッチします。
5. 必要に応じて、電子メール送信画面の CC: フィールドと 件名： フィールドに入力します。 宛先： テキスト行の下矢印にタッチすると、受信者リストを確認できます。
6. スタート を押します。

ローカルのアドレス帳の使用

ローカルのアドレス帳によく使用する電子メール アドレスを保存できます。 HP デジタル送信ソフトウェアにアクセスする同じサーバを使用するデバイスであれば、ローカルのアドレス帳を共有できます。

送信元、宛先：、CC:、BCC: の各フィールドを入力するときにアドレス帳を使用できます。 アドレス帳のアドレスは追加または削除することができます。

アドレス帳を開くには、アドレス帳ボタン () にタッチします。

ローカルのアドレス帳に電子メール アドレスを追加する

1. ローカル にタッチします。
2. にタッチします。
3. (オプション) 名前 フィールドにタッチし、表示されるキーボードで新しいエントリの名前を入力します。 OK にタッチします。

   この名前は電子メール アドレスの別名です。 別名を入力しないと、電子メール アドレスが別名として表示されます。
4. アドレス フィールドにタッチし、表示されるキーボードで新しいエントリの電子メール アドレスを入力します。 OK にタッチします。

ローカルのアドレス帳から電子メール アドレスを削除する

不要な電子メール アドレスは削除できます。

注記　電子メール アドレスを*変更*するには、ローカルのアドレス帳からそのアドレスを削除してから、新規のアドレスとして修正したアドレスを追加します。

1. ローカル にタッチします。
2. 削除する電子メール アドレスにタッチします。
3. にタッチします。

   以下の確認メッセージが表示されます。 **[選択したアドレスを削除してよろしいですか？]**
4. 電子メール アドレスを削除する場合は はい にタッチし、アドレス帳画面に戻るには いいえ にタッチします。

現在のジョブの電子メール設定を変更

現在の印刷ジョブについて、次の電子メール設定を変更するには、その他のオプション ボタンを使用します。

ボタン	説明
文書ファイル タイプ	文書のスキャン後に作成されたファイルのタイプを変更するには、このボタンにタッチします。
出力品質	スキャンするファイルの印刷品質を上下するには、このボタンにタッチします。 印刷品質を高くすると、ファイル サイズも大きくなります。
解像度	スキャン解像度を変更するには、このボタンにタッチします。 解像度を高くすると、ファイル サイズも大きくなります。
カラー/黒	文書をカラーとモノクロのどちらでスキャンするかを指定するには、このボタンにタッチします。
原稿の面数	原稿が片面か両面かを指定するには、このボタンにタッチします。
内容の向き	原稿の向きを縦または横に指定するには、このボタンにタッチします。
原稿のサイズ	このボタンにタッチして、文書のサイズをレター、A4、リーガル、またはレター/リーガル混合から選択します。
テキスト/画像の最適化	スキャンしている文書のタイプによって、スキャン手順を変更するには、このボタンにタッチします。
ジョブ作成	[ジョブ作成] モードを有効または無効にするには、このボタンにタッチします。有効にすると、小さいサイズのスキャン ジョブを複数スキャンして、1 つのファイルで送信できます。
イメージ調整	濃さと鮮明度の設定を変更するとき、または原稿にある背景のごみをクリーニングするには、このボタンにタッチします。

フォルダにスキャン

注記　このデバイス機能は、HP LaserJet M4345 MFP モデルのみが対応しています。

システム管理者がこの機能を有効にしている場合、ファイルをスキャンしてネットワーク上のフォルダに送信できます。 送信先フォルダの対応オペレーティング システムには、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Novell があります。

注記　このオプションを使用するときや、特定のフォルダに送信するときに、ユーザー名とパスワードの入力を求められることもあります。 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

1. 文書を下向きにしてガラスに上にセットするか、上向きにして ADF にセットします。
2. [ホーム] 画面の **[ネットワーク フォルダ]** をタッチします。
3. [クイック アクセス フォルダ] で文書を保存するフォルダを選択します。
4. **[ファイル名]** フィールドにタッチすると、キーボードのポップアップ画面が表示されます。この画面でファイル名を入力します。
5. **[ネットワーク フォルダに送信]** にタッチします。

ワークフローの排紙先にスキャン

注記　このデバイス機能は、オプションのデジタル送信ソフトウェア製品で使用できます。また、HP LaserJet M4345 MFP モデルでのみ対応しています。

システム管理者がワークフロー機能を有効にしている場合、文書をスキャンして、カスタムのワークフローの排紙先に送信できます。 ワークフローの排紙先を使用すると、指定したネットワークまたはファイル転送プロトコル (FTP) にスキャンした文書と共に追加情報を送信できます。 追加情報の入力を求めるメッセージがコントロール パネルのディスプレイに表示されます。 システム管理者もワークフローの排紙先にプリンタを指定することができます。この場合、ユーザーが文書をスキャンして、ネットワーク プリンタに直接送信して印刷できます。

1. 文書を下向きにしてガラスに上にセットするか、上向きにして ADF にセットします。
2. [ホーム] 画面の **[ワークフロー]** をタッチします。
3. スキャンの排紙先を選択します。
4. テキスト フィールドにファイルに追加するデータを入力し、**[送信ワークフロー]** にタッチします。

9 ファックス

HP LaserJet M4345x MFP、HP LaserJet M4345xs MFP、および HP LaserJet M4345xm MFP には HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 がインストールされています。Windows ユーザーは、デジタル ファックス サービスを提供する HP Digital Sending Software (DSS) をインストールすることもできます。

ファックス アクセサリの設定およびファックス機能の使用の詳細については、『*HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 ユーザーズ ガイド*』を参照してください。

この章では、アナログ ファックスおよびデジタル ファックスの概要について説明します。

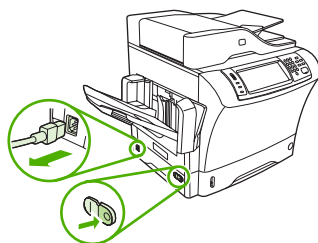
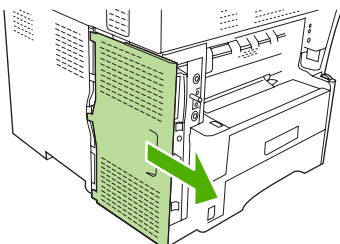
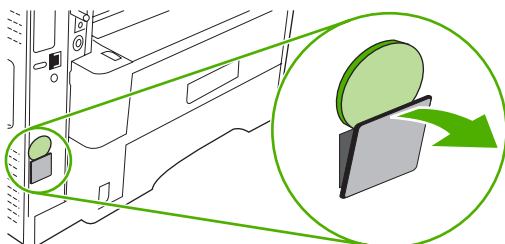
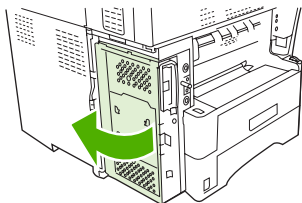
アナログ ファックス

HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 を取り付けた場合は、プリンタをスタンドアロンのファックス機として使用することができます。

注記　HP LaserJet M4345x MFP、HP LaserJet M4345xs MFP、および HP LaserJet M4345xm MFP には HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 がインストールされています。

ファックス アクセサリをインストールする

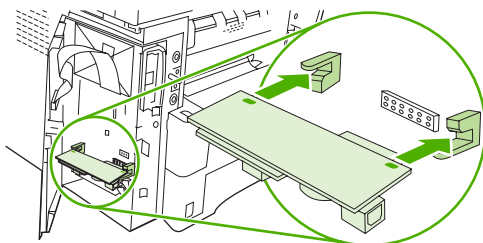
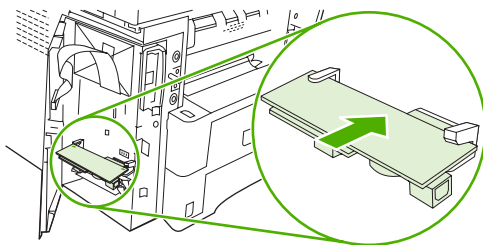
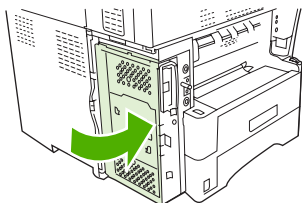
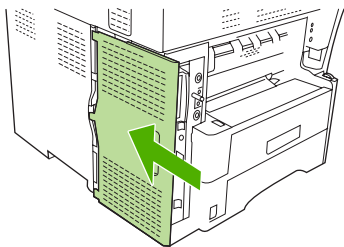
デバイスに HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 がインストールされていない場合は、次の手順に従ってインストールします。

1. 箱からファックス アクセサリを取り出します。帯電防止袋からは出さないようにしてください。
2. デバイスの電源をオフにし、電源ケーブルを外します。

3. デバイスの背面で、へこんでいる部分に指をかけ、サイド カバーをスライドして外します。

4. 必要に応じてプラスチックのファックス アクセサリ カバーをフォーマッタから外します。カバー上部の溝にコインを挿入し、コインをてこにしてカバーをフォーマッタから外します。

5. 金属製のつまみをつかんで引きながらフォーマッタ ケージのドアを開きます。

6. 既存のファックス アクセサリを交換する場合は、古いカードをスロットから引き出してフォーマッタから取り外します。

7. 新しいファックス アクセサリを帯電防止袋から取り出します。

注意 ファックス アクセサリには静電放電 (ESD) しやすい部品が含まれています。ファックス アクセサリを扱う場合は、静電気除去リスト ストラップ (デバイスの金属フレームにつなぎます) などの静電気防止用具を使用したり、他方の手でデバイスの金属フレームに触れたりして電気を逃がすようにしてください。

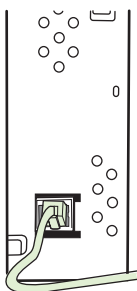
注意 ファックス アクセサリを扱う場合は、カードの黄色いコンポーネントを押さないでください。この部分を押すと、カードが壊れ、ファックスが正常に機能しなくなる場合があります。

8. 新しいファックス アクセサリの 2 か所の切れ込みをフォーマッタの 2 つのファックス アクセサリ ガイドに合わせます。

9. ファックス アクセサリを押し込み、アクセサリがフォーマッタにしっかりと接続されていることを確認します。ファックス アクセサリの電話コネクタがフォーマッタ ケージの四角い穴に合うように調整する必要があります。

10. フォーマッタ ケージのドアを閉めます。

11. フォーマッタ カバーを取り付けます。

12. 電源ケーブルをデバイスに接続し、デバイスの電源を入れます。

ファックス アクセサリを電話線に接続する

ファックス アクセサリを電話線に接続する場合は、ファックス アクセサリに使用する電話線が、他のデバイスで使用されない専用の線であることを確認してください。また、この線はアナログ線を使用する必要があります。一部のデジタル PBX システムにファックスを接続した場合、ファックスは正常に機能しません。電話線がアナログかデジタルか不明な場合は、電話会社にお問い合わせください。

注記　HP では、アクセサリの機能が正常に動作するように、ファックス アクセサリに付属の電話コードを使用することをお勧めします。

1. ファックス アクセサリ キットに付属の電話コードを探します。電話コードの一端をフォーマッタのファックス アクセサリの電話差し込み口に接続します。コネクタをカチッと音がするまで押し込みます。

注意　フォーマッタの下部にあるファックス アクセサリの電話差し込み口に電話線を接続します。フォーマッタの上部にある HP Jetdirect LAN ポートに電話線を接続します。

2. 電話コードの他端を壁面の電話差し込み口に接続します。コネクタをカチッと音がするか、しっかりと固定されるまで押し込みます。国や地域によってコネクタの種類が異なるので、コネクタを押し込んでもカチッと音がしない場合があります。

ファックス機能を設定および使用する

ファックス機能を使用する前に、[コントロール パネル] メニューで機能を設定する必要があります。たとえば、次の情報を指定する必要があります。

- 日時
- 場所
- ファックス ヘッダー

ファックス アクセサリの設定と使用、およびファックス アクセサリの問題のトラブルシューティングの詳細については、ファックス アクセサリに付属の 『*HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 ユーザーズ ガイド*』 を参照してください。

デジタル ファックス

HP Digital Sending Software (オプション) をインストールしている場合は、デジタル ファックスを使用できます。このソフトウェアの注文の詳細については、 http://www.hp.com/go/ljm4345mfp_software にアクセスしてください。

デジタル ファックスでは、デバイスを電話線に直接接続する必要がありません。代わりに、デバイスは次の 3 つの方法のいずれかによってファックスを送信します。

- **LAN ファックス**：サードパーティーのファックス事業者を介してファックスを送信します。
- **Microsoft Windows 2000 ファックス**：簡便なゲートウェイ ファックスとしてコンピュータが使用するファックス モデムおよびデジタル送信モジュールです。
- **インターネット ファックス**：インターネット ファックス事業者を介してファックスを処理します。ファックスは従来のファックス機に配信されるか、またはユーザーの電子メールに送信されます。

デジタル ファックスの使用の詳細については、HP Digital Sending Software に付属のマニュアルを参照してください。

10 プリンタの管理と保守

この章では、プリンタの管理方法について説明します。

[情報ページ] の使用

コントロール パネルから、デバイスとその現在の設定についての詳細を確認するページを印刷できます。 情報ページを印刷する手順は以下の表のとおりです。

ページの説明	ページの印刷方法
メニュー マップ コントロール パネルのメニューと利用可能な設定を表示します。	1. [ホーム] 画面から、管理 にタッチします。 2. 情報 にタッチします。 3. 設定ページ にタッチします。 4. 管理メニュー マップ にタッチします。 5. 印刷 にタッチします。 メニュー マップの内容は、現在デバイスにインストールされているオプションによって異なります。 コントロール パネルのメニューおよび可能な値の完全なリストは、「コントロール パネルの使用」を参照してください。
設定ページ デバイスの設定と取り付けられているアクセサリを表示します。	1. [ホーム] 画面から、管理 にタッチします。 2. 情報 にタッチします。 3. 設定ページ にタッチします。 4. 設定ページ にタッチします。 5. 印刷 にタッチします。 **注記**　デバイスに HP Jetdirect プリント サーバやオプションのハード ディスク ドライブが装着されている場合は、それらのデバイスに関する追加の設定ページが印刷されます。
サプライ品ステータス ページ プリント カートリッジのトナー残量を表示します。	1. [ホーム] 画面から、管理 にタッチします。 2. 情報 にタッチします。 3. 設定ページ にタッチします。 4. サプライ品ステータス ページ にタッチします。 5. 印刷 にタッチします。 **注記**　HP 以外のサプライ品を使用している場合は、サプライ品のステータス ページにそれらのサプライ品の残りの寿命が表示されません。 詳細については、「HP 製以外のプリント カートリッジに関する規定」を参照してください。
使用状況ページ 用紙サイズごとの印刷ページ数、片面印刷または両面印刷したページ数、および印刷範囲の平均パーセンテージが表示されます。	1. [ホーム] 画面から、管理 にタッチします。 2. 情報 にタッチします。 3. 設定ページ にタッチします。 4. 使用状況ページ にタッチします。 5. 印刷 にタッチします。

ページの説明	ページの印刷方法
ファイル ディレクトリ デバイスにインストールされているフラッシュ ドライブ、メモリ カード、ハード ディスクなど、大容量ストレージ デバイスの情報を説明します。	1. [ホーム] 画面から、管理 にタッチします。 2. 情報 にタッチします。 3. 設定ページ にタッチします。 4. ファイル ディレクトリ にタッチします。 5. 印刷 にタッチします。
ファックス レポート 5 つのレポートには、ファックス動作、ファックス コール、請求書コード、ブロックされたファックス番号、指定してた短縮ダイアル番号が記載されます。 注記　ファックス レポートは、ファックス機能を持つデバイス モデルの場合のみ使用できます。	1. [ホーム] 画面から、管理 にタッチします。 2. 情報 にタッチします。 3. ファックス レポート にタッチします。 4. 対応するレポートを印刷するには、次のボタンをのいずれかをタッチします。 • ファックス使用状況ログ • ファックス コール レポート • 請求書コード レポート • ブロックするファックス リスト • 短縮ダイアル リスト 5. 印刷 にタッチします。 詳細については、デバイスに付属のファックス ガイドを参照してください。
フォント リスト デバイスに現在インストールされているフォントを表示します。	1. [ホーム] 画面から、管理 にタッチします。 2. 情報 にタッチします。 3. サンプル ページ/フォント にタッチします。 4. PCL フォント リスト または PS フォント リスト にタッチします。 5. 印刷 にタッチします。 注記　フォント リストには、ハード ディスク アクセサリやフラッシュ DIMM に存在するフォントも表示されます。

電子メール警告の設定

注記　社内で電子メールを使用していない場合は、この機能を使用することはできません。

HP Web Jetadmin または内蔵 Web サーバを使用して、デバイスの問題を警告するようにシステムを設定することができます。 警告は、指定した電子メール アカウントへ電子メール メッセージの形式で送信されます。

次の項目を設定することができます。

- 監視するデバイス
- 受け取る警告の内容 (紙詰まり、用紙切れ、サプライ品ステータス、カバーが開いた状態といった警告など)
- 警告を送信する電子メール アカウント

ソフトウェア	参照情報
HP Web Jetadmin	HP Web Jetadmin の一般情報については、「HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用」を参照してください。 警告とその設定方法の詳細については、HP Web Jetadmin のヘルプ システムを参照してください。
内蔵 Web サーバ	内蔵 Web サーバの一般情報については、「内蔵 Web サーバ」を参照してください。 警告とその設定方法の詳細については、内蔵 Web サーバのヘルプ システムを参照してください。

HP Easy Printer Care ソフトウェア

HP Easy Printer Care ソフトウェア を使用して次の作業を行うことができます。

- プリンタのステータスを確認します。
- サプライ品のステータスをチェックする。
- 警告を設定する。
- トラブルシューティングおよび保守ツールにアクセスする。

HP Easy Printer Care ソフトウェア は、プリンタが直接コンピュータに接続されている場合、または ネットワークに接続されている場合に使用できます。HP Easy Printer Care ソフトウェア をダウンロ ードするには、www.hp.com/go/easyprintercare にアクセスしてください。

注記　インターネットに接続していなくても、HP Easy Printer Care ソフトウェア を開いて使 用できます。ただし、Web リンクをクリックする場合は、インターネットに接続していなけれ ば、リンクに関連付けられたサイトに移動できません。

HP Easy Printer Care ソフトウェア を開く

以下のいずれかの方法で HP Easy Printer Care ソフトウェア を起動します。

- **[スタート]** メニューで **[プログラム]** を選択し、**[Hewlett-Packard]**、**[HP Easy Printer Care ソフ トウェア]** の順に選択します。
- Windows のシステム トレイ (デスクトップの右下隅) にある HP Easy Printer Care ソフトウェ ア アイコンをダブルクリックします。
- デスクトップ アイコンをダブルクリックします。

HP Easy Printer Care ソフトウェア のセクション

セクション	オプション
[Device List (デバイス リスト) タブ] **[デバイス]** リストの各デバイスに関する情報を表示します。	• プリンタ名、製造元、モデルなどのデバイス情報 • アイコン (**[View as (表示形式)]** ドロップダウン ボックスでデフォルト設定の **[Tiles (並べて表示)]** が設定されている場合) • デバイスに関する現在の警告 リスト内のデバイスをクリックすると、HP Easy Printer Care ソフトウェア を介して、選択したデバイスの **[概要]** タブが表示されます。
[サポート] タブ ヘルプ情報および各種のリンクを表示します。	• 注意すべき項目に関する警告などのデバイス情報を表示します。 • トラブルシューティングおよび保守ツールへのリンクを表示します。

セクション	オプション
[サプライ品の注文] ウィンドウ サプライ品をオンラインまたは電子メールで注文できます。	● [注文] リスト： デバイスごとに注文可能なサプライ品を表示します。 特定のサプライ品を注文する場合は、サプライ品のリストで必要なサプライ品の **[注文]** チェック ボックスをオンにします。 ● **[Shop Online for Supplies (サプライ品のオンライン注文)]** ボタン： 新しいブラウザ ウィンドウに HP SureSupply Web サイトを開きます。 **[注文]** チェックボックスがオンのサプライ品がある場合は、それらのサプライ品に関する情報が Web サイトに転送され、選択したサプライ品を購入するためのオプションに関する情報が Web サイトに表示されます。 ● **[Print Shopping List (購入リストの印刷)]** ボタン： **[注文]** チェック ボックスをオンにしたサプライ品の情報を印刷します。
[警告の設定] ウィンドウ デバイスに関する問題を自動的に通知するように設定できます。	● 警告のオン/オフ： 警告機能を有効または無効にします。 ● 警告を表示するタイミング： 警告をいつ表示するかを設定します。特定のデバイスに印刷するとき、またはデバイス イベントが発生するたびに表示できます。 ● 警告のイベント タイプ： 重大なエラーのみ、または継続可能なエラーを含むすべてのエラーのどちらに対して警告を表示するかを設定します。 ● 通知方法： 表示する警告のタイプを設定します。タイプにはポップアップ メッセージまたはデスクトップ警報があります。
[概要] タブ デバイスの基本的なステータス情報を表示します。	● **[デバイス]** リスト： 選択可能なデバイスを表示します。 ● **[デバイスのステータス]** セクション： デバイスのステータス情報を表示します。 このセクションには、プリント カートリッジが空になったなど、デバイスの警告状態が表示されます。 また、デバイスの識別情報、コントロール パネル メッセージ、プリント カートリッジの残量も表示されます。 デバイスの問題を解消してから ボタンをクリックすると、このセクションが更新されます。 ● **[サプライ品のステータス]** セクション： プリント カートリッジのトナー残量のパーセンテージや各トレイにセットされているメディアのステータスなど、サプライ品の詳細なステータスを表示します。 ● **[サプライ品詳細]** リンク： デバイスのサプライ品、注文情報、リサイクル情報に関する詳細を表示するサプライ品ステータス ページを開きます。
[他のプリンタを検索] ウィンドウ プリンタ リストにプリンタを追加できます。	**[デバイス]** リストにある **[他のプリンタを検索]** リンクをクリックすると、**[他のプリンタを検索]** ウィンドウが開きます。 **[他のプリンタを検索]** ウィンドウには、その他のネットワーク プリンタを検出する機能があり、検出したプリンタを **[デバイス]** リストに追加してリスト内のデバイスをコンピュータから監視することができます。

内蔵 Web サーバーの使用

注記　プリンタがコンピュータに直接接続されている場合は、HP Easy Printer Care ソフトウェア を使用してプリンタのステータスを表示できます。

- プリンタの制御ステータス情報の表示
- 各トレイにセットされている用紙タイプの設定
- すべてのサプライ品の寿命の確認と新しいサプライ品の注文
- トレイ設定の表示と変更
- プリンタのコントロール パネルのメニュー構成の表示と変更
- 内部ページの表示と印刷
- プリンタ イベントおよびサプライ品イベント通知の受信
- ネットワーク設定の表示と変更
- プリンタの現在の状態に対応したサポート内容の表示

プリンタがネットワークに接続されている場合は、自動的に内蔵 Web サーバーが使用可能になります。内蔵 Web サーバーは Windows 95 以降で開くことができます。

内蔵 Web サーバーを使用するには、Microsoft Internet Explorer 4 以降または Netscape Navigator 4 以降が必要です。内蔵 Web サーバーはプリンタが IP ベースのネットワークに接続しているときに機能します。内蔵 Web サーバーは IPX または AppleTalk プリンタ接続には対応していません。内蔵 Web サーバーはインターネットに接続していなくても開いて使用できます。

ネットワーク接続を使用して、内蔵 Web サーバを開きます。

1. コンピュータ上の対応 Web ブラウザで、アドレスまたは URL フィールドにデバイスの IP アドレスまたはホスト名を入力します。 IP アドレスまたはホスト名を確認するには、設定ページを印刷します。 「[情報ページ] の使用」を参照してください。

   注記　URL を開いたら、いつでもすぐに表示できるようにお気に入り (ブックマーク) に追加することができます。

2. 内蔵 Web サーバには、デバイスに関する設定や情報を確認するための **[情報]** タブ、**[設定]** タブ、**[ネットワーキング]** タブがあります。 表示するタブをクリックしてください。

   各タブの詳細については、「内蔵 Web サーバのセクション」を参照してください。

内蔵 Web サーバのセクション

タブまたはセクション	オプション
[情報] タブ デバイス、ステータス、および設定に関する情報を表示します。	• **[デバイスのステータス]** : デバイスのステータスと HP サプライ品の寿命を表示します。寿命が 0% のときはサプライ品が空になっている状態を示します。 各トレイにセットされている印刷用紙のタイプとサイズも表示されます。 デフォルトの設定を変更する場合は、**[設定の変更]**をクリックします。 • **[設定ページ]** : 設定ページの情報を表示します。

タブまたはセクション	オプション
	● **[サプライ品のステータス]**： HP サプライ品の寿命を表示します。寿命が 0% のときはサプライ品が空になっている状態を示します。 サプライ品のパーツ番号も表示されます。 新しいサプライ品を注文する場合は、ウィンドウの左側にある **[その他のリンク]** 領域の **[サプライ品の注文]** をクリックします。 ● **[イベント ログ]**： すべてのデバイス イベントとエラーの一覧を表示します。 ● **[使用状況ページ]**： 用紙のサイズとタイプ別にデバイスの印刷ページ数の概要を表示します。 ● **[デバイス情報]**： デバイスのネットワーク名、アドレス、およびモデル情報を表示します。 これらのエントリを変更する場合は、**[設定]** タブの **[デバイス情報]** をクリックします。 ● **[コントロール パネル]**： **[印字可]**、**[スリープ モード オン]** など、デバイスのコントロール パネルからのメッセージを表示します。 ● **[印刷]**： 印刷ジョブをデバイスに送信することができます。
[設定] タブ コンピュータからデバイスを設定できます。	● **[デバイスの設定]**： デバイスを設定できます。 このページでは、コントロール パネルを使用して、デバイスの従来型のメニューを表示します。 ● **[電子メール サーバ]**： ネットワーク プリンタ専用です。 **[警告]** ページと合わせて使用し、受信および送信メールの設定の他に電子メール警告の設定も行います。 ● **[警報]**： ネットワーク プリンタ専用です。 さまざまなデバイスおよびサプライ品のイベントの電子メール警告を受信するように設定できます。 ● **[自動送信]**： デバイスの設定およびサプライ品に関する自動電子メールを特定の電子メール アドレスに送信するようにデバイスを設定できます。 ● **[セキュリティ]**： **[設定]** および **[ネットワーキング]** タブにアクセスするためのパスワードを設定します。 内蔵 Web サーバの任意の機能を有効または無効にします。 ● **[その他のリンクの編集]**： 別の Web サイトへのリンクを追加またはカスタマイズできます。 このリンクは、内蔵 Web サーバのすべてのページの **[その他のリンク]** 領域に表示されます。 ● **[デバイス情報]**： デバイスに名前を付け、アセット番号を割り当てることができます。 デバイスに関する情報を受信する主要な連絡先の名前と電子メールアドレスを入力できます。 ● **[言語]**： 内蔵 Web サーバの情報を表示する言語を指定します。 ● **[日付と時刻]**： ネットワーク タイム サーバと時間の同期をとります。 ● **[スリープ復帰時刻]**： デバイスのスリープ復帰時刻を設定または編集できます。 注記 **[設定]** タブはパスワードで保護できます。 デバイスがネットワークに接続されている場合は、このタブで設定を変更する前に必ずデバイスの管理者に相談してください。

タブまたはセクション	オプション
[ネットワーキング] タブ コンピュータからネットワーク設定を変更できます。	ネットワーク管理者は、このタブを使用して、デバイスが IP ベースのネットワークに接続されているときにデバイスのネットワーク関連の設定を制御することができます。 デバイスが直接コンピュータに接続されている場合、またはデバイスが HP Jetdirect プリント サーバ以外を使用してネットワークに接続されている場合、このタブは表示されません。 注記 **[ネットワーキング]** タブはパスワードで保護できます。
[その他のリンク] インターネットに接続するさまざまなリンクが表示されます。	● **[HP Instant Support™]**： トラブルの解決方法を参照するために HP の Web サイトに接続します。 このサービスは、デバイスのエラー ログと設定情報を分析して、そのデバイスに合った診断とサポート情報を提供するものです。 ● **[サプライ品の注文]**： HP SureSupply Web サイトに接続し、プリント カートリッジや用紙などの HP 純正サプライ品の購入オプションに関する情報を表示できます。 ● **[製品サポート]**： デバイスのサポート サイトに接続し、一般的なトピックに関するヘルプを検索することができます。 注記 これらのリンクを使用するには、インターネットにアクセスできる環境が必要です。 ダイヤルアップ接続を使用しており、内蔵 Web サーバを最初に起動したときにインターネットに接続しなかった場合は、これらの Web サイトにアクセスする前にインターネットに接続する必要があります。 インターネットに接続する場合は、内蔵 Web サーバをいったん閉じて再起動しなければならない場合があります。

HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用

HP Web Jetadmin は、ネットワークに接続された周辺装置のインストール、監視、およびトラブルの解決をリモートで実現する Web ベースのソフトウェア ソリューションです。 分かりやすいブラウザ インタフェースによって、HP 製プリンタと HP 製以外のデバイスを含む幅広いデバイスのクロスプラットフォーム管理が容易になります。 問題が発生する前に事前に管理できるので、ネットワーク管理者はユーザーに影響が及ぶ前に問題を解決することができます。 この無料の拡張管理ソフトウェアは、www.hp.com/go/webjetadmin_software からダウンロードしてください。

HP Web Jetadmin 用のプラグインを入手するには、**[プラグイン]** をクリックした後、必要なプラグインの名前の横にある **[ダウンロード]** リンクをクリックします。新しいプラグインが使用可能になると、HP Web Jetadmin ソフトウェアから自動的に通知されます。**[製品の更新]** ページの指示に従うと、HP Web サイトに自動的に接続されます。

HP Web Jetadmin をホスト サーバーにインストールすると、Windows 用の Microsoft Internet Explorer 6.0 や Linux 用の Netscape Navigator 7.1 など、対応している Web ブラウザを通じて任意のクライアントから使用することができます。HP Web Jetadmin ホストにアクセスしてください。

注記　ブラウザは Java 対応である必要があります。Apple PC からのアクセスには対応していません。

Macintosh 版 HP Printer Utility の使用

HP Printer Utility を使用して、Mac OS X コンピュータからプリンタの設定および保守を行うことができます。

HP Printer ユーティリティを開く

Mac OS X バージョン 10.2.8 で HP Printer ユーティリティを開く

1. Finder を開いて **[アプリケーション]** をクリックします。
2. **[ライブラリ]** をクリックし、**[プリンタ]** をクリックします。
3. **[hp]** をクリックし、**[ユーティリティ]** をクリックします。
4. **[HP Printer Selector]** をダブルクリックして、HP Printer Selector を開きます。
5. 設定するデバイスを選択し、**[ユーティリティ]** をクリックします。

Mac OS X v10.3 または v10.4 以降で HP Printer ユーティリティを開く

1. Dock で、**[プリンタ設定ユーティリティ]** アイコンをクリックします。

注記　Dock に **[プリンタ設定ユーティリティ]**アイコンが表示されない場合は、Finder を開いて **[アプリケーション]**、**[ユーティリティ]** の順にクリックし、**[プリンタ設定ユーティリティ]** をダブルクリックします。

2. 設定するデバイスを選択し、**[ユーティリティ]** をクリックします。

HP Printer ユーティリティ機能

HP Printer ユーティリティは、**[構成設定]** リストでクリックして開くページで構成されています。 以下の表では、これらのページで実行できるタスクを説明します。

項目	説明
[設定ページ]	設定ページを印刷します。
[サプライ品のステータス]	デバイスのサプライ品のステータスを表示します。そこからサプライ品のオンライン注文リンクにアクセスできます。
[HP サポート]	技術的なサポート、サプライ品のオンライン注文、オンライン登録、リサイクルと返品についての情報にアクセスできます。
[ファイルのアップロード]	コンピュータからデバイスにファイルを転送します。
[フォントのアップロード]	コンピュータからデバイスにフォントを転送します。
[ファームウェアのアップデート]	コンピュータからデバイスにアップデートされたファームウェアを転送します。
[両面印刷モード]	自動両面印刷モードをオンにします。
[Economode とトナー密度]	[EconoMode] 設定をオンにしてプリンタのトナーを節約したり、トナー濃度を調節します。
[解像度]	REt 設定などの解像度設定を変更します。
[リソースのロック]	ハード ディスクなどの記憶装置をロックまたはロック解除します。
[保存ジョブ]	デバイスのハードディスクに保存されている印刷ジョブを管理します。

項目	説明
[トレイの設定]	デフォルトのトレイ設定を変更します。
[IP 設定]	デバイスのネットワーク設定を変更し、内蔵 Web サーバにアクセスできるようにします。
[Bonjour 設定]	Bonjour サポートのオンとオフの切り替え、またはネットワーク上にリストされたデバイス サービス名の変更ができます。
[その他の設定]	内蔵 Web サーバにアクセスできるようにします。
[電子メール警告]	デバイスを設定して、特定のイベントに対して電子メール通知を送信します。

サプライ品の管理

プリント カートリッジを監視して高品質の出力を保証します。

サプライ品の寿命

プリント カートリッジの寿命は、印刷ジョブに必要なトナーの量およびカートリッジ内のコンポーネントの寿命によって異なります。トナー適用範囲が約 5% のテキスト (通常のビジネス レター) を印刷する場合は、HP プリント カートリッジで平均 18,000 ページ印刷できます。HP が提供するこのページ数の仕様は大まかなガイドラインです。実際のページ数は使用状態によって異なります。

プリント カートリッジの交換

1. 上部カバーのリリースを引いて上部カバーを開きます。

2. プリント カートリッジのハンドルをつかんで、プリンタから取り外します。
3. 新しいプリント カートリッジをパッケージから取り出します。
4. プリント カートリッジに保護テープがある場合ははがします。
5. 新しいプリント カートリッジをプリンタに挿入して、上部カバーを閉じます。

プリント カートリッジの管理

プリント カートリッジの保管

使用するまでは、プリント カートリッジをパッケージから出さないでください。

注意　損傷を防ぐために、プリント カートリッジを長時間 (2、3 分以上) 光に当てないでください。

HP 純正プリント カートリッジの使用

HP 純正の新しいプリント カートリッジを使用すると、以下のサプライ品情報が表示されます。

- サプライ品の残量パーセンテージ
- 予想される残りページ数
- 印刷済みページ数

HP 製以外のプリント カートリッジに関する規定

新品または再生品のどちらについても、HP 製以外のプリント カートリッジの使用はお勧めできません。 HP 製品ではないため、HP がその設計を変更したり、その品質を管理することはできません。

注記　HP 製以外のプリント カートリッジが原因で故障が発生した場合、HP の保証やサービス契約は適用されません。

新しい HP 製プリント カートリッジを取り付けるには、「プリント カートリッジの交換」を参照してください。 使用済みカートリッジをリサイクルするには、新しいカートリッジに付属している以下の手順に従ってください。

プリント カートリッジの認証

デバイスは、取り付けられたプリント カートリッジを自動的に認証します。 認証時に、HP 純正のプリント カートリッジかどうかが表示されます。

HP 製プリント カートリッジを購入したはずなのに、デバイスのコントロール パネルには HP 純正のプリント カートリッジではないことを示すメッセージが表示された場合は、「HP の不正品ホットラインと Web サイト」を参照してください。

HP の不正品ホットラインと Web サイト

HP 製プリント カートリッジを取り付けたときに、HP 製ではないことを示すメッセージがコントロール パネルに表示された場合は、HP 不正品ホットラインに連絡するか (北米の場合はフリーダイヤル 1-877-219-3183)、www.hp.com/go/anticounterfeit にアクセスしてください。 弊社はそのカートリッジが純正品かどうかを調べ、問題を解決するための措置をとるお手伝いをします。

以下の点にお気付きの場合は、お使いのプリント カートリッジが HP 純正プリント カートリッジではない可能性があります。

- プリント カートリッジに問題が多発している。
- カートリッジの外観が通常の外観と異なる (たとえば、オレンジ色のプル タブがない、パッケージが HP 製のパッケージと異なるなど)。

プリンタの清掃

印刷中に紙、トナー、ほこりがプリンタ内に溜まることがあります。長い間には、これがトナーの斑点やにじみなどの原因となり、印刷品質が低下することがあります。プリンタのクリーニング モードを使用して、こうした問題を解決または防止することができます。

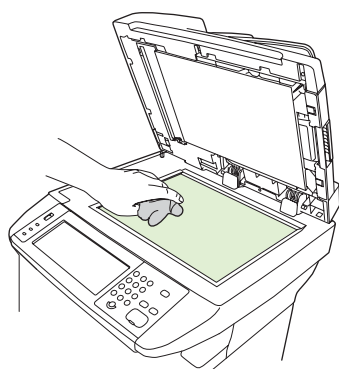
外装のクリーニング

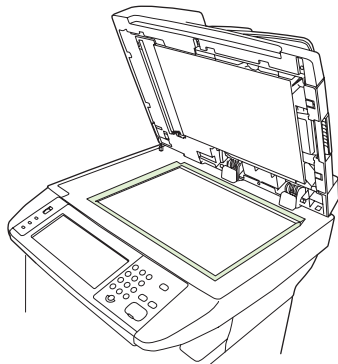
やわらかい湿った糸くずの出ない布を使用して、デバイスの外装からほこり、染み、汚れを拭き取ります。

スキャナのガラス面のクリーニング

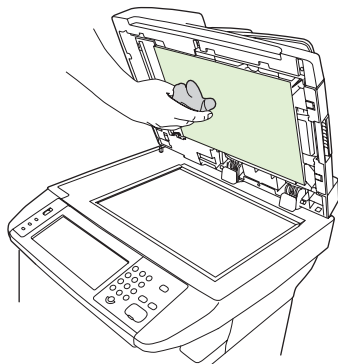
指紋、染み、髪の毛などでガラス面が汚れると、印刷速度が下がり、用紙の大きさに合わせてコピーなどの特殊機能の精度に影響があります。

注記　自動文書フィーダ (ADF) を使用してコピーを作成した場合にのみ線などの不具合が印刷される場合、スキャナのテープをクリーニングしてください (手順 3)。 スキャナのガラス面をクリーニングする必要はありません。

1. スキャナ カバーを開きます。
2. ガラスをクリーニングする場合は、糸くずのでない湿らせた布を使用します。

注意　研磨剤、アセトン、ベンゼン、アンモニア、エチル アルコール、または四塩化炭素は、デバイスのどの部分にも使用しないでください。デバイスが破損する可能性があります。 ガラス面に液体を直接流さないでください。 ガラス面の下に漏れてデバイスが破損する可能性があります。

3. スキャナのテープをクリーニングする場合は、糸くずのでない湿らせた布を使用します。

スキャナ カバーの原稿押さえのクリーニング

スキャナ カバーの裏側にある白いスキャナ カバーの原稿押さえの表面に、微小な塵がたまることがあります。

1. スキャナ カバーを開きます。
2. 中性洗剤とぬるま湯で軽く湿らせた柔らかい布かスポンジで、白い原稿押さえをクリーニングします。 また、ADF のスキャナ ガラス面の横にあるスキャナのテープもクリーニングします。

3. 原稿押さえはそっと拭いて塵を落とします。こすらないようにしてください。
4. セーム革または柔らかい布で原稿押さえを拭いて乾かします。

> **注意**　原稿押さえを傷つける可能性があるため、紙製のクロスは使用しないでください。

5. 原稿押さえの汚れが十分に落ちない場合、布またはスポンジを湿らせるときに無水アルコールを使用して、上記の手順を繰り返します。その後、湿らせた布で残ったアルコールを拭き取ります。

用紙経路のクリーニング

1. [ホーム] 画面の 管理 をタッチします。
2. 印刷品質 をタッチします。
3. 校正/クリーニング をタッチします。
4. クリーニング ページの作成 をタッチします。

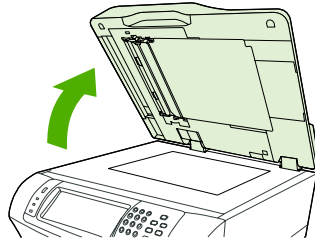
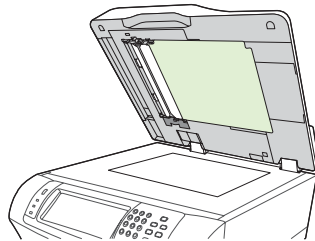
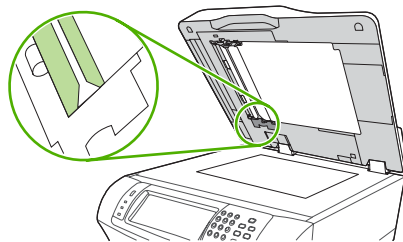
クリーニング ページが印刷されます。

5. クリーニング ページの説明に従ってください。

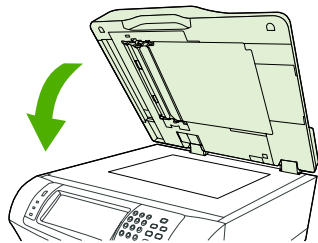
文書フィーダの清掃

汚れが目立つ場合、またはすじが入るなどコピー品質が低下した場合にのみ、文書フィーダを清掃してください。

文書フィーダ送出システムの清掃

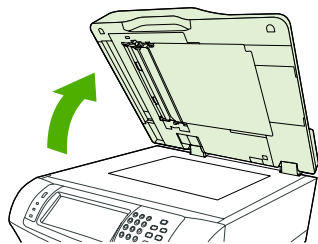
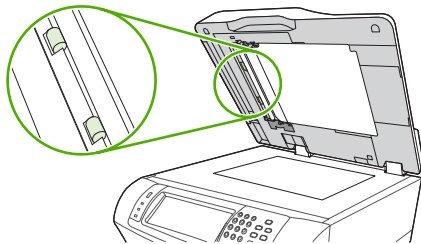
1. スキャナ カバーを開きます。

2. 文書フィーダの白いプラスチックの保護マットを見つけます。

3. 白いプラスチックのキャリブレーション ストリップを見つけます。

4. 湿らせた清潔でけばのない布で、文書フィーダの保護マットとキャリブレーション ストリップを拭きます。水で湿らせた布で文書フィーダのコンポーネントがきれいにならない場合にのみ、アンモニア系クリーナを使用します。

5. 湿らせた清潔なけばのない布で、スキャナ ガラスを軽く拭きます。水で湿らせた布でスキャナ ガラスがきれいにならない場合にのみ、アンモニア系クリーナを使用します。

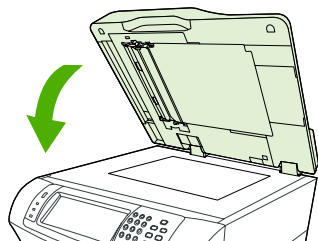
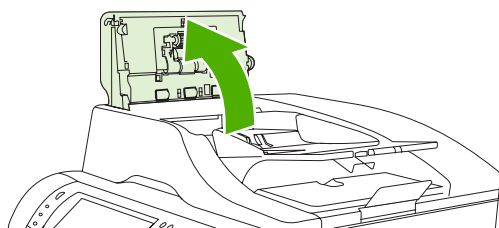
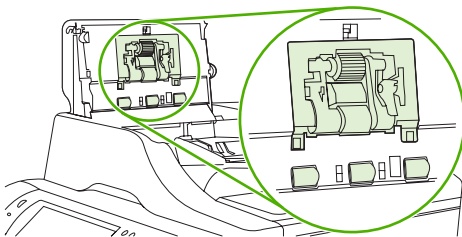
6. スキャナ カバーを閉じます。

文書フィーダ ローラーの清掃

正常に給紙できない場合、または文書フィーダから出てくる原稿が汚れる場合は、文書フィーダのローラーを清掃します。

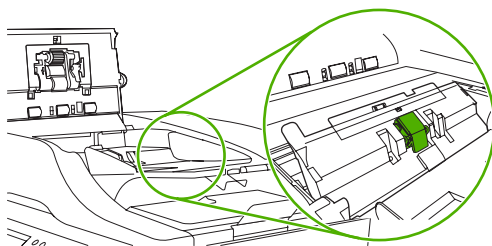
注意　正常に給紙できない場合、原稿が汚れる場合、またはローラーにほこりが付いている場合にのみ、ローラーを清掃します。ローラーをひんぱんに清掃すると、プリンタ内にほこりが入る原因となります。

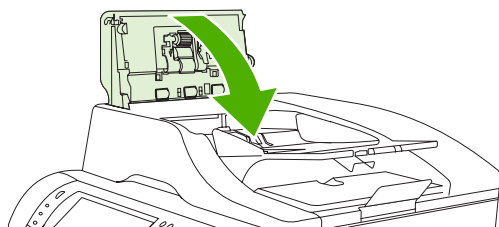
1. スキャナ カバーを開きます。

2. 白いプラスチックのキャリブレーション ストリップのそばにあるローラーを見つけます。

3. 水で湿らせた清潔なけばのない布でローラーを軽く拭きます。

注意　ローラーに直接水をかけないでください。プリンタが破損することがあります。

4. スキャナ カバーを閉じます。

5. リリース レバーを引いて、文書フィーダのカバーを開きます。

6. ローラーを見つけます。

7. 水で湿らせた清潔なけばのない布でローラーを拭きます。

 注意　ローラーに直接水をかけないでください。プリンタが破損することがあります。

8. 分離パッドを見つけます。

9. 水で湿らせた清潔なけばのない布でパッドを拭きます。

10. 文書フィーダのカバーを閉じます。

スキャナの校正

スキャナを校正して、ADF とスキャン機能のスキャナのイメージ システム (キャリッジ ヘッド) で、オフセットを補正します。 機械的な許容範囲なので、スキャナのキャリッジ ヘッダでイメージの位置を適切に読み取ることができないことがあります。 校正手順の間に、スキャナのオフセット値が計算され、保存されます。 文書の正しい範囲がスキャンされるようにスキャンを実行するときに、オフセット値が使用されます。

スキャナの校正は、スキャンしたイメージにオフセットの問題が発生した場合にのみ実行します。 スキャナは工場から出荷する前に校正されています。 再校正が必要な場合はまれです。

1. [ホーム] 画面の 管理 をタッチします。
2. トラブルシューティング にタッチします。
3. スキャナの校正 にタッチし、画面のダイアログボックスの指示に従います。

   校正処理が開始され、処理が完了するまで、タッチスクリーンのステータス行に**[校正中]** と表示されます。

11 問題の解決

この章では、以下のトピックに関する情報を提供します。

問題解決のチェックリスト

問題が発生した場合は、次のチェックリストを使用して問題の原因を特定してください。

- デバイスが電源に接続されていますか。
- デバイスの電源が入っていますか。
- デバイスが **[準備完了]** 状態になっていますか。
- 必要なケーブルがすべて接続されていますか。
- コントロール パネルにメッセージが表示されていますか。
- HP 社の純正サプライ品を取り付けていますか。
- 最近交換したプリント カートリッジが正しく取り付けられていて、カートリッジの引きつまみやテープが取り除かれていますか。

設置とセットアップの詳細については、『セットアップ ガイド』を参照してください。

このガイドに問題の解決方法が見つからない場合は、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください。

パフォーマンスに影響する要因

印刷の所要時間は、次のような要因に影響されます。

- 特殊な用紙の使用 (OHP フィルム、厚手の用紙、カスタム サイズの用紙など)
- プリンタの処理時間とダウンロード時間
- グラフィックスの複雑さおよびサイズ
- 使用しているコンピュータの速度
- USB 接続
- I/O の構成
- 搭載メモリの容量
- ネットワーク オペレーティング システムおよび構成 (使用可能な場合)
- デバイスのパーソナリティ (PCL または PS)

注記　メモリを増設すればメモリの問題が解決し、複雑なグラフィックスの処理方法が向上し、ダウンロード時間が短縮されますが、最大印刷速度 (ppm) が高速になることはありません。

問題解決のフローチャート

問題	確認する項目	考えられる原因	解決方法
コントロール パネルのディスプレイが空白、すべてのランプが消えている、デバイスのモーターの音が聞こえない。	電源が入っていますか？	電源スイッチがオフになっている。 電源コードがコンセントに接続されていない。 コンセントが正常に機能していない。 内部電源モジュールが故障している。	1. デバイスがコンセントに接続され、電源スイッチがオンになっていることを確認します。 2. 正常に動作することがわかっている装置をコンセントに差し込んで、コンセントをテストします。 3. 問題が解決しない場合は、HP カスタマ ケアまでお問い合わせください。HP カスタマ ケアを参照してください。
コントロール パネルにエラー メッセージが表示される。	エラー メッセージがコントロール パネルのディスプレイに表示されていますか？	いくつかの状態が原因でエラー メッセージが表示されることがあります。	1. コントロール パネルの指示に従って問題を解決します。 2. 詳細については、コントロール パネルのメッセージを参照してください。 3. 問題が解決しない場合は、HP カスタマ ケアまでお問い合わせください。HP カスタマ ケアを参照してください。
	コピー や 電子メール などの主要機能がタッチスクリーン上で無効になっていませんか？	スキャナの搬送用ロックがロック位置になっている。	スキャナの搬送用ロックが解除されていることを確認します。スキャナのロックはデバイスの左側のスキャナの下部にあります。
給紙の問題	紙詰まりがひんぱんに発生しますか？	メディアが仕様を満たしていない。 以前に紙詰まりを起こしたときの紙がデバイス内に残っている。 搬送用テープ、ボール紙、または搬送用ロックがデバイスに残っている。 保守キットを交換する必要がある。	1. メディアがデバイスの仕様に従っていることを確認します。印刷メディアの選択を参照してください。 2. すべてのドアとトレイを開いて、メディアが詰まっていないことを確認します。紙詰まりの解決を参照してください。 3. プリント カートリッジが正しく取り付けてあることを確認します。プリント カートリッジの交換を参照してください。 4. デバイスの保守キットを取り付けます。パーツ、アクセサリ、サプライ品の注文を参照してください。 5. 問題が解決しない場合は、HP カスタマ ケアまでお問い合わせください。HP カス

問題	確認する項目	考えられる原因	解決方法
			タマ ケアを参照してください。
	原稿が ADF から正しく給紙されますか？	原稿が印刷されたメディアが ADF に対して薄すぎるまたは厚すぎる。 ADF のローラーと分離パッドが汚れている。 ADF 保守キットのパーツの交換が必要。	1. 原稿が非常に厚いメディアまたは薄いメディアに印刷されている場合は、フラットベッド ガラスを使用してコピーします。 2. ADF のローラーと分離パッドを清掃します。文書フィーダの清掃を参照してください。 3. ADF 保守キットを取り付けます。パーツ、アクセサリ、サプライ品の注文を参照してください。 4. 問題が解決しない場合は、HP カスタマ ケアまでお問い合わせください。HP カスタマ ケアを参照してください。
コピーの問題	コピーが空白ですか？	原稿の面を逆にセットした。	1. ADF には、原稿の印刷面を上向きにしてセットします。 2. スキャナのガラス上には、原稿の印刷面を下向きにしてセットします。 3. 問題が解決しない場合は、HP カスタマ ケアまでお問い合わせください。HP カスタマ ケアを参照してください。
	ADF とスキャナ ガラスを使ったコピーが低画質ですか？	原稿のコピー設定を調整する必要がある。	コピー設定の調整を参照してください。 問題が解決しない場合は、HP カスタマ ケアまでお問い合わせください。HP カスタマ ケアを参照してください。
	ADF を使ったコピーだけが低画質ですか？	ADF のガラス ストリップが汚れている。	スキャナ ガラスを清掃します。プリンタの清掃を参照してください。 問題が解決しない場合は、HP カスタマ ケアまでお問い合わせください。HP カスタマ ケアを参照してください。
	スキャナ ガラスを使ったコピーだけが低画質ですか？	スキャナ ガラスが汚れている。	スキャナ ガラスの左側のガラス ストリップを清掃します。プリンタの清掃を参照してください。 問題が解決しない場合は、HP カスタマ ケアまでお問い合わせください。HP カスタマ ケアを参照してください。

問題	確認する項目	考えられる原因	解決方法
印刷品質の問題	全体的な印刷品質が劣っていますか？ 印刷が薄すぎますか？ ページに線、すじ、または点が発生しますか？	メディアが仕様を満たしていない。 プリント カートリッジが空か、破損している。 保守キットを交換する必要がある。	1. メディアがデバイスの仕様に従っていることを確認します。印刷メディアの選択を参照してください。 2. プリント カートリッジを交換してください。プリント カートリッジの交換を参照してください。 3. デバイスの保守キットを取り付けます。パーツ、アクセサリ、サプライ品の注文を参照してください。 4. 問題が解決しない場合は、HP カスタマ ケアまでお問い合わせください。HP カスタマ ケアを参照してください。
一般的な印刷の問題	コンピュータから文書を印刷できますか？	コンピュータのケーブルが破損している。 プリンタ ドライバの再インストールが必要。	1. コントロール パネルで構成ページを印刷してみます。ネットワーク アドレス を選択してから、印刷 を選択してください。 ページを印刷できる場合は、ケーブルまたはドライバに問題があります。 2. ケーブルを接続しなおします。 3. プリンタ ドライバを再インストールします。プリンタ ドライバはデバイスに同梱されている CD に収録されています。 4. 問題が解決しない場合は、HP カスタマ ケアまでお問い合わせください。HP カスタマ ケアを参照してください。
	ネットワーク経由で印刷できますか？	ネットワークの設定が正しくない。	1. コンピュータをデバイスに直接接続してみます。印刷できる場合は、ネットワークの設定に問題があります。ネットワーク印刷に関するトラブルの解決を参照してください。 2. 問題が解決しない場合は、HP カスタマ ケアまでお問い合わせください。HP カスタマ ケアを参照してください。

問題	確認する項目	考えられる原因	解決方法
	特定のソフトウェア プログラムから印刷する場合に問題が発生しますか？	ソフトウェア プログラムに問題がある可能性がある。	1. 別のソフトウェア プログラムを使って印刷してみます。印刷できる場合は、元のソフトウェア プログラムに問題があります。 2. ソフトウェア プログラムのマニュアルを参照してください。
ステイプルの問題	ジョブをステイプルで留めることができますか？	ステイプル カセットが詰まっている。 ステイプル カセットの交換が必要。	1. ステイプル カセットを取り外して、詰まっていないか、または空でないかを確認します。ステイプル ジャムの解決を参照してください。 2. 問題が解決しない場合は、HP カスタマ ケアまでお問い合わせください。HP カスタマ ケアを参照してください。
電子メールの問題	電子メールの添付ファイルを送信できますか？ コントロール パネルに「電子メール ゲートウェイが応答していません」というメッセージが表示されますか？	SMTP ゲートウェイを再設定する必要がある。	電子メールの問題を解決するを参照してください。
	「送信元」の電子メール アドレスを変更できますか？	「送信元」電子メール アドレスを変更できないようにデバイスが設定されている。 「送信元」電子メール アドレスを変更するには、サイン インが必要。	内蔵 Web サーバーを使用してこれらの設定を変更します。内蔵 Web サーバを参照してください。
	電子メールの添付ファイルのファイル タイプまたはカラー設定を変更できますか？	コントロール パネルまたは内蔵 Web サーバーを使用して設定を変更する。	1. コントロール パネルで電子メール を選択してから、その他のオプション を選択します。現在のジョブの電子メール設定を変更を参照してください。 2. 内蔵 Web サーバーを使用して設定を変更する方法については、内蔵 Web サーバを参照してください。
	電子メールの添付ファイルを送信しようとすると、「ジョブが失敗しました」という電子メール メッセージが届きますか？	文書の送信先の電子メール アドレスが正しくない。 ファイル サイズが SMTP ゲートウェイの最大許容サイズを超えている。	1. コンピュータからテストの電子メールを送信します。 2. 内蔵 Web サーバーを使用して、電子メール添付ファイルの最大許容サイズを変更します。内蔵 Web サーバを参照してください。

問題	確認する項目	考えられる原因	解決方法
ファックスの問題	コントロール パネルの ファックス 機能が無効になっていませんか？	ファックス 機能を使用する前に、必要な設定を行わなかった。	1. コントロール パネルで 管理 - 初期セットアップ - ファックス セットアップ の順に選択します。 2. 実装位置、日付/時刻、ファックス ヘッダ の設定を指定します。
	コントロール パネルの ファックス 機能が完全になくなっていませんか？	ファックス アクセサリを正しく取り付けていない。	1. ファックス アクセサリが正しく取り付けられていて、ピンが曲がっていないことを確認します。ファックス アクセサリをインストールするを参照してください。 2. 構成ページを印刷して、モデム ステータスを確認します。「動作可能/有効」となっている必要があります。モデム ステータスがこれ以外になっている場合は、ファックス アクセサリに問題があります。
	ファックス 機能が正しく設定されていても、ファックスを送信できませんか？	デバイスに同梱されている電話コードを使用する必要がある。 電話コードが確実に接続されていないか、電話回線が機能していない。 デバイスをアナログ電話回線ではなく、デジタル電話回線に接続している。ファックス アクセサリの場合はアナログ電話回線が必要。	ファックスの問題を解決するを参照してください。 1. 必ずデバイスに同梱されている電話コードを使用してください。 2. 電話機を接続して電話をかけて、電話回線をテストします。 3. デバイスをアナログ電話回線に接続していることを確認します。
	ファックス 機能が正しく設定されていても、ファックスを受信できませんか？	ライン スプリッタまたはサージ保護装置が着信するファックスに干渉している。 留守番電話またはボイスメール システムが着信するファックスを妨害している。	ファックスの問題を解決するを参照してください。 1. ライン スプリッタまたはサージ保護装置を使用しないでください。 2. 留守番電話機またはボイスメール システムを取り外します。 3. ファックス アクセサリの呼び出し回数を少なく設定してください。[初期セットアップ] メニューを参照してください。 4. デバイスが専用アナログ回線に接続されていることを確認します。ロールオーバラインは使用しないでください。

一般的なプリンタの問題の解決

プリンタが間違ったトレイからメディアを選択しました。

原因	解決方法
ソフトウェアのトレイの選択が間違っている可能性があります。	多くのソフトウェア プログラムで、給紙トレイの選択はプログラム内の**[ページ設定]**メニューにあります。 他のトレイにあるメディアを削除して、正しいトレイからプリンタを選択してください。 Macintosh コンピュータを使用している場合は、HPPrinter Utility を使用して、トレイの優先順位を変更します。
設定されたサイズがトレイにセットされたメディアに一致していません。	幅ガイドを調整して、トレイにセットされたメディアに一致させます。

プリンタがトレイから用紙を引き出しません。

原因	解決方法
トレイが空です。	トレイに用紙をセットします。
用紙ガイドが正しく設定されていません。	ガイドの正しい設定方法については、メディアのセットを参照してください。 トレイ 2、3、4、または 5 で、一番上の用紙の辺が平らであることを確認してください。用紙の辺が平らでない場合は、リフト プレートが上昇できなくなります。

プリンタの中で用紙がカールしています。

原因	解決方法
上部の排紙ビンにある用紙がカールしています。	プリンタ ドライバまたはコントロール パネルで平らな用紙を選択します。 印刷している用紙を裏返します。 フューザーの温度を下げて、用紙のカールを防ぎます。(印刷品質メニューを参照してください。)

プリント ジョブのスピードが極端に低下します。

原因	解決方法
ジョブは非常に複雑な場合があります。 メモリを追加した場合でも、プリンタは最大スピードを超えて動作することはできません。 カスタム サイズのメディアを印刷する場合は、印刷スピードが自動的に抑えられます。	ページの複雑さを軽減するか、印刷品質設定を調整します。この問題が頻繁に発生する場合は、プリンタにメモリを追加します。

プリント ジョブのスピードが極端に低下します。

原因	解決方法
注記：トレイ 1 または**[高 2]**ヒューザー モードを使用して幅の狭い用紙を印刷する場合は、印刷スピードが自動的に遅くなります。	
PDF ファイルまたは PostScript (PS) ファイルを印刷するときに、PCL デバイス ドライバを使用しています。	PCL デバイス ドライバではなく、PS デバイス ドライバを使用します。(通常はソフトウェア プログラムで実行できます。)

印刷ジョブで用紙の両面に印刷されてしまいます。

原因	解決方法
プリンタが両面印刷に設定されています。	プリンタ ドライバを開くまたはオンライン ヘルプを参照して、設定を変更します。

印刷ジョブには片面印刷が設定されていますが、プリンタが裏面にも印刷してしまいます (用紙が一度排出された後、再びプリンタの中に戻っていきます)。

原因	解決方法
プリンタが両面印刷に設定されています。印刷ジョブで片面印刷が設定されていても、プリンタは裏面にも印刷します。	プリンタ ドライバを開くまたはオンライン ヘルプを参照して、設定を変更します。 両面印刷が終了するまで、用紙を引っ張らないでください。紙詰まりの原因となります。

ページが印刷されましたが、用紙全体が空白です。

原因	解決方法
プリント カートリッジに密封テープが残っている可能性があります。	プリント カートリッジを取り外し、密封テープを引き剥がして、カートリッジを再度取り付けます。
ファイルが空白ページの可能性があります。	ファイルに空白ページが含まれていないか、確認します。

プリンタが印刷を行いますが、テキストが正しく印刷されないか、文字化けしているか、または完全に印刷されません。

原因	解決方法
プリンタ ケーブルが緩んでいるか、不良です。	プリンタ ケーブルをはずして再度接続します。正しく動作することがわかっている印刷ジョブを実行します。可能であれば、そのケーブルでプリンタを別のコンピュータに接続して、正しく動作することがわかっている印刷ジョブを実行します。最後に、新しいケーブルで試してみます。
ソフトウェアで、間違ったドライバが選択されています。	[software device selection (ソフトウェア デバイス選択)] メニューをチェックして、HP LaserJet M4345 デバイスが選択されていることを確認します。
ソフトウェア プログラムが正常に機能していません。	別のプログラムから印刷ジョブを実行します。

ソフトウェアで [プリント] を選択すると、プリンタが応答しません。

原因	解決方法
プリンタにメディアがありません。	メディアを追加します。
プリンタが手差し給紙モードになっている可能性があります。	プリンタの手差し給紙モードを変更します。
コンピュータとプリンタ間のケーブルが正しく接続されていません。	ケーブルを抜いて、再度接続します。
プリンタ ケーブルが不良です。	可能であれば、そのケーブルを別のコンピュータに接続して、正しく動作することがわかっているジョブを印刷します。別のケーブルを使用して確認することもできます。
ソフトウェアで間違ったプリンタが選択されています。	[software device selection (ソフトウェア デバイス選択)] メニューをチェックして、HP LaserJet M4345 デバイスが選択されていることを確認します。
プリンタで紙詰まりが発生している可能性があります。	両面印刷部分に注意しながら (両面印刷ユニットがある場合)、紙詰まりを解消します。紙詰まりの解決を参照してください。
プリンタのソフトウェアで、デバイス ポートが設定されていません。	[software device selection (ソフトウェア デバイス選択)] メニューをチェックして、正しいポートが使用されていることを確認します。コンピュータに複数のポートがある場合、プリンタが正しいポートに接続されていることを確認します。
プリンタがネットワーク上にありますが、シグナルを受信しません。	ケーブル接続を確認します。印刷ソフトウェアを再インストールします。正しく動作することがわかっているジョブを印刷します。 プリント キューから停止しているジョブを取り除きます。
プリンタに電源が供給されていません。	ライトが点灯していない場合は、電源コードの接続を確認します。電源スイッチを確認します。電源ソースを確認します。
プリンタが正しく動作しません。	コントロール パネル ディスプレイのメッセージとライトを確認して、プリンタのエラーが示されていないか確認します。メッセージをチェックして、コントロール パネルのメッセージを確認します。

コントロール パネルのメッセージのタイプ

コントロール パネルに表示される 4 種類のメッセージによって、デバイスのステータスや問題が示されます。

メッセージの種類	説明
ステータス メッセージ	ステータス メッセージはデバイスの現在のステータスを表します。デバイスが正常に動作していて、メッセージをクリアする操作が必要ないことを示しています。デバイスの状態が変化すると、メッセージも変化します。デバイスの準備が整い、ビジー状態でなく、保留中の警告メッセージがない場合、デバイスがオンラインのときには常にステータス メッセージ **[準備完了]** が表示されます。
警告メッセージ	警告メッセージはデータ エラーと印刷エラーを示します。これらのメッセージは通常、**[準備完了]** またはステータス メッセージと交互に表示され、OK を選択するまで表示されたままになります。一部の警告メッセージはクリアすることができます。**[解除可能な警告]** が **[ジョブ]** に設定されている (デバイスの デバイス動作 メニュー) 場合は、次の印刷ジョブによってメッセージがクリアされます。
エラー メッセージ	エラー メッセージは、用紙の補給や紙詰まりの解消など、何らかの処置が必要なことを通知します。 一部のエラー メッセージの場合は自動続行可能です。メニューで **[自動継続]** が設定されている場合は、自動継続のエラー メッセージが 10 秒間表示された後で、プリンタが通常の動作を続行します。 **注記** 自動継続可能なエラー メッセージが 10 秒間表示されている間にいずれかのボタンを押すと、自動継続機能は無効になり、押したボタンの機能が優先されます。 たとえば、[停止] ボタンを押すと印刷が停止し、ジョブをキャンセルするためのオプションが表示されます。
重大なエラー メッセージ	重大なエラー メッセージはデバイスのエラーを示します。一部の重大なエラー メッセージは、デバイスの電源を切って再度電源を入れることでクリアできます。これらのメッセージには、**[自動継続]** 設定は影響しません。重大なエラーが解決しない場合は、修理が必要です。

コントロール パネルのメッセージ

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[<IP Address> のデジタル送信サービスはこの MFP に使用できません。管理者に連絡してください。]	MFP が指定された IP アドレスと通信できません。	IP アドレスを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[10.XX.YY サプライ品のメモリ エラー]	MFP が少なくとも 1 つのプリント カートリッジの e-ラベルを読み取りまたは書き込みできませんでした。または、プリント カートリッジに e-ラベルが見つかりません。	プリント カートリッジを再度取り付けるか、新しい HP 製プリント カートリッジを取り付けてください。
[11.XX 内部クロック エラー。続けるには [OK] を押してください。]	MFP のリアル タイム クロックにエラーが発生しました。	MFP の電源を切って再度投入した場合は、常にコントロール パネルで日付と時刻を設定してください。コントロール パネルの使用を参照してください。 それでもエラーが解決しない場合は、フォーマッタの交換が必要な場合があります。
[13.JJ.NT トレイ 1 の紙詰まり]	トレイ 1 にメディアが詰まっています。	詰まったメディアをトレイ 1 から取り除いてください。画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。トレイ 1 の紙詰まりを解決するを参照してください。
[13.JJ.NT トレイ 2 の右側ドア内での紙詰まり]	トレイ 2 のジャム アクセス ドア内にメディアが詰まっています。	画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。
[13.JJ.NT トレイ 2 内での紙詰まり]	トレイ 2 にメディアが詰まっています。	画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。トレイ 2、3、4、または 5 の紙詰まりを解決するを参照してください。
[13.JJ.NT トレイ X の紙詰まり]	指定されたトレイにメディアが詰まっています。	画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。トレイ 2、3、4、または 5 の紙詰まりを解決するを参照してください。
[13.JJ.NT 右側ドア内での紙詰まり。トレイ X の上の右側のドアをすべて開きます。]	指示されたトレイのジャム アクセス ドア内にメディアが詰まっています。	画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。
[13.JJ.NT 左排紙部分内での紙詰まり。排紙ビンと両面印刷ユニットを取り外します。]	排紙領域にメディアが詰まっています。	画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。出力部の紙詰まりを解決するを参照してください。
[13.JJ.NT 紙詰まり。給紙トレイを開きます。]	トレイ内にメディアが詰まっています。	画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。
[13.JJ.NT 上部カバー内での紙詰まり]	上部カバー領域にメディアが詰まっています。	画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。上部カバーとプリント カートリッジ部から詰まった用紙を取り除くを参照してください。
[13.JJ.NT 上部カバー内での紙詰まり。プリント カートリッジを取り外します。]	メディアが上部カバー領域に詰まっています。プリント カートリッジを取り外して詰まったメディアを取り除く必要があります。	画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。上部カバーとプリント カートリッジ部から詰まった用紙を取り除くを参照してください。
[13.JJ.NT 上部カバー内での複数の紙詰まり。プリント カートリッジを取り外します。]	上部カバー領域の複数の場所にメディアが詰まっています。プリント カートリッジを取り外して、詰まったメディアを取り除く必要があります。	画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。上部カバーとプリント カートリッジ部から詰まった用紙を取り除くを参照してください。
[13.JJ.NT 排紙ビンでの紙詰まり]	排紙ビンにメディアが詰まっています。	排紙ビンを取り外して、詰まったメディアを静かに取り除いてください。排紙ビンを再度

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		取り付けます。画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。
[13.JJ.NT 封筒フィーダの紙詰まり]	封筒フィーダにメディアが詰まっています。	封筒フィーダから詰まったメディアを取り除いてください。画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。オプションの封筒フィーダ部の紙詰まりを解消するを参照してください。
[13.JJ.NT 両面印刷ユニット内の紙詰まり。左下から両面印刷ユニットを取り外します。]	両面印刷ユニットにメディアが詰まっています。	画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。オプションの両面印刷ユニットの紙詰まりを解決するを参照してください。
[20 メモリ不足。続けるには [OK] を押してください。]	MFP が使用可能なメモリ容量を超えるデータを受信しました。転送しようとしたマクロ、ソフト フォント、または複雑なグラフィックスが多すぎた可能性があります。	**[OK]** を選択して転送したデータを印刷してください (一部のデータが失われる可能性があります)。その後で、印刷ジョブを単純にするか、メモリを増設してください。プリンタ メモリの追加を参照してください。
[21 ページが複雑すぎます。続けるには [OK] を押してください。]	ページのフォーマット プロセスが MFP に十分な速度ではありません。	**[OK]** を選択して転送したデータを印刷してください(一部のデータが失われる可能性があります)。このメッセージがたびたび表示される場合は、印刷ジョブを単純にしてください。
[22 EIO X バッファ オーバーフロー。続けるには [OK] を押してください。]	指定されたスロット (x) の EIO カードに転送されたデータが多すぎます。誤った通信プロトコルを使用している可能性があります。	**[OK]** を選択して転送したデータを印刷してください(一部のデータが失われる可能性があります)。 ホストの構成を確認してください。それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[22 内蔵 I/O バッファ オーバーフロー。続けるには [OK] を押してください。]	埋め込み HPJetdirect プリント サーバーに送信されたデータが多すぎます。	**[OK]** を選択して転送したデータを印刷してください(一部のデータが失われる可能性があります)。
[30.1.YY スキャナ故障]	スキャナにエラーが発生しました。	スキャナのロックを確認してください。MFP の電源をオフにしてから、オンにします。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[40 EIO X 伝送不良。続けるには [OK] を押してください。]	MFP と 指定されたスロット内の EIO カードとの接続が切断されています。	**[OK]** を選択してエラー メッセージをクリアし、印刷を続行してください。
[40 シリアル通信不良。続けるには [OK] を押してください。]	データをコンピュータで送信する際に、シリアル データのエラー (パリティ、フレーミング、またはライン オーバーラン) が発生しました。	**[OK]** を選択してエラー メッセージをクリアしてください(データは失われます)。
[40 内蔵 I/O 伝送不良。続けるには [OK] を押してください。]	一時的な印刷エラーが発生しました。	MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせくださ

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		い(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[41.3 トレイ XX の用紙サイズは設定外。トレイ XX に <TYPE> <SIZE> の用紙をセットします。]	これは通常、MFP 内で複数枚のメディアが張り付いている場合や、トレイが正しく調整されていない場合に発生します。	正しいサイズのメディアをトレイにセットしてください。印刷ジョブに必要なサイズを含むトレイを使用するように、トレイのサイズを設定しなおしてください。画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。
[41.3 トレイ XX の用紙サイズは設定外。別のトレイを使用するには [OK] を押してください。]	指定されたトレイに、トレイに適合する長さより給紙方向に長いまたは短いメディアがセットされています。	**[OK]** を選択して別のトレイを使用してください。印刷ジョブに必要なサイズのメディアがセットされたトレイを使用するように、トレイのサイズを設定しなおしてください。コントロール パネルのディスプレイでメッセージが自動的にクリアされない場合は、MFP の電源を切って、再度電源を入れてください。
[41.3 メディアが短いため、下向き排紙ビンへの送信不可]	メディアが長さの最小値仕様を満たしていないため、選択したメディアの裏面排紙を実行できません。	表面排紙を選択するか、より長いサイズのメディアをトレイにセットしてください。ジョブを再送信してください。印刷メディアの選択を参照してください。
[41.3 メディアが短いため両面印刷不可]	メディアが長さの最小値仕様を満たしていないため、選択したメディアの両面印刷を実行できません。	片面印刷を選択するか、より長いサイズのメディアをセットしてください。ジョブを再送信してください。印刷メディアの選択を参照してください。
[41.X エラー。続けるには [OK] を押してください。]	一時的な印刷エラーが発生しました。	**[OK]** を選択してエラー メッセージをクリアしてください。エラーがクリアされない場合は、MFP の電源を切って、再度電源を入れてください。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[49.XXXXX エラー。続けるには、電源を切り、入れ直します。]	重大なファームウェア エラーが発生しました。	サードパーティ製の装置を取り外してください。MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[50.X フューザ エラー]	フューザー エラーが発生しました。	正しいフューザーを使用していることを確認してください。フューザーを再度取り付けてください。MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[51.XY エラー。続けるには、電源を切り、入れ直します。]	一時的な印刷エラーが発生しました。	MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[52.XY エラー。続けるには、電源を切り、入れ直します。]	一時的な印刷エラーが発生しました。	MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[53.XY.ZZ RAM DIMM スロット <X> を確認。続けるには [OK] を押してください。]	MFP のメモリに問題があります。問題の原因となった DIMM は使用されません。**[X]** の値を次に示します。 **[X]** = デバイスの場所 **[0]** = 内蔵メモリ **[1]** = スロット 1	指定された DIMM を取り付けなおすか交換する必要がある場合があります。 MFP の電源を切って、エラーの原因となった DIMM を交換してください。プリンタ メモリの追加を参照してください。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[55.XX.YY DC コントローラ エラー。続けるには、電源を切り、入れ直します。]	プリント エンジンがフォーマッタと通信していません。	MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[56.X エラー。続けるには、電源を切り、入れ直します。]	一時的な印刷エラーが発生しました。	MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[57.XX エラー。続けるには、電源を切り、入れ直します。]	一時的な印刷エラーが発生しました。	MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[58.XX エラー。続けるには、電源を切り、入れ直します。]	一時的な印刷エラーが発生しました。	MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせくださ

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		い(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[59.XY エラー。続けるには、電源を切り、入れ直します。]	一時的な印刷エラーが発生しました。	MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[60.X エラー。続けるには、電源を切り、入れ直します。]	**[X]** で指定されたトレイが正しく上げられていません。	画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。
[62 システムなし。続けるには、電源を切り、入れ直します。]	MFP のファームウェアに問題があります。	MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[64 エラー。続けるには、電源を切り、入れ直します。]	スキャン バッファ エラーが発生しました。	MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[66.XY.ZZ 排紙デバイスの故障]	外部の用紙処理アクセサリにエラーが発生しました。	**1.** MFP の電源を切ります。 **2.** アクセサリが正しく取り付けられ、MFP に接続され、MFP とアクセサリとの間に隙間がないことを確認してください。アクセサリがケーブルを使用している場合は、ケーブルを取り外して再度接続してください。 **3.** 排紙装置内や排紙装置の周りに梱包材が残っていないことを確認してください。 **4.** MFP の電源を入れます。 **5.** それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[68.X 永久記憶装置が一杯です。続けるには [OK] を押してください。]	MFP NVRAM がいっぱいです。NVRAM に保存される一部の設定が工場出荷時の設定にリセットされる場合があります。印刷を続行できますが、永久記憶装置にエラーが発生すると一部の予期しない機能が実行されることがあります。	**[OK]** を選択してメッセージをクリアしてください。メッセージがクリアされない場合は、MFP の電源を切って、再度電源を入れてください。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたは

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		サポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[68.X 永久記憶装置の書き込みに失敗。続けるには [OK] を押してください。]	MFP NVRAM の書き込みが失敗しました。印刷を続行できますが、永久記憶装置にエラーが発生すると一部の予期しない機能が実行されることがあります。	**[OK]** を選択してメッセージをクリアしてください。メッセージがクリアされない場合は、MFP の電源を切って、再度電源を入れてください。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[68.X 記憶装置エラー。設定が変更されました。続けるには [OK] を押してください。]	MFP のいくつかの設定が無効なため、工場出荷時の設定にリセットされました。印刷を続行できますが、永久記憶装置にエラーが発生すると一部の予期しない機能が実行されることがあります。	**[OK]** を選択してメッセージをクリアしてください。メッセージがクリアされない場合は、MFP の電源を切って、再度電源を入れてください。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[69.X エラー。続けるには、電源を切り、入れ直します。]	一時的な印刷エラーが発生しました。	MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[79 エラー。続けるには、電源を切り、入れ直します。]	重大なハードウェア エラーが発生しました。	MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[8X.YYYY EIO エラー]	EIO アクセサリ カードに **[YYYY]** に示す重大なエラーが発生しました。	次の操作を試して、メッセージをクリアしてください。 **1.** MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 **2.** MFP の電源を切って、EIO をリセットし、再度 MFP の電源を入れます。 **3.** EIO アクセサリを交換します。
[8X.YYYY 内部 JETDIRECT エラー]	埋め込み HPJetdirect プリント サーバーに、**[YYYY]** に示す重大なエラーが発生しました。	MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[HP デジタル送信：送信エラー]	デジタル送信ジョブが失敗したため、送信できません。	ジョブを再送信してみてください。
[HP 製ではないサプライ品が取り付けられています。Economode 無効。]	HP 製以外のサプライ品または再生された HP 製のサプライ品が取り付けられています。	画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。
[LDAP サーバーが応答していません。管理者に連絡してください。]	LDAP サーバーが要求されたアドレスのタイムアウト値を超えました。	LDAP サーバー アドレスを確認してください。電子メールの問題を解決するを参照してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[Novel ログインが必要です]	この宛先に対して Novell 認証が有効化されています。	Novell ネットワークの信用証明を入力して、要求した機能にアクセスしてください。
[PIN が間違っています。4 桁の数字を入力してください。]	PIN の形式が正しくありません。	4 桁の PIN を入力してください。
[PIN が間違っています。PIN を再入力してください。]	入力した PIN が正しくありません。	PIN を再入力してください。
[SMTP ゲートウェイ]	SMTP ゲートウェイがタイムアウト値を超えました。	電子メール サーバーのアドレスを確認してください。電子メールの問題を解決するを参照してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[アクセスできません。メニューがロックされました。]	無許可のアクセスを防ぐため、使用しようとしたコントロール パネルの機能がロックされました。	ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[アドレス情報が原因で、電子メール ゲートウェイがジョブを拒絶しました。ジョブが失敗しました。]	電子メール アドレスが誤っています。	正しいアドレスを使用してジョブを再送信してください。
[カートリッジの故障です。カートリッジを返品し、交換してください。]	プリント カートリッジに密封テープが残っています。	残った密封テープを取り除いてください。取り除けない場合は、新しいプリント カートリッジを挿入し、問題が発生したプリント カートリッジを返却し、代わりのプリント カートリッジを受け取ってください(パーツ、アクセサリ、サプライ品の注文を参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[カートリッジを交換してください]	プリント カートリッジが寿命に達しました。印刷を続行することはできません。	プリント カートリッジを交換してください。新しいプリント カートリッジの注文については、パーツ、アクセサリ、サプライ品の注文を参照してください。
[カートリッジを取り付けてください]	プリント カートリッジが取り外されたか、正しく取り付けられていません。	プリント カートリッジを交換するか正しく取り付けて、印刷を続行してください。
[カートリッジを注文してください]	プリント カートリッジに対するページ数の残量が低しきい値に達しました。サプライ品を注文する必要がある場合は、MFP が印刷を停止するように設定されています。	**[OK]** を選択して、プリント カートリッジのトナーが空になるまで印刷を続行してください。 新しいプリント カートリッジの注文については、パーツ、アクセサリ、サプライ品の注文を参照してください。
[このバージョンの MFP ファームウェアをサポートするには、デジタル送信サービスをアップグレードする必要があります。管理者に連絡してください。]	現在 MFP にインストールされているファームウェアのバージョンでは、デジタル送信サービスはサポートされません。	ファームウェアのバージョンを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[この機能を使用するには認証が必要です]	ユーザー名とパスワードが必要です。	ユーザー名とパスワードを入力するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[コピーできません]	MFP で文書をコピーできません。	一時的にこのメッセージを非表示にして、ファックスを送信するか電子メールへ送信するには、**[無視]** を選択してください。それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[ジョブを送信できません]		一時的にこのメッセージを非表示にして、ファックスを送信するか電子メールへ送信するには、**[無視]** を選択してください。それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[スキャン障害。'[スタート]' を押して再スキャンします]	スキャンが失敗したため、文書を再度スキャンする必要があります。	必要ならば、再スキャンするために文書の位置を変えてから、スタート を押してください。
[ステイプラの針が残りわずかです]	ステイプル カートリッジの残りのステイプルが 20 個未満です。ステイプルがなくなったら印刷を停止するように装置を設定している場合を除き、カートリッジのステイプルがなくなっても印刷は続行されます。	ステイプル カートリッジを交換してください。ステイプル カートリッジの交換については、パーツ、アクセサリ、サプライ品の注文を参照してください。
[ステイプル カートリッジを交換してください]	ステイプラにステイプルがありません。	ステイプル カートリッジを交換してください。ステイプル カートリッジの交換については、パーツ、アクセサリ、サプライ品の注文を参照してください。
[ディスク フォーマット <X>% 完了。電源を切らないでください。]	ハード ディスクをクリーニング中です。	ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[デジタル送信エラー]	デジタル送信タスク中にエラーが発生しました。	ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[デジタル送信サーバーが応答していません。管理者に連絡してください。]	MFP がサーバーと通信できません。	ネットワークの接続を確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[デジタル送信にはネットワーク接続が必要です。管理者に連絡してください。]	デジタル送信機能が設定されていますが、ネットワーク接続を検出できません。	ネットワークの接続を確認してください。ネットワーク印刷に関するトラブルの解決を参照してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[デジタル送信実行エラー。ジョブが失敗しました。]	デジタル送信ジョブが失敗したため、配信できません。	ジョブを再送信してみてください。
[デバイスの電源を切り、ハードディスクを取り付けてください。]	要求されたジョブにはハード ディスクが必要ですが、MFP にハードディスクが取り付けられていません。	MFP の電源を切って、ハードディスクを取り付けてください。パーツ、アクセサリ、サプライ品の注文を参照してください。
[トレイ 1 をセットします <type> <size>]	トレイが空です。または、要求したサイズと異なるサイズ用に設定されています。	画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[トレイ X は現在操作できません。トレイ サイズに任意サイズ/任意カスタムは使用できません。]	**[任意のサイズ]** または **[任意カスタム]** に設定されたトレイから両面 (2 面) の文書が要求されました。**[任意のサイズ]** または **[任意カスタム]** に設定されたトレイでは、両面は許可されません。	別のトレイを選択するか、トレイの設定を変更してください。
[トレイ XX を挿入するか閉じます]	指定されたトレイがないか、開いています。	指定されたトレイを挿入するか閉じて、続行してください。
[パスワードまたは名前が間違っています。正しいログインを入力してください。]	入力したユーザー名またはパスワードが正しくありません。	ユーザー名とパスワードを再入力してください。
[ファックスを送信できません。ファックス設定を確認してください。]	MFP でファックスを送信できません。	ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[フォルダ リストが一杯です。フォルダを追加するには、先にフォルダを削除する必要があります。]	MFP では設定できるフォルダの数が制限されています。	使用していないフォルダを削除して、新しいフォルダを追加してください。
[フォント/データをロードするにはメモリが足りません。<device> 続けるには [OK] を押してください。]	MFP のメモリが足りないため、データ (フォント、マクロなど) を指定された場所からロードできません。	**[OK]** を選択して、続行してください。それでもこのメッセージが表示される場合は、メモリを追加してください。
[ページが多すぎてステイプラが使えません]	ステイプラで留めることができる用紙は 30 枚までです。	31 ページ以上の印刷ジョブの場合は、手動でステイプラを留めてください。
[ユーザー名またはパスワードが間違っています。再度入力してください。]	入力したユーザー名またはパスワードが正しくありません。	ユーザー名とパスワードを再入力してください。
[ユーザー名、ジョブ名、または PIN がありません。]	必要な項目が選択されていないか、入力されていません。	正しいユーザー名とジョブ名を選択して、正しい PIN を入力してください。
[右側のドア <x> を閉じてください]	指定されたジャム アクセス カバーが開いています。	指定されたジャム アクセス カバーを閉じてください。
[右側のドアを閉じます]	複数のジャム アクセス カバーが開いています。	すべてのジャム アクセス カバーを閉じて、印刷を続行してください。
[原稿台ガラスを確認し、用紙をすべて取り除いて、[スタート] を押します]	デジタル送信またはコピー ジョブがスキャナのガラスから実行されましたが、原稿を取り除く必要があります。	スキャナのガラスから原稿を取り除いて、スタート を押してください。
[手差し <type> <size>]	指定したジョブの場合、トレイ 1 から手差しで給紙する必要があります。	要求されたメディアをトレイ 1 にセットしてください。 メッセージを無効にする場合は、**[OK]** を選択して、別のトレイで使用可能なタイプとサイズのメディアを使用してください。
[上部カバーを閉じます]	上部カバーが開いています。	上部カバーを閉じてください。
[接続できません]		一時的にこのメッセージを非表示にして、ファックスを送信するか電子メールへ送信するには、**[非表示]** を選択してください。それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[選択したパーソナリティは使用できません。続けるには [OK] を押してください。]	コピー ジョブによって、この MFP では使用できない MFP 言語 (パーソナリティ) が要求されました。ジョブは印刷されず、メモリからクリアされます。	別の言語用のプリンタ ドライバを使用してジョブを印刷してください。または、要求された言語を MFP に追加してください (可能な場合)。使用可能なパーソナリティのリス

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		トを確認するには、構成ページを印刷してください([情報ページ] の使用を参照してください)。
[送信できません]		一時的にこのメッセージを非表示にして、ファックスを送信するか電子メールへ送信するには、**[無視]** を選択してください。それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください)。
[添付ファイルが大きすぎるため、電子メール ゲートウェイがジョブを受け付けませんでした。]	スキャンされた文書がサーバーのサイズ制限を越えました。	低解像度、小さいファイル サイズ設定、または少ないページ数を使用して再度ジョブを送信してください。添付ファイルのサイズを小さくする方法については、電子メールの問題を解決するを参照してください。ネットワーク管理者に問い合わせて、複数の電子メールを使用してスキャンした文書を送信できるようにしてください。
[電子メール ゲートウェイが応答しませんでした。ジョブが失敗しました。]	ゲートウェイがタイムアウト値を超えました。	SMTP IP アドレスを検証してください。電子メールの問題を解決するを参照してください。
[入力したフォルダは有効なフォルダではありません。]	入力したフォルダ名が正しくないか、フォルダが存在しません。	正しいフォルダ名を入力するか、フォルダを追加してください。
[認証が必要]	この機能またはアクセス先に対しては、認証が有効化されています。ユーザー名とパスワードが必要です。	ユーザー名とパスワードを入力するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[認証情報が誤っています。情報を再入力してください。]	ユーザー名またはパスワードが誤っています。	再入力してください。
[排紙デバイスを確認してください]	排紙装置にエラーが発生しました。	排紙装置を取り外して、再度取り付けてください。デバイスの LED を確認してください。LED が点滅しているかオレンジ色の場合は、一般的なプリンタの問題の解決を参照してください。
[排紙デバイスを取り付け直します。]	排紙装置が取り外されているか、取り付けられていません。	排紙ビン、3 ビン メールボックス、またはステイプラ/スタッカが MFP に正しく取り付けられていることを確認してください。
[排紙ビン <x> が一杯です]	指定した排紙ビンが満杯で、印刷を続行できません。	ビンを空にして、印刷を続行してください。
[排紙ビンを再度取り付けます]	MFP の電源投入時に標準排紙ビンが取り外されていたか、ステイプラ/スタッカまたは 3 ビン メールボックスのケーブルが MFP に接続されていませんでした。	MFP の電源を切ります。ステイプラ/スタッカまたは 3 ビン メールボックスをご使用の場合は、ケーブルが MFP に接続されていることを確認してください。排紙ビンを再度取り付けてから、MFP の電源を入れます。排紙装置の LED を確認してください。LED が点滅しているかオレンジ色の場合は、一般的なプリンタの問題の解決を参照してください。

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[排紙経路が開いています]	MFP と排紙装置間の用紙経路が開いています。閉じてから印刷を続行してください。	**1.** 3 ビン メールボックスを取り付けている場合は、ジャム アクセス ドアが閉じていることを確認してください。 **2.** ステイプラ/スタッカを取り付けている場合は、ステイプル カートリッジを正しい位置に取り付けていること、およびステイプル カートリッジのドアが閉じていることを確認してください。
[封筒フィーダの接続が不良です]	封筒フィーダが正しく接続されていません。	封筒フィーダを取り外して、再度取り付けてください。それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください。
[封筒フィーダをセットします <type> <size>]	封筒フィーダが空です。	封筒フィーダに用紙をセットしてください。
[文書フィーダ スキュー エラー]	文書フィーダのメディアが斜めになっています。	用紙ガイドが原稿の端に合っていること、すべての原稿が同じサイズであることを確認してください。残ったメディアを文書フィーダから取り除いて、文書フィーダのカバーを閉じてください。画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。
[文書フィーダ ピック エラー]	給紙の際に文書フィーダにエラーが発生しました。	文書フィーダにセットした用紙が多すぎないか確認してください。9Kg (20lb)、50 枚を超える用紙は、文書フィーダにセットしないでください。
[文書フィーダ ビンが一杯です]	文書フィーダの排紙ビンは 50 枚までの用紙に対応します。ビンが満杯になると MFP が停止します。	文書フィーダの排紙ビンから用紙を取り除いてください。
[文書フィーダのカバーが開いています]	文書フィーダのカバーが開いています。	文書フィーダのカバーを閉じます。画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。
[文書フィーダの紙詰まり]	文書フィーダにメディアが詰まっています。	画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。文書フィーダの紙詰まりを解決するを参照してください。繰り返し起こる紙詰まりを解決も参照してください。
[文書フィーダの紙詰まり]	文書フィーダにメディアが詰まっています。	文書フィーダから詰まったメディアを取り除いてください。画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。文書フィーダの紙詰まりを解決するを参照してください。繰り返し起こる紙詰まりを解決も参照してください。 詰まったメディアをすべて取り除いてもメッセージが表示される場合は、センサが故障しているか破損している可能性があります。正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください。

表 11-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[用紙がフューザに巻きついています]	フューザーに用紙が巻き付いて異常が発生することがあります。	画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。紙詰まりの解決を参照してください。
[両面印刷ユニット エラー。両面印刷ユニットを取り外します。電源を切り、両面印刷ユニットを取り付けます。]	両面印刷ユニットが取り外されています。	両面印刷ユニットを取り付けてください(MFP の印刷ジョブが失われる可能性があります)。
[両面印刷ユニットの接続が不良です]	両面印刷アクセサリが MFP に正しく接続されていません。	両面印刷ユニットを取り外して、再度取り付けてください。それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください。
[両面印刷ユニットを再度挿入します]	両面印刷ユニットが取り外されています。再度取り付ける必要があります。	MFP に両面印刷ユニットを再度挿入してください。

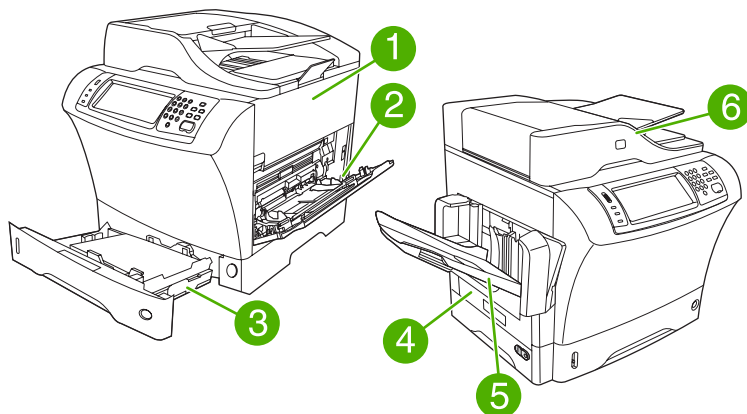
紙詰まりの一般的な原因

デバイスが紙詰まりを起こしています。[1]

原因	解決方法
メディアがプリンタの仕様を満たしていない	HP の仕様を満たすメディアのみを使用します。 「印刷メディアの選択」を参照してください。
コンポーネントが正しく取り付けられていない	プリント カートリッジが所定の位置に取り付けられていることを確認します。
デバイスやコピー機で使用したメディアを再使用した	印刷済みまたはコピーしたメディアは使用しないでください。
給紙トレイが正しくセットされていない	給紙トレイから余分なメディアを取り出します。 メディアの量がトレイの上限線を超えないようにしてください。 「メディアのセット」を参照してください。
メディアがずれる	給紙トレイのガイドが正しく調整されていません。 メディアが曲がらない程度に、適切な位置にしっかりと固定されるようにガイドを調整します。
メディアがくっついたり貼り付く	メディアを取り出し、よくさばくか、180 度回転させるか、あるいは裏返しにします。 メディアを給紙トレイにセットし直します。
排紙ビンに入る前にメディアを取り出した	デバイスをリセットします。 用紙を取り出さずに完全に排紙ビンに入るまで待ちます。
両面印刷の実行中、文書の裏面の印刷が終了する前に用紙を取り出した	デバイスをリセットし、文書を印刷し直します。 用紙を取り出さずに完全に排紙ビンに入るまで待ちます。
メディアの状態がよくない	メディアを交換してください。
内部トレイ ローラーがメディアを取り込みません。	120g/m^2 よりも重いメディアは、トレイから給紙されないことがあります。
メディアの端がギザギザになっている	メディアを交換してください。
メディアに穴が空いているか、またはエンボス加工されている	穴が空いていたり、エンボス加工されているメディアは 1 枚ずつ取りにくいことがあります。 トレイ 1 から 1 枚ずつ給紙してください。
デバイスのサプライ品の耐用寿命が切れています。	サプライ品を交換するように促すメッセージが表示されるかどうか、デバイスのコントロール パネルを確認します。あるいは、サプライ品のステータス ページを印刷して、サプライ品の残量を確認します。 「[情報ページ] の使用」を参照してください。
用紙が正しく保管されていなかった	トレイにセットされている用紙を交換してください。 用紙は、管理された環境で元のパッケージに入れて保管する必要があります。
デバイスの梱包材がすべて取り外されていませんでした。	梱包のテープ、カードボード、プラスティックの出荷ロックがデバイスから取り外されていることを確認します。

[1] デバイスの紙詰まりが解消されない場合は、HP カスタマ・サポートまたは HP 認定サービス プロバイダまでお問い合わせください。

紙詰まりの解決

紙詰まりを示すメッセージがコントロール パネル ディスプレイに表示された場合は、次の図で示される場所で紙詰まりまたは別の印刷メディアを調べます。

1	上部カバーとプリント カートリッジ部
2	封筒フィーダとトレイ 1 (封筒フィーダはオプション)
3	トレイ 2 とオプションの 500 枚フィーダ部
4	両面印刷部 (両面印刷ユニットはオプション)
5	出力部
6	文書フィーダ

以下の表は、コントロール パネル ディスプレイに表示される紙詰まりメッセージの一覧です。紙詰まりの解決についての詳細は、指示されているセクションを参照してください。紙詰まりメッセージに示されている以外の場所を調べなければならない場合もあります。紙詰まりの場所がわからない場合は、最初にプリント カートリッジの下の上部カバー部を調べます。

表 11-2 紙詰まりを示すコントロール パネル メッセージ

紙詰まりメッセージ	紙詰まりを解決する手順
[文書フィーダの紙詰まり]	文書フィーダの紙詰まりを解決するを参照してください。
[ADF 紙詰まり]	文書フィーダの紙詰まりを解決するを参照してください。
[ADF ピック エラー]	文書フィーダの紙詰まりを解決するを参照してください。
[13.JJ.NT 封筒フィーダの紙詰まり]	オプションの封筒フィーダ部の紙詰まりを解消するを参照してください。
[13.JJ.NT 排紙ビンでの紙詰まり]	出力部の紙詰まりを解決するを参照してください。
[13.JJ.NT トレイ 1 の紙詰まり]	トレイ 1 の紙詰まりを解決するを参照してください。
[13.JJ.NT トレイ 2 の紙詰まり] (またはトレイ 3、4、または 5)	トレイ 2、3、4、または 5 の紙詰まりを解決するを参照してください。

表 11-2 紙詰まりを示すコントロール パネル メッセージ (続き)

紙詰まりメッセージ	紙詰まりを解決する手順
[13.JJ.NT 両面印刷ユニット内の紙詰まり]	オプションの両面印刷ユニットの紙詰まりを解決するを参照してください。
[13.JJ.NT 左排紙ビン内での紙詰まり]	出力部の紙詰まりを解決するを参照してください。
[13.JJ.NT 右側ドア内での紙詰まり]	トレイ 2、3、4、または 5 の紙詰まりを解決するを参照してください。
[13.JJ.NT 上部カバー内での紙詰まり]	上部カバーとプリント カートリッジ部から詰まった用紙を取り除くを参照してください。
[13.JJ.NT トレイ 2 内での紙詰まり]	トレイ 2、3、4、または 5 の紙詰まりを解決するを参照してください。
[13.JJ.NT トレイ 2 の右側ドア内での紙詰まり]	トレイ 2、3、4、または 5 の紙詰まりを解決するを参照してください。
[13.JJ.NT 上部カバー内での紙詰まり]	上部カバーとプリント カートリッジ部から詰まった用紙を取り除くを参照してください。
[13.JJ.NT 紙詰まり。給紙トレイを開きます。]	トレイ 2、3、4、または 5 の紙詰まりを解決するを参照してください。
[13.JJ.NT ステイプラの紙詰まり]	ステイプル ジャムの解決を参照してください。

紙詰まりを解決するときは、詰まったメディアを破らないよう気をつけてください。メディアの小さな断片がプリンタに残ると、別の紙詰まりの原因となります。問題が繰り返し発生する場合は、繰り返し起こる紙詰まりを解決を参照してください。

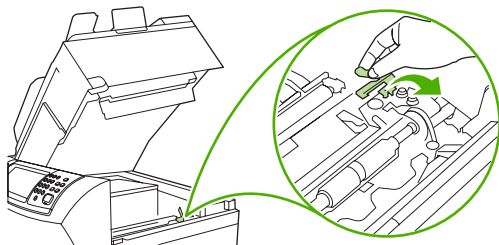
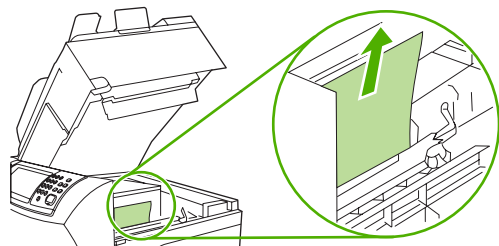
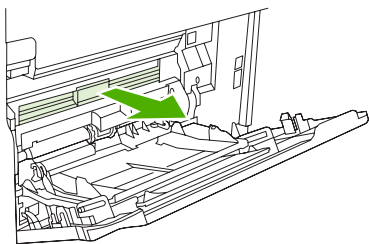
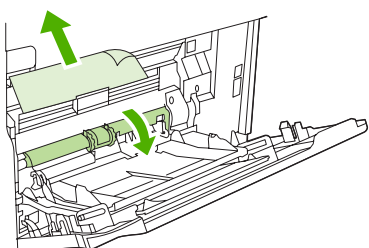
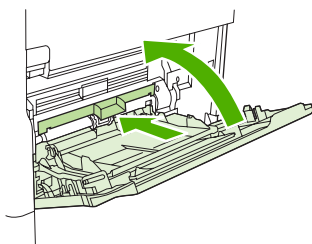
注記 紙詰まりの後にはこぼれたトナーが残っており、印刷品質上の問題の原因となる場合があります。この問題は、数ページを印刷するうちに解消されます。

上部カバーとプリント カートリッジ部から詰まった用紙を取り除く

この手順で、印刷処理中に発生した紙詰まりを解決します。

1. 上部カバーを開いて、プリント カートリッジを取り外します。

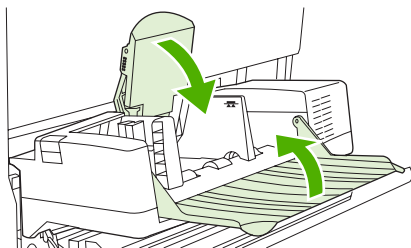
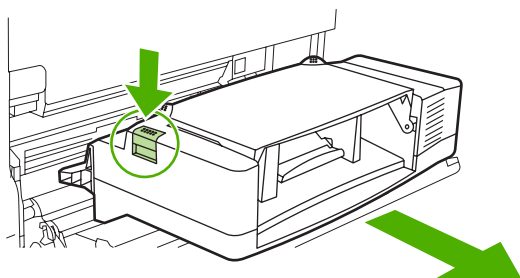
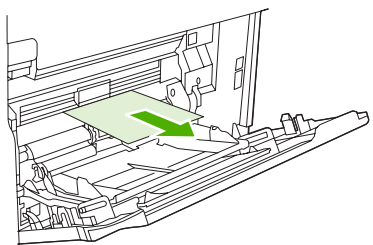
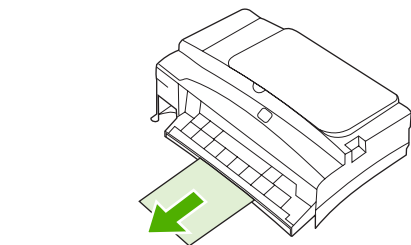
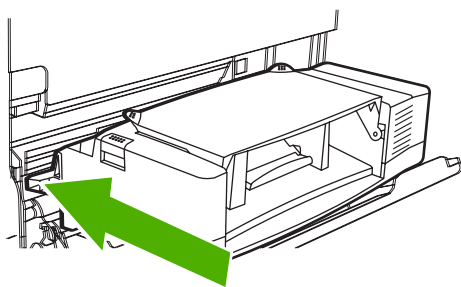
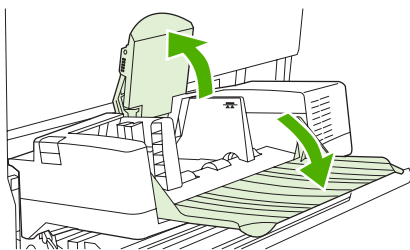
注意 プリント カートリッジの損傷を防ぐために、数分間以上光線にさらさないでください。プリンタ外では、プリント カートリッジを紙のシートで包みます。

2. 緑のハンドルを使用して、用紙アクセス プレートを持ち上げます。

3. 詰まった用紙をプリンタからゆっくりと取り出します。メディアを破らないようにしてください。

4. 詰まった用紙を取り出すのが困難な場合は、トレイ 1 を開いて封筒入り口を取り外します。詰まった用紙が確認できる場合は取り除きます。

5. 用紙リリース ガイドを回転して、詰まったメディアの下にさらに用紙が残っていないか確認します。詰まった用紙が確認できる場合は取り除きます。

6. 封筒入り口カバーを交換して、トレイ 1 を閉じます。

7. プリント カートリッジを取り付けて、上部カバーを閉じます。

8. 紙詰まりメッセージが消えない場合は、プリンタにまだ紙詰まりが残っています。別の場所の紙詰まりを調べます。

オプションの封筒フィーダ部の紙詰まりを解消する

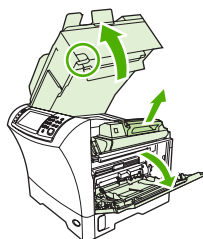
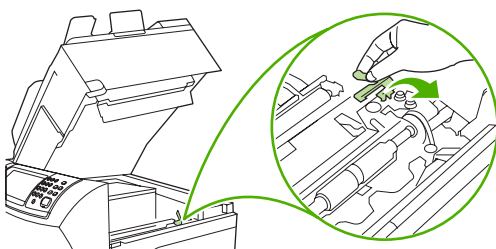
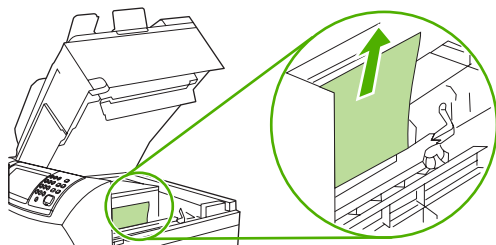
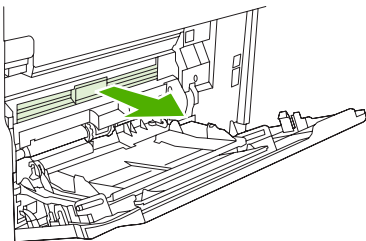
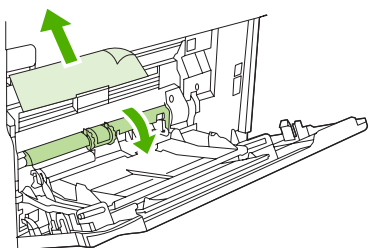
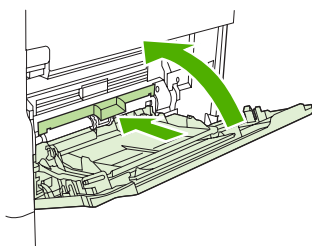
このセクションは、オプションの封筒フィーダ部を使用している場合に発生した紙詰まりにのみ適用されます。

1. 封筒フィーダにセットされている封筒を取り除きます。封筒ウェイトを下げ、トレイ延長部を持ち上げて、閉じた位置に戻します。

2. オプションの封筒フィーダの左側にあるリリース ボタンを押し続けます。オプションの封筒フィーダの両側をつかんで、プリンタから慎重に取り外します。

3. オプションの封筒フィーダとプリンタから、詰まっている封筒をゆっくりと取り除きます。

4. オプションの封筒フィーダを、ロックされる位置までプリンタに挿入します。オプションの封筒フィーダをそっと引っ張って、完全に挿入されていることを確認します。

5. 封筒フィーダ トレイを下に下げます。封筒ウェイトを持ち上げます。

6. 封筒をセットして、一番上の封筒から少し離れた下の方の封筒を押します。

7. 紙詰まりメッセージが消えない場合は、プリンタにまだ紙詰まりが残っています。別の場所の紙詰まりを調べます。

トレイ 1 の紙詰まりを解決する

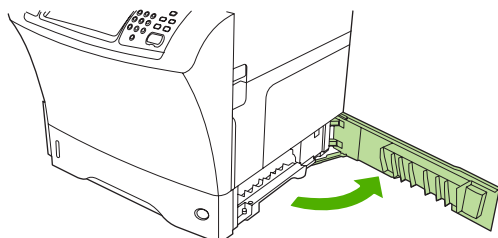
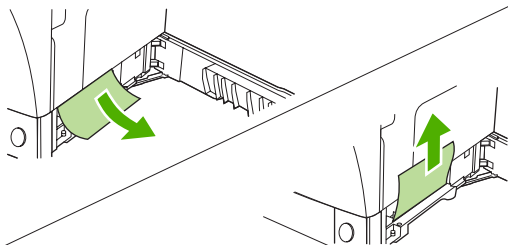
この手順を使用して、トレイ 1 で発生した紙詰まりを解決します。

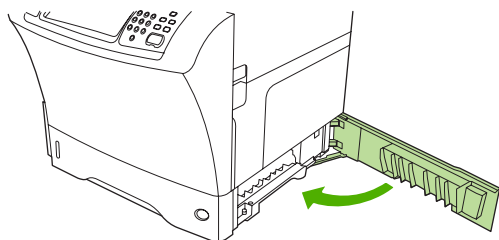
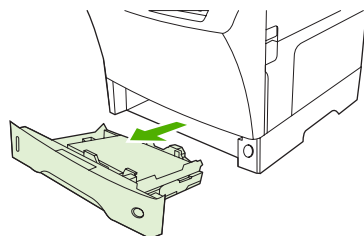
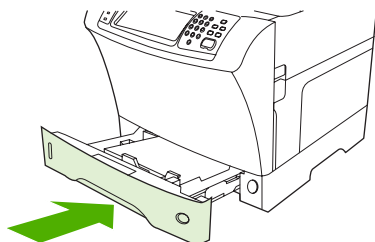
1. トレイ 1 を開いて、プリント カートリッジを取り外します。

2. 緑のハンドルを使用して、用紙アクセス プレートを持ち上げます。

3. 詰まった用紙をプリンタからゆっくりと取り出します。メディアを破らないようにしてください。用紙の一部がすでにプリンタ内に送り込まれている場合は、上部カバーとプリント カートリッジ部から詰まった用紙を取り除くの手順に従います。

4. 詰まったメディアを取り除くのが困難な場合は、封筒入り口カバーを取り外します。詰まった用紙が確認できる場合は取り除きます。

5. 用紙リリース ガイドを回転して、詰まったメディアの下にさらに用紙が残っていないか確認します。詰まった用紙が確認できる場合は取り除きます。

6. 封筒入り口カバーを交換して、トレイ 1 を閉じます。

7. プリント カートリッジを取り付けて、上部カバーを閉じます。

8. 紙詰まりメッセージが消えない場合は、プリンタにまだ紙詰まりが残っています。別の場所の紙詰まりを調べます。

トレイ 2、3、4、または 5 の紙詰まりを解決する

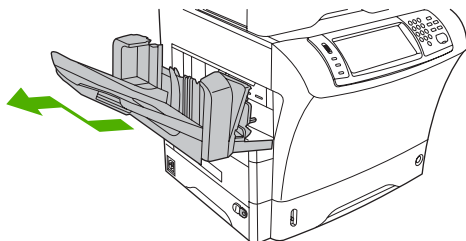
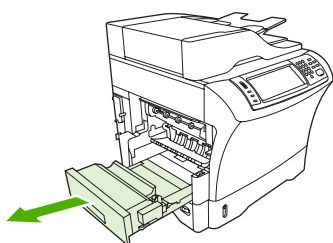
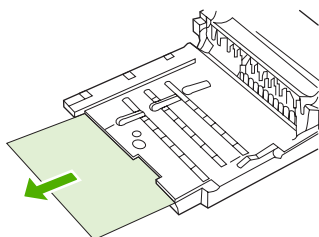
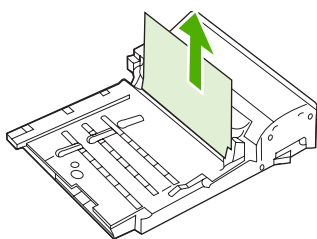
この手順を使用して、トレイ 2、またはオプションの 500 枚フィーダ部で発生した紙詰まりを解決します。

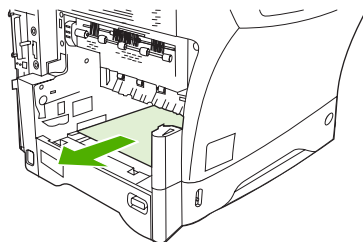
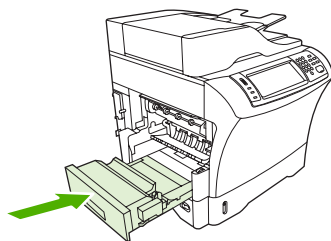
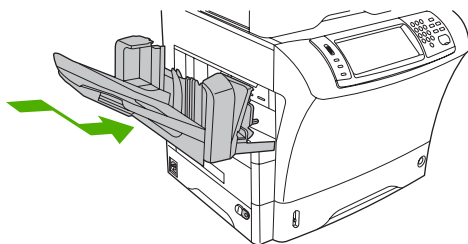
1. 紙詰まりアクセス レバーを引いて紙詰まりアクセス カバーを開きます。

2. 紙詰まりアクセス部の上部と下部から、詰まった用紙を慎重に取り除きます。

注記　メディアを上下に動かして、ちぎれたメディアとトナーがプリンタに落ちないようにします。

3. 紙詰まりアクセス カバーを閉じます。

4. トレイをスライドしてプリンタから完全に取り外し、破損したメディアをトレイから取り除きます。

5. トレイをスライドしてプリンタに挿入します。

6. 紙詰まりメッセージが消えない場合は、プリンタにまだ紙詰まりが残っています。別の場所の紙詰まりを調べます。

オプションの両面印刷ユニットの紙詰まりを解決する

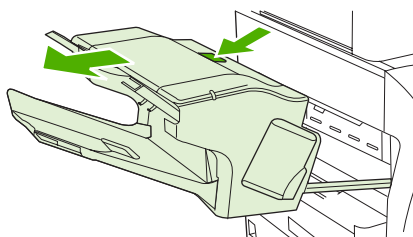
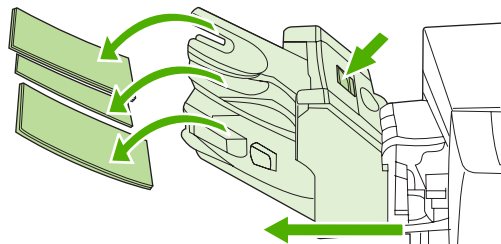
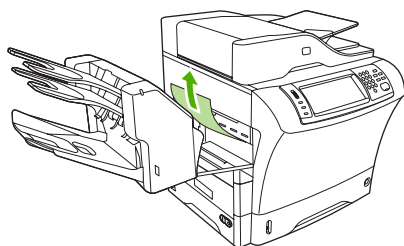
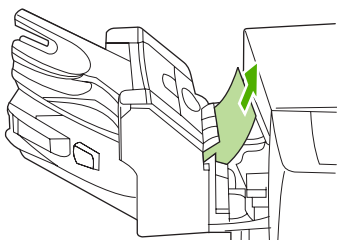
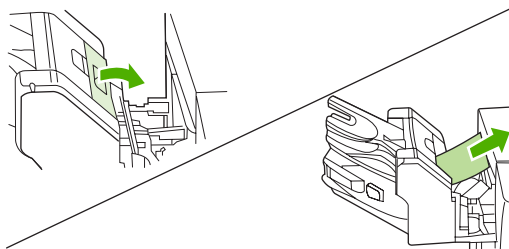
両面印刷ジョブ中に紙詰まりが発生した場合は、この手順を使用して紙詰まりを確認して、解決します。

1. 排紙ビンを取り外します (ステイプラ/スタッカまたはメールボックスを取り外します)。

2. オプションの両面印刷ユニットを取り外します。

3. オプションの両面印刷ユニットで紙詰まりを確認します。詰まった用紙を慎重に取り除きます。

4. 両面印刷ユニットを脇におきます。

5. プリンタ内に紙詰まりがないか確認します。詰まった用紙を慎重に取り除きます。

6. 両面印刷ﾕﾆｯﾄを取り付けます。

7. 排紙ビンを取り付けます (3 ビン メールボックスまたはステイプラ/スタッカを取り付けます)。

8. 紙詰まりメッセージが消えない場合は、プリンタにまだ紙詰まりが残っています。別の場所の紙詰まりを調べます。

出力部の紙詰まりを解決する

この手順を使用して、排紙ビン、3 ビン メールボックス、またはステイプラ/スタッカで発生した紙詰まりを解決します。

1. 標準の排紙ビンを使用する場合は、標準の排紙ビンをスライドしてプリンタから取り外します。

2. 3 ビン メールボックスまたはステイプラ/スタッカを使用している場合は、積み重なっているメディアを取り除き、アクセサリ上部のリリース ボタンを押し続けます。アクセサリをスライドさせてプリンタから取り除きます。

3. プリンタ内でメディアが詰まっている場合は、詰まっているメディアをプリンタから慎重に取り除きます。

4. 3 ビン メールボックスまたはステイプラ/スタッカ内でメディアが詰まっている場合は、詰まっているメディアを慎重に引き出してプリンタから取り除きます。

5. 3 ビン メールボックスを使用している場合は、詰まっているメディアが完全にプリンタ内に入っている場合があります。その場合は、3 ビン メールボックスの上部にあるジャム アクセス カバーを開いて、詰まっているメディアを慎重に引き出してメールボックスから取り除きます。

6. 排紙ビン アセンブリ、3 ビン メールボックス、またはステイプラ/スタッカを取り付けます。デバイスを斜めに挿入して、プリンタ内にスライドします。

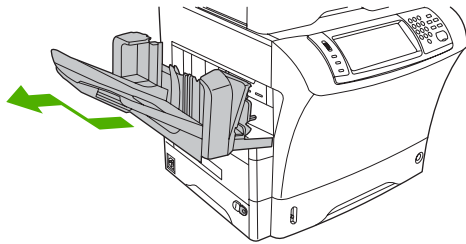
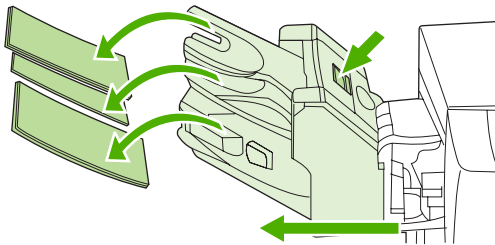
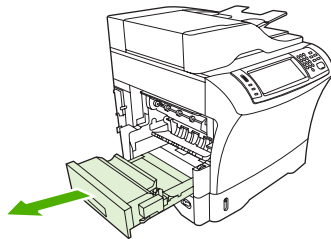
7. 紙詰まりメッセージが消えない場合は、詰まっているメディアがプリンタに残っています。別の場所で紙詰まりを調べます。

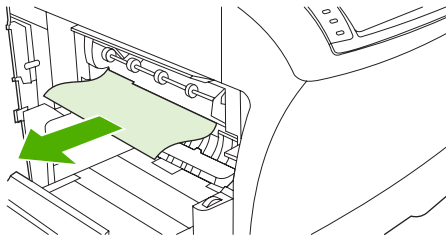
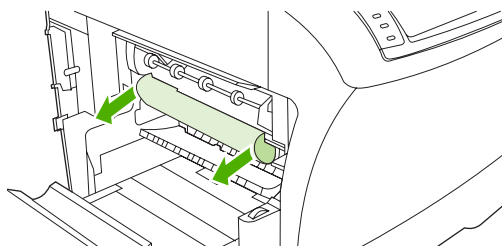
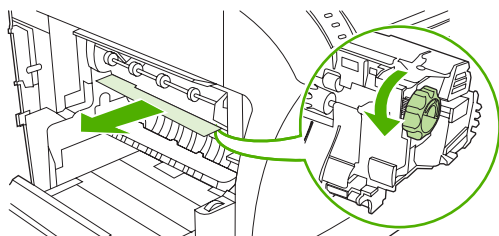
フューザーの紙詰まりを解決する

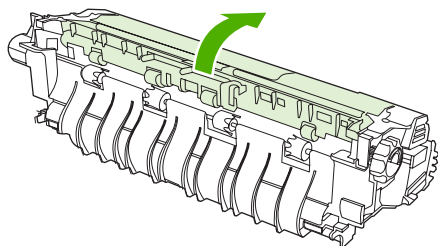
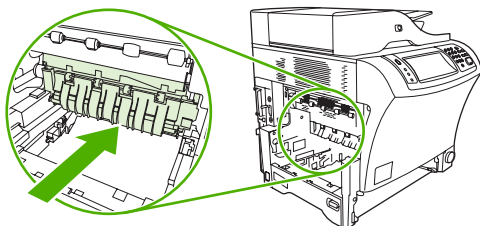
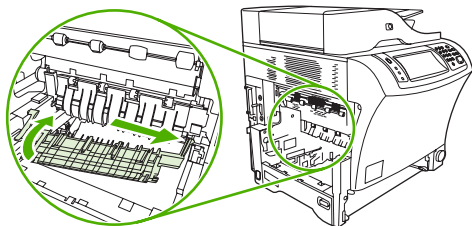
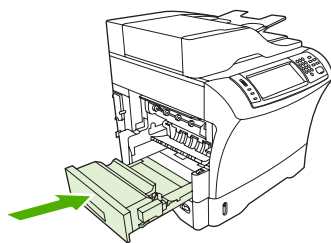
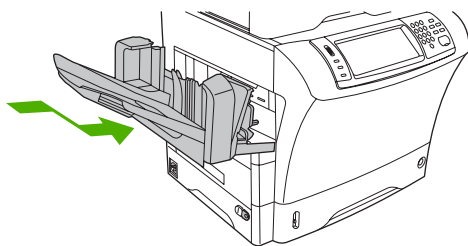
この手順に従って、フューザーで発生した紙詰まりを解決します。

1. プリンタの電源を切り、フューザーが冷えるまで 30 秒間待ちます。

警告！ フューザーは高温になっています。火傷を防ぐために、フューザーをプリンタから取り外す前にフューザが冷えるまで 30 秒間待ちます。

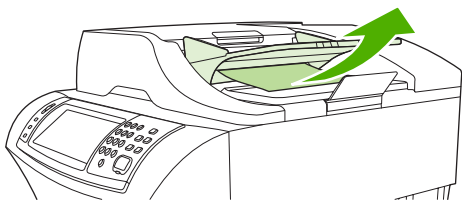
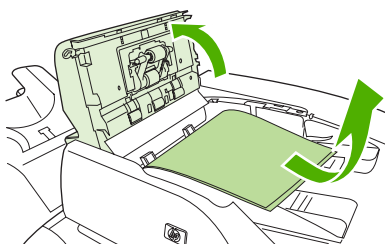
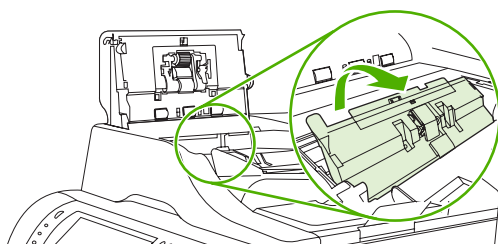
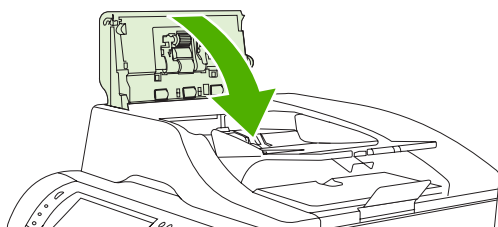
2. 標準の排紙ビンを使用している場合は、排紙ビン アセンブリの下部にあるハンドルをつかみ、それを引き出して上に持ち上げて取り外します。

3. 3 ビン メールボックスまたはステイプラ/スタッカを使用している場合は、積み重なっているメディアを取り除き、プリンタ上部のリリース ボタンを押し続けます。デバイスをスライドさせてプリンタから取り除きます。

4. オプションの両面印刷ユニットまたは両面印刷カバーを取り外します。

5. フューザー内に詰まったメディアが見つからない場合は、ステップ 9 に進みます。

6. フューザー内に詰まったメディアの前縁または後縁のいずれかを見つけた場合は、それを慎重に引き出します。

7. 詰まったメディアを見つけても、前縁または後縁のどちらも見えない場合は、縁の 1 つが解放されるまでメディアのシートの端を静かに引っ張ります。

8. メディアを取り除いているときに裂けてしまった場合は、フューザーの緑のダイヤルをまわして、詰まったメディアを慎重に引き出します。ステップ 13 に進みます。

9. フューザー入りロガイドを取り外すには、左端を内側に押して左側の調整ピンを解放します。次に、フューザー入りロガイドを少し持ち上げて、プリンタから取り外します。フューザー両側の下部にあるレバーに人指し指を置きます。親指をフューザーの両側上部にある青いレバーに置きます。青いレバーを強く押して、プリンタからフューザーを取り外します。

10. フューザーの上部の黒いカバーを開き、詰まっているメディアを取り除きます。

11. フューザーを取り付けます。親指でフューザーを押して、所定の位置に押し込みます。

12. フューザー入り口ガイドを取り付けるには、最初に右側の取り付け ピンを右側の穴に挿入して、次に下側左の取り付けピンを左側の穴に挿入します。

13. 両面印刷ユニットまたは両面印刷カバーを取り付けます。

14. 排紙ビン アセンブリ、3 ビン メールボックス、またはステイプラ/スタッカを取り付けます。デバイスを斜めに挿入して、プリンタ内にスライドします。

15. 紙詰まりメッセージが消えない場合は、詰まっているメディアがデバイスに残っています。別の場所で紙詰まりを調べます。

文書フィーダの紙詰まりを解決する

この手順に従って、文書フィーダの紙詰まりを解決します。

1. 文書フィーダの給紙トレイを持ち上げて、トレイの下に詰まっているメディアがないか確認します。詰まったメディアは慎重に取り除きます。

2. 文書フィーダ カバーの解除レバーを上に引き上げて、文書フィーダ カバーを開きます。詰まったメディアを慎重に取り除きます。

3. 文書ガイドの緑のジャム レバーを持ち上げて、詰まっているメディアがないか確認します。詰まったメディアは慎重に取り除きます。

4. 文書フィーダのカバーを閉じます。

5. 紙詰まりメッセージが消えない場合は、詰まっているメディアがデバイスに残っています。別の場所で紙詰まりを調べます。

繰り返し起こる紙詰まりを解決

状況	解決策
一般的に繰り返し起こる紙詰まりの問題	1. メディアがトレイに正しくセットされ、すべての幅ガイドが正しくセットされていることを確認してください (メディアのセットを参照)。 2. インストールされているメディアのサイズに合わせてトレイが設定されており、トレイにセットした用紙が多すぎないか確認してください。 3. トレイのメディアを裏返しにします。穴の空いた用紙またはレターヘッド用紙を使用している場合は、トレイ 1 から印刷します。 4. すでに印刷されている用紙や、磨耗していたり不ぞろいなメディアを使用しないでください。印刷メディアの選択を参照してください。 5. メディアの仕様を確認します (印刷メディアの選択を参照)。メディアが推奨仕様から外れている場合は、問題が起こる場合があります。

状況	解決策
	6. プリンタが汚れている可能性があります。プリンタの清掃の説明に従って、プリンタを清掃してください。 7. 損傷しているまたは詰まっているメディアがすべてプリンタから取り除かれていることを確認します。
文書フィーダー内で紙詰まりが繰り返し発生する	1. 文書フィーダーが汚れている可能性があります。文書フィーダの清掃の説明に従って、文書フィーダーを清掃してください。 2. メディアがまっすぐにセットされており、メディアの幅ガイドがメディアの辺に合わせて調整されていることを確認してください。 3. 文書フィーダーに、75g/m^2 (20lb) ボンド紙が 50 枚以上セットされていないか確認してください。 4. コピーされた原稿が折られていたり、綴じられている場合は、できるだけ平坦にしてしわを伸ばします。綴じられていた場所で用紙が詰まっていないか、確認してください。 5. 穴があいていたり、ミシン目が付けられているメディアは、文書フィーダーに給紙させることが困難です。文書の前縁がひどく磨耗していたり擦り切れていたりする場合は、コピーする前に文書を 180 度回転させてください。

注記　紙詰まりが続く場合は、正規の HP サービス プロバイダにお問い合わせください。(HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください。)

用紙経路テスト

用紙経路テストを行うと、さまざまな用紙経路が正しく機能しているかを確認し、トレイ設定の問題のトラブルシューティングを行うことができます。

1. スクロールして 管理 を選択します。
2. スクロールして トラブルシューティング を選択します。
3. スクロールして 用紙経路テスト を選択します。
4. テスト ページの印刷 を選択します。

ステイプル ジャムの解決

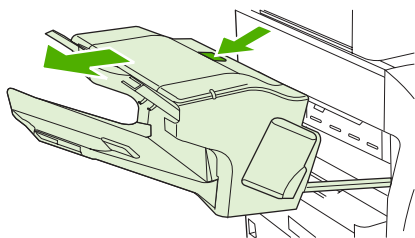
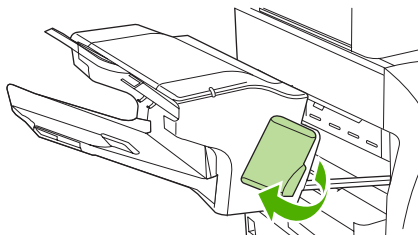
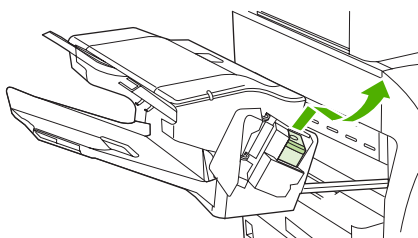
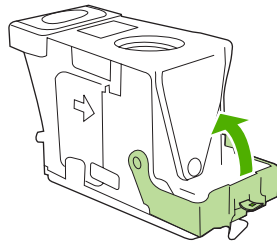
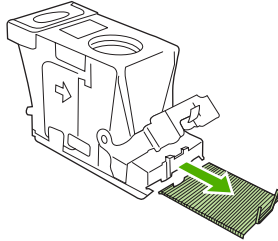
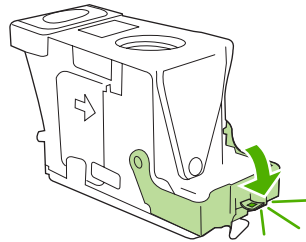
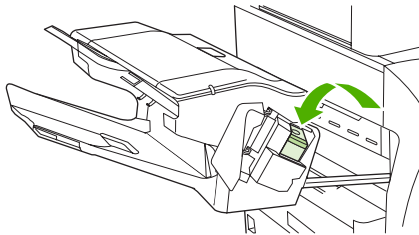
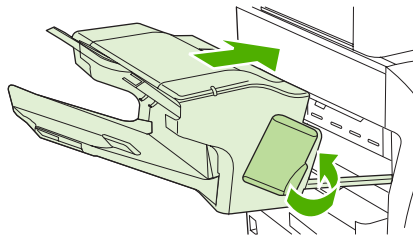
ステイプラは、ステイプル ジャムが起こらないように設計されています。ステイプル ジャムのリスクを減らすには、以下のメディアの制限を守ってください。

- 普通メディア : 75 g/m^2 (20lb) のメディア 30 枚

  光沢メディア : 20 枚

  厚みのあるメディア (128-199 g/m^2 [34-53lb]):重ねた厚みが 3mm (0.27 インチ) を超えない

オプションのステイプラ/スタッカで、時々ステイプルが詰まる場合があります。ジョブが正しく綴じられていない場合、またはまったく綴じられていない場合は、次の手順に従ってステイプルの詰まりを解決します。

1. プリンタの電源を切ります。
2. ステイプラ/スタッカの上部の解除ボタンを押しながら、ステイプラ/スタッカをプリンタから引き出して取り外します。

3. ステイプル カートリッジのカバーを開きます。

4. ステイプル カートリッジを取り外すには、緑のハンドルを引き上げて、ステイプル カートリッジを上に引き上げます。

5. ステイプル カートリッジの背面にある小さなレバーを持ち上げます。

6. ステイプル カートリッジから突き出ているステイプルを取り外します。

7. ステイプル カートリッジの背面のレバーを閉じます。所定の位置に押し込みます。

8. ステイプル カートリッジ ホルダーにステイプル カートリッジをもう一度挿入して、緑のハンドルを所定の位置に押し下げます。

9. ステイプル カートリッジ カバーを閉じて、ステイプラ/スタッカをプリンタにスライドさせて挿入します。

印刷品質に関する問題の解決

ここでは、印刷品質問題の定義とその解決方法について説明します。 よく起こる印刷品質の問題は、デバイスが正しく保守されていることを確認する、HP 仕様を満たしている印刷メディアを使用する、またはクリーニング ページを実行するといった方法で簡単に解決することができます。

メディアに関連する印刷品質の問題

不適切なメディアを使用すると、印刷品質に問題が発生することがあります。

- HP 仕様を満たしているメディアを使用します。 「印刷メディアの選択」を参照してください。
- メディアの表面がなめらかすぎます。 HP 仕様を満たしているメディアを使用します。 「印刷メディアの選択」を参照してください。
- 水分含有率にばらつきがあるか、高すぎるまたは低すぎます。 別のトレイの用紙または未開封の用紙を使用します。
- メディアにトナーをはじく部分があります。 別のトレイの用紙または未開封の用紙を使用します。
- 使用しているレターヘッドが、粗いメディアに印刷されています。 より滑らかで乾燥印刷用のメディアを使用してください。 これで問題が解決した場合は、レターヘッドのサプライヤに連絡して、このデバイスの仕様に合う用紙を使用するように依頼してください。 「印刷メディアの選択」を参照してください。
- メディアが粗すぎます。 より滑らかで乾燥印刷用のメディアを使用してください。
- ドライバが正しく設定されていません。 メディア タイプの設定を変更するには、「印刷ジョブの制御」を参照してください。
- 使用しているメディアが、設定されているメディア タイプより厚すぎるため、トナーがメディアに定着していません。

環境に関連する印刷品質の問題

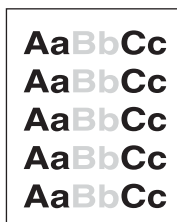
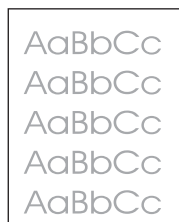
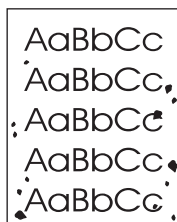
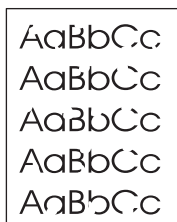
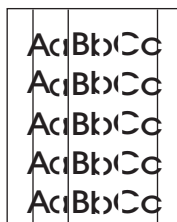
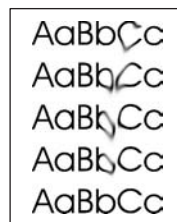
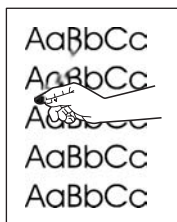
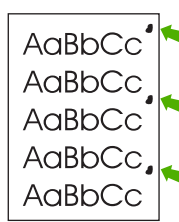
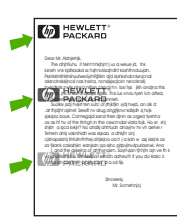
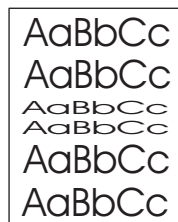
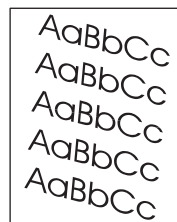
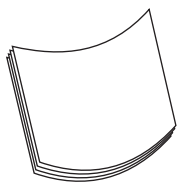
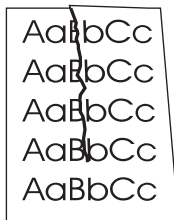
デバイスの動作環境の湿度が非常に高いか、または乾燥している場合は、印刷環境が仕様範囲内かどうかを確認してください。 「印刷環境および用紙の保管環境」を参照してください。

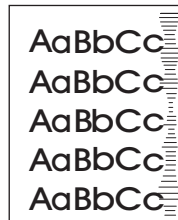
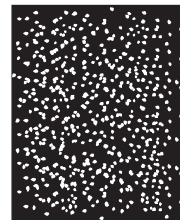
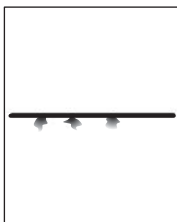
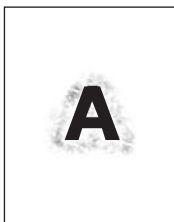
紙詰まりに関連する印刷品質の問題

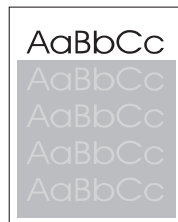
詰まった用紙が用紙経路からすべて取り除かれていることを確認します。 「紙詰まりの解決」を参照してください。

- 紙詰まりの発生直後は、デバイスをクリーニングするために用紙を 2 ～ 3 枚印刷してください。
- 用紙がフューザを通過しなかったために、後続の文書のイメージが印刷されない場合は、3 ページ分印刷してデバイスをクリーニングします。 問題が解決しない場合は、クリーニング ページを印刷して対処します。 「プリンタの清掃」を参照してください。

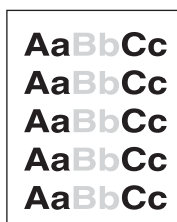
不良イメージの例

以下の不良イメージの例を参考にして、発生している印刷品質の問題を特定し、次にその問題を解決するための参照ページを参照してください。 これらの例は、印刷品質に関する最も一般的な問題です。 推奨されている解決策を試しても問題を解決できない場合は、HP カスタマ サポートまでお問い合わせください。

最新の情報については、「薄い印字 (ページの一部分)」を参照してください	最新の情報については、「薄い印字 (ページ全体)」を参照してください	最新の情報については、「斑点」を参照してください	最新の情報については、「斑点」を参照してください	最新の情報については、「文字等が欠落する」を参照してください
最新の情報については、「文字等が欠落する」を参照してください	最新の情報については、「文字等が欠落する」を参照してください	最新の情報については、「線が印刷される」を参照してください	最新の情報については、「背景が灰色になる」を参照してください	最新の情報については、「トナーのにじみ」を参照してください
最新の情報については、「トナーが落ちやすい」を参照してください	最新の情報については、「不正な印刷が繰り返される」を参照してください	最新の情報については、「イメージが繰り返し印刷される」を参照してください	最新の情報については、「文字が歪んで印刷される」を参照してください	最新の情報については、「ページの歪み」を参照してください

最新の情報については、「用紙が丸まったり波打つ」を参照してください

最新の情報については、「しわや折れ目が入る」を参照してください

最新の情報については、「縦に白い線が入る」を参照してください

最新の情報については、「タイヤの跡のような模様が印刷される」を参照してください

最新の情報については、「黒い部分に白い点が入る」を参照してください

「トナーが飛び散って線が印刷される」を参照してください。

「ぼやけて印刷される」を参照してください。

「ランダムなイメージが繰り返し印刷される」を参照してください (濃い場合)。

「ランダムなイメージが繰り返し印刷される」を参照してください (薄い場合)。

注記 これらの例は、デバイスから給紙されたレター サイズのメディアを示しています。

薄い印字 (ページの一部分)

1. プリント カートリッジが完全に取り付けられていることを確認します。
2. プリント カートリッジのトナー残量が少ない可能性があります。プリント カートリッジを交換します。
3. メディアが HP 仕様を満たしていない可能性があります (たとえば、メディアが非常に湿っている、または非常に粗い場合)。 「印刷メディアの選択」を参照してください。

薄い印字 (ページ全体)

1. プリント カートリッジが完全に取り付けられていることを確認します。
2. コントロール パネルとプリンタ ドライバで、Economode 設定がオフになっていることを確認します。
3. デバイスのコントロール パネルで、管理 メニューを開きます。 印刷品質 メニューを開き、トナー濃度 設定を増やします。 「印刷品質メニュー」を参照してください。
4. 他の種類のメディアを使用してください。
5. プリント カートリッジがほとんど空の可能性があります。プリント カートリッジを交換します。

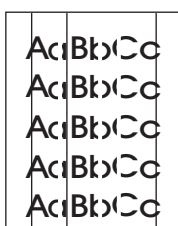
斑点

斑点は、紙詰まりを除去した後に発生することがあります。

1. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。
2. デバイスの内部をクリーニングし、クリーニング ページを実行します。 「プリンタの清掃」を参照してください。
3. 他の種類のメディアを使用してください。
4. プリント カートリッジのトナー漏れがないか確認します。プリント カートリッジの漏れがある場合は、カートリッジを交換してください。

文字等が欠落する

1. デバイスの環境条件が満たされていることを確認します。 「印刷環境および用紙の保管環境」を参照してください。
2. メディアが粗く、こするとトナーが簡単に落ちる場合は、デバイスのコントロール パネルで 管理 メニューを開きます。 印刷品質 メニューを開き、フューザ モード を選択し、使用しているメディア タイプを選択します。 「印刷品質メニュー」を参照してください。
3. より滑らかなメディアを使用してください。

線が印刷される

1. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。
2. デバイスの内部をクリーニングし、クリーニング ページを実行します。 「プリンタの清掃」を参照してください。
3. プリント カートリッジを交換します。

背景が灰色になる

1. 一度デバイスを通したメディアは再度使用しないでください。
2. 他の種類のメディアを使用してください。
3. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。
4. トレイ内の束を裏返し、 180 度回転させます。

5. デバイスのコントロール パネルで、管理 メニューを開きます。 印刷品質 メニューを開き、トナー濃度 設定を増やします。 「印刷品質メニュー」を参照してください。

6. デバイスの環境条件が満たされていることを確認します。 「印刷環境および用紙の保管環境」を参照してください。

7. プリント カートリッジを交換します。

トナーのにじみ

1. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。

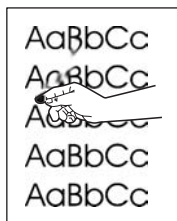
2. 他の種類のメディアを使用してください。

3. デバイスの環境条件が満たされていることを確認します。 「印刷環境および用紙の保管環境」を参照してください。

4. デバイスの内部をクリーニングし、クリーニング ページを実行します。 「プリンタの清掃」を参照してください。

5. プリント カートリッジを交換します。

「トナーが落ちやすい」も参照してください。

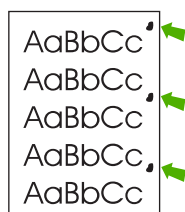
トナーが落ちやすい

ここでは、「トナーが落ちやすい」とは、印刷されたページをこするとトナーが落ちる状態を指します。

1. メディアが厚手または粗い場合は、デバイスのコントロール パネルで 管理 メニューを開きます。 印刷品質 サブメニューを開き、フューザ モード を選択し、使用しているメディア タイプを選択します。

2. メディアの両面の粗さに違いがあることが分かっている場合は、滑らかなほうの面に印刷してください。

3. デバイスの環境条件が満たされていることを確認します。 「印刷環境および用紙の保管環境」を参照してください。

4. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。 「印刷メディアの選択」を参照してください。

不正な印刷が繰り返される

1. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。

2. 不良箇所の間隔が 44mm (1.7 インチ)、58mm (2.3 インチ)、または 94mm (3.7 インチ) の場合は、プリント カートリッジを交換する必要があります。

3. デバイスの内部をクリーニングし、クリーニング ページを実行します。 「プリンタの清掃」を参照してください。

「イメージが繰り返し印刷される」も参照してください。

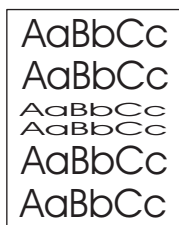
イメージが繰り返し印刷される

この種の問題は、印刷済みの用紙または大量の幅の狭いメディアを使用したときに発生する可能性があります。

1. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。

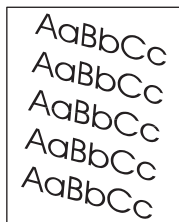
2. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。 「印刷メディアの選択」を参照してください。

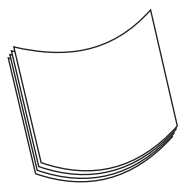
3. 不良箇所の間隔が 44mm (1.7 インチ)、58mm (2.3 インチ)、または 94mm (3.7 インチ) の場合は、プリント カートリッジを交換する必要があります。

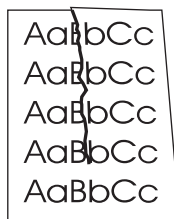
文字が歪んで印刷される

AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc

1. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。
2. デバイスの環境条件が満たされていることを確認します。 「印刷環境および用紙の保管環境」を参照してください。

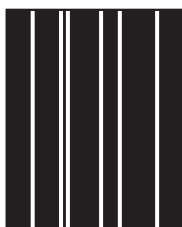
ページの歪み

AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc

1. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。
2. メディアの破片がデバイス内に残っていないことを確認します。
3. メディアが正しくセットされ、すべての調整が完了していることを確認します 「メディアのセット」を参照してください。 トレイ内のガイドがメディアに対してきつすぎたり緩すぎたりしないことを確認します。
4. トレイ内の束を裏返し、 180 度回転させます。
5. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。 「印刷メディアの選択」を参照してください。
6. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します (「印刷環境および用紙の保管環境」を参照)。
7. デバイスのコントロール パネルで 管理 メニューを開くことで、トレイを調整します。 印刷品質 サブメニューで、設定の登録 をタッチします。 ソース の下にあるトレイを選択し、テストページを実行します。 詳細については、「印刷品質メニュー」を参照してください。

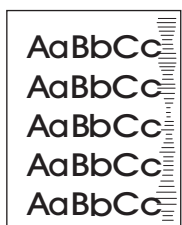
用紙が丸まったり波打つ

1. トレイ内の束を裏返します。 180 度回転させます。
2. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください (「印刷メディアの選択」を参照)。
3. デバイスの環境条件が満たされていることを確認します (「印刷環境および用紙の保管環境」を参照)。
4. 別の排紙ビンへ印刷してみます。
5. メディアが薄手または滑らかな場合は、デバイスのコントロール パネルで 管理 メニューを開きます。 印刷品質 サブメニューを開き、フューザ モード をタッチし、使用しているメディア タイプを選択します。 その設定を LOW (低) に変更して、フューザでの処理時の温度を下げます。

しわや折れ目が入る

1. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。
2. デバイスの環境条件が満たされていることを確認します。 「印刷環境および用紙の保管環境」を参照してください。
3. トレイ内の束を裏返します。 180 度回転させます。
4. メディアが正しくセットされ、すべての調整が完了していることを確認します 「メディアのセット」を参照してください。
5. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。 「印刷メディアの選択」を参照してください。
6. 封筒に折り目がある場合は、平らにしてから保存してください。

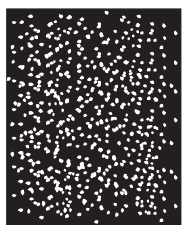
上記の操作を実行してもしわや折り目が改善されない場合、デバイスのコントロール パネルで 管理 メニューを開きます。 印刷品質 サブメニューを開き、フューザ モード を選択し、使用しているメディア タイプを選択します。 その設定を LOW (低) に変更して、フューザでの処理時の温度を下げます。

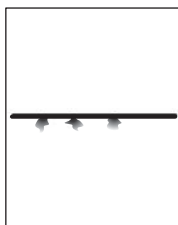
縦に白い線が入る

1. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。
2. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。 「印刷メディアの選択」を参照してください。
3. プリント カートリッジを交換します。

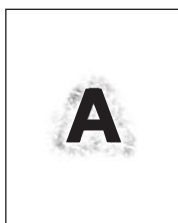
タイヤの跡のような模様が印刷される

AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc
AaBbCc

通常、この不具合は、プリント カートリッジが定格寿命を超過しているときに発生します。 たとえば、残り少ないトナーで大量の用紙を印刷する場合などです。

1. プリント カートリッジを交換します。
2. 印刷部分の少ないページの印刷枚数を減らしてください。

黒い部分に白い点が入る

1. さらに数枚の印刷を実行して、問題が解決するか確認します。
2. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。 「印刷メディアの選択」を参照してください。
3. デバイスの環境条件が満たされていることを確認します。 「印刷環境および用紙の保管環境」を参照してください。
4. プリント カートリッジを交換します。

トナーが飛び散って線が印刷される

1. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。 「印刷メディアの選択」を参照してください。
2. デバイスの環境条件が満たされていることを確認します。 「印刷環境および用紙の保管環境」を参照してください。
3. トレイ内の束を裏返します。 180 度回転させます。
4. デバイスのコントロール パネルで、管理 メニューを開きます。 印刷品質 サブメニューを開き、トナー濃度 設定を変更します。 「印刷品質メニュー」を参照してください。
5. デバイスのコントロール パネルで 管理 メニューを開きます。 印刷品質 サブメニューで、最適化 を開いて 細部を重視=オン に設定します。

ぼやけて印刷される

1. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。 「印刷メディアの選択」を参照してください。
2. デバイスの環境条件が満たされていることを確認します。 「印刷環境および用紙の保管環境」を参照してください。
3. トレイ内の束を裏返します。 180 度回転させます。
4. 一度デバイスをを通したメディアは再度使用しないでください。
5. トナー濃度の値を下げます。 デバイスのコントロール パネルで 管理 メニューを開きます。 印刷品質 サブメニューを開き、トナー濃度 設定を変更します。 「印刷品質メニュー」を参照してください。
6. デバイスのコントロール パネルで 管理 メニューを開きます。 印刷品質 サブメニューで、最適化 を開いて 高転写=オン に設定します。 「印刷品質メニュー」を参照してください。

ランダムなイメージが繰り返し印刷される

ページの上部に黒色で印刷されるイメージがページの下部に (グレーの範囲内に) 繰り返し印刷される場合、トナーが前回のジョブから完全に消されていない可能性があります (繰り返し印刷されるイメージが、印刷されるフィールドより薄いまた濃い場合があります)。

- イメージが繰り返し印刷される範囲のトーン (濃さ) を変更します。
- イメージが印刷される順序を変更します。たとえば、ページの上部に薄いイメージ、ページの下部に濃いイメージを印刷します。
- ソフトウェア プログラムで、ページ全体を 180 度回転して最初に薄めのイメージを印刷します。
- 印刷ジョブ中に不具合が発生した場合は、デバイスの電源を切り、10 分後に入れ直して印刷ジョブを再開します。

ネットワーク印刷に関するトラブルの解決

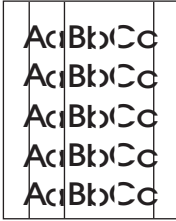
注記　デバイスの CD-ROM を使って、ネットワーク上にデバイスをインストールしてセットアップすることをお勧めします。

- 設定ページを印刷します (「[情報ページ] の使用」を参照)。 HP Jetdirect プリント サーバがインストールされている場合、設定ページを印刷すると、2 ページ目にネットワーク設定とステータスが印刷されます。
- Jetdirect 設定ページのヘルプと詳細については、デバイスの CD-ROM に収録されている『*HP Jetdirect 内蔵プリント サーバ管理者用ガイド*』を参照してください。 このガイドを開くには、CD-ROM を起動して、**[プリンタのマニュアル]**、**[HP Jetdirect Guide (HP Jetdirect ガイド)]**、**[Troubleshooting the HP Jetdirect Print Server (HP Jetdirect プリント サーバのトラブル解決)]** を順にクリックします。
- 別のコンピュータからジョブを印刷してみます。
- デバイスとコンピュータの動作を確認するには、USB ケーブルを使用して、デバイスとコンピュータを直接接続し、プリント ソフトウェアを再インストールします。 プログラムから、以前に正常に印刷された文書を印刷します。 この方法で正常に印刷された場合、問題の原因はネットワークの可能性があります。
- この問題を解決するには、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

コピーの問題を解決する

コピーに関する問題の防止

ここでは、コピー品質を簡単に改善できる手順を説明します。

- スキャナからコピーします。 スキャナを使用すると、自動文書フィーダ (ADF) からコピーするよりも品質が高くなります。
- 高い品質の原稿を使用します。
- メディアを正しくセットします。 メディアが正しくセットされていないと、メディアが歪んで、イメージが不明瞭になり、OCR プログラムで適切に読み取れない可能性があります。 操作方法については、「メディアのセット」を参照してください。
- 原稿を保護するために、適切な用紙を使用します。

注記 メディアが HP の仕様に合っていることを確認します。 メディアが HP の仕様に合っているのに給紙の問題が繰り返し起こる場合は、ピックアップ ローラーまたは仕分けパッドが摩耗していることを示します。 HP カスタマ ケアにご連絡ください。 HP カスタマ ケアまたはデバイスに付属のサポート パンフレットを参照してください。

イメージの問題

問題	原因	解決方法
イメージが印刷されません。または薄い色です。	プリント カートリッジのトナー レベルが低い可能性があります。	プリント カートリッジを交換します。「プリント カートリッジの交換」を参照してください。
	原稿の品質が低いこともあります。	原稿が明るすぎたり破損している場合、濃さを調整しても、補正できない場合があります。 可能であれば、状態のよい原稿を使用してください。
	原稿の背景に色が付いていることがあります。	コピー、イメージ調整 の順にタッチします。 背景色を少なくするには、背景のクリーンアップ スライダを右に調整します。
コピーに白または薄い色の縦線が表示されます。 AaBbCc AaBbCc AaBbCc AaBbCc AaBbCc	メディアがプリンタの仕様を満たしていない可能性があります。	HP 仕様を満たしているメディアを使用します。 「印刷メディアの選択」を参照してください。
	プリント カートリッジのトナー レベルが低い可能性があります。	プリント カートリッジを交換します。「プリント カートリッジの交換」を参照してください。

問題	原因	解決方法
不要な線がコピーに表示されます。	トレイ 1 またはトレイ 2 が正しく設置されていません。	トレイが設置されていることを確認します。
	スキャナまたは ADF のガラス面が汚れている可能性があります。	スキャナまたは ADF のガラス面をクリーニングします。「プリンタの清掃」を参照してください。
	プリント カートリッジ内部の写真感知ドラムに傷が付いた可能性があります。	新品の HP 製プリント カートリッジを取り付けます。「プリント カートリッジの交換」を参照してください。
黒いドットまたは線がコピーに表示されます。	インク、のり、修正液などの望ましくない物質が、自動文書フィーダ (ADF) またはスキャナに付着しています。	デバイスをクリーニングしてください。「プリンタの清掃」を参照してください。
コピーが明るすぎるか濃すぎます。	濃さの設定を調整します。	コピー、イメージ調整の順にタッチします。 濃さ スライダを調整して、色の濃淡を設定します。
テキストが不明瞭です。	鮮明度の設定を調整します。 イメージをテキストに合わせて最適化する必要があります。	鮮明度を調整するには、コピー、イメージ調整 の順にタッチします。 鮮明度を高めるには、鮮明度 スライダを右に調整します。 テキストに合わせてイメージを最適化するには、コピー、テキスト/画像の最適化 の順にタッチします。 テキスト を選択します。

メディア処理に関する問題

問題	原因	解決方法
印刷品質やトナー定着性が低下する	用紙が湿りすぎている、粒子が粗すぎる、滑らかすぎる、エンボス加工されている、または不良品である可能性があります。	100 ～ 250 平滑度 (Sheffield) で水分含有量 4 ～ 6% の別の用紙を使用してください。
文字の欠落、紙詰まり、または丸まり	用紙が正しく保管されていませんでした。	防湿性の包装材で包み、平らな状態で保管してください。
	用紙が丸まります。	用紙を裏返します。
極端な丸まり	用紙が湿りすぎている、グレイン方向が間違っている、ショートグレイン用紙を使用している可能性があります。	後部排紙ビンを開くか、ロンググレイン用紙を使用してください。
	用紙が丸まります。	用紙を裏返します。
紙詰まりが発生してデバイスが損傷する	用紙に切り取り線やミシン目があります。	切り取り線やミシン目のない用紙を使用してください。

問題	原因	解決方法
給紙に関する問題	用紙の端が折れています。	レーザー プリンタ用の上質の用紙を使用してください。
	用紙が丸まります。	用紙を裏返します。
	用紙が湿りすぎている、荒すぎる、重すぎる、または滑らかすぎる、グレイン方向が間違っている、ショート グレイン用紙を使用している、エンボス加工されている、または不良品である可能性があります。	● 100 ～ 250 平滑度 (Sheffield) で水分含有量 4 ～ 6% の別の用紙を使用してください。 ● ロング グレイン用紙を使用してください。
ページの印刷が歪んだり、位置がずれます。	メディア ガイドの調整が不適切な可能性があります。	給紙トレイからすべてのメディアを取り除き、用紙の束を揃えて、給紙トレイにセットし直します。 使用するメディアの幅と長さに合わせてメディア ガイドを調整し、もう一度印刷します。
	スキャナの校正が必要な可能性があります。	トレイを調整し、スキャナを校正します。 ● デバイスのコントロール パネルで 管理 メニューを開き、トレイを調整します。 印刷品質 サブメニューで、設定の登録 をタッチします。 ソース の下にあるトレイを選択し、テスト ページを実行します。 詳細については、「印刷品質メニュー」を参照してください。 ● スキャナの校正方法については、「スキャナの校正」を参照してください。
同時に複数枚の用紙が送られました。	メディア トレイが重すぎる可能性があります。	トレイからメディアの一部を取り除きます。 「メディアのセット」を参照してください。
	メディアにしわが入る、折れている、または破損している可能性があります。	メディアにしわ、折れ、破損がないことを確認します。 新規または異なるパッケージのメディアの印刷を試してください。
デバイスがメディア トレイからメディアを引き出せません。	デバイスが手差しモードになっている可能性があります。	● **[手差し]** がコントロール パネルのディスプレイに表示される場合、**[OK]** を押してジョブを印刷します。 ● デバイスが手差しモードではないことを確認し、ジョブを印刷し直します。
	ピックアップ ローラーが汚れているか破損している可能性があります。	HP カスタマ ケアにご連絡ください。 HP カスタマ ケアまたはデバイスに付属のサポート パンフレットを参照してください。
	トレイの用紙長の調整コントロールが、メディアのサイズよりも長い位置に設定されています。	用紙長の調整コントロールを調整し、正しい長さにします。

性能に関する問題

問題	原因	解決方法
コピーが出てきませんでした。	給紙トレイが空になっている可能性があります。	デバイスにメディアをセットしてください。 詳細については、「メディアのセット」を参照してください。
	原稿が正しくセットされていない可能性があります。	ADF またはスキャナに原稿を正しくセットします。 「メディアのセット」を参照してください。
コピーが白紙です。	プリント カートリッジにガムテープが貼り付いたままになっている可能性があります。	プリント カートリッジを取り出し、ガムテープを剥がしてから、プリント カートリッジを取り付けます。
	原稿が正しくセットされていない可能性があります。	ADF またはスキャナに原稿を正しくセットします。 「メディアのセット」を参照してください。
	メディアがプリンタの仕様を満たしていない可能性があります。	HP 仕様を満たしているメディアを使用します。 「印刷メディアの選択」を参照してください。
	プリント カートリッジのトナー レベルが低い可能性があります。	プリント カートリッジを交換します。「プリント カートリッジの交換」を参照してください。
違う原稿がコピーされました。	ADF に原稿がセットされている可能性があります。	ADF が空であることを確認します。
コピーのサイズが小さくなります。	デバイス ソフトウェアでスキャンしたイメージのサイズを縮小する設定になっている可能性があります。	設定の変更方法については、デバイス ソフトウェアの [ヘルプ] を参照してください。

ファックスの問題を解決する

送信に関する問題の解決

送信中にファックスが中断します。

原因	解決方法
受信側のファックス機が機能していない可能性があります。	受信者に連絡して、受信するファックス機の電源を入れ、ファックスを受信できるように準備を依頼します。または別のファックス機に送信します。
電話回線が機能していないか、回線が干渉を受けている可能性があります。	ファックス ケーブルを電話用ジャックから外し、電話に接続します。 発信してみて、電話回線が機能していることを確認します。 [管理] メニューの [最大ボー レート] を調整して、低いボー レートで試します。 「[初期セットアップ] メニュー」を参照してください。

ファックスの受信はできますが、送信できません。

原因	解決方法
デバイスが PBX システムに設置されている場合、PBX システムからファックスが検出できないダイアル トーンが生成されている可能性があります。	ダイヤル トーンの検出設定を無効にします。 設定の変更方法については、ファックス ガイドを参照してください。
電話がつながりにくくなっている可能性があります。	ファックスを後で送り直してください。
受信側のファックス機が機能していない可能性があります。	受信者に連絡して、受信するファックス機の電源が入りファックスを受信する準備ができていることを確認してもらうか、別のファックス機に送信します。
電話回線が機能していない可能性があります。	ファックス ケーブルを電話用ジャックから外し、電話に接続します。 発信してみて、電話回線が機能していることを確認します。

ファックスを送信すると、発信音が鳴り続けます。

原因	解決方法
[通話中の場合のリダイアル] または [応答がない場合のリダイアル] が有効な場合、自動的にファックス番号がリダイアルされます。	[通話中の場合のリダイアル] または [応答がない場合のリダイアル] を無効にします。 設定の変更方法については、ファックス ガイドを参照してください。

送信したファックスが受信側のファックス機に届きません。

原因	解決方法
受信側のファックス機の電源が入っていないか、用紙切れなどのエラーが発生している可能性があります。	受信者に連絡して、ファックス機の電源を入れ、ファックスを受信できるように準備を依頼します。
通話中でリダイアルを待機しているとき、または送信したファックスよりも前のジョブが待機しているとき、ファックスはメモリに保存されている可能性があります。	このような状況でメモリにファックス ジョブが保存されている場合、ジョブ項目がファックス ログに表示されます。 ファックスの動作ログを印刷し (ファックス ガイドを参照)、**[結果]** 列に **[保留]** の宛先があるジョブを確認します。

注記　ファックスの送信速度が遅い場合、「[初期セットアップ] メニュー」の「ファックスの送信速度または受信速度がとても低速です」を参照してください。

受信に関する問題の解決

ファックスが送られてきても、ファックスが応答しません (ファックスが検出されません)。

原因	解決方法
応答するまでの呼び出し回数が正しく設定されていない可能性があります。	応答するまでの呼び出し回数の設定を確認します。 設定の変更方法については、ファックス ガイドを参照してください。
電話線が正しく接続されていない可能性があります。または電話線が機能していない可能性があります。	接続を確認してください。 デバイスに付属の電話線を使用していることを確認します。
電話回線が機能していない可能性があります。	ファックス ケーブルを電話用ジャックから外し、電話に接続します。 発信してみて、電話回線が機能していることを確認します。
音声メッセージ サービスが応答機能に干渉している可能性があります。	次のいずれかを実行します。 ● メッセージング サービスの接続を解除します。 ● 電話回線をファックス通話専用にします。 ● ファックスの応答するまでの呼び出し回数設定を減らし、音声メールの応答するまでの呼び出し回数設定より少なくします。 設定の変更方法については、ファックス ガイドを参照してください。

ファックスの送信速度または受信速度がとても低速です。

原因	解決方法
画像が多い原稿など、複雑なファックスを送受信しようとしている可能性があります。	原稿が複雑な場合、ファックスの送受信には時間がかかります。
受信側のファックス機のモデム速度が低速な可能性があります。	このデバイスでは、受信側のファックス機が対応できる最速のモデム速度でしかファックスを送信しません。
ファックスを送受信時に高い解像度を指定しました。 一般的に、解像度を高くすると品質は改善されますが、伝送時間が長くかかります。	ファックスを受信する側の場合、相手側に解像度を減らしてからファックスを再送信するように依頼してください。 送信側の場合、解像度を減らすか Page Content mode ([ページの内容] モード) の設定を変更します。 設定の変更方法については、ファックス ガイドを参照してください。
電話回線の接続速度が遅いため、デバイスのファックス機能と送受信するファックス機でエラーに対応するために伝送速度が遅くなります。	受信をキャンセルし、ファックスを再送信します。 電話会社に電話回線の調査を依頼してください。

ファックスが印刷されません。

原因	解決方法
メディアが給紙トレイにありません。	メディアをセットします。 給紙トレイが空のときに受信したファックスは、トレイにメディアがセットされると印刷されます。

ファックスが印刷されません。

原因	解決方法
Schedule Printing of Faxes mode ([ファックス印刷スケジュール] モード) が有効です。 このモードを無効にしないとファックスは印刷されません。	Schedule Printing of Faxes mode ([ファックス印刷スケジュール] モード) を無効にします。 設定の変更方法については、ファックス ガイドを参照してください。
トナー レベルが低いか、トナーがなくなりました。 トナー レベルが低くなるか、トナーがなくなると、印刷は停止されます。 受信したファックスはメモリに保存され、トナーが交換されると印刷されます。	プリント カートリッジを交換します。

電子メールの問題を解決する

デジタル送信機能を使用して電子メールを送信できない場合は、SMTP ゲートウェイ アドレスまたは LDAP ゲートウェイ アドレスの再設定が必要な場合があります。現在の SMTP および LDAP ゲートウェイ アドレスを確認するには、設定ページを印刷します。以下の手順に従って、SMTP および LDAP ゲートウェイ アドレスが有効かどうか確認してください。

SMTP ゲートウェイ アドレスの検証

注記　この手順は Windows オペレーティング システム用です。

1. MS-DOS コマンド プロンプトを開きます。 **[スタート]** をクリックし、**[ファイル名を指定して実行]** をクリックし、cmd と入力します。
2. telnet に続けて SMTP ゲートウェイ アドレスを入力し、MFP が通信するポートである数値 25 を入力します。 たとえば、telnet 123.123.123.123 25 と入力します。この「123.123.123.123」は SMTP ゲートウェイ アドレスを示します。
3. Enter を押します。 SMTP ゲートウェイ アドレスが有効では*ない*場合、Could not open connection to the host on port 25: Connect Failed (ポート 25 でホストへの接続を開くことができませんでした: 接続は失敗しました) というメッセージが応答に含まれます。
4. SMTP ゲートウェイ アドレスが有効ではない場合、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

LDAP ゲートウェイ アドレスの検証

注記　この手順は Windows オペレーティング システム用です。

1. Windows エクスプローラを開きます。 アドレス バーに LDAP:// に続けて LDAP ゲートウェイ アドレスを入力します。 たとえば、LDAP://12.12.12.12 と入力します。この「12.12.12.12」は LDAP ゲートウェイ アドレスを示します。
2. Enter を押します。 LDAP ゲートウェイ アドレスが有効な場合、**[Find People (ユーザー検索)]** ダイアログボックスが表示されます。
3. LDAP ゲートウェイ アドレスが有効ではない場合、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

Windows に関する一般的なトラブルの解決

エラー メッセージ :

「一般保護違反 例外 OE」

「Spool32」

「Illegal Operation」

原因	解決方法
	すべてのソフトウェア プログラムを閉じ、Windows を再起動してからやり直してください。 別のプリンタ ドライバを選択します。 デバイスの PCL 6 プリンタ ドライバが選択されている場合、PCL 5 または HP PostScript Level 3 エミュレーション プリンタ ドライバに切り替えます。ドライバは、ソフトウェア プログラムから切り替えることができます。 すべての一時ファイルを Temp サブディレクトリから削除します。 ディレクトリ名は、AUTOEXEC.BAT ファイルを開き、ステートメント「Set Temp =」を検索して判別できます。 このステートメントの後に表示される名前が Temp ディレクトリです。 通常は C:\TEMP がデフォルトですが、これは定義し直すこともできます。 Windows のエラー メッセージについては、コンピュータに同梱されている Microsoft Windows のマニュアルを参照してください。

Macintosh に関する一般的なトラブルの解決

「一般的なプリンタの問題の解決」に一覧されている問題に加えて、このセクションでは、Mac OS X を使用している場合の問題について説明します。

注記 USB と IP 印刷のセットアップは、**[デスクトップの Printer ユーティリティ]**を使って実施します。 この場合、デバイスはセレクタには*表示されません*。

プリンタ ドライバが、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されません。

原因	解決方法
デバイス ソフトウェアがインストールされていないか、正しくインストールされていない可能性があります。	PPD ファイルがハードディスクの以下の場所にあることを確認します。 Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj フォルダから削除します。<lang> には、使用する言語を表す 2 文字の言語コードを入れます。 必要であれば、ソフトウェアを再インストールします。 手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。
PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイルが壊れています。	PPD ファイルをハードディスク ドライブの Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj フォルダから削除します。<lang> には、使用する言語を表す 2 文字の言語コードを入れます。 ソフトウェアを再インストールします。 手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。

デバイス名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名が、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティのプリンタ リストに表示されません。

原因	解決方法
デバイスが使用可能な状態になっていない可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていること、デバイスの電源がオンになっていること、そして印字可ランプが点灯していることを確認してください。 USB または Ethernet ハブ経由で接続している場合、コンピュータに直接接続するか、異なるポートを試してください。
間違った接続タイプが選択されている可能性があります。	デバイスとコンピュータの接続方法に応じて、USB、IP 印刷、または Rendezvous が選択されていることを確認します。
間違ったデバイス名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名が使用されています。	設定ページを印刷して、デバイス名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名を確認します。 「[情報ページ] の使用」を参照してください。 設定ページのデバイス名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名が、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されたプリンタ名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名と同じであることを確認します。
インタフェース ケーブルに不具合があるか、品質に問題がある可能性があります。	インタフェース ケーブルを交換します。 品質の良いケーブルを使用していることを確認します。

プリンタ ドライバが、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティで選択したデバイスを自動的に設定しません。

原因	解決方法
デバイスが使用可能な状態になっていない可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていること、デバイスの電源がオンになっていること、そして印字可ランプが点灯していることを確認してください。 USB または Ethernet ハブ経由で接続している場合、コンピュータに直接接続するか、異なるポートを試してください。

プリンタ ドライバが、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティで選択したデバイスを自動的に設定しません。

原因	解決方法
デバイス ソフトウェアがインストールされていないか、正しくインストールされていない可能性があります。	PPD ファイルがハードディスクの以下の場所にあることを確認します。 Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj フォルダから削除します。<lang> には、使用する言語を表す 2 文字の言語コードを入れます。 必要であれば、ソフトウェアを再インストールします。 手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。
PPD ファイルが壊れています。	PPD ファイルをハードディスク ドライブの Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj フォルダから削除します。<lang> には、使用する言語を表す 2 文字の言語コードを入れます。 ソフトウェアを再インストールします。 手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。
デバイスが使用可能な状態になっていない可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていること、デバイスの電源がオンになっていること、そして印字可ランプが点灯していることを確認してください。 USB または Ethernet ハブ経由で接続している場合、コンピュータに直接接続するか、異なるポートを試してください。
インタフェース ケーブルに不具合があるか、品質に問題がある可能性があります。	インタフェース ケーブルを交換します。 品質の良いケーブルを使用していることを確認します。

印刷ジョブが選択したデバイスに送られませんでした。

原因	解決方法
プリント キューが停止している可能性があります。	プリント キューを再起動します。 **[プリントモニタ]** を開き、**[ジョブを開始]** を選択します。
間違ったデバイス名または IP アドレスが使用されています。 まったく同じか、似たようなデバイス名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名を持つ別のプリンタが、印刷ジョブを受信した可能性があります。	設定ページを印刷して、デバイス名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名を確認します。「[情報ページ] の使用」を参照してください。 設定ページのデバイス名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名が、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されたプリンタ名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名と同じであることを確認します。

Encapsulated PostScript (EPS) ファイルが正しいフォントで印刷されません。

原因	解決方法
この問題は一部のプログラムで発生します。	● EPS ファイル内に格納されているフォントを、印刷する前にデバイスにダウンロードしてみてください。 ● ファイルをバイナリ エンコードではなく ASCII フォーマットで送信してください。

サードパーティ製 USB カードから印刷できません。

原因	解決方法
このエラーは、USB プリンタ用のソフトウェアがインストールされていない場合に発生します。	サードパーティ製 USB カードを追加するときに Apple USB Adapter Card Support ソフトウェアが必要となる場合があります。 このソフトウェアの最新版は Apple の Web サイトから入手できます。

USB ケーブルで接続しているときに、ドライブを選択した後にプリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティにデバイスが表示されません。

原因	解決方法
この問題は、ソフトウェアとハードウェア コンポーネントのいずれかが原因で発生します。	**ソフトウェアで発生するトラブルの解決** ● お使いの Macintosh で USB がサポートされていることを確認します。 ● Macintosh のオペレーティング システムが Mac OS X バージョン 10.2.8 以降であることを確認します。 ● お使いの Macintosh に Apple 製の適切な USB ソフトウェアがインストールされていることを確認します。 **ハードウェアで発生するトラブルの解決** ● デバイスの電源がオンになっていることを確認します。 ● USB ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 ● 適切なハイスピード USB 2.0 ケーブルが使用されていることを確認します。 ● チェーンにつながっている、電力を消費する USB デバイスが多すぎないことを確認します。 チェーンに接続されているデバイスをすべて外し、ケーブルをホスト コンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。 ● チェーンにおいて、バスパワー動作の USB ハブが 3 つ以上連続して接続されていないかを確認します。 チェーンに接続されているデバイスをすべて外し、ケーブルをホスト コンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。 **注記** iMac のキーボードはバスパワー動作の USB ハブです。

Linux に関する問題の解決

Linux に関する問題の解決方法については、HP Linux サポート Web サイト (hp.sourceforge.net/) にアクセスしてください。

PostScript に関する問題の解決

以下の状況は、PostScript (PS) 言語特有であり、複数のプリンタ言語が使用されているときに発生する可能性があります。 コントロール パネルで、問題解決のヒントになるメッセージを確認してください。

注記　PS エラーが発生したときにメッセージを印刷する、あるいは画面に表示するには、**[印刷オプション]** ダイアログ ボックスを開き、メッセージを表示したい PS Errors セクションの横にある選択項目をクリックします。

一般的な問題

ジョブは、指定した書体ではなく Courier (デフォルトの書体) で印刷されます。

原因	解決方法
指定の書体がダウンロードされていません。	必要なフォントをダウンロードし、印刷ジョブを再送信します。 フォントの種類と場所を確認します。 必要に応じて、フォントをデバイスにダウンロードします。 詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

リーガル ページのマージンが切り詰められて印刷されます。

原因	解決方法
印刷ジョブが複雑すぎます。	ジョブを 600dpi で印刷したり、ページの複雑さを削減したり、またはメモリを増設する必要があります。

PS エラー ページが印刷されます。

原因	解決方法
印刷ジョブが PS ジョブでない可能性があります。	印刷ジョブが PS ジョブであることを確認します。 ソフトウェア プログラムが、セットアップまたは PS ヘッダー ファイルがデバイスに送信されることを予期していたかどうかを確認します。

A　アクセサリおよび消耗品

この節では、パーツ、サプライ品、およびアクセサリを注文する方法を説明します。パーツおよびアクセサリは、このプリンタ用に指定された製品をご使用ください。

パーツ、アクセサリ、サプライ品の注文

パーツ、サプライ品、アクセサリを注文する方法はいくつかあります :

- HP から直接注文
- サービス プロバイダまたはサポート プロバイダを通じて注文
- 埋め込み Web サーバーを通じて直接注文 (ネットワーク接続されたプリンタ向け)
- HP Easy Printer Care ソフトウェアを使って直接注文します。

HP から直接注文

以下のアイテムは HP から直接注文できます :

- **交換パーツ :** 米国で交換パーツを注文するには、 http://www.hp.com/go/hpparts をご覧ください。米国以外では、お近くの HP 認定サービス センターにお問い合わせのうえ、パーツをご注文ください。
- **サプライ品およびアクセサリ :** 米国でサプライ品を注文するには、 http://www.hp.com/go/ljsupplies をご覧ください。米国以外でサプライ品を注文するには、 http://www.hp.com/ghp/buyonline.html をご覧ください。アクセサリを注文するには、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp をご覧ください。

サービス プロバイダまたはサポート プロバイダを通じて注文

パーツまたはアクセサリを注文するには、HP 認定のサービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。

埋め込み Web サーバーを通じて直接注文 (ネットワーク接続されたプリンタ向け)

次の手順で、埋め込み Web サーバーから直接印刷用のサプライ品を注文してください。

1. コンピュータ上の Web ブラウザで、デバイスの IP アドレスまたはホスト名を入力します。ステータス ウィンドウが表示されます。
2. **[[その他のリンク]]** 領域で **[[サプライ品の注文]]** をダブルクリックします。消耗品を購入するサイトの URL が提供されます。
3. 注文する商品のパーツ番号を選択し、画面の指示に従います。

HP Easy Printer Care ソフトウェアを使って直接注文します。

HP Easy Printer Care ソフトウェアは、プリンタの設定や監視、プリンタ用サプライ品の注文、トラブルシューティング、およびアップデートを簡単かつ効率的に行うためのプリンタ管理ツールです。HP Easy Printer Care ソフトウェアの詳細については、 http://www.hp.com/go/easyprintercare を参照してください。

パーツ番号：

以下のアクセサリのリストは、リスト印刷時点での現行品です。プリンタの使用期間中にアクセサリの注文方法と入手状況が変更される場合があります。

アクセサリ

アイテム	説明	パーツ番号：
オプションの 500 枚トレイとフィーダー ユニット	オプションのトレイで用紙の容量を増やすこともできます。レター、A4、リーガル、A5、B5 (JIS)、エグゼクティブ、8.5x13 インチ サイズの用紙を収容できます。 プリンタは、オプションの 500 枚フィーダーを 3 つまで装着できます。	Q5968A
封筒フィーダー	最大 75 枚の封筒を収容します。	Q2438A
両面印刷ユニット (両面印刷アクセサリ)	用紙の両面に自動的に印刷します。	Q5969A
3 ビン メールボックス	合計で 700 枚の用紙を収容する 3 つの排紙ビンを提供します。	Q5692A
500 枚ステイプラ/スタッカ	大量の排紙を可能にし、ジョブを自動的に終了します。最大 30 枚の用紙を綴じることができます。	Q5691A
5,000 枚ステイプル カートリッジ	1 つのステイプル カートリッジを提供します。	C8091A
ストレージ キャビネット	MFP の高さを上げて、用紙の収容スペースを提供します。	Q5970A
HPLaserJet Analog Fax Accessory 300	MFP にファックス機能を提供します。これは、HPLaserJet 4345x mfp、4345xs mfp および 4345xm mfp のモデルに含まれています。	Q3701A

プリント カートリッジ

アイテム	説明	パーツ番号：
HPLaserJet プリント カートリッジ	18,000 ページ カートリッジ	Q5945A

保守キット

アイテム	説明	パーツ番号：
プリンタ保守キット 交換フューザー、転送ローラー、転送ローラー ツール、ピックアップ ローラー、給紙ローラー (8)、使い捨て手袋が含まれています。各コンポーネントのインストール指示も含まれています。 プリンタ保守キットは消耗品アイテムで、その費用は保証または拡張保証オプションの対象外となります。	110 ボルト プリンタ保守キット	Q5998A
	220 ボルト プリンタ保守キット	Q5999A
ADF 保守キット ローラー アセンブリ、セパレーション パッド、マイラー シールドが含まれます。 ADF 保守キットは消耗品アイテムで、その費用は保証または拡張保証オプションの対象外となります。	ADF の保守キットが含まれます。	Q5997A

メモリ

アイテム	説明	パーツ番号：
100 ピン DDR メモリ DIMM (デュアル インライン メモリ モジュール) プリンタの性能を強化して、大規模なまたは複雑な印刷ジョブの処理を可能にします。	64MB	Q2625A
	128MB	Q2626A
	256MB	Q2627A
ハード ディスク	フォントとフォーム用の 20GB の永久ストレージです。複数の原稿の印刷とジョブの保存機能にも使用されます。	J6054B

ケーブルとインターフェイス

アイテム	説明	パーツ番号：
拡張 I/O (EIO) カード HPJetdirect プリント サーバー マルチプロトコル EIO ネットワーク カード	HPJetdirect 620n Fast Ethernet (10/100Base-TX) プリント サーバー	J7934A
	HPJetdirect USB 接続カード、シリアル接続および LocalTalk 接続	J4135A

印刷メディア

メディア サプライ品の詳細については、http://www.hp.com/go/ljsupplies を参照してください。

アイテム	説明	パーツ番号：
HPLaserJet 用紙 HPLaserJet プリンタで使用します。レターヘッド、重要なメモ、法律文書、ダイレクト メール、手紙などに適しています。 仕様：白色度 96、20lb (90g/m^2)	レター (8.5x11 インチ)、500 枚/用紙、10 枚カートン	HPJ1124/北米
	リーガル (8.5x14 インチ)、500 枚/用紙、10 枚カートン	HPJ1424/北米
	A レター (220x280mm)、500 枚/用紙、5 枚カートン	Q2398A/アジア太平洋の国/地域
	A4 (210x297mm)、500 枚/用紙、5 枚カートン	Q2400A/アジア太平洋の国/地域
	A4 (210x297mm)、500 枚/用紙	CHP310/ヨーロッパ
HP 印刷用紙 HPLaserJet および Inkjet プリンタ用。小企業や自宅兼オフィス用途に対応します。コピー用紙よりも重く明るい用紙です。 仕様：白色度 92、22lb。	レター (8.5x11 インチ)、500 枚/用紙、10 枚カートン	HPP1122/北米およびメキシコ
	レター (8.5x11 インチ)、500 枚/用紙、3 枚カートン	HPP113R/北米
	A4 (210x297mm)、500 枚/用紙、5 枚カートン	CHP210/ヨーロッパ
	A4 (210x297mm)、300 枚/用紙、5 枚カートン	CHP213/ヨーロッパ
HP 汎用紙 レーザー プリンタ、インクジェット プリンタ、コピー、ファックスなど、あらゆるオフィス機器に対応します。1 種類の用紙であらゆるオフィス用途に対応します。他のオフィス用紙に比べて、光沢と表面のなめらかさに優れています。 仕様：白色度 90、20lb (75g/m^2)	レター (8.5x11 インチ)、500 枚/用紙、10 枚カートン レター (8.5x11 インチ)、500 枚/用紙、5 枚カートン レター (8.5x11 インチ)、250 枚/用紙、12 枚カートン レター (8.5x11 インチ)、3 穴、500 枚/用紙、10 枚カートン レター (8.5x14 インチ)、500 枚/用紙、10 枚カートン	HPM1120/北米 HPM115R/北米 HP25011/北米 HPM113H/北米 HPM1420/北米

アイテム	説明	パーツ番号：
HP オフィス用紙 オフィス用紙。レーザー プリンタ、インクジェット プリンタ、コピー、ファックスなど、あらゆるオフィス機器に対応します。大量印刷に最適。 仕様：白色度 84、20lb (75g/m^2)	レター (8.5x11 インチ)、500 枚/用紙、10 枚カートン	HPC8511/北米およびメキシコ
	レター (8.5x11 インチ)、3 穴、500 枚/用紙、10 枚カートン	HPC3HP/北米
	リーガル (8.5x14 インチ)、500 枚/用紙、10 枚カートン	HPC8514/北米
	レター (8.5x11 インチ)、クイック パック；2,500 枚カートン	HP2500S/北米およびメキシコ
	レター (8.5x11 インチ)、クイック パック 3 穴；2,500 枚カートン	HP2500P/北米
	A レター (220x280mm)、500 枚/用紙、5 枚カートン	Q2408A/アジア太平洋の国/地域
	A4 (210x297mm)、500 枚/用紙、5 枚カートン	Q2407A/アジア太平洋の国/地域
	A4 (210x297mm)、500 枚/用紙、5 枚カートン	CHP110/ヨーロッパ
	A4 (210x297mm)、クイック パック；2,500 枚/用紙、5 枚カートン	CHP113/ヨーロッパ
HP オフィス用再生紙 オフィス用再生紙。レーザー プリンタ、インクジェット プリンタ、コピー、ファックスなど、あらゆるオフィス機器に対応します。大量印刷に最適。 環境に優しい製品として、U.S. Executive Order 13101 に準拠。 仕様：白色度 84、20lb、 30% 再生紙	レター (8.5x11 インチ)、500 枚/用紙、10 枚カートン	HPE1120/北米
	レター (8.5x11 インチ)、3 穴、500 枚/用紙、10 枚カートン	HPE113H/北米
	リーガル (8.5x14 インチ)、500 枚/用紙、10 枚カートン	HPE1420/北米
HPLaserJet OHP HPLaserJet モノクロ プリンタ専用。メリハリのあるシャープな文字やグラフィックスを再生します。OHP 専用で、HPLaserJet プリンタに最適化され、テストされています。 仕様：厚さ 4.3 ミル	レター (8.5x11 インチ)、カートンあたり 50 枚	92296T/北米、アジア太平洋の国/地域、およびヨーロッパ
	A4 (210x297mm)、カートンあたり 50 枚	922296U/アジア太平洋の国/地域およびヨーロッパ

B　サービスおよびサポート

Hewlett-Packard 社製品限定保証

HP 製品	限定保障期間
HP LaserJet M4345 Series MFP	1 年間限定保証

HP は、HP のハードウェアおよびアクセサリの購入後の上記の期間内の材料や製造の欠陥について、エンド ユーザーに対する保証を行っています。保証期間内に該当する欠陥の通知を受けた場合、HP は、欠陥が判明した商品の修理または交換に応じます。交換商品は、新品または同等の性能を持つ新製品となります。

HP は、HP ソフトウェアが購入後上記の期間内に、正しくインストールされ、使用されたにも関わらず、材料や製造上の欠陥によりプログラム命令を実行できない場合に、保証を行います。保証期間内に欠陥の通知を受けた場合、HP は、該当する欠陥によりプログラム命令を実行できないソフトウェアの交換に応じます。

HP は、HP の製品の動作が中断されないものであったり、エラーが皆無であることは保証しません。 なお、HP が HP の製品を相当期間内に修理または交換できなかった場合、お客様は、当該製品を返却することで、当該製品の購入金額を HP に請求できます。

HP 製品には、パフォーマンスまたは指定された使用において、新品と同等の性能を持つ再生パーツが使用される場合があります。

本保証は、以下に起因する不具合に対しては適用されません。(a)不適当または不完全な保守、校正に因るとき。(b) HP が供給しないソフトウェア、インタフェース、または消耗品に因るとき。(c) HP が認めない改造または誤用に因るとき。(d) 表示した環境仕様の範囲外での動作に因るとき。(e) 据付場所の不備または保全の不適合に因るとき。

特定目的のための適合性や市場商品力についての暗黙の保証は、上記で明記された保証の保証期間に限定されます。 一部の国/地域では、暗黙の保証の保証期間を制限できない場合があるため、上記の制限や責任の排除はお客様に適用されない場合があります。 本保証は特定の法律上の権利をお客様に認めるものです。また、お客様は、その国/地域の法律によっては、他の権利も認められる場合があります。 HP の限定保証は、HP が製品のサポートを提供し、かつ製品を販売している国/地域で有効です。 お客様の受け取る保証サービスは、国/地域の標準規定によって異なる場合があります。 HP は、法律または規制上の理由で製品を機能させる意図のなかった国/地域で動作するように製品の形態、整合性、または機能を変更しません。

現地の法律で許容されている範囲内において、本保証書の責任が、HP の唯一で排他的な責任です。 現地の法律で許容されている範囲内において、契約あるいは法律に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、偶発的損害、結果的損害 (利益の逸失やデータの消失を含む) その他の損害に対して、HP およびそのサプライヤは一切責任を負いません。 一部の国/地域では、付帯的または結果的な損害の排除や制限を認めない場合があり、上記の制限や排除はお客様に適用されない場合があります。

ここに含まれている保証条項は、法律により許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

プリント カートリッジの限定保証書条項

この HP 製品は、材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

この限定保証は、(a) 補充、改変、再製または改ざんを施された製品、(b) 誤用、不適切な保管、またはデバイス製品の公開されている環境仕様以外で操作した製品、(c) 通常の使用による疲弊した製品には適用されません。

限定保証サービスを受けるには、製品を (不具合に関する書面と印刷サンプルを添付して) 購入店に返品するか HP カスタマ サポートまでお問い合わせください。 HP の裁量で、HP は、瑕疵があることが判明した製品を交換するか、またはお客様に購入代金を返金します。

現地の法律で許容されている範囲内において、上記の保証は排他的であり、その他の保証や条件は、書面または口頭を問わず、明示または黙示されることはありません。HP 社は、商品性、品質に対するお客様の満足、または特定目的に対する整合性を含むいかなる黙示的な保証または条件に対する責任も負いません。

現地の法律で許容されている範囲内において、契約あるいは法律に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、偶発的損害、結果的損害 (利益の逸失やデータの消失を含む) その他の損害に対して、HP およびその代理店は一切責任を負いません。

ここに含まれている保証条項は、法律により許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

カスタマ セルフ修理保証サービス

HP 製品は、カスタマ セルフ修理 (CSR) パーツを数多く使用して、修理にかかる時間を短縮し、欠陥部品の交換における柔軟性を確保するよう設計されています。診断中に HP が CSR パーツの使用により修理可能であると判断した場合は、HP はその効果用パーツを顧客に直接送付します。CSR パーツには、2 つのカテゴリがあります。1) 顧客のセルフ修理が必須のパーツ。HP にこれらのパーツの交換を要求する場合は、そのサービスについての出張費と人件費が請求されます。2) 顧客のセルフ修理がオプションのパーツ。これらのパーツも、顧客のセルフ修理を前提として設計されています。ただし、HP にそのパーツの交換を要求する場合は、製品に規定されている保証のタイプに従って、追加料金が請求されない場合もあります。

可用性と地理的条件に基づいて、CSR パーツは翌営業日に発送されます。地理的条件が許せば、追加手数料による同日発送または 4 時間後の発送も可能です。支援が必要な場合は、HP テクニカル サポート センターに電話すると、電話による技術者の支援が得られます。HP は、CSR パーツの交換用に発送する資材について、欠陥品を HP に返品する必要があるかどうかを指定します。欠陥品を HP に返送する必要がある場合は、指定された期間内、通常は 5 営業日内に欠陥部品を HP に返送する必要があります。欠陥部品は、製品に付属のマニュアルと共に返送する必要があります。欠陥部品を返送しなかった場合、HP は交換部品の代金を請求することになります。カスタマ セルフ修理では、HP がすべての発送および返送費用を負担し、使用する運送業者を指定します。

HP カスタマ ケア

オンライン サービス

最新の HP デバイス固有のソフトウェア、製品情報、およびサポート情報には、インターネット経由で 24 時間アクセス可能です。次の Web サイトを参照してください。 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp :

HP Jetdirect 外付けプリント サーバの情報については、www.hp.com/support/net_printing を参照してください。

HP Instant Support Professional Edition (ISPE) は、デスクトップ コンピューティングおよび印刷製品のための Web 対応トラブルシューティング ツール セットです。 instantsupport.hp.com を参照してください。

電話サポート

HP では保証期間中に無料電話サポートを提供しています。 お客様がお住まいの国/地域のサポート電話番号については、デバイスに同梱のリーフレット、または www.hp.com/support/ をご覧ください。 電話でお問い合わせいただく前に、 製品名およびシリアル番号、購入日、問題の発生状況などの情報をご用意ください。

ソフトウェア ユーティリティ、ドライバ、およびオンライン情報

http://www.hp.com/go/M4345_software

ドライバが公開されている Web ページは英語ですが、各言語のドライバをダウンロードすることができます。

アクセサリおよびサプライ品の HP へのご注文

- 米国 : www.hp.com/sbso/product/supplies
- カナダ : www.hp.ca/catalog/supplies
- ヨーロッパ : www.hp.com/supplies
- アジア太平洋地域 : www.hp.com/paper/

HP 純正の部品またはアクセサリを注文するには、HP Parts Store (www.hp.com/buy/parts) (米国とカナダのみ) にアクセスするか、1-800-538-8787 (米国) または 1-800-387-3154 (カナダ) までお問い合わせください。

HP サービス情報

HP 認定販売店情報については、1-800-243-9816 (米国) または 1-800-387-3867 (カナダ) にお問い合わせください。

米国およびカナダ以外の場合は、お客様の居住する国/地域のカスタマ サポート窓口までお問い合わせください。 電話番号については、デバイスに同梱のリーフレットをご覧ください。

HP サービス契約

1-800-HPINVENT (1-800-474-6836 (米国)) または 1-800-268-1221 (カナダ) までお問い合わせください。 または、HP サポートパックおよび Carepaq™ サービスの Web サイト www.hpexpress-services.com/10467a を参照してください。

延長サービスについては、1-800-446-0522 までお問い合わせください。

HP Easy Printer Care ソフトウェア

デバイスのステータスおよび設定を確認したり、トラブル解決情報およびオンライン マニュアルを表示したりするには、HP Easy Printer Care ソフトウェア を使用します。 HP Easy Printer Care ソフトウェアを使用するには、ソフトウェアをフルインストールする必要があります。 「HP Easy Printer Care ソフトウェア を開く」を参照してください。

Macintosh コンピュータに関する HP のサポートおよび情報

Macintosh OS X サポート情報と、ドライバの更新に関する HP 購読サービスについては、www.hp.com/go/macosx を参照してください。

Macintosh ユーザー用の製品については、www.hp.com/go/mac-connect を参照してください。

HP 保守契約

HP 社では、幅広いサポートの需要を満たすため複数のタイプの保守契約をご用意しています。 保守契約は標準保証に含まれていません。 サポート サービスは地域によって異なります。 ご利用可能なサービスについては、最寄りの HP 販売店にお問い合わせください。

オンサイト サービス契約

お客様のニーズに合ったサポートを提供するため、HP 社ではいくつかのオンサイト サービス契約を用意しています。

翌日オンサイト サービス

この契約では、サービスを申し込まれた次の営業日までにサポートを提供します。 対象時間の延長および HP 社が規定するサービス エリア外への出張は、ほとんどのオンサイト契約で可能です (追加料金)。

週間 (ボリューム) オンサイト サービス

この契約では、多数の HP 社製品をお持ちの企業を毎週定期的に訪問します。 この契約は、デバイス、プロッタ、コンピュータ、およびディスク ドライブを含む、25 台以上のワークステーション製品を使用している企業を対象としています。

デバイスの再梱包

HP カスタマ ケアが、お客様のデバイスを HP に返却していただいて修理する必要があると判断した場合は、以下の手順に従ってデバイスを梱包して発送してください。

注意　梱包の不備が原因で輸送中にプリンタが破損した場合は、お客様の責任になります。

デバイスを再梱包するには

1. 追加購入してデバイスにインストールした DIMM カードは、取り外して保管してください。 デバイスに標準として付属している DIMM は取り外さないでください。

   注意　静電気は DIMM に損傷を与えます。 DIMM の取り扱い時には、静電気防止用リスト ストラップを着用するか、頻繁に DIMM の静電気防止パッケージに触れてから、デバイスの露出した金属部に触れるようにしてください。 DIMM の取り外しについては、「プリンタ メモリの追加」を参照してください。

2. プリント カートリッジを取り外して保管します。

   注意　プリント カートリッジを*必ず取り外してから*デバイスを発送してください。 プリント カートリッジを取り付けたままデバイスを搬送すると、トナーの漏れがデバイス エンジンやその他の部品全体に及ぶ可能性があります。

   プリント カートリッジの損傷を防ぐために、カートリッジのローラーには触れず、元の梱包材に入れて保管するか光の当たらない場所に保管してください。

3. 電源ケーブル、インタフェース ケーブル、そしてオプションのアクセサリを取り外して保管します。

4. 可能であれば、印刷サンプルと、正しく印刷できない用紙または他の印刷メディアを 50 〜 100 枚ほど同梱してください。

5. 米国内の場合は、HP カスタマ ケアに連絡して、新しい梱包材を要求することができます。 その他の地域の場合は、可能であれば、元の梱包材を使用してください。 発送する機器には保険をかけることをお勧めします。

保証期間の延長

HP サポートは、HP ハードウェア製品とすべての HP 提供の内部部品に適用されます。 ハードウェア保守は、HP 製品の購入日から 1 〜 3 年間有効です。 ただし、製造元保証書に記述されている期間内に、HP サポートを購入する必要があります。 詳細は、HP カスタマ ケア サービスおよびサポート グループまでお問い合わせください。

C　仕様

外形の仕様

表 C-1 製品のサイズ

製品	高さ	奥行き	幅	重量 [1]
HPLaserJet M4345 MFP	545mm (21.5 インチ)	483mm (19.0 インチ)	762mm (30.0 インチ)	44.1kg (97.2lb)
HPLaserJet M4345x MFP	667mm (26.3 インチ)	483mm (19.0 インチ)	762mm (30.0 インチ)	52.4kg (115.5lb)
HPLaserJet M4345xs MFP	111.0cm (43.7 インチ)	483mm (19.0 インチ)	914mm (36.0 インチ)	58.4kg (128.7lb)
HPLaserJet M4345xm MFP	111.0cm (43.7 インチ)	483mm (19.0 インチ)	914mm (36.0 インチ)	58.2kg (128.3lb)
オプションの 500 枚フィーダ	122mm (4.8 インチ)	483mm (19.0 インチ)	559mm (22.0 インチ)	8.3kg (18.3lb)
オプション キャビネット	440mm (17.3 インチ)	762mm (30.0 インチ)	825.5mm (32.5 インチ)	41.8kg (92.2lb)
オプションのステイプラ/スタッカ				6.0kg (13.2lb)
オプションの 3 ビン メールボックス				5.8kg (12.8lb)
オプションの封筒フィーダ				2.5kg (5.5lb)
オプションの両面印刷ﾕﾆｯﾄ				2.5kg (5.5lb)

1 プリント カートリッジなし

表 C-2 すべてのドアとトレイを完全に開いた場合の製品サイズ

製品	高さ	奥行き	幅
HPLaserJet M4345 MFP	889mm (35.0 インチ)	876mm (34.5 インチ)	142.2cm (56.0 インチ)
HPLaserJet M4345x MFP	101cm (39.8 インチ)	876mm (34.5 インチ)	142.2cm (56.0 インチ)
HPLaserJet M4345xs MFP	145cm (57.0 インチ)	117cm (46.0 インチ)	157.5cm (62.0 インチ)
HPLaserJet M4345xm MFP	145cm (57.0 インチ)	117cm (46.0 インチ)	157.5cm (62.0 インチ)

電気的仕様

警告！ 電源の要件は、プリンタが販売された国/地域によって異なります。動作電圧は変更しないでください。電圧を変更するとプリンタが損傷を受け、保証が無効となります。

表 C-3 HP LaserJet M4345 Series MFP の電源要件

仕様	110V モデル	230V モデル
電源仕様	110V ～ 127V (10%)	220V ～ 240V (10%)
	50/60Hz (2Hz)	50/60Hz (2Hz)
定格電流	10.0A	4.5A

表 C-4 HP LaserJet M4345 Series MFP の電力消費量 (平均ワット数)[1]

製品モデル	コピー	印刷 [2]	準備完了	スリープ	オフ
HPLaserJet M4345 MFP	830W	725W[3]	46W	15W	0.26W
HPLaserJet M4345x MFP	830W	725W[3]	49W	16W	0.26W
HPLaserJet M4345xs MFP	830W	725W[3]	49W	16W	0.26W
HPLaserJet M4345xm MFP	830W	725W[3]	49W	16W	0.26W

1 値は変更される場合があります。最新の情報については、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp を参照してください。
2 電力の数値は、すべての標準電圧を使用して測定された最高値です。
3 HPLaserJet M4345 Series MFP の印刷スピードとコピー スピードは、レター サイズで 45ppm、A4 サイズで 43ppm です。
4 準備完了モードからスリープまでのデフォルト設定の時間は 60 分です。
5 スリープから印刷までの回復時間は 18 秒以内です。
6 準備完了モードでの放熱量は、167BTU/時です。

音響仕様

表 C-5 HP LaserJet M4345 Series MFP の音量および音圧レベル [1]

音量レベル	ISO 9296 準拠
印刷 [2]	L_{WAd}= 6.9 ベル (A) [69dB(A)]
コピー	L_{WAd}= 7.2 ベル (A) [72dB(A)]
準備完了	L_{pAm}=音なし
音圧レベル	**ISO 9296 準拠**
印刷 [2]	L_{pAm}=54dB (A)
コピー	L_{pAm}=56dB (A)
準備完了	L_{pAm}=音なし

[1] 値は変更される場合があります。最新の情報については、 http://www.hp.com/support/ljm4345mfp を参照してください。

[2] HPLaserJet M4345 Series MFP のスピードは、A4 サイズで 43ppm です。

[3] テスト構成 (HPLaserJet M4345 MFP):ベース モデル、A4 サイズ単純印刷

動作環境

表 C-6 必要条件

環境条件	印刷時	保管時/スタンバイ時
温度 (プリンタおよびプリンタ カートリッジ)	15 ～ 32.5C (59 ～ 89F)	-20 ～ 40C (-4 ～ 104F)
相対湿度	10% ～ 80%	10% ～ 90%

D　規制に関する情報

このセクションでは、規制に関する次の情報について説明します。

FCC 規格

本装置をテストした結果、Class B デジタル デバイスの基準に達し、FCC 規則の Part 15 に準拠していることが確認されました。 これらの基準は、居住空間に装置を設置した場合の受信障害に対するしかるべき防止策を提供することを目的としています。 本装置は、無線周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があります。 指示に従って本装置を設置し使用していない場合、無線通信に支障をきたす場合があります。 しかし、特定の設置条件で障害が発生しないことを保証するものではありません。 本装置の電源の投入時および切断時に、ラジオやテレビの電波受信に支障がある場合、次の処置の 1 つまたは複数を試すことをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えるか、または設置場所を変える
- 装置と受信機の距離を広げる
- 受信機が接続されている電気回路とは別の回路上のコンセントに本装置を接続する
- 本装置の販売店、またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する

注記　HP が明示的に認めていないプリンタへの変更や改造を行うと、本装置を操作するユーザーの権利が無効になる場合があります。

FCC 規則の Part 15 の Class B 基準に準拠するには、シールド付きインタフェース ケーブルを使用してください。

環境に関するプロダクト スチュワードシップ プログラム

環境の保護

Hewlett-Packard 社は環境保全を考慮した上で、高品質の製品をお届けしています。 この製品は、いくつかの点で環境への影響を最小限に抑えるように設計されています。

オゾン放出

この製品はオゾン ガス (O_3) をほとんど発生しません。

消費電力

印刷可能およびスリープ モードでは電力消費量がかなり低下します。このモードでは天然資源を節約し、コストを削減しますが、この製品の高いパフォーマンスには影響を与えません。 この製品は、ENERGY STAR® (国際エネルギー スター プログラム バージョン 3.0) の認定を受けています。このプログラムは、省エネルギーのオフィス機器の開発を奨励する自主的なプログラムです。

ENERGY STAR® および ENERGY STAR のロゴは、米国における登録商標です。 Hewlett-Packard 社は、ENERGY STAR のパートナーとして、この製品がエネルギー効率に関する ENERGY STAR の基準に適合していると判断しました。 詳細については、www.energystar.gov を参照してください。

トナーの消費

Economode ではトナーの使用量が大幅に低減し、プリント カートリッジの耐用性が高まることが期待できます。

用紙の使用

この製品の手動またはオプションの自動両面印刷機能 (両面印刷については、「自動両面印刷の使用」(Windows) または「自動両面印刷の使用」 (Mac) を参照) および N-UP 印刷機能 (1 枚の用紙に複数のページを印刷する機能) を使用すると、用紙の使用量を削減し、その結果天然資源への需要を減らすことができます。

プラスチック

25g を超えるプラスチック部品には、国際規格に基づく材料識別マークが付いているため、プリンタを処分する際にプラスチックを正しく識別することができます。

HP LaserJet 用サプライ品

HP LaserJet の使用済みプリント カートリッジは、HP Planet Partners (HP プラネット パートナー) を通じて無料で簡単に回収とリサイクルが行われます。 HP では、製品の設計および製造から販売、運用、リサイクル処理に至るまで、環境保全を考慮した上で、創意工夫に満ちた高品質の製品およびサービスの提供に努めています。 回収した HP LaserJet プリント カートリッジは弊社が責任を持って適切にリサイクルを行い、新製品に利用できるプラスチックおよび金属に再生することにより、大

量の廃棄物が埋め立てられるのを回避します。 回収したカートリッジはリサイクルされ、新しい材料として利用されるため、お客様に返却されることはありません。 HP Planet Partners (HP プラネット パートナー) プログラムに参加すると、HP LaserJet の使用済みプリント カートリッジは責任を持ってリサイクルされます。 環境保護にご協力お願いいたします。

多くの国/地域で、この製品の印刷用のサプライ品 (プリント カートリッジなど) を HP 印刷サプライ品回収およびリサイクル プログラムを通じて HP に返却できます。 利用しやすい無料の回収プログラムを、35 を超える国/地域で利用できます。 新しい HP LaserJet プリント カートリッジおよびサプライ品の箱には多言語によるプログラムの説明が同梱されています。

HP 印刷サプライ品回収およびリサイクル プログラムの説明

1992 年から、HP は、HP LaserJet 用サプライ品の無料回収およびリサイクルに取り組んでいます。 2004 年には、HP LaserJet 用サプライ品が販売されている世界の市場の 85% で、LaserJet 用サプライ品の HP Planet Partners (HP プラネット パートナー) が利用可能になりました。 宛先記入済み郵送料前払いのラベルが使用説明書に添付されて、HP LaserJet プリント カートリッジ ボックスに同梱されています。 ラベルと段ボールは、Web サイト (www.hp.com/recycle) からも入手できます。

このラベルは、使用済みの HP LaserJet 純正プリント カートリッジの回収専用です。 HP 純正品以外のカートリッジ、再充填 (リフィル) したカートリッジや再生品カートリッジ、または保証に基づく返品には使用しないでください。 誤って HP Planet Partners (HP プラネット パートナー) プログラムに送られた印刷サプライ品またはその他の物品は、返却されません。

2004 年には世界中で 1,000 万個以上の HP LaserJet プリント カートリッジが HP Planet Partners (HP プラネット パートナー) 印刷用サプライ品リサイクル プログラムを通じてリサイクルされました。 この記録的な数字は、11,793 トン以上のプリント カートリッジ材料が埋め立てられずに済んだことを示します。 HP は、2004 年には世界中で、主にプラスチックと金属で構成されるプリント カートリッジのうち、重量で換算すると平均 59% に相当する部分をリサイクルしました。 プラスチックと金属は、HP 製品、プラスチック トレイやスプールなどの新製品を製造する際に使用されます。 残りの物質は、環境保全に役立つような方法で廃棄されます。

- **米国におけるリサイクル品の回収**：使用済みトナー カートリッジとサプライ品の環境保全に役立つようなリサイクルを目指し、HP 社は一括回収を推奨しています。 複数のカートリッジをまとめて、カートリッジのパッケージに同封されている宛先記入済み郵送料前払いの UPS ラベルを 1 枚貼って送付してください。 米国内における詳細については、1-800-340-2445 にお問い合わせいただくか、HP の Web サイト (www.hp.com/recycle) にアクセスしてください。
- **米国以外からの返却** 米国以外の HP サプライ品回収およびリサイクル プログラムについては、Web サイト (www.hp.com/recycle) にアクセスしてください。

用紙

この製品では、用紙が『『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide (HP LaserJet プリンタ ファミリー印刷メディアガイド)*』』に記載されている基準に適合している場合に限り、再生紙を使用することができます。 この製品には、EN12281:2002 に準拠する再生紙を使用することができます。

材料の制限

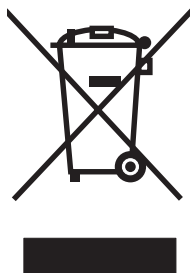
この HP 製品には、スキャナとコントロール パネルの液晶ディスプレイの蛍光灯に水銀が使用されているため、耐用期間経過後に特別な取扱いが必要になる場合があります。

この HP 製品には電池が使用されているため、回収時に特別な取扱いが必要になる場合があります。 この製品に Hewlett-Packard が使用している電池を以下に示します。

HP LaserJet M4345 デバイス	
タイプ	フッ化黒鉛リチウム電池 BR1632
重量	1.5g
実装位置	フォーマッタ ボード
ユーザーによる取り外し	不可

廢電池請回收

リサイクル情報については、www.hp.com/recycle にアクセスするか、最寄りの代理店または米国電子工業会 (www.eiae.org) にお問い合わせください。

EU (欧州連合) が定める一般家庭の使用済み機器の廃棄

製品または製品のパッケージにこのマークが付いている場合、この製品を家庭廃棄物と一緒に捨てることは禁止されています。 使用済み機器の廃棄は消費者が責任を負うものとし、電気・電子機器廃棄物のリサイクルを行うための指定された回収拠点に持って行く必要があります。 使用済み機器の廃棄に分別収集およびリサイクルを実行することより、天然資源を保護し、人間の健康と環境を守るリサイクルを実現します。 使用済み機器のリサイクルを行う回収拠点については、居住地区の市役所、家庭廃棄物の収集業者、または製品を購入した販売店にお問い合わせください。

化学物質安全データシート (MSDS)

トナーなどの化学物質を含んでいるサプライ品の化学物質安全データシート (MSDS) については、HP の Web サイト www.hp.com/go/msds または www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/safety にアクセスしてください。

詳細について

これらの環境に関するトピック

- この製品やこの製品に関連する多くの HP 製品についての製品環境プロファイル
- HP 社の環境への貢献
- HP 社の環境管理システム
- HP 社の製品回収およびリサイクル プログラム
- 化学物質安全データシート (MSDS)

http://www.hp.com/go/environment または http://www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/safety にアクセスしてください。

電気通信に関する宣言

HP LaserJet M4345x、HP LaserJet M4345xs、および HP LaserJet M4345xm モデルには HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 がすでに取り付けてあり、公衆交換電話網 (PSTN) と通信してファックス機能を使用することができます。ファックス機能とファックス装置に関する規制当局の許可および規制に関する通知については、『*『HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 ユーザーズ ガイド』*』を参照してください。

適合宣言書

適合宣言書
ISO/IEC Guide 22 および EN 45014 に準拠

製造者名：	Hewlett-Packard Company
製造者住所：	11311 Chinden Boulevard, Boise, Idaho 83714-1021, USA

宣言対象製品

製品名：	HP LaserJet M4345 シリーズ
規制モデル番号 [3]**：**	BOISB-0407-00 and BOISB-0407-01
製品オプション：	次の製品を含む:CB425A、CB426A、CB427A、CB428A、BOISB-030800[4] すべて
	トナー カートリッジ :Q5945A

次の製品仕様に準拠しています。

安全性：	IEC 60950-1:2001 / EN60950-1: 2001 +A11 IEC 60825-1:1993 +A1 +A2 / EN 60825-1:1994 +A1 +A2 (クラス 1 レーザー/LED 製品) GB4943-2001
EMC (電磁適合性)：	CISPR 22:1993 +A1 +A2 / EN 55022:1994 +A1 +A2 -- Class B[1)] EN 61000-3-2:2000 EN 61000-3-3:1995 +A1 EN 55024:1998 +A1 +A2 FCC Title 47 CFR, Part 15 Class B[2] / ICES-003, Issue 4[2)] GB9254-1998, GB17625.1-2003

補足情報：

本製品は、EMC 指令 89/336/EEC および低電圧指令 73/23/EEC の条件を満たしており、当該指令で規定されている CE マークを貼付しています。

1) 本製品は、Hewlett-Packard のパーソナル コンピュータ システムの標準的な構成でテスト済みです。

2) このデバイスは、FCC 規制の Part 15 に準拠します。操作には次の 2 つの条件が適用されます。(1) このデバイスが妨害とならないこと (2) このデバイスが、望ましくない操作の原因となる妨害を含め、被った妨害を受け入れる必要があること

3) 規制上の理由により、本製品には規制のモデル番号が割り当てられています。この番号を、製品名や製品番号と混同しないでください。

4) 規制モデル番号 BOISB-03080 の下で、モジュラーとして世界的な承認を受けた Hewlett-Packard のアナログ ファックス アクセサリには、Multi-Tech Systems 社の MT5634SMI ソケット モデム モジュールが組み込まれています。

Boise, Idaho , USA

2006 年 3 月 29 日

規定に関する情報のお問い合わせ先：

オーストラリアのお問い合わせ先：	Product Regulations Manager、Hewlett-Packard Australia Ltd., 31-41 Joseph Street,, Blackburn, Victoria 3130, Australia
ヨーロッパのお問い合わせ先：	お近くの Hewlett-Packard セールス/サービス オフィスまたは Hewlett-Packard GmbH, Department HQ-TRE / Standards Europe, Herrenberger Strasse 140, D-71034 Böblingen, ドイツ, (ファックス： +49-7031-14-3143)
米国のお問い合わせ先：	Product Regulations Manager、 Hewlett-Packard Company, PO Box 15, Mail Stop 160,, Boise, ID 83707-0015, , (電話： 208-396-6000)

安全規定

レーザー製品の安全性

米国食品医薬品局の医療機器・放射線製品センタ (CDRH) では、1976 年 8 月 1 日以降に生産されたレーザ製品の規定を定めています。米国で販売される製品では規定への準拠が必須です。 このデバイスは、1968 年の放射線規制法に基づく米国保健社会福祉省 (DHHS) の放射線性能基準のもと、「クラス 1」のレーザ製品に認定されています。このデバイス内で放射される放射線は保護用の筐体および外部カバー内に密封されているので、ユーザーの通常の使用状況ではレーザ ビームが漏れることはありません。

警告！ このユーザーズ ガイドに指定されていない制御を使用したり、調整を行ったり、手順を実行したりすると、危険な放射線が漏れる場合があります。

Canadian DOC regulations (カナダ DOC 規格)

Complies with Canadian EMC Class B requirements.

《 Conforme à la classe B des normes canadiennes de compatibilité électromagnétiques. « CEM ». »

VCCI 規格（日本）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

電源コード規格 (日本)

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

EMI 規格 (韓国)

B급 기기 (가정용 정보통신기기)

이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서
주거지역에서는 물론 모든지역에서 사용할 수 있습니다.

レーザー製品に関する規定 (フィンランド)

Luokan 1 laserlaite

Klass 1 Laser Apparat

HP LaserJet M4345, HP LaserJet M4345x, HP LaserJet M4345xs, HP LaserJet M4345xm, laserkirjoitin on käyttäjän kannalta turvallinen luokan 1 laserlaite. Normaalissa käytössä kirjoittimen suojakotelointi

estää lasersäteen pääsyn laitteen ulkopuolelle. Laitteen turvallisuusluokka on määritetty standardin EN 60825-1 (1994) mukaisesti.

VAROITUS !

Laitteen käyttäminen muulla kuin käyttöohjeessa mainitulla tavalla saattaa altistaa käyttäjän turvallisuusluokan 1 ylittävälle näkymättömälle lasersäteilylle.

VARNING !

Om apparaten används på annat sätt än i bruksanvisning specificerats, kan användaren utsättas för osynlig laserstrålning, som överskrider gränsen för laserklass 1.

HUOLTO

HP LaserJet M4345, HP LaserJet M4345x, HP LaserJet M4345xs, HP LaserJet M4345xm - kirjoittimen sisällä ei ole käyttäjän huollettavissa olevia kohteita. Laitteen saa avata ja huoltaa ainoastaan sen huoltamiseen koulutettu henkilö. Tällaiseksi huoltotoimenpiteeksi ei katsota väriainekasetin vaihtamista, paperiradan puhdistusta tai muita käyttäjän käsikirjassa lueteltuja, käyttäjän tehtäväksi tarkoitettuja ylläpitotoimia, jotka voidaan suorittaa ilman erikoistyökaluja.

VARO !

Mikäli kirjoittimen suojakotelo avataan, olet alttiina näkymättömällelasersäteilylle laitteen ollessa toiminnassa. Älä katso säteeseen.

VARNING !

Om laserprinterns skyddshölje öppnas då apparaten är i funktion, utsättas användaren för osynlig laserstrålning. Betrakta ej strålen. Tiedot laitteessa käytettävän laserdiodin säteilyominaisuuksista: Aallonpituus 775-795 nm Teho 5 m W Luokan 3B laser.

E　メモリ カードとプリント サーバ カードの取り扱い

このセクションでは、プリンタのメモリ機能とその拡張手順について説明します。

概要

DIMM メモリを交換して、メモリをアップグレードすることができます。32MB、48MB、64MB、128MB、および 512MB の DIMM メモリを使用できます。

注文の詳細については、パーツ、アクセサリ、サプライ品の注文を参照してください。

注記　以前の HPLaserJet プリンタで使用されていた SIMM (シングル インライン メモリ モジュール) は、プリンタとの互換性がありません。

また、プリンタには、ネットワーク機能を拡張するための EIO スロットが 1 個装備されています。この EIO スロットは、ワイヤレス プリント サーバ、ネットワーク カード、シリアル接続または AppleTalk 接続対応の接続カードなどのネットワーク接続を追加してプリンタをアップグレードするために使用することができます。

注記　HP LaserJet M4345 Series MFP には、ネットワーク デバイスがインストールされて出荷されています。EIO スロットは、プリンタに組み込まれている機能の他にネットワーク機能にも使用される場合があります。

プリンタに搭載されているメモリの量、または EIO スロットに何がインストールされているかを確認するには、設定ページを印刷します。[情報ページ] の使用を参照してください。

プリンタ メモリの追加

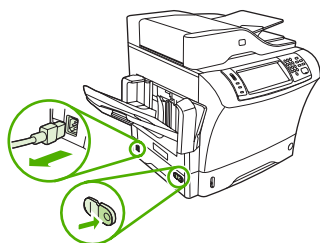
複雑なグラフィックスや PostScript 文書を頻繁に印刷したり、多数のフォントをダウンロードして使用する場合は、プリンタのメモリを増設することをお勧めします。 メモリを増設することによって、クイック コピーなどのジョブ保存機能に柔軟に対応することができます。

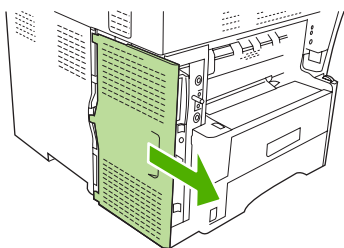
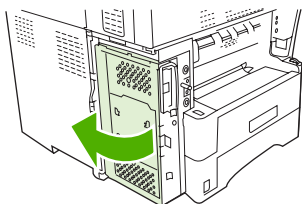
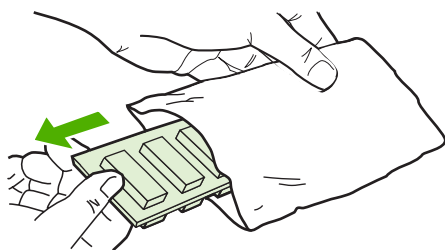
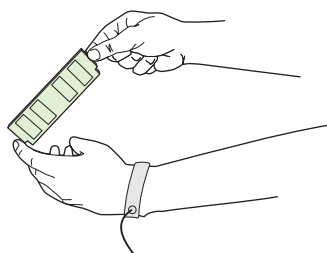
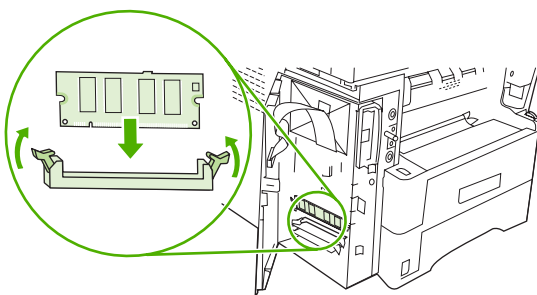
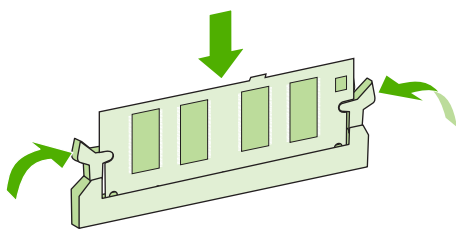
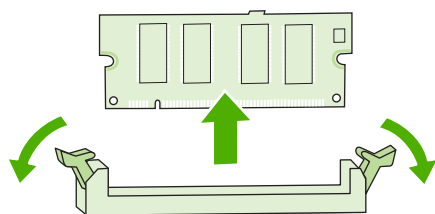
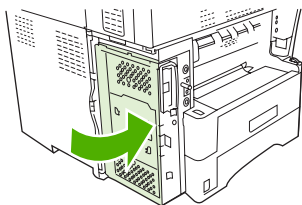
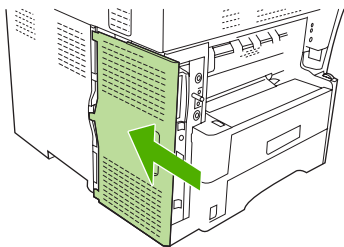
プリンタ メモリのインストール

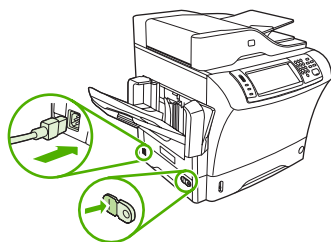
注意　静電気は DIMM に損傷を与えます。 DIMM を取り扱う場合は、静電気防止用リスト ストラップを着用するか、何度も DIMM の静電気防止パッケージの表面に触れてから、プリンタの露出した金属部に触れるようにしてください。

HP LaserJet M4345 Series MFP には、DIMM スロットが 1 つ装備されています。必要に応じて、スロットにインストールされている DIMM を大容量の DIMM に交換できます。

まだ DIMM を交換していない場合は、メモリを追加する前に設定ページを印刷して、プリンタにインストールされているメモリの容量を確認します。[情報ページ] の使用を参照してください。

1. 設定ページを印刷したら、プリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。

2. すべてのインターフェイス ケーブルを抜きます。

3. デバイスの背面で、へこんでいる部分に指をかけ、サイド カバーをスライドして外します。

4. 金属製のつまみをつかんで引きながらフォーマッタ ケージのドアを開きます。

5. 静電気防止パッケージから DIMM を取り出します。

注意　静電気による損傷の危険性を減らすために、常に静電放電 (ESD) リスト ストラップを着用するか、静電防止パッケージの表面に触れてから DIMM に触れるようにしてください。

6. DIMM の両端を持って、DIMM のノッチと DIMM スロットを揃えます。(DIMM スロットの両端のロックが開いていることを確認します)。

7. DIMM をスロットに真っ直ぐ押し込みます。DIMM の両側のロックが所定の位置にあることを確認します。

注記 DIMM を取り外すには、最初にロックを解除します。

8. フォーマッタ ケージのドアを閉めます。

9. フォーマッタ カバーを取り付けます。

10. インターフェイス ケーブルを再接続します。

11. 電源コードを再接続して、プリンタの電源を入れます。

DIMM インストールの確認

DIMM をインストールしたら、インストールが正常に行われたことを確認します。

DIMM が正常にインストールされていることを確認するには

1. プリンタの電源を入れます。プリンタがスタートアップ プロセスを完了したら、準備完了を示すライトが点灯します。エラー メッセージが表示される場合は、DIMM が正しくインストールされていません。[情報ページ] の使用を参照してください。

2. 設定ページを印刷します ([情報ページ] の使用を参照してください)。

3. 設定ページのメモリ セクションを確認して、メモリをインストールする前に印刷した設定ページと比較します。メモリの量が増加していない場合は、DIMM が正しくインストールされていないか、DIMM が不良である可能性があります。インストール手順を繰り返してください。必要に応じて、別の DIMM をインストールします。

注記　プリンタ言語 (パーソナリティ) をインストールした場合は、設定ページの「インストールされたパーソナリティとオプション」を確認してください。 新しいプリンタ言語がここにリストされます。

リソースの保存 (常駐リソース)

デバイスにダウンロードするユーティリティやジョブには、フォント、マクロ、パターンなどのリソースが含まれている場合があります。 内部的に常駐リソースとして指定したリソースは、デバイスの電源を切るまでデバイスのメモリ内に残ります。

ページ記述言語 (PDL) を使ってリソースを常駐リソースとして指定する場合は、次のガイドラインに従ってください。 技術的な詳細については、PCL または PS の該当する PDL 参考資料を参照してください。

- デバイスの電源が入っている限りリソースをどうしてもメモリ上に残しておきたい場合にのみ、リソースを常駐リソースとして指定してください。
- 常駐リソースは印刷ジョブの開始時に送信し、印刷中に送信しないでください。

注記 常駐リソースを使いすぎたり、デバイスの印刷中にダウンロードすると、デバイスのパフォーマンスや複雑なページの印刷性能に影響が出る可能性があります。

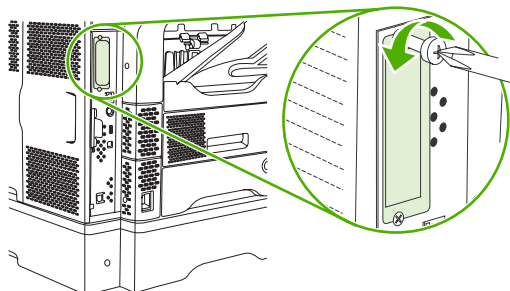
Windows 用メモリの有効化

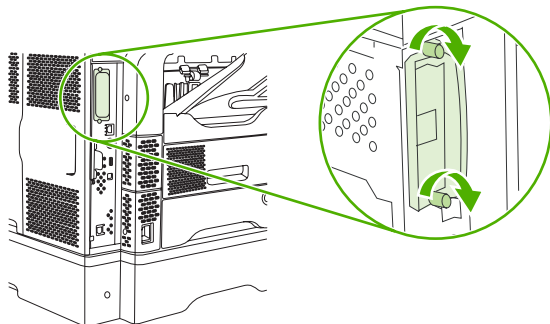
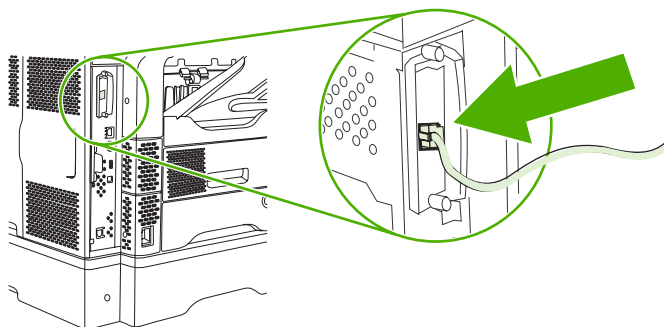
1. **[スタート]** メニューから **[設定]** をポイントし、**[プリンタ]** または **[プリンタとファックス]** をクリックします。
2. このプリンタを選択し、**[プロパティ]** を選択します。
3. **[設定]** タブで **[詳細]** をクリックします。
4. **[合計メモリ]** フィールドで、現在取り付けられているメモリの総容量を入力または選択します。
5. **[OK]** をクリックします。
6. 「DIMM インストールの確認」に進みます。

HPJetdirect プリント サーバー カードを使用する

以下の手順に従って、EIO カードの取り付けまたは取り外しを行います。

HP Jetdirect プリント サーバ カードの取り付け

1. デバイスの電源を切ります。
2. デバイス後部の EIO スロットから 2 本のネジとカバー プレートを外します。

注記 ネジとカバー プレートは廃棄しないで、 将来、EIO カードを取り外すときのために保管しておいてください。

3. EIO カードを EIO スロットに取り付け、ネジを締めます。

4. ネットワーク ケーブルを EIO カードに接続します。

5. デバイスの電源を入れてから、設定ページを印刷して新しい EIO デバイスが認識されていることを確認します。 「[情報ページ] の使用」を参照してください。

注記　設定ページを印刷すると、ネットワークの設定とステータス情報を含む HP Jetdirect 設定ページも印刷されます。

HP Jetdirect プリント サーバ カードの取り外し

1. デバイスの電源を切ります。
2. EIO カードからネットワーク ケーブルを取り外します。
3. EIO カードの 2 本のネジを緩めてから、EIO カードを EIO スロットから取り外します。
4. EIO スロットのカバー プレートをデバイスの後部に取り付けます。 2 本のネジを差し込んで締めます。
5. デバイスの電源を入れます。

索引

き

く

け

こ

せ

そ

た

な

に

ね

の

は

ひ

ふ